

「みんなと子どもすくすくアクション～港区の就学前の子どもを取り巻く環境変化等を踏まえた30の子育て支援策～」について

報告内容

「みんなと子どもすくすくアクション～港区の就学前の子どもを取り巻く環境変化等を踏まえた30の子育て支援策～」を策定し、就学前の子どもがいる世帯に対する子育て支援の早期の充実を図ります。

1 背景

区はこれまで、待機児童解消を目的とする保育関連施策をはじめ、子育て世帯の孤立化を防ぐ相談事業や、子どもの健やかな成長をサポートする母子保健事業、障害児やひとり親世帯など困難な状況にある家庭への支援など、「子育てするなら港区」をスローガンに、世帯の状況に応じたきめ細かな子育て支援策を実施してきました。

近年、幼児教育・保育の無償化等の大きな制度改革や、区の児童相談所設置市への移行、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、区内の就学前の子どもを取り巻く環境が大きく変化しました。それに伴い、就学前の子どもがいる世帯が持つニーズや課題も従前とは変わってきており、新たな子育て支援策の必要性が生じています。

また、国においては、令和5年4月に、子ども施策を社会全体で総合的かつ強力に実施していくための包括的な法律として「こども基本法」が施行され、こども家庭庁が設置されることとなりました。東京都においても、子どもに関わる複合的課題に対応することを目的に「子供政策連携室」が令和4年4月に設置されています。

このような状況を踏まえ、就学前の子どもを取り巻く環境が変化している中において、子育て世帯の新たなニーズや課題を把握するため、令和4年1月に、区内在住の就学前の子どもがいる全世帯を対象とした「港区の就学前児童に対する子育て支援検討に当たってのアンケート調査」（以下「アンケート調査」といいます。）を実施しました。

2 「みんなと子どもすくすくアクション」の策定（詳細は資料No.3-2、3-3）

港区子育て支援推進会議の下に設置した検討委員会において、アンケート調査の結果を踏まえた議論を行い、把握したニーズや課題に早期に対応するための新たな子育て支援策をまとめた「みんなと子どもすくすくアクション」を策定しました。

「みんなと子どもすくすくアクション」には、アンケートにより把握することができた、就学前の子どもがいる世帯のニーズや課題に対応する子育て支援策を掲げており、教育・保育施設利用世帯、在宅子育て家庭（未就園児がいる世帯）、特別な支援が必要な子どもがいる世帯など、対象ごとにまとめています。

「みんなと子どもすくすくアクション」を着実に実行することで、就学前の子どもがいる世帯に対する子育て支援の早期の充実を図ります。

(1) 教育・保育施設利用世帯への支援策（子育て支援策No.1～12）

近年の待機児童解消策により増加した認可保育施設の保育の質の向上や、早期教育ニーズ等により今後も利用が見込まれる認可外保育施設の保育の質の向上、利用世帯減少の改善に向けた幼稚園の魅力向上・発信策の強化など、教育・保育施設を利用する世帯に対する子育て支援策です。

(2) 在宅子育て家庭への支援策（子育て支援策No.13～19）

コロナ禍等が拍車をかけた在宅子育て家庭の孤独感・負担感の軽減を目的に、在宅子育て家庭に向けて実施する子育て支援策です。

(3) 特別な支援が必要な子どもがいる世帯への支援策（子育て支援策No.20～24）

増加傾向にある、教育・保育施設を利用する特別な支援が必要な子どもに対する支援や、子どもの障害や発達について不安を抱える保護者へのさらなる支援など、特別な支援が必要な子どもがいる世帯に対する子育て支援策です。

(4) その他アンケートで把握したニーズへの対応（子育て支援策No.25～30）

(1)～(3)以外にアンケートで把握したニーズ等に対する子育て支援策です。

< 「みんなと子どもすくすくアクション」子育て支援策一覧 >

No.	子育て支援策	所管課
1	保育アドバイザー派遣事業の拡充	保育政策課
2	保育の質向上のための研究プロジェクトの実施	保育政策課
3	大学との協働による新たな保育士研修カリキュラムの構築	保育政策課
4	港区版保育の質のガイドラインの作成	保育政策課
5	認可外保育施設改修費等支援事業の実施	保育政策課
6	区立幼稚園における子育てサポート保育の拡充	学務課
7	区立幼稚園における夏季等休業中の一時預かり事業の実施	学務課
8	区立幼稚園における教育活動の充実	教育指導担当
9	区立幼稚園における利便性等向上策の実施	学務課 教育指導担当
10	区立幼稚園における体験保育等の拡充	学務課 教育指導担当
11	幼稚園紹介パンフレットを活用した魅力周知の充実	教育長室
12	送迎用バス安全装置装備支援事業の実施	保育政策課 教育長室
13	私立認可保育園での余裕活用型一時保育事業の実施	保育課
14	みなと保育サポート事業再編による乳幼児一時預かり事業の拡充	子ども家庭支援センター
15	ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）の実施	子ども家庭支援センター
16	産前産後家事・育児支援事業の拡充	子ども家庭支援センター
17	子育てひろば「あい・ぽーと」への親子が集えるカフェの設置	子ども家庭支援センター
18	子育てひろば等職員への心理専門相談員巡回指導の実施	子ども家庭支援センター
19	産後母子ケア事業の拡充	健康推進課
20	認可保育園等の障害児・個別的配慮児への対応力向上策の実施	保育課
21	私立幼稚園への特別支援アドバイザー派遣、特別支援教育担当者会の拡充	教育長室 教育指導担当
22	児童発達支援センターでの相談者に合わせた相談体制の構築	障害者福祉課
23	子どもの障害や発達について気軽に相談できる出張相談・親子サロンの設置	障害者福祉課
24	児童発達支援センターと保育園の「併用通所」の対象の拡大	障害者福祉課
25	エンジョイ・セレクト事業の継続実施	子ども家庭課
26	多子世帯移動経費補助事業の実施	子ども家庭課
27	就学前児童の港区コミュニティバス「ちいばす」及び台場シャトルバス「お台場レインボーバス」運賃の無料化	子ども家庭課 地域交通課
28	妊産婦に無料で発行している港区コミュニティバス乗車券の利用対象者拡大	子ども家庭課 地域交通課
29	区立認可保育園でのおむつサブスクリプションサービスの実施	保育課
30	出産費用助成事業の拡充	子ども家庭課

3 アンケート調査の主な結果（詳細は参考資料1、1-2）

(1) 教育・保育施設利用世帯について

- ・ 教育・保育施設の利用状況としては、保育園等、認可外保育施設・各種学校の利用割合が増加し、幼稚園の利用割合は減少しています。
- ・ 保育園等利用世帯の約9割が利用施設の教育・保育内容に満足している一方で、児童や保護者に対する保育士の対応など、施設の保育の質の向上に関する要望が見られます。
- ・ 認可外保育施設利用世帯の多くは、施設のカリキュラムや英語学習の充実を理由に施設を利用しています。
- ・ 幼稚園を利用したくても、保育時間の短さによって利用できない世帯が一定数存在しています。

(2) 在宅子育て家庭について

- ・ 就学前の子どもがいる世帯の20.7%が在宅子育て家庭です。
- ・ コロナ禍等の影響により、祖父母等の支援が得られない在宅子育て家庭の割合が増加しています。

(3) 特別な支援が必要な子どもがいる世帯について

- ・ 就学前の子どもがいる世帯の9.0%が、子どもに障害・発達不安を持っています。
- ・ 児童発達支援センター「ぱお」や、元麻布保育園の医療的ケア児・障害児クラスなどの区の施策については、評価する声がある一方で、個々の事業に対する要望も多く見られます。

(4) その他

- ・ ひとり親世帯からは、ひとり親世帯対象の既存の子育て支援サービスに対する要望が見られます。
- ・ 多子世帯からは、移動に関する支援の要望が多く見られます。

4 今後のスケジュール（予定）

令和5年3月 港区子ども・子育て会議報告

港区児童福祉審議会（保育部会）報告

『みんなと子どもすくすくアクション』 ～港区の就学前の子どもを取り巻く環境変化等を踏まえた30の子育て支援策～

概要版

第1章 策定の背景

環境変化に伴う新たな子育て支援ニーズと課題の発生

- 区はこれまで、待機児童解消を目的とする保育関連施策をはじめ、相談事業や、母子保健事業、困難な状況にある家庭への支援など、「子育てするなら港区」をスローガンに、世帯の状況に応じたきめ細かな子育て支援策を実施してきました。
- しかし、近年、幼児教育・保育の無償化等の大きな制度改革や、区の児童相談所設置市への移行、こども家庭庁や東京都の子供政策連携室の設置、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、区内の就学前の子どもを取り巻く環境が大きく変化しました。
- それに伴い、就学前の子どもがいる世帯が持つニーズや課題も従前とは変わってきており、新たな子育て支援策の必要性が生じています。

■子育て支援ニーズの変化



子育て支援ニーズの把握を目的としたアンケート調査の実施

- 就学前の子どもを取り巻く環境が変化している中において、子育て世帯の新たなニーズや課題を把握するため、令和4年1月に、区内在住の就学前の子どもがいる全世帯を対象とした「港区の就学前児童に対する子育て支援検討に当たってのアンケート調査」（以下「アンケート調査」といいます。）を実施しました。

■アンケート調査の概要

調査名称	港区の就学前児童に対する子育て支援検討に当たってのアンケート調査
調査目的	新型コロナウイルス感染症感染拡大等の子育てを取り巻く環境変化を踏まえ、区内の子ども及びその保護者が有する現時点のニーズ等を把握する。
調査主体	港区 子ども家庭支援部 保育政策課
調査対象	区内在住の就学前児童がいる全世帯 13,233世帯
調査期間	令和4年1月19日（水）～令和4年2月14日（月）
調査方法	調査用紙を郵送により配布し、郵送又はインターネットにより回収
回収数及び回収率	回収数：6,010世帯 回収率（回収数／有効送付数）：45.4%

第2章 就学前の子どもを取り巻く環境変化

1 待機児童ゼロの達成・継続

- 待機児童解消緊急対策等の取組により、平成31年以降、4月時点の待機児童ゼロを継続しています。
- 保育施設の数が増え、入園を希望する世帯が保育施設に入りやすくなった一方で、施設数及び利用者の増加によって新たに課題やニーズが生じています。

2 幼児教育・保育の無償化の開始

- 令和元年10月から、幼稚園、保育園などを利用する3歳から5歳までの子ども及び住民税非課税世帯等の0歳から2歳までの子どもの保育料が無償化されました。
- 認可外保育施設についても、一定額まで無償化の対象となったことで、施設の需要の傾向に変化が見られます。

3 児童相談所設置市への移行

- 区は、令和3年4月に児童相談所設置市となり、児童福祉施設の指導監督等に係る権限が大きく拡充したことなどから、多様化・複雑化する教育・保育ニーズに対し、これまで以上に主体的かつ早期に対応することができるようになりました。
- 権限拡充に伴って、新たに把握した課題に対して適切に対応していく必要があります。

4 こども家庭庁の設置とこども基本法の施行

- 令和5年4月、子ども施策を社会全体で総合的かつ強力に実施していくための包括的な法律として「こども基本法」が施行され、子ども施策の司令塔を担う「こども家庭庁」が新たに創設されます。
- 東京都においても、子どもに関わる複合的課題に対応することを目的に「子供政策連携室」が令和4年4月に設置されています。

5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大

- 新型コロナウイルス感染症は、国内でも多くの感染者が確認されており、今なお区民生活に大きな影響を及ぼしています。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響等により、港区の就学前児童人口（0～5歳）は、令和2年2月以降減少傾向にあります。

第3章 環境変化等を踏まえた子育て支援策

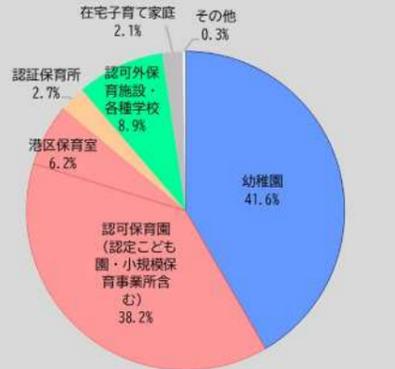
これまで

環境変化後の状況

教育・保育施設の利用状況…保育園等、認可外保育施設の利用が増加し、幼稚園の利用が減少

<H30年度調査 利用施設割合（3～5歳児）>

保育園等：44.4%
認可外保育施設・各種学校：8.9%
幼稚園：41.6% ※保育園等は認可保育園、こども園、小規模、保育室の合計



<R3年度調査 利用施設割合（3～5歳児）>

保育園等：50.1%
認可外保育施設・各種学校：12.0%
幼稚園：32.6%



<H30年度調査とR3年度調査の比較>

保育園等：【5.7ポイント増↑】
認可外保育施設・各種学校：【3.1ポイント増↑】
幼稚園：【9ポイント減↓】

令和3年度調査の幼稚園等が入園可能になる3～5歳児の利用施設割合を、平成30年度調査結果と比較すると、
・待機児童解消策による保育施設の整備等により、**保育園等（認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室）利用世帯は44.4%から50.1%に増加。**
・幼児教育・保育の無償化による経済的負担の軽減等により、**認可外保育施設・各種学校利用世帯は8.9%から12.0%に増加。**
・共働き世帯の増加等により、**幼稚園利用世帯は41.6%から32.6%に減少。**

→施設の利用状況の変化により、新たな課題が生じています。

1 保育園等の新たな課題…保護者や施設運営事業者から、保育士のスキルなど保育の質に関する要望・相談が多数寄せられている

<保育施設数・在園児数の推移（保育園等）>



※数値は各年4月1日現在
→施設数、利用世帯数の増加に伴い、発生するトラブルや区への相談件数も増加しています。

<R3年度調査 利用施設に改善してほしい点（保育園等利用世帯）>

・園長はしっかりされているが、若い先生の中には挨拶や相手の目を見て話すことができない方、園児を頭ごなしに叱っている方も稀にいるため、時々不安を感じる。
・保護者への適切な報連相がされていない。育児経験がないであろう若手の保育士が多く、保護者が知りたい情報や育児に対する心配事がピンときてなさそう。
→保護者から保育園等の保育の質向上に関する要望が寄せられています。

<認可保育園等から区への相談事例>

・若い職員のスキルが未熟で、指導に苦慮している。
・職員に子どもの発達についての知識が不足している。職員の様子を見てほしい。
→運営事業者からも保育の質向上に関する相談が寄せられています。

2 認可外保育施設の新たな課題…施設数や利用者が増加傾向にある一方で、設備面等に課題を抱える認可外保育施設が一定数存在

<区内認可外保育施設数>

平成30年4月：73施設

令和4年4月：86施設

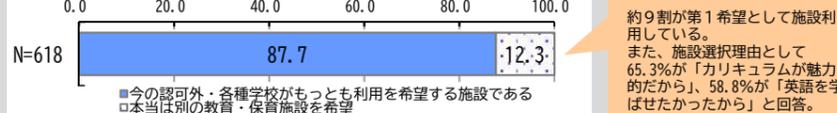
<認可外保育施設保育料補助金 利用児童数>

平成30年度：322人

令和3年度：1,010人

→認可外保育施設数、利用者ともに増加傾向にあります。

<R3年度調査 今通っている施設以外の利用希望有無（認可外・各種学校利用世帯）>



約9割が第1希望として施設利用している。また、施設選択理由として65.3%が「カリキュラムが魅力的だから」、58.8%が「英語を学ばせたかったから」と回答。

→利用者が増え、かつ第1希望として認可外保育施設を利用する世帯が多い一方、令和5年1月現在、88施設中31施設が認可外保育施設指導監督基準を満たしていません。

3 幼稚園の新たな課題…幼稚園利用の減少傾向の改善

<区立幼稚園就園者数の推移>



→幼稚園利用者は減少傾向です。

<R3年度調査 幼稚園利用希望世帯の利用できていない理由>

利用できていない理由（複数回答）	区立幼稚園利用希望世帯（149世帯）		私立幼稚園利用希望世帯（147世帯）	
	実数	割合	実数	割合
保育時間が合わない	36	24.2%	46	31.3%
保育料が高い	9	6.0%	13	8.8%
入園希望施設に空きがない	3	2.0%	14	9.5%
通園できる距離にない	7	4.7%	8	5.4%
対象年齢に達していない	62	41.6%	61	41.5%
その他の理由	23	15.4%	18	12.2%

→幼稚園の保育時間が合わずに利用ができない世帯が多い状況にあります。

対応の方向性と支援策

1 保育園等関連

対応の方向性

近年の待機児童解消策により、施設数及び利用世帯数が増加した認可保育施設の保育の質の向上

支援策

- 支援策1 保育アドバイザー派遣事業の拡充【保育政策課】
- 支援策2 保育の質向上のための研究プロジェクトの実施【保育政策課】
- 支援策3 大学との協働による新たな保育士研修カリキュラムの構築【保育政策課】
- 支援策4 港区版保育の質のガイドラインの作成【保育政策課】

2 認可外保育施設関連

対応の方向性

早期教育ニーズにより、今後も利用が見込まれる認可外保育施設の保育の質の向上

支援策

- 支援策5 認可外保育施設改修費等支援事業の実施【保育政策課】

3 幼稚園関連

対応の方向性

利用世帯減少の改善に向けた幼稚園の魅力向上・発信策の強化、幼稚園を利用できていない世帯のニーズ等への対応

支援策

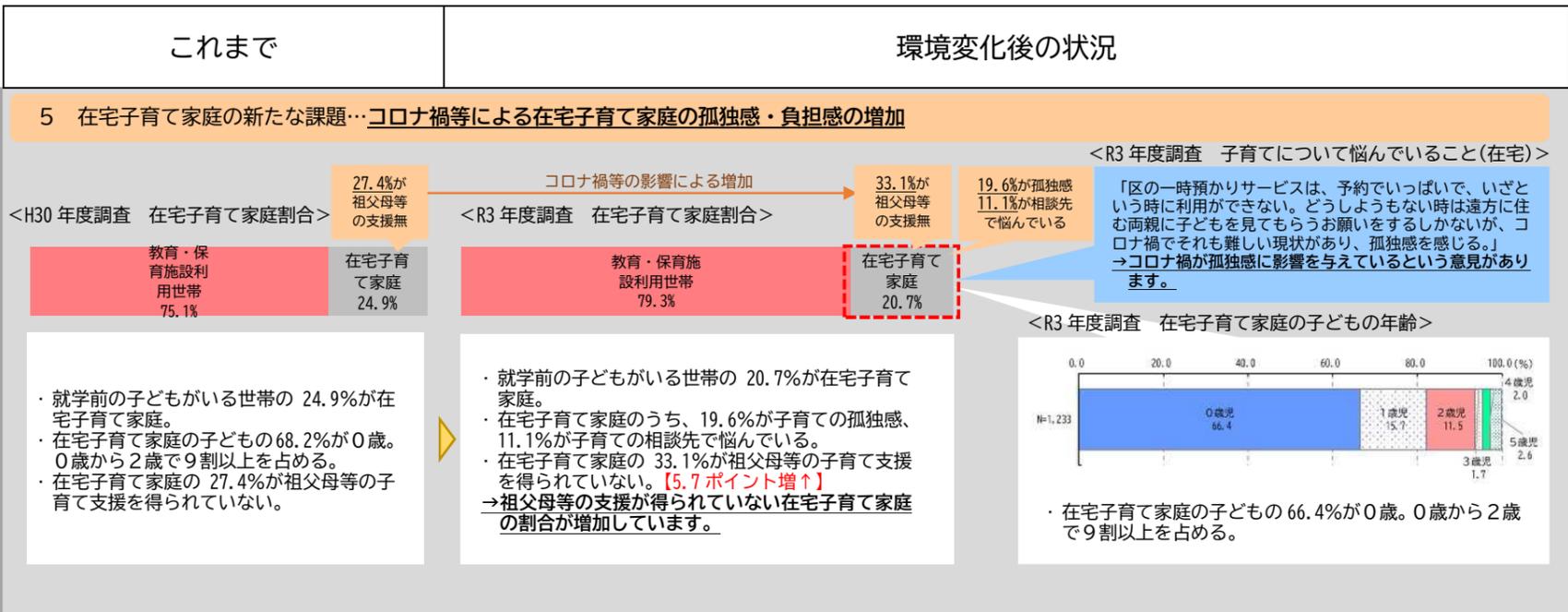
- 支援策6 区立幼稚園における子育てサポート保育の拡充【学務課】
- 支援策7 区立幼稚園における夏季等休業中の一時預かり事業の実施【学務課】
- 支援策8 区立幼稚園における教育活動の充実【教育指導担当】
- 支援策9 区立幼稚園における利便性等向上策の実施【学務課・教育指導担当】
- 支援策10 区立幼稚園における体験保育等の拡充【学務課・教育指導担当】
- 支援策11 幼稚園紹介パンフレットを活用した魅力周知の充実【教育長室】

4 その他

支援策

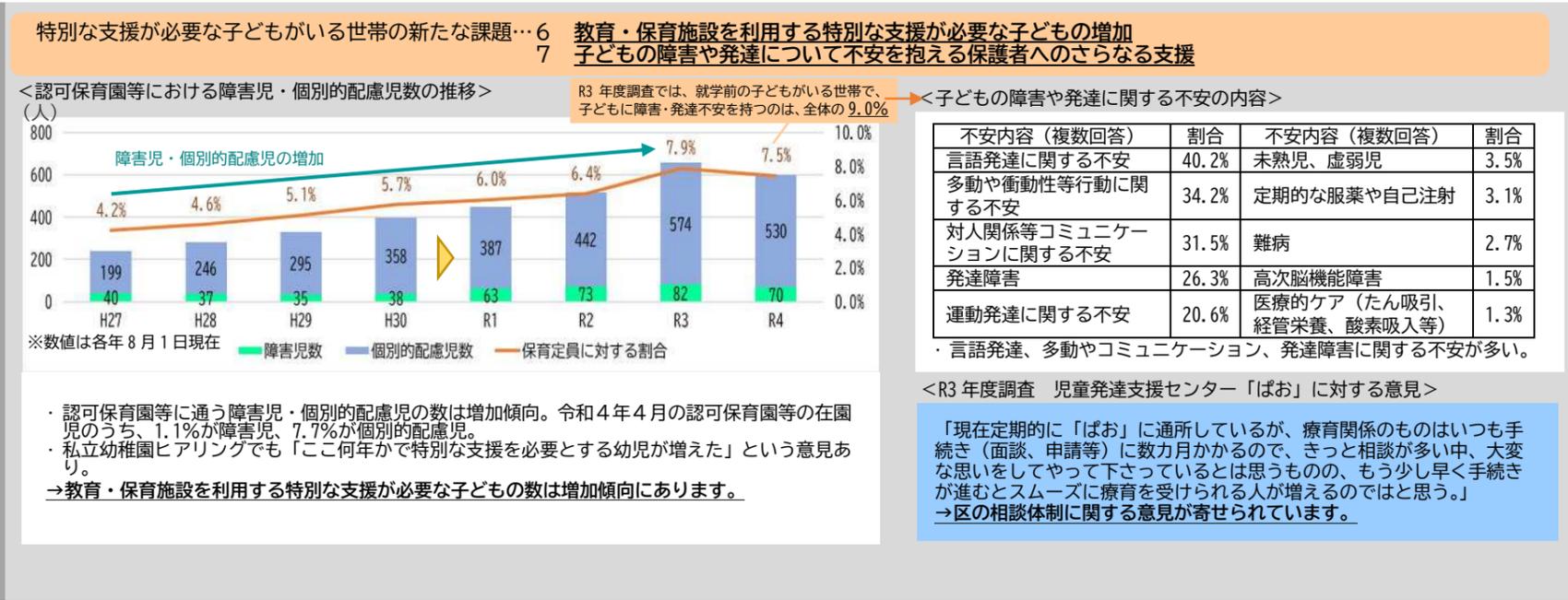
- 支援策12 送迎用バス安全装置装備支援事業の実施【保育政策課・教育長室】

教育・保育施設利用世帯

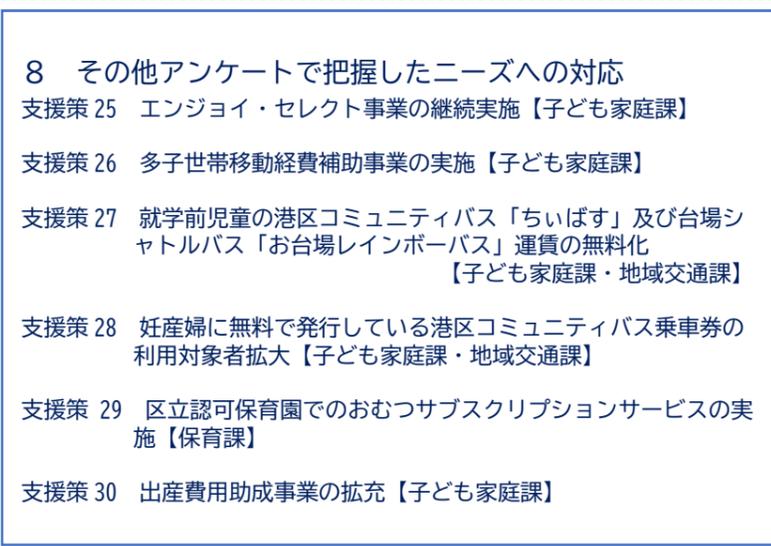
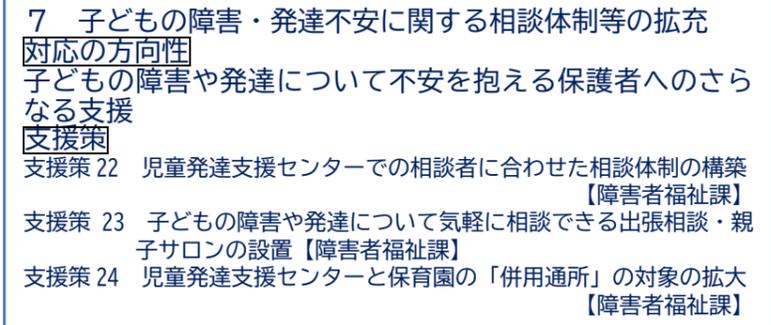
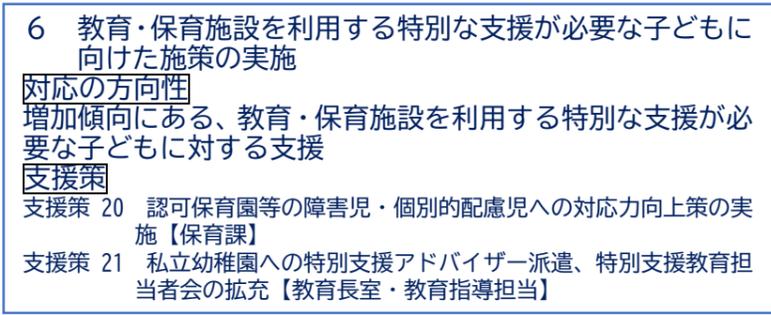
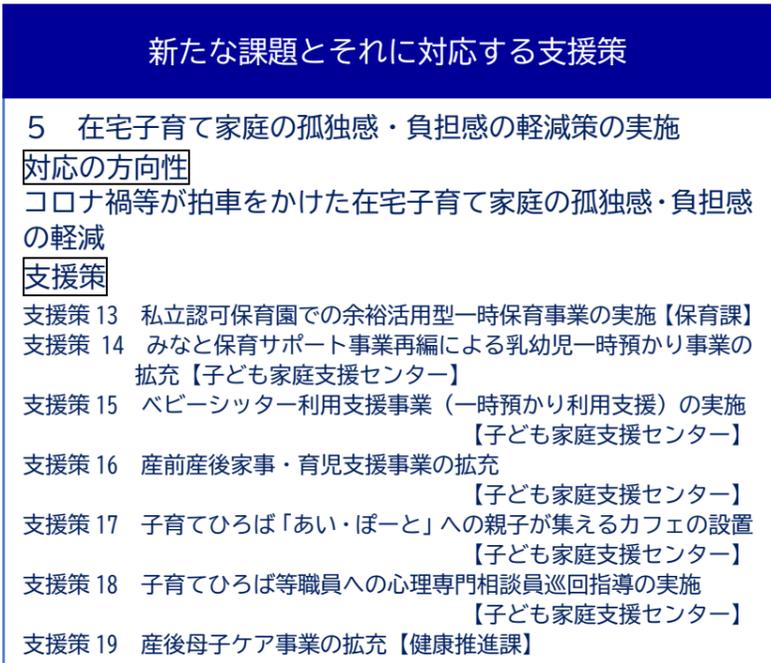
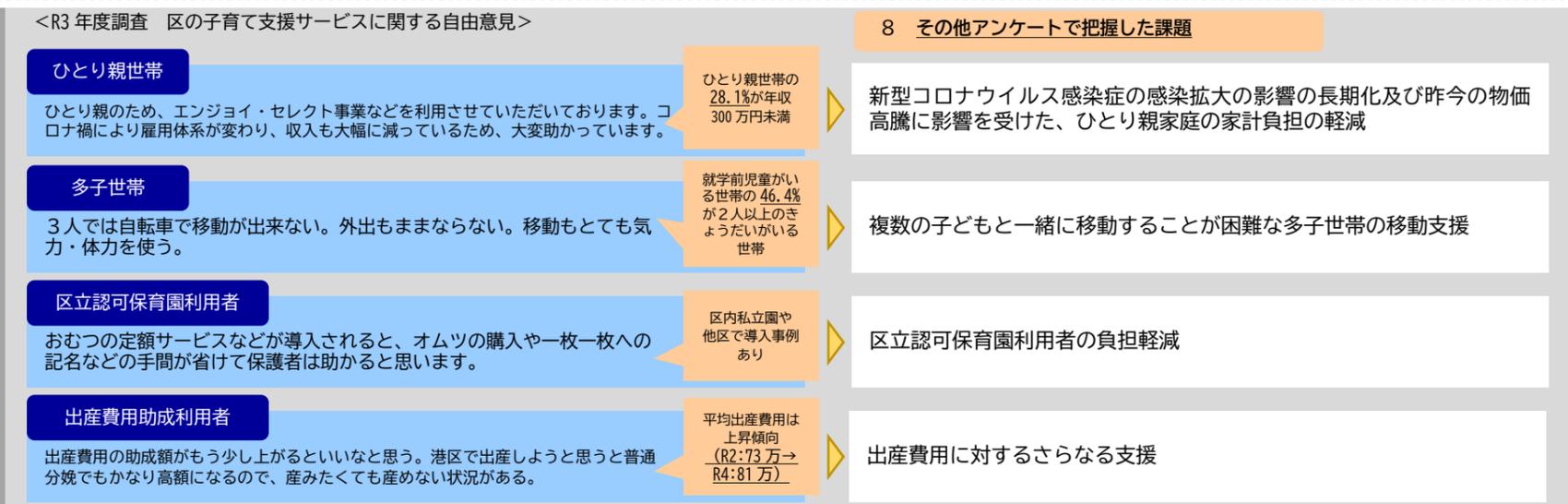


在宅子育て家庭

特別な支援が必要な子どもがいる世帯



その他アンケートで把握したニーズへの対応



【環境変化等を踏まえた子育て支援策一覧】

目的	No.	支援策	区分	実施時期
教育・保育施設利用世帯への支援策	1	保育アドバイザー派遣事業の拡充 専門的な知見を持つ保育アドバイザーが保育施設に対して指導を行う「保育アドバイザー派遣事業」の対象を、区内の全認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室に拡大し、保育園の運営支援や保育士のさらなるスキル向上を図ります。	拡充	R4年度
	2	保育の質向上のための研究プロジェクトの実施 大学の学識経験者を交えた研究会を開催し、認可保育園等職員の保育に対する意識やスキルの向上を図ります。	新規	R4年度
	3	大学との協働による新たな保育士研修カリキュラムの構築 大学の学識経験者と連携しながら、現在区が保育士向けに実施している研修を再編し、虐待などの不適切な保育の未然防止など、現在の保育施設が抱える課題の解決や保育士のスキルアップ、キャリアパスを見据えた保育士研修カリキュラムを構築します。	新規	R4年度
	4	港区版保育の質のガイドラインの作成 区全体の保育の質の向上を目的に、日常的な保育実践現場の指針となる区独自の保育の質に関するガイドラインを策定します。	新規	R5年度
	5	認可外保育施設改修費等支援事業の実施 認可外保育施設を利用する児童や保護者の安全・安心をより確かなものとするため、認可外保育施設が指導監督基準を満たすために必要な施設の改修費・移転費の補助を実施します。	新規	R5年度
	6	区立幼稚園における子育てサポート保育の拡充 区立幼稚園利用世帯や、利用を希望する世帯の要望を踏まえ、区立幼稚園の子育てサポート保育の利用終了時刻を、現在の16時30分から17時に延長します。	拡充	R5年度
	7	区立幼稚園における夏季等休業中の一時預かり事業の実施 区立幼稚園利用者に一定の需要が見込まれることを踏まえ、夏季等の長期休業期間中に区立幼稚園で園児を預かる一時預かり事業を一部の園で実施します。	新規	R5年度
	8	区立幼稚園における教育活動の充実 区立幼稚園全園でアスリートとの交流事業や伝統芸能に触れる体験事業を実施するなど、区立幼稚園の教育活動を充実させます。	拡充	R5年度
	9	区立幼稚園における利便性等向上策の実施 区立幼稚園において、自転車登園へ対応するとともに、体験給食の実施拡大や園児用の弁当を注文できる仕組みを試行導入するなど、利便性等の向上を図ります。	新規	R4年度
	10	区立幼稚園における体験保育等の拡充 区立幼稚園の魅力や、未就園児と保護者等により感じてもらえるよう、各園で体験保育の回数や園庭開放の時間を拡大し、内容をより充実させます。	拡充	R5年度
	11	幼稚園紹介パンフレットを活用した魅力周知の充実 区内の公私立幼稚園及び教育委員会の協力により、区内幼稚園全園を紹介するパンフレットを作成し、就学前の子どもがいる世帯に対する幼稚園の魅力や特色の周知を強化します。	新規	R4年度
	12	送迎用バス安全装置装備支援事業の実施 子どものバス送迎における安全管理を徹底するため、送迎用バスに安全装置の装備をする経費の一部を補助します。	新規	R5年度
在宅子育て家庭への支援策	13	私立認可保育園での余裕活用型一時保育事業の実施 定員に対する空きを活用した、私立認可保育園での余裕活用型一時保育事業を実施します。	新規	R5年度
	14	みなと保育サポート事業再編による乳幼児一時預かり事業の拡充 現在、定期利用保育とスポット利用保育を実施している「みなと保育サポート事業」の一時預かり事業への再編に着手します。	拡充	R5年度
	15	ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）の実施 一時的な保育や共同保育が必要となった保護者が、ベビーシッターの派遣による保育サービスを受けた際の利用料を補助する事業を実施します。	新規	R5年度
	16	産前産後家事・育児支援事業の拡充 在宅子育て家庭からの要望を踏まえ、産前産後期に加えて、育児期にも必要な支援が受けられるよう、産前産後家事・育児支援事業の利用可能期間等の拡充を図ります。	拡充	R4年度
	17	子育てひろば「あい・ぽーと」への親子が集えるカフェの設置 子育てひろば「あい・ぽーと」にカフェを設置することで親子が集える場所を提供し、親子間の交流を一層促進するとともに、子育てに関する相談、援助等の支援を行います。	新規	R5年度
	18	子育てひろば等職員への心理専門相談員巡回指導の実施 心理専門相談員が、子育てひろば事業や乳幼児一時預かり事業を実施している子育てひろば等を巡回して、助言、指導を行い、職員の相談対応スキルの向上を図ります。	新規	R5年度
	19	産後母子ケア事業の拡充 外来型乳房ケア事業、訪問型乳房ケア事業を新たに開始し、利用料金の一部を区が助成します。また、宿泊型ショートステイの対象施設を拡大します。	拡充	R5年度

目的	No.	支援策	区分	実施時期
特別な支援が必要な子どもがいる世帯への支援策	20	<u>認可保育園等の障害児・個別的配慮児への対応力向上策の実施</u> 障害児・個別的配慮児対応の蓄積が少ない私立の保育施設職員の対応力の向上のため、専門職（臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士等）による勉強会などを実施します。	拡充	R5年度
	21	<u>私立幼稚園への特別支援アドバイザー派遣、特別支援教育担当者会の拡充</u> 区内私立幼稚園の要望等を踏まえ、私立幼稚園への特別支援アドバイザー派遣、特別支援教育担当者会を拡充します。	拡充	R5年度
	22	<u>児童発達支援センターでの相談者に合わせた相談体制の構築</u> 子どもの発達に不安のある保護者を、早期に相談・支援につなげるために、相談者のニーズに合わせて相談に対応できる体制を構築します。	新規	R5年度
	23	<u>子どもの障害や発達について気軽に相談できる出張相談・親子サロンの設置</u> 保護者が障害や発達などについて気軽に相談できるよう、親子で自由に参加することができるアウトリーチ型の「出張相談・親子サロン」を設置します。	新規	R5年度
	24	<u>児童発達支援センターと保育園の「併用通所」の対象の拡大</u> 療育が必要な子どもが、適切な時期に療育を受けられるよう、児童発達支援センターと保育園の「併用通所」の利用対象者を、元麻布保育園の医療的ケア児・障害児クラス通園児に対しても拡大します。	拡充	R5年度
その他アンケートで把握したニーズへの対応	25	<u>エンジョイ・セレクト事業の継続実施</u> 新型コロナウイルス感染症感染拡大に対する緊急的・時限的な事業として実施している「エンジョイ・セレクト事業」について、昨今の物価高騰の家計への影響等を踏まえ、令和5年度も継続します。	拡充	R5年度
	26	<u>多子世帯移動経費補助事業の実施</u> 多子世帯の移動を支援し、経済的負担を軽減するため、2人以上の就学前児童がいる世帯に対し、タクシー利用券を支給します。	新規	R5年度
	27	<u>就学前児童の港区コミュニティバス「ちいばす」及び台場シャトルバス「お台場レインボーバス」運賃の無料化</u> 2人目まで無料となっている「ちいばす」及び3人目まで無料となっている「お台場レインボーバス」の運賃について、無料化の対象を全就学前児童に拡大します。	拡充	R5年度
	28	<u>妊産婦に無料で発行している港区コミュニティバス乗車券の利用対象者拡大</u> 妊産婦がいる世帯へのさらなる移動支援のため、妊産婦に無料で発行している港区コミュニティ乗車券で乗車できる人数を1人から2人に拡大します。	拡充	R5年度
	29	<u>区立認可保育園でのおむつサブスクリプションサービスの実施</u> 保護者の利便性を向上させ、育児負担を軽減することを目的として、区立認可保育園でのおむつのサブスクリプションサービスを実証実験により試行実施します。	新規	R5年度
30	<u>出産費用助成事業の拡充</u> 国が出産育児一時金を改定する時期にあわせ、「出産費用助成事業」の限度額の引き上げを実施します。	拡充	R5年度	

第4章

今後継続して検討すること…特別な支援が必要な子どもがいる世帯に対するさらなる支援の検討、私立認可保育園等での上乗せ徴収による付加的な教育・保育の実施

令和5年2月27日
教育委員会報告資料 No. 3-3

みんなと子どもすくすくアクション

～港区の就学前の子どもを取り巻く環境変化等を踏まえた30の子育て支援策～

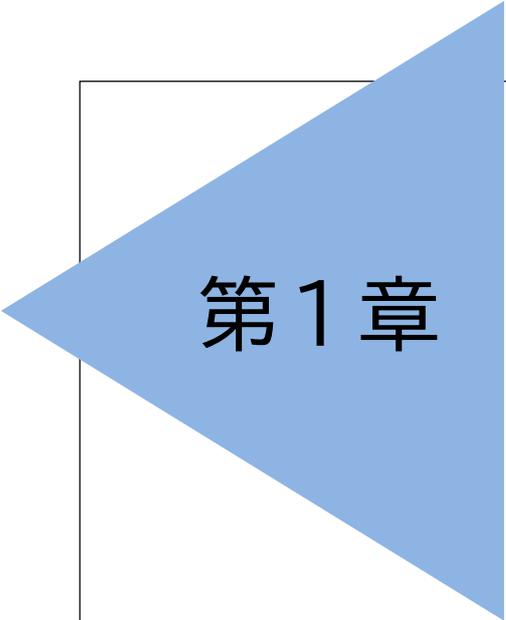
令和5年（2023年）2月
港区

目次

第1章	策定の背景	1
1	策定の背景	3
2	アンケート調査の概要	4
第2章	就学前の子どもを取り巻く環境変化	5
1	待機児童ゼロの達成・継続	7
2	幼児教育・保育の無償化の開始	8
3	児童相談所設置市への移行	8
4	こども家庭庁の設置とこども基本法の施行	8
5	新型コロナウイルス感染症の感染拡大	9
第3章	環境変化等を踏まえた子育て支援策	11
第1	教育・保育施設利用世帯への支援策	13
1	保育園等関連	13
2	認可外保育施設関連	17
3	幼稚園関連	21
4	その他	25
第2	在宅子育て家庭への支援策	27
1	在宅子育て家庭の孤独感・負担感の軽減策の実施	27
第3	特別な支援が必要な子どもがいる世帯への支援策	33
1	教育・保育施設を利用する特別な支援が必要な子どもに向けた施策の実施	33
2	子どもの障害・発達不安に関する相談体制等の拡充	37
第4	その他アンケートで把握したニーズへの対応	40
1	ひとり親世帯への家計負担軽減策の実施	40
2	多子世帯への移動支援策の実施	43
3	区立認可保育園利用世帯の要望への対応策の実施	45
4	出産費用助成に関する要望への対応策の実施	46
第5	環境変化等を踏まえた子育て支援策一覧	48
1	子育て支援策の一覧	48
2	既存子育て支援策との対応	49
第4章	今後継続して検討すること	51
1	特別な支援が必要な子どもがいる世帯に対するさらなる支援の検討	53
2	私立認可保育園等での上乗せ徴収による付加的な教育・保育の実施	54
参考資料		55
1	策定に係る検討	57

本書の見方

- ① 本書に記載している回答比率は、アンケート調査の各設問の回答者数を母数とした百分率（％）で示している。百分率（％）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、比率の合計が100％を前後する場合がある。
- ② 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100％を超える。
- ③ 図表内のNは、回答の合計数である。例えば、N=1,009の場合、回答数は1,009となる。
- ④ アンケート調査の回答数は、回答された内容に関わらず、回答された通りに計上している。例えば、区内に施設のスクールバスを有する私立認可保育園はないが、登園方法として施設のスクールバスを選択している回答も調整することなくそのまま計上している。
- ⑤ 掲載している自由回答は、寄せられた回答の一部を抜粋している。回答内容は、原則として原文のまま掲載しているが、回答者の特定を避けること等を目的として、趣旨を変えずに文言等を修正している場合がある。
- ⑥ 令和4年度が実施年度となっている子育て支援策については、令和4年1月実施のアンケート結果を踏まえて既に実施済のものもある（令和5年2月時点）。

A blue triangle pointing to the left, partially overlapping the top-left corner of the page's main content area.

第1章

策定の背景

1 策定の背景

区はこれまで、待機児童解消を目的とする保育関連施策をはじめ、子育て世帯の孤立化を防ぐ相談事業や、子どもの健やかな成長をサポートする母子保健事業、障害児やひとり親世帯など困難な状況にある家庭への支援など、「子育てするなら港区」をスローガンに、世帯の状況に応じたきめ細かな子育て支援策を実施してきました。

近年、区における4月時点の待機児童ゼロの達成・継続や、幼児教育・保育の無償化等の子育て支援に関する大きな制度改革、区の児童相談所設置市への移行、こども家庭庁や東京都の子供政策連携室の設置、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が社会生活に及ぼす様々な影響など、区内の就学前の子どもを取り巻く環境が大きく変化しました。それに伴い、就学前の子どもがいる世帯が持つニーズや課題も従前とは変わってきており、新たなニーズや課題に対応する子育て支援策の必要性が生じています。



子育て支援ニーズの変化



就学前の子どもがいる世帯のニーズについては、待機児童解消前の平成30年に実施した「港区子ども・子育て支援ニーズ調査」を最後に大規模な調査は行っていなかったことを受け、就学前の子どもを取り巻く環境が変化している中において、子育て世帯の新たなニーズや課題を把握するため、令和4年1月に区内在住の就学前の子どもがいる全世帯を対象に「港区の就学前児童に対する子育て支援検討に当たってのアンケート調査」（以下「アンケート調査」といいます。）を実施しました。

この「みんなと子どもすくすくアクション～港区の就学前の子どもを取り巻く環境変化等を踏まえた30の子育て支援策～」(以下「みんなと子どもすくすくアクション」といいます。)は、アンケート調査で把握したニーズや課題に対応する新たな子育て支援策をまとめたものとして、就学前の子どもがいる世帯に対する子育て支援の早期の充実を図ることを目的に策定するものです。

「みんなと子どもすくすくアクション」に掲げる子育て支援策は、アンケート調査に

第1章 策定の背景

より把握することができた新たなニーズや課題に対応するものとし、教育・保育施設利用世帯、在宅子育て家庭（未就園児がいる世帯）、特別な支援が必要な子どもがいる世帯など、対象ごとにまとめています。

「みんなと子どもすくすくアクション」を着実に実行することで、就学前の子どもがいる世帯に対する子育て支援の早期の充実を図ります。

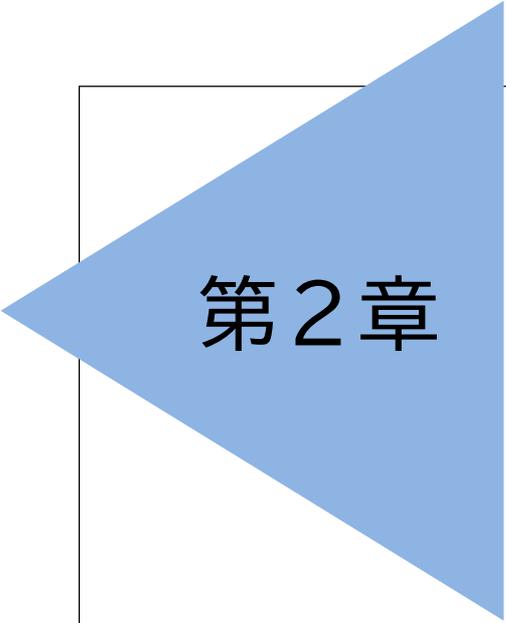
2 アンケート調査の概要

(1) 調査概要

調査名称	港区の就学前児童に対する子育て支援検討に当たってのアンケート調査
調査目的	新型コロナウイルス感染症感染拡大等の子育てを取り巻く環境変化を踏まえ、区内の子ども及びその保護者が有する現時点のニーズ等を把握する。
調査主体	港区 子ども家庭支援部 保育政策課
調査対象	区内在住の就学前児童がいる全世帯 13,233世帯 なお、子どもに関する問いの対象は、世帯内で最も年長の就学前児童とする。
調査期間	令和4年1月19日（水）～令和4年2月14日（月）
調査方法	調査用紙を郵送により配布し、郵送又はインターネットにより回収

(2) 回収数及び回収率

送付数	回収数	回収率 (回収数/送付数)
13,233世帯	郵 送：2,296世帯 インターネット：3,714世帯 合 計：6,010世帯	45.4%



第2章

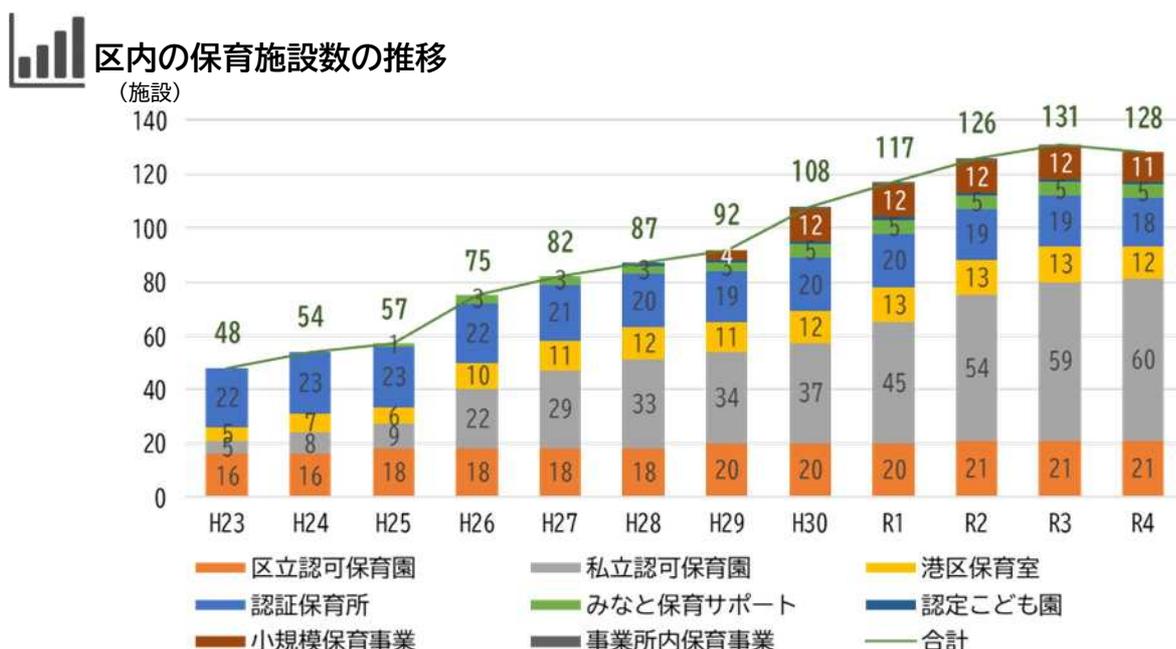
就学前の子どもを取り巻く 環境変化

1 待機児童ゼロの達成・継続

区は、平成29年4月の待機児童数が前年度4月に比べて大幅に増加したことを受け、待機児童解消緊急対策を開始しました。区立認可保育園の新設や私立認可保育園の誘致、港区保育室の開設、開設後間もない保育園の空きクラスを活用した1歳児定員の拡大など、様々な手法による保育定員拡大に取り組み、平成31年4月に待機児童ゼロを達成しました。以降、各年度4月時点での待機児童ゼロを継続しています。

しかし、保育施設の数が増え、入園を希望する世帯が保育施設に入りやすくなった一方で、保育施設の定員に対する空きの増加や、増加した保育施設の保育の質の維持・向上など、新たな課題が出てきています。

今後は、保育の量に関する課題やニーズに加え、保育施設数及び保育施設利用者の増加によって新たに生じた課題やニーズに対しても応えていく必要があります。



※認定こども園は、H28以降1園

※事業所内保育事業は、H30～R3は1園、R4は0園

2 幼児教育・保育の無償化の開始

令和元年10月から、幼稚園、保育園、認定こども園などを利用する3歳から5歳までの子ども及び住民税非課税世帯等の0歳から2歳までの子どもの保育料が無償化されました。また、一定の基準を満たす認可外保育施設についても、一定額まで無償化の対象となりました。

幼児教育・保育の無償化の主な対象となる3歳から5歳までの子どもについては、無償化以降、幼稚園や認可保育園、認定こども園、港区保育室の利用希望が大きく増加するなどの影響は見られなかった一方で、認可外保育施設の利用については増加傾向が見られます。教育・保育施設の需要の動向など、幼児教育・保育の無償化の影響については、今後も注視し、状況を見極めながら対応を講じる必要があります。

3 児童相談所設置市への移行

区は、令和3年4月に児童相談所設置市となり、児童福祉施設の設置認可や指導監督等に係る権限が大きく拡充したことなどから、多様化・複雑化する教育・保育ニーズに対し、これまで以上に主体的かつ早期に対応することができるようになりました。

特に、権限拡充に伴って令和3年度から区が実施している認可外保育施設への巡回や立入調査では、認可外保育施設指導監督基準で定められた設備面や人材面等における対応が十分でない施設があることが分かってくるなど、児童相談所設置市移行後の課題が出てきています。そのような新たな課題に対して適切に対応していくことが重要です。

4 こども家庭庁の設置とこども基本法の施行

「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」（令和3年12月21日閣議決定）に基づく「こども家庭庁設置法」、「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」、「こども基本法」が令和4年6月に成立しました。

令和5年4月には、子ども施策を社会全体で総合的かつ強力に実施していくための包括的な法律として「こども基本法」が施行され、子ども施策の司令塔を担う「こども家庭庁」が新たに創設されます。東京都においても、令和4年4月に、子どもに関わる複合的課題に対応することを目的とした「子供政策連携室」が設置されています。

今後は、「こども基本法」に基づき、常に子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を

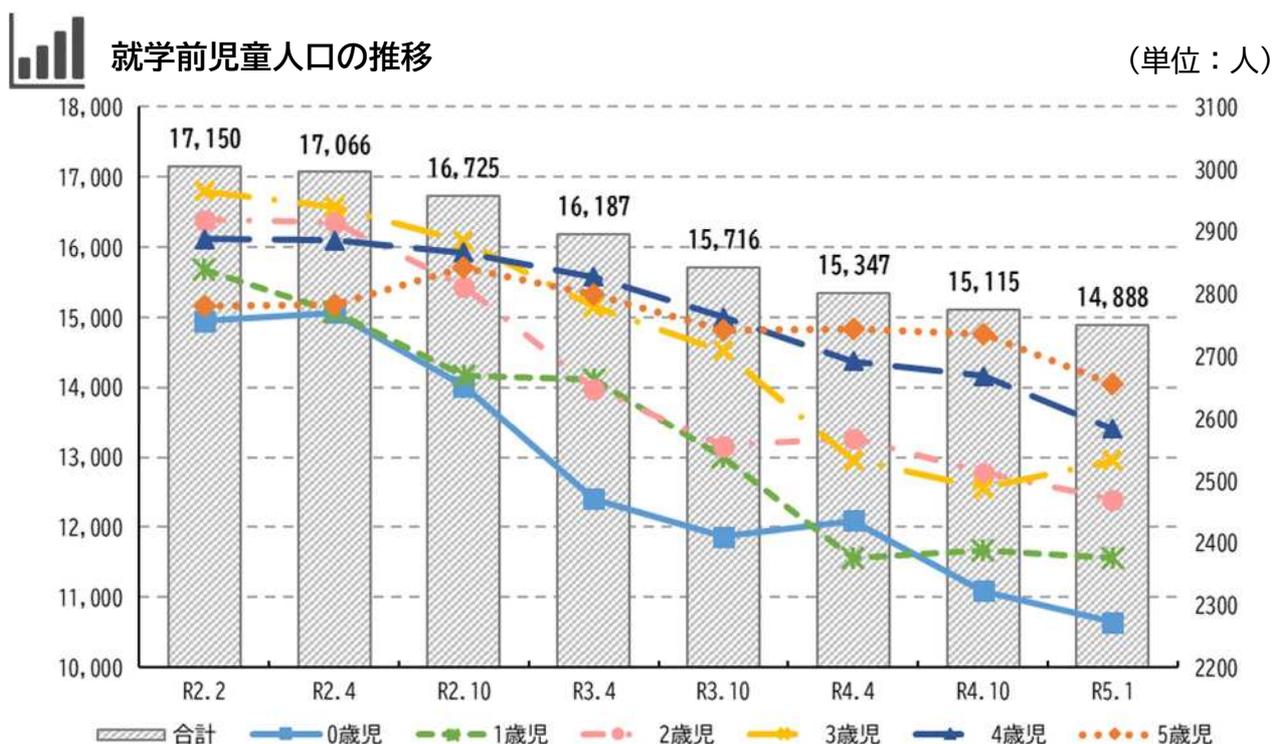
第一に考え、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、「こども家庭庁」が中心となり、子ども政策を総合的に推進していくこととなります。「こども家庭庁」の動きも注視しながら、区としての施策を検討していくことが必要です。

5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大

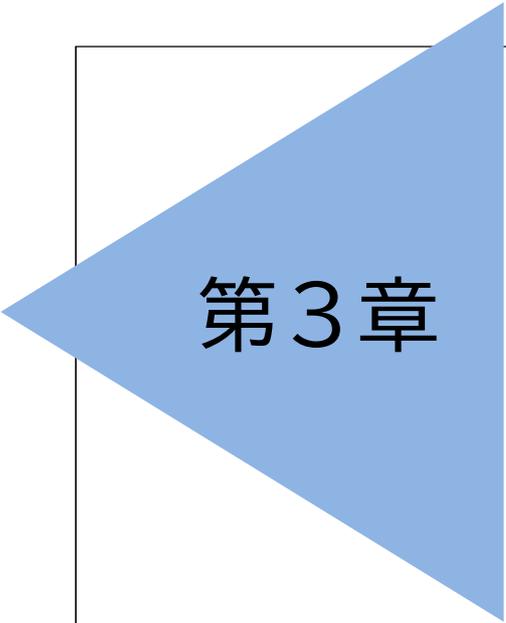
新型コロナウイルス感染症は世界規模で大流行し、国内でも多くの感染者が確認されており、今なお区民生活に大きな影響を及ぼしています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けている社会情勢において、港区の就学前児童人口（0～5歳、各月1日現在）は、令和2年2月以降減少傾向にあります。港区人口推計（令和4年3月）においては、令和5年までは一定程度の年少人口（0～14歳）が減少し、その後再び増加に転じる見通しを立てていますが、現時点では、今後の長期的な人口動向については不透明です。

区は、出生率が向上するよう結婚・出産・子育てと続く切れ目のない支援策を引き続き実施していくとともに、今後は、就学前児童人口の減少も踏まえた子育て支援策も検討することが必要です。また、就学前児童人口の減少のみならず、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がもたらした社会情勢の変化が、就学前の子どもがいる世帯に与える影響を注視していく必要があります。



出典：住民基本台帳



第3章

環境変化等を踏まえた 子育て支援策

第1 教育・保育施設利用世帯への支援策

1 保育園等関連

- 待機児童解消策による保育施設の増加等に伴って、課題となっている認可保育園等の保育の質の向上を図るため、専門的な知見を持つ保育アドバイザーが認可保育園等に対して助言・指導を行う「保育アドバイザー派遣事業」を拡充します。
- また、区立認可保育園を中心とした「保育の質向上のための研究プロジェクト」を実施するとともに、大学との協働による新たな保育士研修カリキュラムを構築します。
- 区全体の保育の質の向上を目的に、日常的な保育実践現場の指針となる区独自の保育の質に関するガイドラインを策定します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

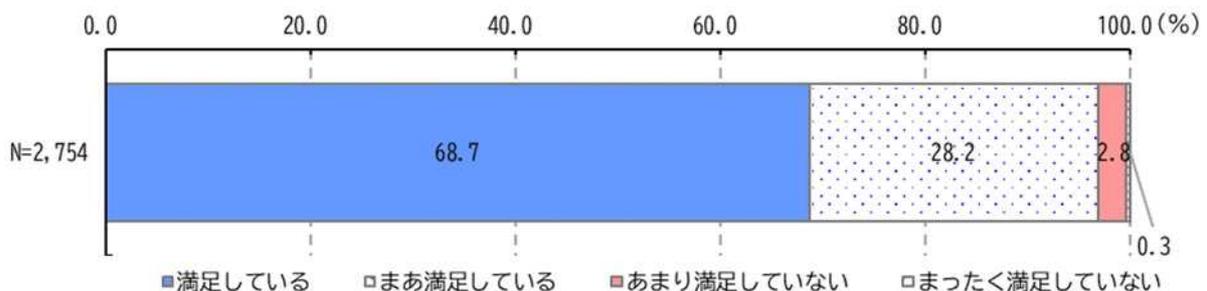
現在区では、「保育の量」に関する課題であった待機児童においては、4月時点でのゼロを達成した一方で、近年は、急激に増加した保育施設の「保育の質」に関する課題が顕在化しています。

特に近年新設された私立認可保育園や小規模保育事業所では、都外から採用された若い保育士が多く、経験の浅い若い職員の保育士スキルの向上などは、運営事業者からも保育の質に関する課題として挙げられています。

アンケート調査結果では、現在、認可保育園等（認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室）を利用する保護者の9割以上が、施設の教育・保育内容に満足している（「満足している」が68.7%、「まあ満足している」が28.2%）一方で、利用している施設に改善してほしい点として、児童や保護者に対する保育士の対応や、保育士の入れ替わりが激しいこと等が挙げられており、利用する保護者においても施設の保育の質の向上に関する要望が見られます。



利用施設の教育・保育内容に対する満足度（認可保育園等利用者）





利用施設に改善してほしい点（認可保育園等利用者）

- 園長はしっかりされているが、若い先生の中には挨拶や相手の目を見て話すことができない方、園児を頭ごなしに叱っている方も稀にいるため、時々不安を感じる。
- 保護者への適切な報連相がされていない。育児経験がないであろう若手の保育士が多く、保護者が知りたい情報や育児に対する心配事がピンときてなさそう。
- 職員の入れ替わりが激しいので、安定した保育運営をしてほしい。
- 先生や園長の異動変更が多すぎるので不安。園の方針というものがなく、その時々や、担任の先生によって方針や重視すること、保育のあり方などが変わるので、もう少し一貫したものを持って欲しい。

また、保育施設の増加に伴い、私立認可保育園等で発生するトラブルや、運営事業者から区への相談も増加するとともに、その内容も複雑・多様化しています。

区は、巡回訪問等を通じて、運営事業者からの日々の保育に対する疑問や、職員の育成方法、危機管理の方法等、多岐に渡る相談を受けていますが、運営事業者のみでの対応が困難なケースもあり、保育の質の観点から運営事業者に対するさらなる支援が必要な状況です。



認可保育園等からの相談やトラブルの事例

<相談事例>

- 若い職員のスキルが未熟で、指導に苦慮している。
- 職員に子どもの発達の知識が不足している。職員の様子を見てほしい。
- 保護者から、園のルールについて、「負担になっている」などの意見をもらう。保護者への伝え方に悩む。

<トラブル事例>

- 園のルールに保護者が納得できず、園長と保護者との間でトラブルが生じた事例
- 子ども同士のトラブルから、園、当該両保護者の3者間でトラブルが生じた事例

（2）今後の子育て支援策

現況を踏まえ、認可保育園等の保育の質の向上に関する取組として、現在実施している「保育アドバイザー派遣事業」を拡充します。

区は、令和2年度から、危機管理対応や保育園運営等の専門的な見地から助言ができるアドバイザーが認可保育園等を訪問し、保育環境に合わせた保育内容の助言や、保護者や職員間のトラブルが発生した際に指導を行う「保育アドバイザー派遣事業」を実施しています。これまでは、派遣を各施設の希望制としているのに加え、トラブルが発生した後の事後的な対応を中心としてきました。しかし、今後はトラブルを未然に防ぐことができるよう、事業内容の改善を図ることが必要です。

より多くの保育施設が専門的な助言、指導を受け、保育内容等の改善が図れるよう、保育アドバイザー派遣事業を各施設の希望制ではなく、区内の全ての認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室を訪問するかたちに拡充します。

支援策1	保育アドバイザー派遣事業の拡充 【実施時期：令和4年度】
<p>専門的な知見を持つ保育アドバイザーが保育施設に対して指導を行う「保育アドバイザー派遣事業」の対象を、区内の全認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室に拡大し、保育園の運営支援や保育士のさらなるスキル向上を図ります。</p>	

また、区立認可保育園と学識経験者との連携による「保育の質向上のための研究プロジェクト」を実施します。具体的には、区立認可保育園職員に学識経験者を交えた研究会を開催し、参加する職員に、他園の保育の様子を知り、自身の保育を見直す機会を与えることで、保育に対する意識やスキルの向上を図ります。今後は、プロジェクトメンバーに私立認可保育園職員を加え、区立認可保育園、私立認可保育園が連携してプロジェクトを進めていきます。

支援策2	保育の質向上のための研究プロジェクトの実施 【実施時期：令和4年度】
<p>大学の学識経験者を交えた研究会を開催し、認可保育園等職員の保育に対する意識やスキルの向上を図ります。</p>	

加えて、現在区が保育士向けに実施している研修を再編し、大学の学識経験者と連携しながら、新たな保育士研修カリキュラムを構築します。新たなカリキュラムは、虐待などの不適切な保育の未然防止など、現在の保育施設が抱える課題の解決や保育士のスキルアップ、キャリアパスを見据えたものとしします。

支援策3	大学との協働による新たな保育士研修カリキュラムの構築 【実施時期：令和4年度】
<p>大学の学識経験者と連携しながら、現在区が保育士向けに実施している研修を再編し、虐待などの不適切な保育の未然防止など、現在の保育施設が抱える課題の解決や保育士のスキルアップ、キャリアパスを見据えた保育士研修カリキュラムを構築します。</p>	

さらに、区全体の保育の質の向上を目的に、日常的な保育実践現場の指針となる区独自の保育の質に関するガイドラインを策定します。策定するガイドラインは、区内保育施設の職員が現場での保育の指針として活用するとともに、巡回指導や職員の専門性の向上に必要とされる研修等の基礎資料としても活用できる内容としします。

支援策4 港区版保育の質のガイドラインの作成 【実施時期：令和5年度】

区全体の保育の質の向上を目的に、日常的な保育実践現場の指針となる区独自の保育の質に関するガイドラインを策定します。

2 認可外保育施設関連

- ▶ インターナショナルスクールをはじめとする区内の認可外保育施設には一定の区民ニーズがある一方で、認可外保育施設の中には、認可外保育施設指導監督基準を満たしていない施設が存在します。
- ▶ 児童相談所設置市に移行し、認可外保育施設の指導監督権限が移管されたことを踏まえ、認可外保育施設を利用する児童や保護者の安全・安心をより確かなものとするために、認可外保育施設が指導監督基準を満たすための支援制度を創設し実施します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

就学前の子どもがいる世帯のインターナショナルスクールをはじめとする認可外保育施設の利用は、近年増加傾向にあります。アンケート調査結果では、就学前の子どもがいる世帯の12.0%が認可外保育施設・各種学校を利用しており、平成30年度に実施した子ども・子育て支援ニーズ調査の8.9%と比べて割合が増加しています。

また、平成31年度に4月時点での待機児童が解消し、認可保育園等に入園しやすい状況になりましたが、認可外保育施設保育料補助金の利用実績も年々増えています。



認可外保育施設保育料補助金の利用実績

①認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けている施設

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象児童数	無償化前	297人	-	-
	無償化後	474人	562人	819人
交付金額	無償化前	91,356,200円	-	-
	無償化後	182,478,530円	458,977,040円	606,955,217円

②認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の交付を受けていない施設

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象児童数	無償化前	-	-	-
	無償化後	129人	198人	191人
交付金額	無償化前	-	-	-
	無償化後	21,789,355円	55,488,171円	63,236,271円

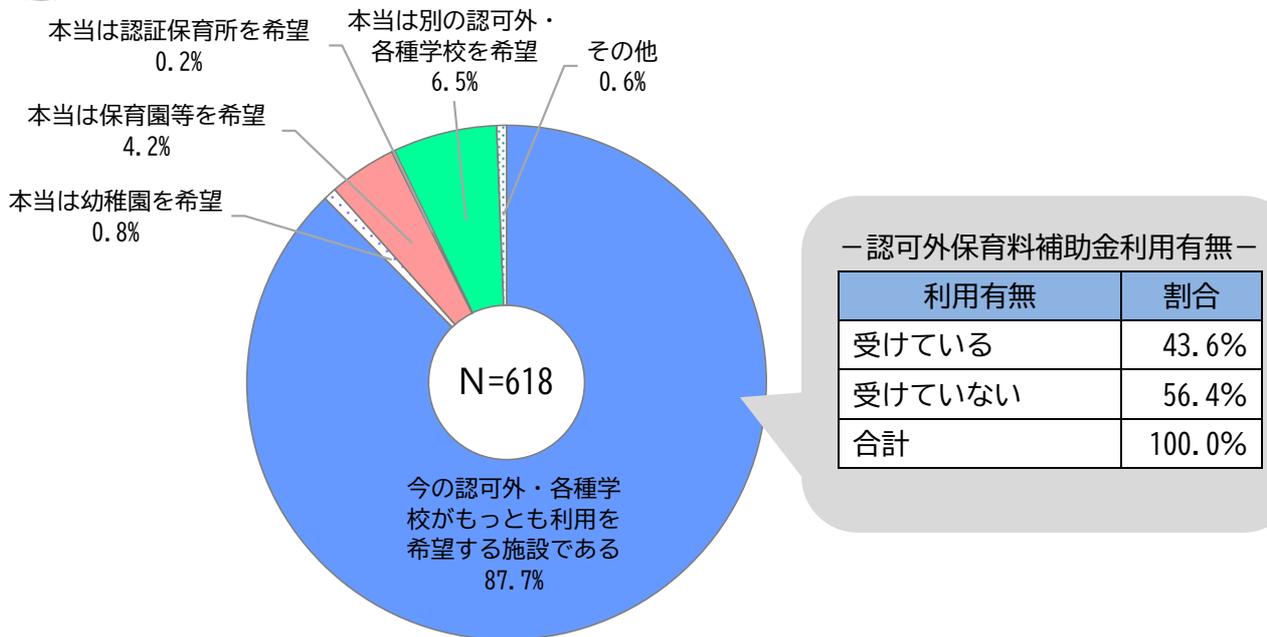
出典：港区の子ども・家庭支援（令和4年度(2022年度)版 事業概要）

現在、認可外保育施設を利用する世帯は、認可保育園等に入園できずにやむなく認可外保育施設を利用している世帯よりも、認可外保育施設独自の教育カリキュラム等を希望し、認可外保育施設を第1希望として利用している世帯が多い状況です。アンケート調査結果では、認可外保育施設・各種学校利用世帯の87.7%が、今通っている認可外保

第3章 環境変化等を踏まえた子育て支援策

育施設・各種学校がもっとも利用を希望する施設であると回答しています。

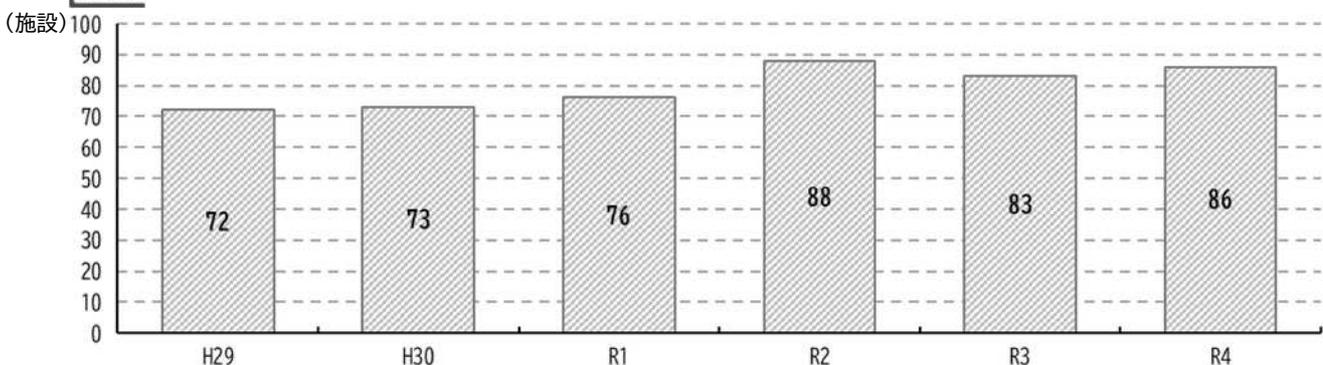
今通っている施設以外の利用希望有無（認可外・各種学校）



区内には、認可外保育施設に分類されるインターナショナルスクールが多く、小学校就学前からの英語教育を志向して施設を利用する世帯がその代表的な例と言えます。インターナショナルスクール以外にも、運動能力向上に特化したプログラム等、英語のほかにも独自の強みを持った認可外保育施設もあるなど、その特色は多種多様です。

小学校入学前からの早期教育という点で、就学前の子どもがいる世帯の認可外保育施設に対するニーズはあり、今後も、一定数の世帯の認可外保育施設の利用は継続すると考えられます。また、近年、認可外保育施設の数が増加傾向にあることから、さらに利用する世帯が増えていく可能性もあります。

認可外保育施設の施設数推移（各年4月1日現在）



※ベビーホテル、事業所内保育施設、院内保育施設、その他の認可外の合計数
 ※設置者が港区のものは除く。

出典：港区認可外保育施設一覧

【参考】 インターナショナルスクールについて

いわゆるインターナショナルスクールについては、法令上特段の規定はありませんが、一般的には主に英語により授業が行われ、外国人児童生徒を対象とする教育施設であると捉えられています。

インターナショナルスクールの中には、学校教育法第1条に規定する学校として認められたものがありますが、多くは学校教育法第134条に規定する各種学校として認められているか、又は無認可のものも少なからず存在しているようです。【出典：文部科学省HP 就学義務Q&A】

※ 港区内には、就学前の子どもを対象とするインターナショナルスクールのうち、学校教育法第1条に規定する学校はありません。なお、学校教育法第134条に規定する各種学校は3校存在し、その他のインターナショナルスクールは、無認可の認可外保育施設です。

また、令和3年4月の児童相談所設置市移行により、「認可外保育施設に関する事務」が区に移管されました。移管に伴って令和3年度から区が実施している認可外保育施設への巡回や立入調査では、手洗い場など必要な設備が設けられていないなどの設備面、入所児童数に対して必要な保育従事者のうち有資格者が不足しているなどの人材面において、多くの認可外保育施設が指摘を受けており、認可外保育施設指導監督基準で定められている、いわゆる「基準上の」保育の質への対応が十分でない施設があることも分かってきました。

巡回や立入調査において、指摘事項を改善し、認可外保育施設に対する指導監督基準を満たす旨の証明書（以下「証明書」といいます。）を取得するよう、働きかけてはいますが、88施設中31施設が証明書の未取得施設です（令和5年1月1日現在）。



認可外保育施設指導監督基準の項目と概要

項目		概要
第1	保育に従事する者の数及び資格	保育する乳幼児数に応じた、保育従事者の配置数や有資格者数などについて
第2	保育室等の構造、設備及び面積	保育する乳幼児数に応じた、保育室の面積などについて
第3	非常災害に対する措置	非常災害に必要な設備や、非常災害に対する具体的計画などについて
第4	保育室を2階以上に設ける場合の条件	保育室を2階以上に設ける場合に採るべき防災上必要な措置などについて
第5	保育の内容	保育の内容や、保育従事者の保育姿勢、保護者との連絡などについて
第6	給食	衛生管理や食事内容の状況などについて
第7	健康管理・安全確保	児童の発育チェック、健康診断、感染症への対応などについて
第8	利用者への情報提供	利用者へ提供するサービス内容の掲示などについて
第9	備える帳簿等	職員及び児童の状況を明らかにする帳簿の整備などについて

出典：国通知「認可外保育施設に対する指導監督の実施について（H13.3.29 雇児発第177号）」

第3章 環境変化等を踏まえた子育て支援策

これまで区は、認可外保育施設を利用する世帯に対しては、認可保育園等との保育料負担の公平を図ることを目的とする認可外保育施設保育料補助制度を実施してきましたが、純然たる民間サービスともいえるべき施設も含まれる認可外保育施設の運営事業者に対しての補助制度はありませんでした。しかし、今後は認可外保育施設の質の向上に向けた対策が必要です。

また、令和6年10月には、幼児教育・保育の無償化の経過措置が終了し、証明書を受けていない認可外保育施設は、無償化の対象外となります。経過措置終了時、認可外保育施設の利用者や運営事業者に混乱が生ずることのないよう、周知にも取り組んでいく必要があります。

区が児童相談所設置市に移行し、認可外保育施設の保育の質に対してこれまでよりも主体的に関わることができるようになったことも踏まえ、認可外保育施設を利用する児童の安全・安心確保等の観点において、認可外保育施設の保育の質の向上策について検討する必要があります。

(2) 今後の子育て支援策

現況を踏まえ、認可外保育施設の保育の質の向上を目的とした認可外保育施設運営事業者に対する支援制度を創設します。

支援内容は、認可外保育施設指導監督基準を満たし、証明書を受けるために必要な施設の改修・移転費用の補助とし、国や東京都の補助事業を活用して実施します。

ただし、あらゆる認可外保育施設に対し、公費による永続的な補助を行うことは不適切であることから、支援制度の対象は、支援を行うことで指導監督基準を満たすことが可能になる施設に限定します。

また、支援制度は、幼児教育・保育の無償化の経過措置が終了する令和6年10月に、証明書を受けていない認可外保育施設が無償化の対象外となることを見据え、時限的なものとし、より多くの認可外保育施設が基準を満たすことができるよう支援します。

支援策5	認可外保育施設改修費等支援事業の実施	【実施時期：令和5年度】
-------------	---------------------------	---------------------

認可外保育施設を利用する児童や保護者の安全・安心をより確かなものとするため、認可外保育施設が指導監督基準を満たすために必要な施設の改修費・移転費の補助を実施します。
--

3 幼稚園関連

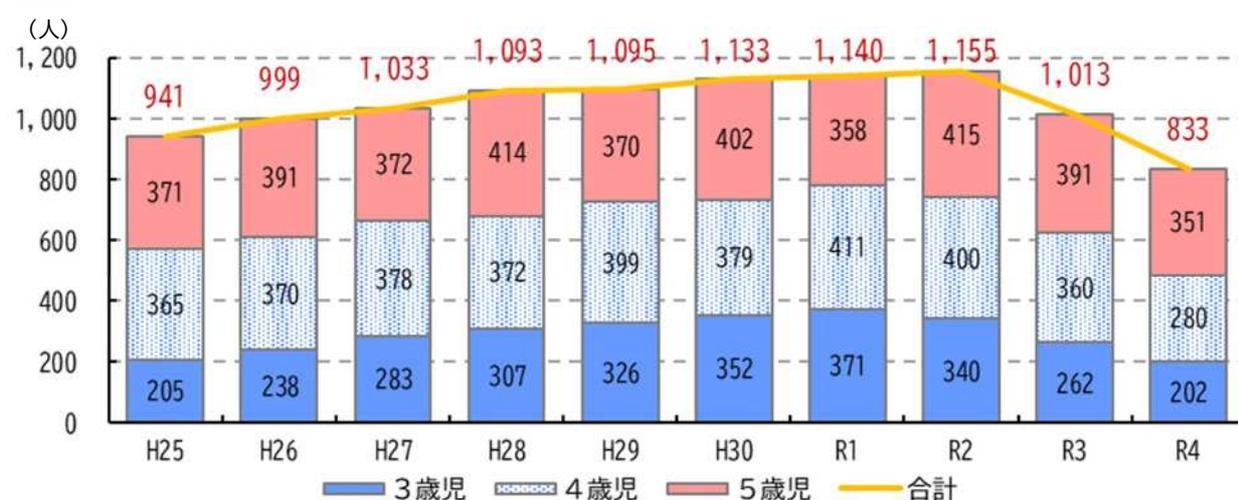
- 区立幼稚園の利用を希望する世帯や、現在利用している世帯の要望を踏まえ、区立幼稚園の子育てサポート保育（預かり保育）の利用時間を延長するとともに、区立幼稚園の夏季等の長期休業中に、区立幼稚園で園児を預かる一時預かり事業を一部の園で実施します。
- また、区立幼稚園の教育内容の充実や利便性等の向上、未就園児を対象とした体験保育等の拡充により、幼稚園の魅力向上を図るとともに、区内の幼稚園全園を紹介するパンフレット作成により、その魅力の発信を強化します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

区内の3～5歳の幼児人口は、住宅開発等に伴い、増加を続けてきましたが、近年は減少に転じています。3～5歳児人口の推移を見ると、令和2年4月には8,609人でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響もあり、令和4年4月には7,968人に減少しています。

幼児人口の減少、共働き世帯の増加等により、幼稚園就園者数も減少傾向にあります。アンケート調査結果での幼稚園利用世帯の割合を見ても、平成30年度調査では41.6%であったのに対し、令和3年度に実施したアンケート調査では32.6%に減少しています。港区人口推計では、幼児人口は、今後もしばらく減少することが見込まれており、幼稚園就園者数についても、さらなる減少が見込まれます。

 区立幼稚園の就園者数（各年4月現在）



アンケート調査結果において、幼稚園の利用を希望しているにも関わらず利用できていない理由を見ると、区立幼稚園利用希望世帯の24.2%、私立幼稚園利用希望世帯の31.3%が「保育時間が保護者の就労状況等と合わないから」と回答しており、「入園を希

第3章 環境変化等を踏まえた子育て支援策

望する施設の対象年齢に達していないから」に次いで高い割合となっています。

現在、区立幼稚園では、多様な幼児教育需要に対応するため、通常の降園時刻である14時から16時30分までの「子育てサポート保育（預かり保育）」を区立幼稚園利用者に対して実施していますが、それでもなお、保育時間の短さによって利用できない世帯が一定数いる状況です。



幼稚園利用希望世帯が利用できていない理由

利用できていない理由 (複数回答)	区立幼稚園利用希望世帯 (149世帯)		私立幼稚園利用希望世帯 (147世帯)	
	実数	割合	実数	割合
保育時間が保護者の就労状況等と合わないから	36	24.2%	46	31.3%
保育料が高いから	9	6.0%	13	8.8%
入園を希望する施設に空きがないから	3	2.0%	14	9.5%
通園できる距離にないから	7	4.7%	8	5.4%
入園を希望する施設の対象年齢に達していないから	62	41.6%	61	41.5%
その他の理由	23	15.4%	18	12.2%

さらに、アンケート調査結果では、区立幼稚園利用世帯の約2割が、16時30分以降の利用を希望していることが分かりました。現在、区立幼稚園を利用できている世帯においても、一定数が保育時間の延長を希望しています。

また、区立幼稚園を選んだ理由を見ると、「家から近く利用しやすいから」が85.3%と最も割合が高かったのに対し、「カリキュラムが魅力的だから」は7.2%と私立幼稚園等と比較して低くなっています。区立幼稚園利用世帯からは、自転車登園への対応や昼食の提供といった利便性の向上への要望も見られました。

(2) 今後の子育て支援策

現況を踏まえ、区では、現在の幼稚園就園者数の減少や、幼稚園利用世帯等の要望を踏まえた子育て支援策を実施していきます。

区立幼稚園で実施する子育てサポート保育について、保護者ニーズへの対応等の観点から、実施時間を延長します。なお、実施時間については、幼児の学びの時間として、まずは国が示す預かり保育の基準時間（教育時間との合計で8時間）となる17時まで

とします。今後、幼稚園へのニーズに加え、幼児の生活や成長への影響を確認しながら、引き続き子育てサポート保育の実施時間を検討していきます。

支援策6	区立幼稚園における子育てサポート保育の拡充 【実施時期：令和5年度】
区立幼稚園利用世帯や、利用を希望する世帯の要望を踏まえ、区立幼稚園の子育てサポート保育の利用終了時刻を、現在の16時30分から17時に延長します。	

保護者ニーズへの対応及び区立幼稚園における子育て支援充実の観点から、夏休み等の長期休業中に区立幼稚園で園児を預かる一時預かり事業を実施します。なお、夏季等休業中の預かり需要を把握しきれていないことから、まずは一部の区立幼稚園で試行的に実施し、利用状況等を確認した上で今後の展開を検討します。

支援策7	区立幼稚園における夏季等休業中の一時預かり事業の実施 【実施時期：令和5年度】
区立幼稚園利用者に一定の需要が見込まれることを踏まえ、夏季等の長期休業中に区立幼稚園で園児を預かる一時預かり事業を一部の園で実施します。	

より多くの方に区立幼稚園を選択していただけるよう、アスリートとの交流事業や伝統芸能に触れる体験事業を全園で実施するなど、区立幼稚園の教育活動を充実させ、区立幼稚園の魅力を高めます。

支援策8	区立幼稚園における教育活動の充実 【実施時期：令和5年度】
区立幼稚園全園でアスリートとの交流事業や伝統芸能に触れる体験事業を実施するなど、区立幼稚園の教育活動を充実させます。	

保護者要望を踏まえ、区立幼稚園において自転車登園に対応するとともに、小学校と連携した体験給食の実施回数拡大や、PTAが推奨する事業者へ保護者が昼食用の弁当を注文し、園児に提供する新たな取組を一部の園で試行的に導入するなど、利便性等の向上を図ります。

支援策9	区立幼稚園における利便性等向上策の実施 【実施時期：令和4年度】
区立幼稚園において、自転車登園に対応するとともに、体験給食の実施拡大や園児用の弁当を注文できる仕組みを試行導入するなど、利便性等の向上を図ります。	

第3章 環境変化等を踏まえた子育て支援策

区立幼稚園では、未就園児が教員の指導の下、園内で遊んだり、在園児と触れ合ったりする体験保育等を実施しています。また、降園後や長期休業中などに、在園児や未就園児等を対象に園庭を開放しています。幼稚園の魅力を、未就園児と保護者等により感じてもらえるよう、各園の状況に応じて体験保育の回数や園庭開放の時間等を拡大し、内容をより充実させます。

支援策 10	区立幼稚園における体験保育等の拡充 【実施時期：令和5年度】
--------	--------------------------------

区立幼稚園の魅力を、未就園児と保護者等により感じてもらえるよう、各園で体験保育の回数や園庭開放の時間等を拡大し、内容をより充実させます。	
--	--

区立幼稚園、私立幼稚園共に就園者数が減少していることを受け、就学前の子どもがいる世帯に、幼稚園の魅力や特色が伝わるよう、公私立幼稚園及び教育委員会が協力し、区内の幼稚園全園を紹介するパンフレットを作成します。

支援策 11	幼稚園紹介パンフレットを活用した魅力周知の充実 【実施時期：令和4年度】
--------	---

区内の公私立幼稚園及び教育委員会の協力により、区内幼稚園全園を紹介するパンフレットを作成し、就学前の子どもがいる世帯に対する幼稚園の魅力や特色の周知を強化します。	
---	--

4 その他

- ▶ 令和4年9月、教育・保育施設の送迎バスに子どもが置き去りにされ、亡くなるという大変痛ましい事件が発生したことを受け、子どものバス送迎における安全管理を徹底するため、送迎用バスに安全装置の装備をする経費の一部を補助します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

令和4年9月、教育・保育施設の送迎バスに子どもが置き去りにされ、亡くなるという大変痛ましい事件が発生しました。国においても、バス送迎に当たっての安全管理の徹底に関する緊急対策「こどものバス送迎・安全徹底プラン」を取りまとめ、幼児等の所在確認と安全装置の装備を義務付けるなどの政策を進めています。

区内の教育・保育施設の送迎バスの状況については、私立幼稚園利用世帯、認可外保育施設利用世帯、各種学校利用世帯において、送迎バスで登園している割合が高いことが、アンケート調査結果から分かっています。



施設のスクールバスで登園している園児の割合（利用施設種別）

施設種別	施設のスクールバスで登園している	
	実数	割合
区立幼稚園（回答 413 世帯）	0	0.0%
私立幼稚園（回答 653 世帯）	157	24.0%
区立認可保育園（回答 1,239 世帯）	5	0.4%
私立認可保育園（回答 964 世帯）	1	0.1%
認定こども園（回答 81 世帯）	0	0.0%
小規模保育事業所（回答 39 世帯）	0	0.0%
港区保育室（回答 441 世帯）	0	0.0%
認証保育所（回答 158 世帯）	0	0.0%
認可外保育施設（回答 589 世帯）	109	18.5%
各種学校（回答 63 世帯）	18	28.6%

区においても、子どもの安全を守るため、私立幼稚園、認可外保育施設、各種学校などのスクールバスへの対策を中心に、安全・安心な登降園を徹底するための取組が必要です。

(2) 今後の子育て支援策

子どものバス送迎における安全管理を徹底するため、区内教育・保育施設のすべての送迎用バスに安全装置を装備できるよう、教育・保育施設に対して支援をします。支援内容は、安全装置の装備をするための経費の一部を補助するものとします。

第3章 環境変化等を踏まえた子育て支援策

支援策 12	送迎用バス安全装置装備支援事業の実施	【実施時期：令和5年度】
--------	--------------------	--------------

<p>子どものバス送迎における安全管理を徹底するため、送迎用バスに安全装置の装備をする経費の一部を補助します。</p>

第2 在宅子育て家庭への支援策

1 在宅子育て家庭の孤独感・負担感の軽減策の実施

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大などが、就学前の子どもがいる在宅子育て家庭の孤独感や負担感に拍車をかけている状況等を踏まえ、在宅子育て家庭を主な対象とする一時預かり事業について、量の拡大を行います。
- 在宅子育て家庭向けサービスである、「産前産後家事・育児支援事業」の利用可能期間及び利用可能時間数等を拡充します。
- 子育てひろば「あい・ぽーと」にカフェを設置することで親子が集える場所を提供し、親子間の交流を一層促進するとともに、子育てに関する相談、援助等の支援を行います。
- 在宅子育て家庭の保護者の多様な相談に適切に助言できるよう、子育てひろば等職員の相談対応スキルの向上を図るため、心理専門相談員が施設を巡回して、助言や指導を行います。
- 外来型乳房ケア事業、訪問型乳房ケア事業を新たに開始し、利用料金の一部を区が助成します。また、宿泊型ショートステイの対象施設を拡大します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

アンケート調査結果では、区内の就学前の子どもがいる世帯のうち、20.7%が教育・保育施設を利用せず、在宅で子育てをしていると回答しています。在宅子育て家庭の20.7%の内訳を子どものクラス年齢別に見ると、0歳が66.4%、1歳が15.7%、2歳が11.5%、3歳が1.7%、4歳が2.0%、5歳が2.6%であり、その多くが0歳から2歳です。

在宅子育て家庭の悩みについては、「子育ての孤独感（19.6%）」「子育ての相談先（11.1%）」など、在宅子育て家庭特有の悩みを抱えているという回答が、アンケート調査結果において一定数見られました。



在宅子育て家庭の保護者が子育てについて悩んでいること

子育てについての悩み（複数回答）	件数	割合
子育ての孤独感	207	19.6%
子どもの集団生活への慣れ	318	30.1%
子どもの健康	285	27.0%
子どもの発達	272	25.8%
子どもの教育	440	41.7%
子育ての相談先	117	11.1%
その他	74	7.0%
悩みは特にない	315	29.9%
回答世帯数（※無回答除く）	1,055	100.0%

悩みに関する自由回答の中では、「区の一時的預かりサービスは、予約でいっぱい、いざという時に利用ができない。どうしようもない時は遠方に住む両親に子どもを見てもらうをお願いをするしかないが、コロナ禍でそれも難しい現状があり、孤独感を感じる」など、子育ての支援者が近隣にいないことに加え、コロナ禍において相談先の確保がさらに困難になっているという意見もあります。



在宅子育て家庭の悩みの具体的内容

<子育ての孤独感>

- コロナへの感染が怖いため、基本自宅で母である私と子どもでいる時間が長く、子育てにおいて孤独感を感じやすい。
- 父・母双方の実家が東京から遠く、祖父母の支援を得るのが難しい為、子育ての負担が大きい。コロナ禍で、ベビーシッターを呼ぶことにも抵抗があり、難しい時期を過ごしている。
- 数年前に仕事の都合で東京に出てきて、地元が関西なので友人があまりおらず孤独。夫も帰りが遅く出張もあるため、子と2人きりの時間も多く、気が滅入る時があります。児童館や公園にも行っていますが、なかなか気を許す友人ができず。子どものことばかりで疲れます。あっぴいや pokke 以外に認可保育園でも一時保育の枠を広げてもらえると嬉しいです。

<子育ての相談先>

- 気軽に相談できる友人がいない。子育てにいっぱいいっぱい余裕がない。子どものこだわりが強く、どう対応していいかわからない。
- ママ友を作るのが下手なので、子育てについて気軽に相談出来たり、公園で一緒に遊べる友達が出来よう、ママ友が作ればいいのかとは思っています。
- 子育ての相談を誰にもできないことや、分かってもらえていないのが悩みです。
- 子どもの発達が正常かどうか、発達障害などがどうか、幼児教育はいつからどのような内容ではじめたらよいか不安。

さらに、平成30年度調査では、在宅子育て家庭のうち、祖父母等の支援を得られていない世帯の割合は27.4%であったのに対し、令和3年度調査では、33.1%と増加傾向にあります。近年のコロナ禍等の環境変化は、在宅子育て家庭の孤独感や負担感に影響を与えていると考えられ、環境変化によって拍車がかかった在宅子育て家庭の孤独感や負担感の軽減につながる支援が必要です。

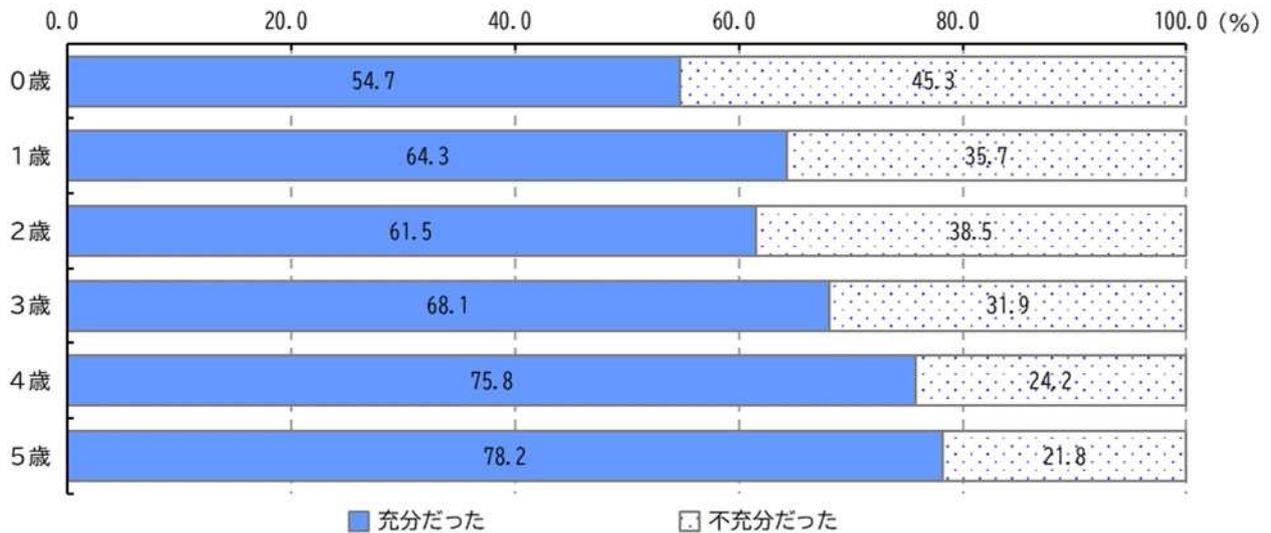
区の在宅子育て家庭向けサービスについては、子ども・子育て支援法上の「地域子ども・子育て支援事業」とそれ以外の事業に分けられ、一時的預かり事業を中心に様々な事業が用意されています。特に一時的預かり事業については、認可保育園で実施する一時保育や、子育てひろば「あっぴい」等で行われる乳幼児一時的預かり事業などがありますが、「空きがなく予約が取れない」という意見が、近年継続して寄せられています。

アンケート調査結果においても、一時的預かり事業を利用したことある世帯の35.1%が「一時的預かり事業をもっと多くの日数で利用したかった」と回答しており、0歳から2歳児はその傾向が強く、特に0歳は、約半数の45.3%が一時的預かり事業をもっと利用し

たかったと回答しています。



利用した一時預かりの利用日数の充足度（年齢別）



教育・保育施設を利用していない在宅子育て家庭が多くを占める0歳児は、一時預かりのニーズが高いことに加え、0歳から2歳児は、保育をするのに必要な保育士配置や面積の基準が幼児年齢よりも厳しく、一時預かりの定員枠がニーズに対して少ないことから、定員枠の供給不足が生じていると考えられます。一時預かり事業は、0歳から2歳児が多い在宅子育て家庭を主な対象としており、そういった世帯がより利用しやすい施策を講じる必要があります。

また、現在、地域子ども・子育て支援事業以外の在宅子育て家庭向けサービスについては、子ども家庭支援センターで様々な事業を実施しています。アンケート調査では、特に「産前産後家事・育児支援事業」について、感謝の声が多い一方で、利用対象期間に対する意見など、在宅子育て家庭の現状にあわせた事業内容にして欲しい旨の意見も多く見られました。



産前産後家事・育児支援事業についての意見

- 家事支援サポートが大変助かりました。個人的には産後の方が助かったので、産後に使える期間を長くしてほしいです。産後過ぎても同様の事業が月1でもあると助かります。
- 妊娠前後の家事代行支援サービスに関して充実しており、大変ありがたかった。ただ、産後4か月で終わってしまうため、子どもが1歳になるまで支援の期間を延長してもらえるとありがたい。
- 家事支援の助成を受けられる日数が、産後120日では短すぎる。産後はバタバタしていて、使いたいと思ってようやく手続きしようと思った頃には、残り期間が少なくなっていた。
- 家事支援の助成を利用できる期間や時間を長くしてほしい。離乳食が始まる時期になると、また負担が増えてつらくなる。

さらに、区では、子育てひろば事業や乳幼児一時預かり事業を実施している「あっぴい」において、保護者の育児不安等に関する相談を受けていますが、子どもの発達に関する相談や、虐待、DVの相談など、短期での解決が難しい複雑な事例もあります。そういった相談に対しても適切な支援ができる体制が必要です。

(2) 今後の子育て支援策

現況を踏まえ、就学前の子どもがいる在宅子育て家庭の子育ての孤独感や負担感を解消するために必要な支援を拡充します。

区の一時的預かり事業に対する「空きがなく予約が取れない」という意見や、アンケート調査における一時預かり事業をもっと利用したいという要望を受け、一時預かり事業の量の拡大を行います。また、一時預かりを「もっと多くの日数利用したかった」と回答した世帯は、0歳から2歳児が多い状況であることから、特に0歳から2歳児の一時的預かり事業の量の拡大を目指します。

一時預かり事業の量の拡大にあたっては、待機児童解消後、私立認可保育園等に定員に対する空きが発生していることや、「みなと保育サポート事業」などのこれまでの待機児童解消施策の転用を視野に入れ、私立認可保育園での余裕活用型一時保育事業の実施や、みなと保育サポート事業の再編による乳幼児一時預かり事業の拡充を行っていきます。なお、みなと保育サポート事業の一時的預かり事業への再編については、現在利用している保護者の意見も聞きながら、丁寧に検討します。

また、日常生活上の突発的な事情やリフレッシュ等の目的による一時的な保育や、ベビーシッターを活用した共同保育が必要となった保護者が、ベビーシッターの派遣による保育サービスを受けた際の利用料を補助する事業を実施します。

支援策 13	私立認可保育園での余裕活用型一時保育事業の実施 【実施時期：令和5年度】
定員に対する空きを活用した、私立認可保育園での余裕活用型一時保育事業を実施します。	

支援策 14	みなと保育サポート事業再編による乳幼児一時預かり事業の拡充 【実施時期：令和5年度】
現在、定期利用保育とスポット利用保育を実施している「みなと保育サポート事業」の一時的預かり事業への再編に着手します。	

支援策 15	ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）の実施 【実施時期：令和5年度】
<p>一時的な保育や共同保育が必要となった保護者が、ベビーシッターの派遣による保育サービスを受けた際の利用料を補助する事業を実施します。</p>	

アンケート調査結果で要望が多かった、既存の在宅子育て家庭向けサービスである産前産後家事・育児支援事業について、利用可能期間や利用可能時間数を拡大するなど在宅子育て家庭の現状にあわせて拡充していきます。また、港区公式LINEアカウントを経由して電子による利用申請を受け付ける仕組みを導入するなど、利用世帯の利便性向上を図ります。

支援策 16	産前産後家事・育児支援事業の拡充 【令和4年度】
<p>在宅子育て家庭からの要望を踏まえ、産前産後期に加えて、育児期にも必要な支援が受けられるよう、産前産後家事・育児支援事業の利用可能期間等の拡充を図ります。</p>	

子育てひろば「あい・ぽーと」にカフェを設置することで、親子がいつでも時間を気にせず集える場所を提供します。カフェの利用をきっかけとして、親子間の交流を一層促進するとともに、子育てに関する相談、援助等の支援を行うことで、保護者の孤立化を防ぐとともに育児不安の解消を図り、児童虐待の未然防止につなげます。

支援策 17	子育てひろば「あい・ぽーと」への親子が集えるカフェの設置 【令和5年度】
<p>子育てひろば「あい・ぽーと」にカフェを設置することで親子が集える場所を提供し、親子間の交流を一層促進するとともに、子育てに関する相談、援助等の支援を行います。</p>	

子育てひろば事業や乳幼児一時預かり事業を実施している子育てひろば等では、職員が、在宅子育て家庭の保護者の多様な相談に応じています。職員が多様な相談に対して、より適切に助言できるよう、心理専門相談員が施設を巡回して、助言、指導を行い、職員の相談対応スキルの向上を図ることで、子育て家庭の育児不安の解消につなげます。

支援策 18 子育てひろば等職員への心理専門相談員巡回指導の実施 【令和5年度】

心理専門相談員が、子育てひろば事業や乳幼児一時預かり事業を実施している子育てひろば等を巡回して、助言、指導を行い、職員の相談対応スキルの向上を図ります。

産後の育児不安等を軽減するため、外来又は訪問により心身のケア、授乳や育児の指導・サポート、生活の相談等の支援を行う外来型乳房ケア事業、訪問型乳房ケア事業を新たに開始し、利用料金の一部を区が助成します。また、宿泊型ショートステイの対象施設を拡大します。

支援策 19 産後母子ケア事業の拡充 【令和5年度】

外来型乳房ケア事業、訪問型乳房ケア事業を新たに開始し、利用料金の一部を区が助成します。また、宿泊型ショートステイの対象施設を拡大します。

第3 特別な支援が必要な子どもがいる世帯への支援策

1 教育・保育施設を利用する特別な支援が必要な子どもに向けた施策の実施

- 教育・保育施設利用世帯の約1割が、子どもに対して障害や発達に関する不安を持っていることや、近年の教育・保育施設を利用する特別な支援が必要な子どもの数の増加等を踏まえ、支援を拡充します。
- 認可保育園等に対しては、障害児・個別的配慮児対応の蓄積が少ない私立の保育施設職員の障害児・個別的配慮児への対応力の向上のため、専門職（臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士等）による勉強会などを実施します。
- 私立幼稚園に対しては、特別支援アドバイザー（臨床心理士）派遣回数を拡充します。
- また、区立幼稚園の特別支援教育担当者会を拡充し、私立幼稚園の担当者も含めて教員の育成、資質の向上を図ります。

（1）環境変化とアンケート調査結果

アンケート調査結果では、回答世帯の9.0%が、子どもに対して障害や発達に関する何らかの不安を持っています。子どもに障害や発達に関する不安を持っている世帯について、定期利用している施設別に見ていくと、施設種別に差はあるものの、どの施設の利用世帯も1割前後が「障害や発達に関する不安を持っている」と回答しています。



子どもの障害や発達に関する不安有無（利用施設種別）

施設種別	障害や発達の不安を持っている		障害や発達の不安を持っていない	
	実数	割合	実数	割合
区立幼稚園	39	10.7%	327	89.3%
私立幼稚園	40	6.8%	544	93.2%
区立認可保育園	123	10.9%	1,005	89.1%
私立認可保育園	80	9.0%	811	91.0%
認定こども園	8	10.7%	67	89.3%
小規模保育事業所	3	8.8%	31	91.2%
港区保育室	28	7.2%	362	92.8%
認証保育所	24	16.2%	124	83.8%
認可外保育施設	39	7.3%	496	92.7%
各種学校	2	3.6%	54	96.4%
施設利用世帯合計	386	9.1%	3,821	90.9%
全体	488	9.0%	4,906	91.0%

ア 保育園等の状況

保育施設への職員の加配の算定根拠として把握している、各施設の障害児・個別的配慮児（障害認定は受けていないが、個別的な配慮が必要な児童）の数値を見ると、令和4年4月の認可保育園、小規模保育事業所、港区保育室の在園児6,590人のうち、1.1%の72人が障害児、7.7%の505人が個別的配慮児となっています。

さらに、認可保育園等に通う障害児・個別的配慮児数の推移を見ると、障害児・個別的配慮児の数及びその保育定員に対する割合は増加傾向にある状況です。

また、区による認可保育園等への巡回指導を通して、障害児・個別的配慮児対応の蓄積が少ない私立の保育施設の中には、巡回指導内容を活かしてきれていない施設があることも分かってきました。



イ 幼稚園の状況

「みんなと子どもすくすくアクション」策定にあたって実施した区内私立幼稚園に対するヒアリングでは、15園中8園の私立幼稚園が「特別な支援を必要とする幼児の対応」が課題と感じており、「ここ何年かで特別な支援を必要とする幼児が増えた」、「教員の手が足りず、対応に苦慮している」、「特別支援アドバイザーは大変ありがたいが、派遣回数をもっと増やしてほしい」などの意見がありました。

特別な支援を必要とする幼児は、幼稚園においても一定数在籍していますが、区立の施設に比べ私立幼稚園は保育体制が薄く、保育が難しい状況となっています。また、私立幼稚園は私学助成こそ受けているものの、教員の加配に対する補助はなく、十分な体制がとりづらい状況です。

現在区は、私立幼稚園に対して特別支援アドバイザーの派遣などの支援を実施しており、幼児との関わり方などにおいて具体的な実践につながるなどの一定の効果はあるものの、ヒアリングにより「今現在の状況をすぐに見てもらいたい」、「もっと多くの回数見てもらいたい」、「学期に1回という制限があるので調整しながら使っている」という意見があるなど、現在の支援が必ずしも十分ではないことが分かりました。



幼稚園を利用する特別な支援が必要な子どもへの支援状況

区立幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ● 各園に特別支援アドバイザー（臨床心理士）を派遣。幼児の様子を観察し、教員へアドバイスする（原則5回／年） ● 優先度に応じて各園に保育補助員を配置（医師の診断不要） ● 加配の教員がいればその教員が対応 ● 各園の特別支援教育の中心的役割を担う教員育成や資質向上を目指し、担当者会を年5回開催 															
私立幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ● 各園に特別支援アドバイザー（臨床心理士）を派遣。幼児の様子を観察し、教員へアドバイスする（1回／学期） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 20%;">R元</th> <th style="width: 20%;">R2※¹</th> <th style="width: 20%;">R3</th> <th style="width: 25%;">R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣回数 (延べ数)</td> <td style="text-align: center;">6回</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">11回</td> <td style="text-align: center;">8回※²</td> </tr> <tr> <td>派遣園数</td> <td style="text-align: center;">4園</td> <td style="text-align: center;">2園</td> <td style="text-align: center;">6園</td> <td style="text-align: center;">3園※³</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各園で臨時休業や午前保育などで保育時間そのものが短かったことや、分散登園をしたことで園児に対して教員数に余裕があったため、アドバイザーの手を借りることなく各園で対応できていたものと考えられます。</p> <p>※2 令和4年9月末時点の実績（4回）から推計</p> <p>※3 令和4年9月末時点の実績</p>		R元	R2※ ¹	R3	R4	派遣回数 (延べ数)	6回	2回	11回	8回※ ²	派遣園数	4園	2園	6園	3園※ ³
	R元	R2※ ¹	R3	R4												
派遣回数 (延べ数)	6回	2回	11回	8回※ ²												
派遣園数	4園	2園	6園	3園※ ³												

（2）今後の子育て支援策

現在区では、障害児や個別的配慮児の保護者に対する認可保育園等入園時の相談や、障害児や個別的配慮児を受け入れた認可保育園等に対する職員の加配調整のほか、当該施設と施設に通う障害児や個別的配慮児の保護者への支援として、臨床心理士などの専門の相談員による「施設に対する巡回指導」及び「保護者に対するカウンセリング」を行っています。

近年、認可保育園等の障害児・個別的配慮児の数が増加していることを踏まえ、令和4年度に、「施設に対する巡回指導」及び「保護者に対するカウンセリング」の実施回数を拡大するとともに、これまで区立認可保育園、認定こども園、港区保育室のみだった、「保護者に対するカウンセリング」の対象を、私立認可保育園、小規模保育事業所にも拡大しました。

今後も障害児・個別的配慮児の数の推移を注視しながら、実施回数を検討するとともに

第3章 環境変化等を踏まえた子育て支援策

に、障害児・個別的配慮児対応の蓄積が少ない私立の保育施設職員を中心に、障害児・個別的配慮児への対応力の向上を図るため、専門職（臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士等）による勉強会などを実施し、職員の資質の向上を図っていきます。

支援策 20	認可保育園等の障害児・個別的配慮児への対応力向上策の実施 【令和5年度】
障害児・個別的配慮児対応の蓄積が少ない私立の保育施設職員を中心に、障害児・個別的配慮児への対応力の向上を図るため、専門職（臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士等）による勉強会などを実施します。	

私立幼稚園に対しては、区立の教育・保育施設と同程度の体制が確保できるよう必要な支援を行います。私立幼稚園に対する特別支援アドバイザー（臨床心理士）派遣について、これまで1学期に1回（最大年3回）までとじていましたが、区立幼稚園と同一の年5回までに拡充します。

また、各区立幼稚園の特別支援教育担当者会を拡充し、私立幼稚園の担当者も含めた教員の育成、資質の向上を図る機会とします。現在は主に講演会形式で開催していますが、オンラインを活用するなど、より参加しやすい形式で実施します。

支援策 21	私立幼稚園への特別支援アドバイザー派遣、特別支援教育担当者会の拡充 【令和5年度】
区内私立幼稚園の要望等を踏まえ、私立幼稚園への特別支援アドバイザー派遣、特別支援教育担当者会を拡充します。	

2 子どもの障害・発達不安に関する相談体制等の拡充

- 児童発達支援センターでの初回相談までに時間を要している状況や、相談自体に抵抗を感じる保護者に対する早期の相談機会の提供という課題を踏まえ、子どもの障害・発達不安に関する相談体制を拡充します。
- 具体的には、初回相談までの時間を短くできるように、相談者のニーズに合わせて相談に対応できる体制を構築するとともに、子どもの発達に不安のある保護者が、障害や発達などについて気軽に相談できるように、親子で参加することができるアウトリーチ型の「出張相談・親子サロン」を実施します。
- さらに、療育が必要な障害児が、適切な時期に療育を受けられるよう、「併用通所」の利用対象者を、元麻布保育園の医療的ケア児・障害児クラス通園児に対しても拡大します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

アンケート調査では、回答世帯の9.0%が、子どもに対して障害や発達に関する何らかの不安を持っています。そのうちの9割は、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれも所持していない世帯です。

障害や発達に関する不安の内容としては、「言語発達に関する不安」が40.2%ともっとも高く、そのほかにも「多動や衝動性等行動に関する不安」が34.2%、「対人関係等コミュニケーションに関する不安」が31.5%、「発達障害に関する不安」が26.3%と高い割合を示しています。

現在区では、令和2年4月に開設した児童発達支援センター「ばお」において、発達につまずきや遅れがある乳幼児・児童を対象に、日常生活における基本的な動作や自立に必要な知識及び技能の習得、集団生活への適応を支援しています。児童発達支援センターでは、子どもの成長・発達、障害福祉サービス利用等の相談を受ける「相談支援」や、通所等により、遊びを通して基本的な生活習慣や集団生活に適応できる力を身に付けることを目的とした「障害児通所支援」を行っています。

アンケート調査では、児童発達支援センターのサービスについて、感謝の声が多い一方で、面談までの期間や申請手続きに時間がかかるなどの意見が見られました。実際に児童発達支援センターでは、子どもの発達に関する相談が増えており、インテーク（困りごとや課題を抱えている人に対する初回相談）を行うまでに、2か月程度、長い方では3か月程度かかっている現状があります。



児童発達支援センター「ばお」についての意見

- 3歳時健診で相談し、「ばお」に繋げていただきました。子どもの発達に問題があるのか今のところはっきりしませんが、もしもの場合の心の準備と、早い時期に対応できたのは良かったと思います。
- 通所受給者証を発行してもらい児童発達支援センターに通っているが、悩んでいる時から区の相談窓口を利用するなどして現在月2回のサービスを受けられるところまでサポート頂き、早めの対応ができたのは大変感謝している。
- 子どもの個性に応じた子育ての助言は家庭相談でも発達支援センターでもいただけますが、親の個性も踏まえてご助言いただけるとなおありがたいです。
- 現在定期的に区の療育施設（ばお）に通所しているが、もっと通える日数が多ければ（心理士の方はじめ皆様素晴らしく、子どもの成長を感じられるので）と思う。また区の保健師の方もこちらの要望に丁寧に対応して下さり大変感謝しているが、いつもとてもお忙しそうだと感じる。療育関係のものはいつも手続き（面談、申請等）に数カ月かかるので、きっと療育の相談が多い中、大変な思いをしてやって下さっていると思うものの、もう少し早く手続きが進むとスムーズに療育を受けられる人が増えるのではと思う。手続きの煩わしさもあり、親が仕事をしながら手続きを進めるのはかなり大変で、満足いく療育を受けさせるのを断念するケースもあるのではと思うので。

また、保護者の中には、子どもの障害や発達に対する不安を持ちながらも、児童発達支援センターに相談することに抵抗がある保護者も一定数おり、そういった世帯に対する早期の相談機会の提供も課題となっています。

（2）今後の子育て支援策

現況を踏まえ、子どもの発達に不安のある保護者を、なるべく早く初回相談につなげることができるよう、現在行っている初回相談のほか、相談者のニーズに合わせて、相談に応じる職員や相談時間を柔軟に調整できる相談体制を構築します。

現在の初回相談は、相談の内容に関わらず、相談者に対して相談員と心理士の2名体制で一律2時間行っていますが、今後は、相談内容を事前に把握し、その内容に応じて職員数や相談時間を調整するとともに、心理士など相談に応じる職員を増やすことで、より早期に相談や支援につなげられるような体制を整えます。相談者に対してどのような相談体制で対応するかについては、子どもの状態や保護者のニーズなどを見て判断します。

支援策 22

児童発達支援センターでの相談者に合わせた相談体制の構築

【令和5年度】

子どもの発達に不安のある保護者を、早期に相談・支援につなげるために、相談者のニーズに合わせて相談に対応できる体制を構築します。

さらに、子どもの発達に不安のある保護者が、障害や発達などについて気軽に相談できるよう、親子で参加することができるアウトリーチ型の「出張相談・親子サロン」を新たに実施します。

「出張相談・親子サロン」では、心理士などの職員体制を強化して、区有施設のスペースを活用し、参加した親子に対して、心理士と支援員（保育士等）が遊びを提供しながら発達相談に応じます。場合に応じて、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門家も参加し、支援の必要性が高い子どもに対して、児童発達支援センターの利用等につなげます。

支援策 23	子どもの障害や発達について気軽に相談できる出張相談・親子サロンの設置 【令和5年度】
保護者が障害や発達などについて気軽に相談できるよう、親子で参加することができるアウトリーチ型の「出張相談・親子サロン」を実施します。	

また、区では、療育が必要な子どもが、適切な時期に、特性に合った療育を受けられる環境を整えるため、保育園に通う子どもが、午前中に児童発達支援センターに通所して療育を受け、給食（摂食）指導を受けた後に、所属する保育園に通う「併用通所」を実施しています。

これまでは、元麻布保育園の医療的ケア児・障害児クラス通園児に対しては、重度の障害等がある子どもへの移動負担や環境変化などの課題があることから、併用通所を実施しておらず、児童発達支援センターの職員が保育園に行き、子どもへの療育や保育園職員への療育方法の助言を行ってきました。

しかし、その後、子どもへの適切な時期の療育の必要性や、障害のある子どもの保護者が安心して就労できる環境へのニーズが高まってきたことを受け、児童発達支援センターで支援する職員や送迎等の体制の調整や、元麻布保育園との療育や保育における連携を更に進めることで、児童発達支援センターと保育園の「併用通所」の利用対象者を、元麻布保育園の医療的ケア児・障害児クラス通園児に対しても拡大します。

支援策 24	児童発達支援センターと保育園の「併用通所」の対象の拡大 【令和5年度】
療育が必要な子どもが、適切な時期に療育を受けられるよう、児童発達支援センターと保育園の「併用通所」の利用対象者を、元麻布保育園の医療的ケア児・障害児クラス通園児に対しても拡大します。	

第4 その他アンケートで把握したニーズへの対応

1 ひとり親世帯への家計負担軽減策の実施

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響の長期化及び昨今の物価高騰の家計への影響を踏まえ、低所得のひとり親世帯等に対しては引き続き、経済的な生活支援を実施します。
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大に対する緊急的・時限的な事業として実施している「エンジョイ・セレクト事業」について、昨今の物価高騰の家計への影響等を踏まえ、令和5年度も継続します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

アンケート調査結果では、回答があった就学前の子どもがいる世帯のうち、4.2%はひとり親世帯です。

ひとり親世帯の世帯年収では、「200万円未満」が16.3%と、「1,000～1,500万円未満」と並んでもっとも回答割合が高く、「200～300万円未満」も11.8%の回答割合がありました。



ひとり親世帯の世帯年収

世帯年収	ひとり親世帯		両親同居世帯	
	実数	割合	実数	割合
200万円未満	36	16.3%	41	0.8%
200～300万円未満	26	11.8%	45	0.9%
300～400万円未満	26	11.8%	96	1.9%
400～500万円未満	14	6.3%	126	2.5%
500～700万円未満	21	9.5%	342	6.7%
700～1,000万円未満	27	12.2%	783	15.4%
1,000～1,500万円未満	36	16.3%	1,307	25.7%
1,500～2,000万円未満	11	5.0%	1,003	19.7%
2,000～3,000万円未満	12	5.4%	737	14.5%
3,000～5,000万円未満	10	4.5%	365	7.2%
5,000～1億円未満	0	0.0%	171	3.4%
1億円以上	2	0.9%	69	1.4%
合計	221	100.0%	5,085	100.0%

また、令和3年12月に実施した、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた低所得の子育て世帯を対象とする「エンジョイ・セレクト事業」の利用世帯に対するアンケートの結果では、回答があったひとり親世帯のうち、62.1%が「新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で収入が減った」と回答しています。

さらに、「収入が減った」と回答したひとり親世帯の49.5%が「生活を切り詰めている」と回答しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減により、日常生活に影響が出ているひとり親世帯が一定数いることも分かっています。

区では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済的な影響が大きい低所得のひとり親家庭等に対し、家計と家事の負担を軽減することを目的に、令和2年度に夕食支援のための弁当を提供する「ひとり親家庭等支援エンジョイ・ディナー事業」を開始しました。令和3年度からは当該事業を拡充し、カタログから注文された食料品等を自宅配送する「エンジョイ・セレクト事業」を実施しています。

 ひとり親世帯向け支援サービスの実施状況

実施年度	事業名	対象者	提供方法	実績
R2年度	ひとり親家庭等支援エンジョイ・ディナー事業	【①か②に該当】 ①児童扶養手当を受給する保護者及び子ども ②コロナの影響で、R2.2以降の月額収入が1か月でも基準額以下になっているひとり親家庭等	夕食支援のための弁当提供	延べ配布個数 130,915個(R2)
R3年度～	エンジョイ・セレクト事業	【①か②か③に該当】 ①児童手当を受給している児童扶養手当の所得基準未満の両親世帯 ②児童扶養手当を受給しているひとり親世帯 ③コロナの影響で、世帯の収入が児童扶養手当受給基準程度まで下がったひとり親の家計急変世帯	カタログから注文された食料品等を自宅配送	延べ配送世帯数 38,576件(R3)

出典：港区の子ども・家庭支援（令和4年度(2022年度)版 事業概要）

エンジョイ・セレクト事業については、アンケート調査の回答でも「コロナ禍により雇用体系が変わり、個人事業主での働き方を余儀なくされている状況で、収入も大幅に減っているため、このサービスは我が家の食を補う貴重なものとなっている」等の好意的な意見が寄せられるなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に影響を受けたひとり親家庭等に対する経済的支援の役割を果たしています。



エンジョイ・セレクト事業についての意見

- ひとり親のため、エンジョイセレクトなどを利用させていただいております。コロナ禍により雇用体系が変わり、個人事業主での働き方を余儀なくされている状況で収入も大幅に減っているため、このサービスは我が家の食を補う貴重なものとなっており、大変助かっています。コロナによるメンタルストレスに加え、収入の不安のストレスがかかり、母子ともに不安定な状況ですが、区からの支援によりどうか毎日を過ごせています。
- 母子家庭に対する対応力は他の地区よりもあると思う。特にエンジョイセレクト事業関連にて大変助けられていて、親子共々元気をいただいております、満足です。

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響の長期化及び昨今の物価高騰の家計への影響も踏まえ、低所得のひとり親世帯等に対しては引き続き、経済的な生活支援が必要です。

(2) 今後の子育て支援策

「ひとり親家庭等支援エンジョイ・ディナー事業」、「エンジョイ・セレクト事業」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に対する緊急的な対応であることから時限的な事業として実施してきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響の長期化及び昨今の物価高騰の家計への影響も踏まえ、「エンジョイ・セレクト事業」を継続します。

支援策 25 エンジョイ・セレクト事業の継続実施 【令和5年度】

新型コロナウイルス感染症感染拡大に対する緊急的・時限的な事業として実施している「エンジョイ・セレクト事業」について、昨今の物価高騰の家計への影響等を踏まえ、令和5年度も継続します。

2 多子世帯への移動支援策の実施

- 2人以上のきょうだいがいる世帯からの要望を踏まえ、多子世帯の移動を支援し、経済的負担を軽減するため、2人以上の就学前児童がいる世帯に対し、タクシー利用券を支給します。
- また、2人目まで無料となっている「ちいばす」及び3人目まで無料となっている「お台場レインボーバス」の運賃について、無料化の対象を全就学前児童に拡大します。
- さらなる妊産婦の移動支援のため、妊産婦に無料で発行している港区コミュニティ乗車券で乗車できる人数を1人から2人に拡大します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

アンケート調査結果で回答があった就学前の子どもがいる世帯のきょうだいの数は、「一人っ子」が53.5%と最も多く、「2人きょうだい」が37.1%、「3人きょうだい」が7.8%、「4人きょうだい」が1.2%、「5人以上きょうだい」が0.3%となっており、調査回答世帯の46.4%が、2人以上のきょうだいがいる世帯です。



きょうだいの数

世帯年収	実数	割合
一人っ子	3,180	53.5%
2人きょうだい	2,207	37.1%
3人きょうだい	465	7.8%
4人きょうだい	73	1.2%
5人以上きょうだい	20	0.3%
合計	5,945	100.0%

アンケートで把握した2人以上のきょうだいがいる世帯からの区へ要望については、「複数の子どもを持つ場合、通院等で困難がある。多くの荷物を持つての移動など、困難さを軽減できるようなサービスがあると良いと思う」など移動に関する支援の要望が多く見られました。



2人以上のきょうだいがいる世帯からの区への要望

- 複数の子どもを持つ場合、通院等で困難がある。多くの荷物を持つての移動など、困難さを軽減できるようなサービスがあると良いと思う。
- 多胎児保育に対するサポートを充実してほしい。子ども3人では自転車で移動が出来ない。
- 年に数回で良いので、タクシーチケットの無料配布を希望する。
- 子育て期間中は、母子ともにちいばすを無料にしてほしい。

(2) 今後の子育て支援策

アンケート調査で2人以上のきょうだいがいる世帯から寄せられた要望等を踏まえ、移動に困難を抱える就学前の子どもがいる保護者への支援及び経済的負担の軽減を目的として、2人目以上の就学前児童がいる世帯に対し、タクシー利用券を支給します。

支援策 26	多子世帯移動経費補助事業の実施 【令和5年度】
多子世帯の移動を支援し、経済的負担を軽減するため、2人以上の就学前児童がいる世帯に対し、タクシー利用券を支給します。	

また、現在、港区コミュニティバス「ちいばす」及び台場シャトルバス「お台場レインボーバス」における就学前児童の運賃の一部を無料化しています。

「ちいばす」では、就学児以上の乗客に同伴する2人目までの就学前児童運賃、「お台場レインボーバス」では、就学児以上の乗客に同伴する3人目までの就学前児童運賃を無料としていますが、多子世帯に対する移動支援及びさらなる経済負担軽減のため、現在一部有料である就学前児童運賃を無料化します。

支援策 27	就学前児童の港区コミュニティバス「ちいばす」及び台場シャトルバス「お台場レインボーバス」運賃の無料化 【令和5年度】
2人目まで無料となっている「ちいばす」及び3人目まで無料となっている「お台場レインボーバス」の運賃について、無料化の対象を全就学前児童に拡大します。	

さらに、現在区では、妊産婦に対して、港区コミュニティバス「ちいばす」及び台場シャトルバス「お台場レインボーバス」に無料で乗車できる港区コミュニティバス乗車券を発行していますが、妊産婦がいる世帯へのさらなる移動支援のため、妊産婦に無料で発行している港区コミュニティバス乗車券で乗車できる人数を1人から2人に拡大します。

支援策 28	妊産婦に無料で発行している港区コミュニティバス乗車券の利用対象者拡大 【令和5年度】
妊産婦がいる世帯へのさらなる移動支援のため、妊産婦に無料で発行している港区コミュニティバス乗車券で乗車できる人数を1人から2人に拡大します。	

3 区立認可保育園利用世帯の要望への対応策の実施

- 区立認可保育園利用世帯からの要望を踏まえ、保護者の利便性を向上させ、育児負担を軽減することを目的として、区立認可保育園でのおむつのサブスクリプションサービスを実証実験により試行実施します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

区立認可保育園は、園庭を有している施設が多く、アンケート調査結果での保護者の施設に対する満足度も高いものの、保護者からの要望が多いおむつのサブスクリプションサービスについては、サブスクリプションサービス事業者選定等に課題があり、これまで実施してきませんでした。

しかし、区内の私立認可保育園等では、すでにおむつのサブスクリプションサービスを導入している施設もあり、他区の区立認可保育園においても、導入事例が出てきています。アンケート調査結果でも、区立認可保育園利用世帯からの利用施設に対する要望の中に、おむつのサブスクリプションサービスに関するものが見られました。



おむつのサブスクリプションサービスについての要望(区立保育園利用世帯)

- おむつのサブスクリプションサービスを実施してほしい。
- おむつをサブスクリプション式にしたい放題にして欲しい。
- おむつを定額性で利用できるようにしてほしい(おむつを保育園に毎度名前記入して持参しなくてよいように)。
- おむつの定額サービスなどが導入されると、おむつの購入や一枚一枚への記名などの手間が省けて保護者は助かると思います。

(2) 今後の子育て支援策

区立認可保育園については、アンケート調査で寄せられた要望等を踏まえ、保護者の利便性の向上や、育児負担を軽減することを目的として、区立認可保育園でのおむつのサブスクリプションサービスを実証実験により試行実施します。試行実施の結果を踏まえて、導入の方法等を検討し、決定します。

支援策 29	区立認可保育園でのおむつサブスクリプションサービスの実施 【令和5年度】
保護者の利便性を向上させ、育児負担を軽減することを目的として、区立認可保育園でのおむつのサブスクリプションサービスを実証実験により試行実施します。	

4 出産費用助成に関する要望への対応策の実施

- 出産費用の上昇傾向や、国の出産育児一時金の改定の動き、アンケート調査で寄せられた要望等を踏まえ、国が出産育児一時金を改定する時期にあわせ、「出産費用助成事業」の限度額の引き上げを実施します。

(1) 環境変化とアンケート調査結果

区では、子育てをする世帯の経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境を整備することを目的に、子どもの出産に係る費用の一部を負担する「出産費用助成事業」を実施しています。

「出産費用助成事業」では、出産に係る分娩費及び入院費等73万円を限度とし、その額から国の出産育児一時金等を差し引いた額を助成しています。多胎の場合は、73万円に子どものうち1人を除いた子ども1人につき40万円を加算した額が限度額となります。令和2年4月からは、60万円だった限度額を73万円に引き上げるなど、これまでも事業の拡充に取り組んできました。

しかし、令和2年に限度額を引き上げた時点での出産費用の平均が約73万円であったのに対し、令和4年10月時点では約81万円となるなど、出産費用は近年上昇傾向にあります。また、国の出産育児一時金の額も令和5年4月以降、引き上げられる見通しです。アンケート調査結果でも、出産費用助成に関する要望が多く見られました。



出産費用助成に関する要望

- 出産費用の助成額がもう少し上がるといいと思う。港区で出産しようと思うと普通分娩でもかなり高額になるので、産みたくても産めない状況がある。
- 出産費用の助成が大きいのが助かる。出産への不安が強かったが、助成があることで無痛分娩の選択ができ、心がおちついた状態で出産できた。
- もう一人子どもがほしいが、今のままだと収入の不安(コロナで)などで無理な感じがする。港区で産みたいが出産費用が高すぎる。
- 「出産費用の助成」に関して、出産時の支払いから還付までのリードタイムが長いので、短くしてほしい。

(2) 今後の子育て支援策

出産費用の上昇傾向や、国の出産育児一時金の改定の動き、アンケート調査で寄せられた要望等を踏まえ、国が出産育児一時金を改定する時期にあわせ、「出産費用助成事業」の限度額の引き上げを実施します。

支援策 30 出産費用助成事業の拡充 【令和5年度】

国が出産育児一時金を改定する時期にあわせ、「出産費用助成事業」の限度額の引き上げを実施します。

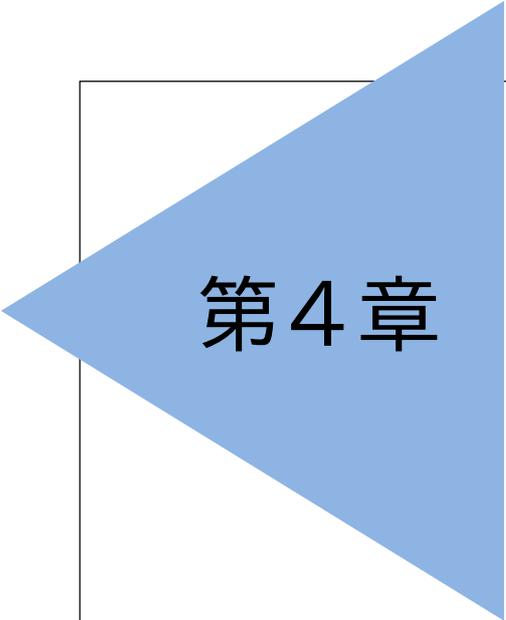
第5 環境変化等を踏まえた子育て支援策一覧

1 子育て支援策の一覧

目的	No.	支援策	区分	実施年度
教育・保育施設利用世帯への支援策	1	保育アドバイザー派遣事業の拡充	拡充	R4
	2	保育の質向上のための研究プロジェクトの実施	新規	R4
	3	大学との協働による新たな保育士研修カリキュラムの構築	新規	R4
	4	港区版保育の質のガイドラインの作成	新規	R5
	5	認可外保育施設改修費等支援事業の実施	新規	R5
	6	区立幼稚園における子育てサポート保育の拡充	拡充	R5
	7	区立幼稚園における夏季等休業中の一時預かり事業の実施	新規	R5
	8	区立幼稚園における教育活動の充実	拡充	R5
	9	区立幼稚園における利便性等向上策の実施	新規	R4
	10	区立幼稚園における体験保育等の拡充	拡充	R5
	11	幼稚園紹介パンフレットを活用した魅力周知の充実	新規	R4
	12	送迎用バス安全装置装備支援事業の実施	新規	R5
在宅子育て家庭への支援策	13	私立認可保育園での余裕活用型一時保育事業の実施	新規	R5
	14	みなと保育サポート事業再編による乳幼児一時預かり事業の拡充	拡充	R5
	15	ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）の実施	新規	R5
	16	産前産後家事・育児支援事業の拡充	拡充	R4
	17	子育てひろば「あい・ぽーと」への親子が集えるカフェの設置	新規	R5
	18	子育てひろば等職員への心理専門相談員巡回指導の実施	新規	R5
	19	産後母子ケア事業の拡充	拡充	R5
特別な支援が必要な子どもがいる世帯への支援策	20	認可保育園等の障害児・個別的配慮児への対応力向上策の実施	拡充	R5
	21	私立幼稚園への特別支援アドバイザー派遣、特別支援教育担当者会の拡充	拡充	R5
	22	児童発達支援センターでの相談者に合わせた相談体制の構築	新規	R5
	23	子どもの障害や発達について気軽に相談できる出張相談・親子サロンの設置	新規	R5
	24	児童発達支援センターと保育園の「併用通所」の対象の拡大	拡充	R5
その他アンケートでの把握したニーズへの対応	25	エンジョイ・セレクト事業の継続実施	拡充	R5
	26	多子世帯移動経費補助事業の実施	新規	R5
	27	就学前児童の港区コミュニティバス「ちいばす」及び台場シャトルバス「お台場レインボーバス」運賃の無料化	拡充	R5
	28	妊産婦に無料で発行している港区コミュニティバス乗車券の利用対象者拡大	拡充	R5
	29	区立認可保育園でのおむつサブスクリプションサービスの実施	新規	R5
	30	出産費用助成事業の拡充	拡充	R5

2 既存子育て支援策との対応

目的	項目	妊娠中	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
相談や交流の機会を設け、子育て家庭の孤立化を防ぐ	相談	みなとプレママ応援事業（面談、育児パッケージ） 妊婦訪問（助産師訪問による相談） 産前産後家事・育児支援事業 ●							
		産前産後家事・育児支援事業 ●							
		支援策16 産前産後家事・育児支援事業の拡充							
		こんにちは赤ちゃん訪問 助産師による母子保健相談 ママの健康相談（助産師訪問による相談） 4か月児育児相談 産後母子ケア宿泊型ショー ●							
		支援策19 産後母子ケア事業の拡充							
		子ども家庭支援センターの相談事業（子ども家庭の総合相談、専門相談、相談ねっと、DV相談等） 児童相談所の相談事業（養護相談、障害相談、育成相談、非行相談、里親相談等） みなと保健所の相談事業（すくすく育児相談、母子メンタルヘルス相談等） 児童発達支援センターの相談事業（総合相談、計画相談支援、障害児相談支援） 男女平等参画センターの相談事業（心のサポートルーム） 港区生活・就労支援センターの相談事業（自立相談等） 教育センターの相談事業（総合相談、就学相談）							
		交流	Helloママサロン、のんびりサロン、うさちゃんくらぶ						
			子育てひろば（19か所） ●						
			支援策17 子育てひろば「あい・ぼーと」への親子が集えるカフェの設置 支援策18 子育てひろば等職員への心理専門相談員巡回指導の実施						
			保育園であそぼう（区立保育園が未就園児に対して園で遊ぶ機会を提供） 未就園児の会（区立幼稚園が未就園児に対して園で遊ぶ機会を提供） 乳幼児のつどい（児童館等が親子が集まって遊ぶ機会を提供） グループお母さんの時間、ふたごの会【多胎児】、なかよし会【ダウン症児】、ぶちとまとの会【低体重児】						
子育ての知識を深める	母親学級・両親学級								
就労などで保育できない保護者に代わって保育を行う	知識・情報	はじめての離乳食教室 ブックスタート事業							
		親支援プログラム みなと母子手帳アプリ 港区出産・子育て応援メール							
		一時預かり ●	乳幼児一時預かり（あつぴい、みなと子育て応援プラザ「Pokke」、子育てひろば「あい・ぼーと」、みなと保育サポート） 支援策13 私立認可保育園での余裕活用型一時保育事業の実施 支援策14 みなと保育サポート事業再編による乳幼児一時預かり事業の拡充 支援策15 ベビースタター利用支援事業（一時預かり利用支援）の実施						
		シヨードヌテイ（6泊7日以上の宿泊型一時預かり）、トワイライトステイ（午後5時から午後10時までの一時預かり） 派遣型一時保育事業（支援会員を保育者として派遣）、育児サポート「子むすび」（地域の協会会員を子育て家庭と結び） 病児・病後児保育室、訪問型病児・病後児保育（利用料助成）							
		認可保育園（区立21園、私立60園） 元麻布保育園（医ケア・障害児クラス） 認定こども園（区立1園） 港区保育室（12園）							
		支援策1 保育アドバイザー派遣事業の拡充 支援策2 保育の質向上のための研究プロジェクトの実施 支援策3 大学との協働による新たな保育士研修カリキュラムの構築 支援策4 港区保育の質のサイトライズの作成 支援策20 認可保育園等の障害児・個別対応児への対応力向上策の実施 支援策29 区立認可保育園でのおむつサブスクリプションサービスの実施							
		小規模保育事業（私立11園） 居宅訪問型保育事業（医ケア児等向け・待機児童向け） 認証保育所（利用料助成） 認可外保育施設（利用料助成） ●							
		支援策6 区立幼稚園における子育てサポート保育の拡充 支援策7 区立幼稚園における夏季等休業中の一時預かり事業の実施 支援策8 区立幼稚園における教育活動の充実 支援策9 区立幼稚園における利便性向上策の実施 支援策10 区立幼稚園における体験保育等の拡充 支援策11 幼稚園紹介パンフレットを活用した魅力向上の充実 支援策21 私立幼稚園への特別支援アドバイザー派遣、特別支援教育担当者会の拡充							
		ポト事業（5か所） 支援策5 認可外保育施設改修費等支援事業の実施 支援策12 送迎バス安全装置整備支援事業の実施							
		幼稚園 ●	幼稚園（区立12園、私立14園） 子育てサポート保育（区立幼稚園による降園後の預かり保育）						
健康やかな成長をサポートする	保健	妊婦健康診査 妊婦歯科健診 新生児聴覚検査							
		乳幼児健康診査（3〜4か月健診、6〜7か月健診、9〜10か月健診、1歳6か月健診、3歳児健診） パースティ歯科健診、すこやかちゃんフッ素塗布事業、歯並び・かみ合わせ相談 予防接種							
子育て家庭へ経済的な支援をする	手当・助成	出産費用の助成・出産育児一時金 ● 妊娠高血圧症候群等の医療費助成							
		支援策30 出産費用助成事業の拡充 支援策26 多子世帯移動経費補助事業の実施 支援策27 就学前児童の港区コミュニティバス「ちいばす」及びお台場シャトルバス「お台場レインボース」運賃の無料化 支援策28 妊産婦に無料で発行している港区コミュニティバス乗車券の利用者拡大							
困難な状況にある家庭への支援	困難な状況への支援	妊産婦へのコミュニティバス乗車券の発行							
		子ども医療費助成、子どもの疾病への医療費助成 ちいばす（2人目まで）・お台場レインボース（3人目まで）運賃の未就学児無料 【障害児支援】→児童育成手当（障害手当）、特別児童扶養手当 【ひとり親家庭支援】→児童育成手当（育成手当）、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費助成、高等職業訓練促進給付金、自立支援教育訓練給付金 【離婚前後の親支援】→裁判外紛争解決手続（ADR）利用助成金、養育費保証利用助成 【障害児支援】→児童発達支援センターの発達支援（相談支援、障害児通所支援） ● 【ひとり親家庭支援】→エンジョイ・セレクト事業、ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業 支援策22 児童発達支援センターでの相談者に合わせた相談体制の構築 支援策23 子ども障害や発達について気軽に相談できる出張相談・親子サロンの設置 支援策24 児童発達支援センターと保育園の「併用通所」の対象の拡大 支援策25 エンジョイ・セレクト事業の継続実施							



第4章

今後継続して検討すること

1 特別な支援が必要な子どもがいる世帯に対するさらなる支援の検討

令和3年12月21日に閣議決定された「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」では、「全てのこどもの健やかな成長、Well-beingの向上」や「誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援」が掲げられています。

出生、性別、人種、障害の有無などによって分け隔てられることなく、健やかに成長し、自分らしく尊厳を持って社会生活を営むことができるよう、その成長を社会が支えることが基本とされており、そのために必要な取組を推進することが重要です。

特に障害児など特別な支援が必要な子どもに対する支援については、区内の教育・保育施設を利用する障害児・個別的配慮児の数が増加傾向にあることに加え、アンケート調査においても、障害児に対する適切な支援やその保護者の就労支援など、多くの要望が寄せられており、大きな課題となっています。



子どもに障害や発達に関する不安を持つ世帯の要望

- 0～2歳位の子への児童発達支援を検討して欲しい（「ぱお」に通っているが、利用料がかかってもいいので、もう少し専門的な支援が受けられたらと感じる）。
- 障害児でも特に医ケアが必要としても教育、保育施設への送迎援護を強化してほしい。付き添いが保護者必須の現状がほとんどの中、通常勤務を成すことはかなり厳しい。
- 元麻布保育園の障害児クラスに通わせたいが、送迎が出来ずに通えない子どもがいる。我が子もその1人です。
- 発達障害を持った子ども達の教育支援サービスをもっと充実させて欲しい。他国と比べ日本は色々な教育プログラムを選べない環境にある。
- 医ケア児（重度、呼吸器）の母子の生活をもう少し知っていただきたい。その上で、必要なサービスを考えてほしいです。毎日生きることに必死です。
- 有料でいいので、遊具が充実した遊び場がもっとあれば嬉しいです。下の子が障害児なのですが、障害児の放課後デイが区内に圧倒的に不足していると感じています。

区では、児童発達支援センター「ぱお」による日常生活の基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを提供する児童発達支援や、元麻布保育園での医療的ケア児、障害児の受入れなど、これまでも特別な支援が必要な子どもに対する支援を実施してきました。

今後はさらに、障害児に対する直接的な支援のみならず、時代や社会情勢の変化により高まっている、障害児の家族が就労できる環境整備のニーズにも対応していく必要があります。引き続き、当事者の意見や要望等を踏まえて、さらなる支援を検討していきます。

2 私立認可保育園等での上乘せ徴収による付加的な教育・保育の実施

子ども・子育て支援新制度において、保育料以外に保護者から徴収することができる費用のうち、教育・保育の質の向上を図る上で特に必要であると認められる対価について保護者に負担を求めるものは「上乘せ徴収」として整理されました（特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準（平成26年内閣府令第39条））。

しかし、利用調整による入園決定の状況下においては、保護者の園選択の自由度が高いとは言えない状況であること等を踏まえ、区ではこれまで私立認可保育園等に対して、上乘せ徴収による園独自の付加的な教育・保育（有料プログラム）の実施を認めてきませんでした。

アンケート調査結果においては、教育・保育施設を利用する世帯の38.2%が「上乘せ費用を支払ってでも教育・保育の質を向上させてほしい」という回答がありました。利用施設種別に見ると、私立認可保育園利用世帯は約4割、小規模保育事業所利用世帯は約3割が上乘せ徴収による教育・保育の質の向上を希望しています。



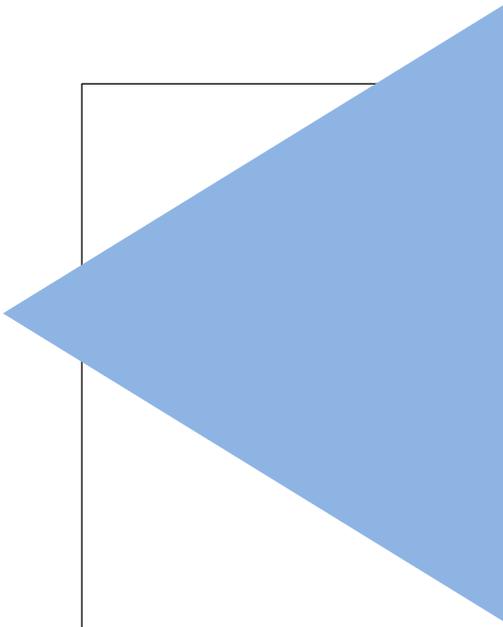
上乘せ徴収による教育・保育の質向上の希望有無

施設種別	上乘せ徴収で教育・保育の質を向上させてほしい		上乘せ徴収で教育・保育の質を向上させてほしいとは思わない	
	割合	実数	割合	実数
私立認可保育園	40.5%	375	59.5%	552
小規模保育事業所	30.6%	11	69.4%	25

また、令和3年に実施した、区内の保育運営事業者42社に対するヒアリングでは、事業者の約6割が、上乘せ徴収が認められた場合、独自のカリキュラムを実施すると回答しています。

一方で、実際に有料プログラムを実施する際には、コアタイム内において、当該有料プログラムに参加する児童と参加しない児童を、どのように分けて保育を行うかなどの運用上の課題が生じることが想定され、私立認可保育園等が有料プログラムを実施する際のルールについては、丁寧に検討することが必要です。

上記を踏まえ、費用徴収を伴う付加的な教育・保育に対する区の考え方や、私立認可保育園等が実施する際のルールの整理については、引き続き検討する課題とし、まずは、保育の質向上に関する取組を優先して実施していきます。



參考資料

1 策定に係る検討

「港区の就学前の子どもを取り巻く環境変化等を踏まえた子育て支援策」は、多様な子育て支援を所掌事項とする港区子育て支援推進会議で検討しました。また、詳細な検討のため、港区子育て支援推進会議の下に、子ども家庭支援部長を委員長とする検討委員会を設置し、策定しました。

【子育て支援推進会議構成員】

	所属
会長	子ども家庭支援部長
副会長	子ども家庭支援部子ども家庭課長
委員	麻布地区総合支所管理課長
委員	芝浦港南地区総合支所管理課長
委員	子ども家庭支援部保育政策課長
委員	子ども家庭支援部保育課長
委員	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター所長
委員	教育委員会事務局学校教育部学務課長
委員	教育委員会事務局学校教育部教育指導担当課長

※学務課長及び教育指導担当課長は、案件が教育施策に関する部分に限る。

【検討委員会構成員】

	所属
委員長	子ども家庭支援部長
副委員長	子ども家庭支援部保育政策課長
副委員長	教育委員会事務局教育推進部教育長室長
委員	麻布地区総合支所管理課長
委員	保健福祉支援部障害者福祉課長
委員	みなと保健所健康推進課長
委員	子ども家庭支援部子ども家庭課長
委員	子ども家庭支援部保育課長
委員	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター所長
委員	企画経営部企画課長
委員	教育委員会事務局学校教育部学務課長
委員	教育委員会事務局学校教育部幼児教育担当専門官

【検討経過】

開催年月日		会議体	主な検討内容
令和4年	5月23日	子育て支援推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・検討体制（検討委員会の設置） ・検討スケジュール
	6月22日	第1回検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目及び検討方法 ・検討スケジュール
	7月27日	第2回検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・内容検討
	8月17日	第3回検討委員会	
	9月2日	第4回検討委員会	
	9月12日	第5回検討委員会	
	12月1日	第6回検討委員会	
	12月16日	子育て支援推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・内容審議



第1章 調査の概要

調査の目的

幼児教育・保育の無償化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの環境変化後のニーズ等を改めて把握し、早急に子育て支援策に繋げるために、区内在住の就学前の子どもがいる全世帯を対象とした「港区の就学前児童に対する子育て支援検討に当たってのアンケート調査」(以下「アンケート調査」といいます。)を実施。

調査の概要

(1) 調査名称

港区の就学前児童に対する子育て支援検討に当たってのアンケート調査

(2) 調査主体

港区 子ども家庭支援部 保育政策課

(3) 調査対象

区内在住の就学前児童がいる全世帯 13,233世帯。なお、世帯内の就学前児童に関する問いの対象は、世帯内でもっとも年長の就学前児童(以下「調査対象児童」といいます。)とする。

(4) 調査時点及び期間

令和4年1月19日(水)～令和4年2月14日(月)

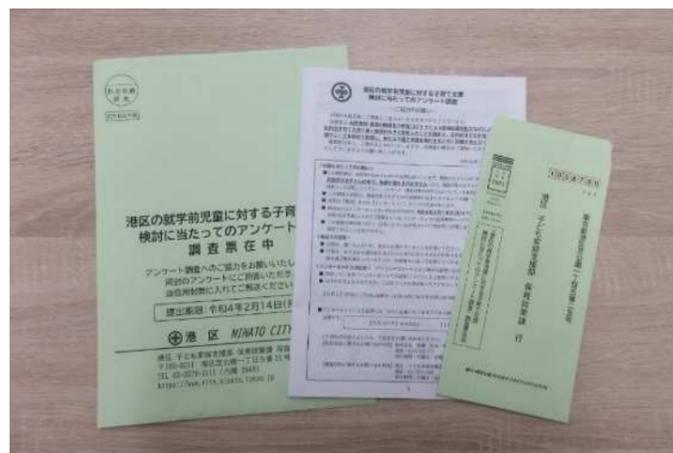
(5) 調査方法

郵送配布し、郵送又はインターネットにより回収

(6) 回収数及び回収率

有効送付数	回収数	回収率 (回収数/有効送付数)
13,233世帯	6,010世帯	45.4%

【調査用品(発送用封筒、調査票、返信用封筒)】



第2章 港区の子育て支援における10のトピック

序

人口
就学前児童人口は減少傾向にあり、コロナ禍以降で13.2%減

1

利用している教育・保育施設

3～5歳児の32.6%が幼稚園、50.1%が保育園等、12.0%がインターナショナルスクールなどの認可外保育施設・各種学校を利用

2

利用を希望する教育・保育施設

教育・保育施設を利用する世帯の14.7%が、現利用施設ではない第1希望の施設があると回答。そのうちの44.3%は、インターナショナルスクールなどの認可外保育施設・各種学校が第1希望

3

就労状況と教育・保育施設

父母共にフルタイム就労世帯の73.6%は保育園等を利用、専業主婦(主夫)世帯の78.6%は幼稚園を利用

4

認可外保育施設・各種学校

認可外保育施設・各種学校利用者のうち、87.7%は今通っている施設が第1希望の施設

5

在宅子育て家庭

在宅子育て家庭の割合は、20.7%。その多くは0歳児で、0歳児の69.8%が在宅で子育て中

6

保護者の就労状況

就学前児童の保護者の共働き率は76.3%、週あたりの平均テレワーク日数は父親が1.72日、母親が2.08日

7

国籍

就学前児童の両親がともに外国籍の世帯は2.5%。いずれかが外国籍の世帯は6.7%

8

ひとり親

就学前児童の保護者の4.2%はひとり親世帯

9

障害や発達に関する不安

就学前児童の保護者の9.0%は子どもに対して障害や発達に関する不安を持っている

10

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響

コロナ禍以降、子どもと一緒に過ごす時間が増えたと感じる世帯は、69.5%

第3章 第1 調査回答世帯の基本属性

1 住まい

約8割がマンション居住、約7割が出産前から港区居住など

2 子どもの年齢ときょうだいの数

約半数が一人っ子。約4割は2人きょうだいなど

3 両親の年齢と国籍

父親、母親の平均年齢はそれぞれ40.5歳、37.7歳。約9割が両親ともに日本国籍など

4 就労状況

父親の約9割、母親の約6割がフルタイム勤務など

5 経済状況

世帯年収でもっとも多いのは、「1,000～1,500万円未満」など

6 子どもと両親の同別居状況

父親の9割、母親の9割が、子どもと一緒に住んでいるなど

7 子どもの障害や発達に関する不安

約1割が、子どもの障害や発達に関する不安を持っているなど

8 保護者の教育・保育に対する考え方

保護者の約半数が「子どもが希望すれば留学させたい」など

第3章 第2 | 教育・保育施設を利用している世帯について

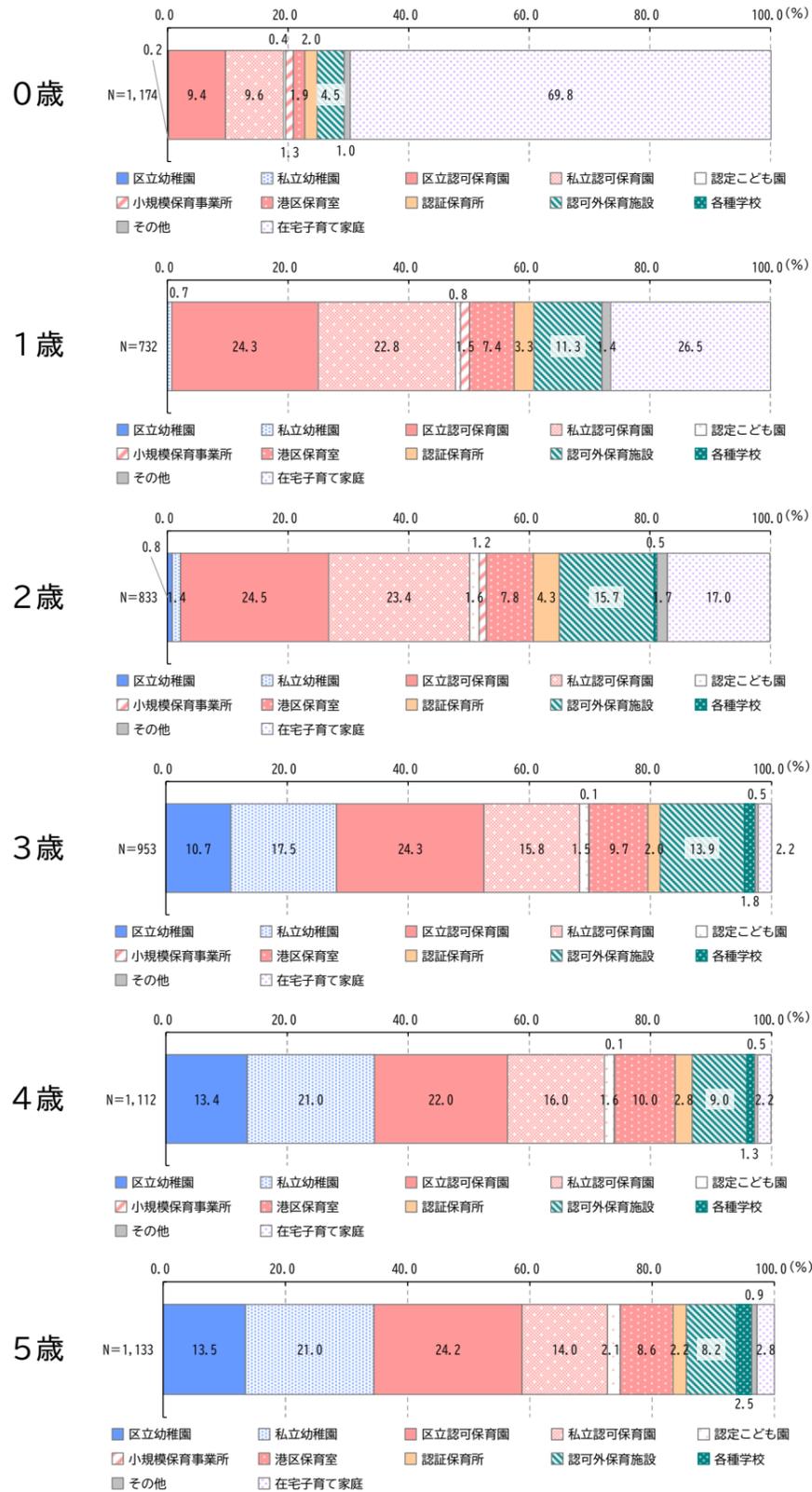
《子どもの年齢別》

現在の状況

0歳の子どもがいる世帯の約7割が在宅子育て家庭。1歳になると在宅子育て家庭は約3割に減少し、約6割が保育園等を利用ようになる。2歳では在宅子育て家庭は約2割とさらに減少し、約8割が何らかの教育・保育施設を利用ようになる。

3歳からは幼稚園利用が約3割を占めるようになる。3歳以降の保育園等利用の割合は約5割で、在宅子育て家庭は1割に満たない。

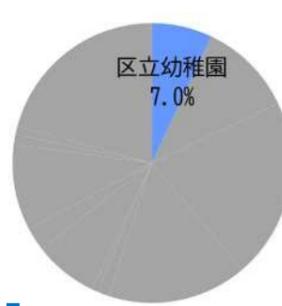
施設の利用割合（年齢別）



《利用施設別》

幼稚園利用世帯

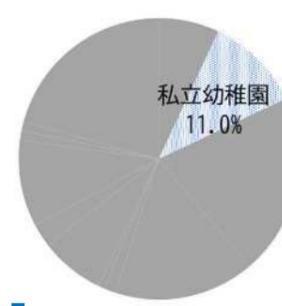
区立幼稚園【全体の7.0%】



【満足している世帯の主な理由】
小学校への進学を意識した教育内容、季節行事も多く取り入れており、子供の成長にとって良いと感じています。
【満足していない世帯の主な理由】
自転車での通園が認められていない。PTAの存在意義が不明。園児の人数が少ない。

- 母親の約8割が未就労
- 世帯年収で多いのは「1,000～1,500万円未満」
- 約7割が徒歩登園
- 選択理由で多いのが、「園庭がある」

私立幼稚園【全体の11.0%】

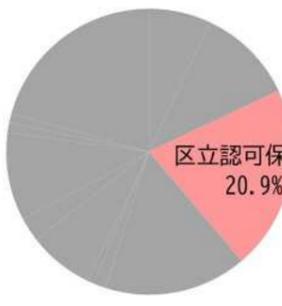


【満足している世帯の主な理由】
子どもたちの笑顔が溢れ、長年にわたるノウハウが随所に活かされている教育内容だと思います。
【満足していない世帯の主な理由】
働きながらも預けられる幼稚園ということで入園したにも関わらず、働きながらの理解が違い、フルタイムでは預けにくい幼稚園が多い。

- 母親の約6割が未就労
- 世帯年収で多いのは「1,000～1,500万円未満」
- 約2割がスクールバス登園
- 選択理由で多いのが、「カリキュラムが魅力的」

保育園等利用世帯

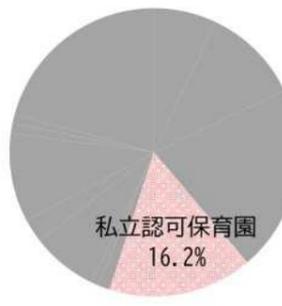
区立認可保育園【全体の20.9%】



【満足している世帯の主な理由】
園庭・プール・屋上菜園等、施設も充実しており、都会の真ん中にありながらこれ以上ない環境。
【満足していない世帯の主な理由】
もっと制作や絵画、体操、歌、その他、日によって様々なプログラムを取り入れてほしい。

- 母親の約7割が通常のフルタイム勤務
- 世帯年収で多いのは「1,000～1,500万円未満」
- 約6割が徒歩、約3割が自転車登園
- 選択理由で多いのが、「園庭がある」

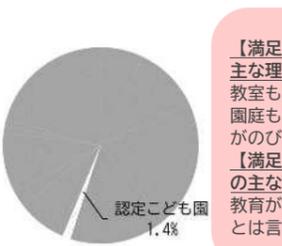
私立認可保育園【全体の16.2%】



【満足している世帯の主な理由】
先生方は若い、活気がありよい。園庭がないが、週に3回以上は公園などでしてくれるのがとてもよい。
【満足していない世帯の主な理由】
先生方は良くしてくださっていますが、すぐに先生が辞めるので目が行き届いていないこともあり、子供が我慢することが多くなっていった。

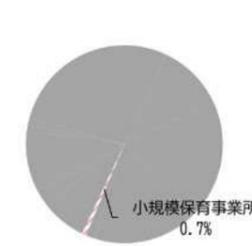
- 母親の約6割が通常のフルタイム勤務
- 世帯年収で多いのは「1,000～1,500万円未満」
- 約7割が徒歩、約2割が自転車登園
- 選択理由で多いのが、「家から近い」

認定こども園【全体の1.4%】



【満足している世帯の主な理由】
教室も広々としていて、園庭もあり、子供たちがのびのび遊べる。
【満足していない世帯の主な理由】
教育が行き届いているとは言えない。

小規模保育事業所【全体の0.7%】



【満足している世帯の主な理由】
小規模なので、きめ細かにみてもらっている実感がある。
【満足していない世帯の主な理由】
小規模であるため、同級生が少ない。

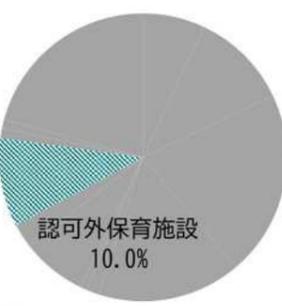
港区保育室【全体の7.4%】



【満足している世帯の主な理由】
1クラスの人数の多い環境も、子ども同士の社会性を築く上でプラスとなっている。
【満足していない世帯の主な理由】
保育園とはいえ教育に力を入れてほしい。

認可外・各種学校利用世帯

認可外保育施設【全体の10.0%】



【満足している世帯の主な理由】
国際バカロレア教育、英語教育、日本語教育に加えて、毎週の専門家によるリトミック・体操・空手・水泳教室などカリキュラムが充実している。
【満足していない世帯の主な理由】
何をしているか透明性が低い、金額が高い、子供の得意なことや好きなことにもっと焦点を当ててほしい。

- 母親の約4割が通常のフルタイム勤務、約2割が未就労
- 世帯年収で多いのは「2,000～3,000万円未満」
- 約2割がスクールバス登園
- 選択理由で多いのが、「カリキュラムが魅力的」「英語を学ばせたかった」

各種学校【全体の1.1%】



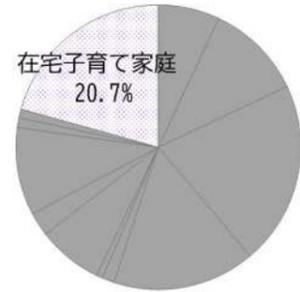
【満足している世帯の主な理由】
カリキュラムが良い。保護者と学校、保護者同士のコミュニティもあたたかい。
【満足していない世帯の主な理由】
回答なし

- 母親の約5割が通常のフルタイム勤務、約3割が未就労
- 世帯年収で多いのは「3,000～5,000万円未満」
- 約3割がスクールバス登園
- 選択理由で多いのが、「カリキュラムが魅力的」「英語を学ばせたかった」

第3章 第3～7 | 在宅子育て家庭、一時預かり事業、子どもの障害や発達に不安を持つ世帯、ひとり親・多子世帯について

在宅子育て家庭

在宅子育て家庭の基本情報【全体の20.7%】



- ▶ 在宅子育て家庭は、0歳から2歳の子どもがいる世帯に多い。
- ▶ 約9割は、主に母親が子育てを担っている。
- ▶ 約3割が、祖父母等の子育て支援を得られていない。

在宅子育て家庭の悩み

在宅子育て家庭の悩み	割合
子育ての孤独感	19.6%
子どもの集団生活への慣れ	30.1%
子どもの健康	27.0%
子どもの発達	25.8%
子どもの教育	41.7%
子育ての相談先	11.1%
その他	7.0%
悩みは特にない	29.9%

- ▶ 在宅子育て家庭の悩みは、「子どもの教育」「子どもの集団生活への慣れ」「子どもの健康」「子育ての孤独感」「子育ての相談先」が多い。

在宅子育て家庭の要望

一時預かり事業について

- 一時預かりの予約を取りやすくしてほしい。保育園に行っておらず、親と子供が病気の場合にも子を預かってくれる場所がほしい。0歳の子の世話をする気力、体力がない中で義実家など他に頼る所がなかった時、子を連れて病院にも行けず、このまま家で倒れたらと恐怖でした。

子育てひろばについて

- 子育てひろばやママサロンを増やしてほしい。

ファミリー・サポート・センター事業について

- ファミサポを利用したいですが、相手が見つからず利用できません。

産前産後家事・育児支援事業について

- 妊娠前後の家事代行支援サービスに関して充実しており、大変ありがたかった。ただ、産後4ヶ月で終わってしまうため、子供が1歳になるまで支援の期間を延長してもらえるとありがたい。

母子保健事業について

- みなと母子手帳アプリが使いにくい。ホームページのリンクへ飛ぶのではなくてアプリ内で完結するのが理想。

一時預かり事業

一時預かり事業の基本情報

- ▶ 調査回答世帯の12.4%が、一時預かり事業を利用。
- ▶ 一時預かり事業利用世帯の約6割が、0歳から2歳の子どもがいる世帯。
- ▶ 専業主婦（主夫）世帯、ひとり親世帯は、共働き世帯よりも一時預かり事業を利用している割合が高い。
- ▶ 在宅子育て家庭は、教育・保育施設を利用する世帯よりも一時預かり事業を利用している割合が高い。

一時預かり事業の利用状況

- ▶ 過去1年間の利用日数について、教育・保育施設利用世帯は平日休日ともに平均10日。在宅子育て家庭は平日15日、休日は4日。
- ▶ 1回あたりの平均利用時間は、施設利用世帯で約5時間、在宅子育て家庭で約4時間。
- ▶ 利用世帯の約4割が一時預かりをもっと多くの日数で利用したかったと回答。特に0歳から2歳でその傾向が強い。
- ▶ 利用世帯の約3割がもっと多くの時間数で利用したかったと回答。

一時預かり事業への要望

子育てひろば あっぴいについて

- あっぴいの一時あずかりが常に1か月前から満杯の状態なので、急な仕事などのイレギュラーな際には利用できないので不便を感じます。

みなと子育て応援プラザ Pokke について

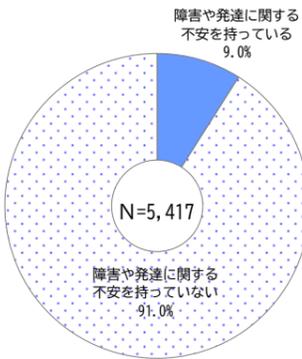
- Pokke もあっぴいみたいにネットで予約できたら助かる。

子育てひろば あい・ぽーとについて

- あい・ぽーとで予約を取ろうとした時、希望日を3つあげましたが、1つも取れませんでした。

子どもの障害や発達に不安を持つ世帯

子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の基本情報



- ▶ 調査回答世帯の9.0%が、子どもに障害や発達に関する不安を持っている。
- ▶ 不安内容は、不安を持つ世帯の約4割が言語発達、約3割が多動や衝動性等行動、コミュニケーション、発達障害、約2割が運動発達。
- ▶ 不安を持つ世帯の3.5%が身体障害者手帳、5.8%が愛の手帳、0.2%が精神障害者保健福祉手帳を所持。

子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の施設利用

障害発達不安有無	障害や発達の不安あり	障害や発達の不安なし
	割合	割合
施設利用世帯	9.1%	90.9%

- ▶ 教育・保育施設を利用する世帯の9.1%が、子どもに障害や発達に関する不安を持っている。
- ▶ 認可保育園等の障害児・個別配慮児の数は近年増加傾向にある。

子どもに障害や発達に関する不安を持つ世帯の要望

児童発達支援センター「ばお」について

- 現在定期的に「ばお」に通所しているが、もっと通える日数が多ければと思う。またもう少し早く手続きが進むとスムーズに療育を受けられる人が増えるのではと思う。

元麻布保育園について

- 元麻布保育園の障害児クラスに通わせたいが、送迎が出来ずに通えない子供が多い。

障害児に対する就学・教育について

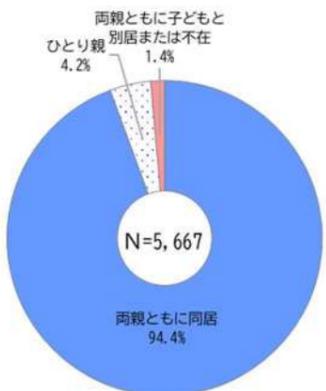
- 発達障害を持った子供達の教育支援サービスをもっと充実させて欲しい。

移動支援サービスについて

- 移動支援などをもっと予約がとれるようにしてくれたら嬉しいです。

ひとり親世帯・多子世帯

ひとり親世帯の基本情報



- ▶ 調査回答世帯の4.2%がひとり親世帯。
- ▶ ひとり親世帯になった理由は、「死亡、離婚、未婚」が約8割、「別居」が約2割。
- ▶ ひとり親世帯の9割以上が母子世帯。
- ▶ ひとり親世帯の約7割がいわゆる一人っ子。
- ▶ ひとり親世帯の保護者の約6割が「会社員など雇用契約による就労」。約7割が産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- ▶ 世帯年収は、「200万円未満」「1,000～1,500万円未満」がもっとも多い。

ひとり親世帯の要望

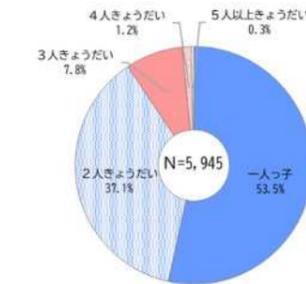
エンジョイ・セレクト事業について

- 港区はエンジョイ・セレクト事業など、子育て世帯に寄り添って行っている区だとも思います。しかしこれ以上に保護者が必要とする支援はあり、事業者と連携し新たな取り組みをどんどん進めて欲しいです。

ひとり親ホームヘルプサービスについて

- ひとり親家庭ホームヘルプサービスを利用しています。コロナ禍で、在宅勤務になったため、ホームヘルプサービスでシッティングして頂く際に、家の中でのシッティングというルールがありますが、状況に合わせて、散歩や外遊びなど、外でのシッティングも可能にして頂けないでしょうか。

多子世帯の基本情報



- ▶ 調査回答世帯の46.4%が、2人以上のきょうだいがいる世帯。
- ▶ 2人以上のきょうだいがいる世帯の父親の平均年齢は41.4歳、母親の平均年齢は38.8歳。

多子世帯の要望

移動に関する支援について

- 複数の子供を持つ場合、通院等で困難がある。多くの荷物を持つ移動など、困難さを軽減できるようなサービスがあると良いと思う。

その他の支援について

- 一時保育、病児保育の充実。3人の未就学児を保育施設に入れながら就業していたが、誰か1人でも風邪をひいたりすると順次うつっていく、遠方の両親にサポートを依頼することもあった。コロナ禍の現在、高齢の両親に依頼することも出来ず、仕事を休まざるを得ないこともある。

港区の就学前児童に対する 子育て支援検討に当たっての アンケート調査報告書

令和5年（2023年）2月

港区

目次

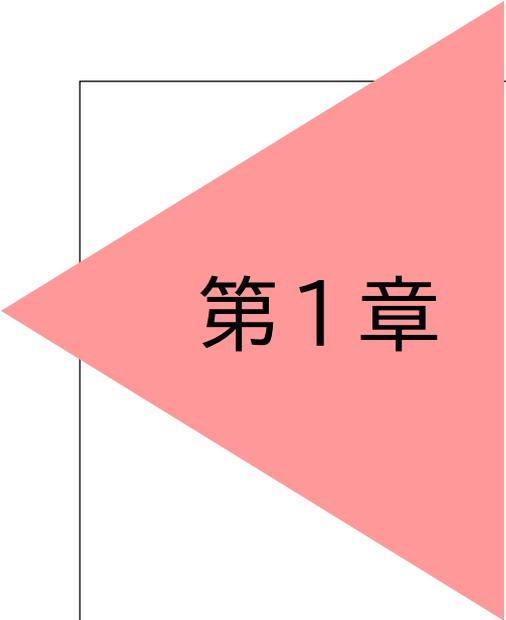
第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の概要	3
第2章 港区の子育て支援における10のトピック	5
序 人口	7
1 利用している教育・保育施設	8
2 利用を希望する教育・保育施設	9
3 就労状況と教育・保育施設	10
4 認可外保育施設・各種学校	11
5 在宅子育て家庭	12
6 保護者の就労状況	13
7 国籍	14
8 ひとり親	15
9 障害や発達に関する不安	16
10 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響	17
第3章 調査結果の分析	19
第1 調査回答世帯の基本属性	21
1 住まい	21
2 子どもの年齢ときょうだいの数	25
3 両親の年齢と国籍	27
4 就労状況	29
5 経済状況	32
6 子どもと両親の同別居状況	33
7 子どもの障害や発達に関する不安	35
8 保護者の教育・保育に対する考え方	36
第2 教育・保育施設を利用している世帯について	38
1 年齢別の利用状況	38
(1) 現在の状況	38
(2) 過去との比較	41
(3) 0歳児がいる世帯	44
(4) 1歳児がいる世帯	46
(5) 2歳児がいる世帯	48
(6) 3歳児がいる世帯	50
(7) 4歳児がいる世帯	52
(8) 5歳児がいる世帯	54
(9) 3歳児クラス進級時の施設選択	56

2	施設種別の利用状況	58
(1)	区立幼稚園利用世帯	58
(2)	私立幼稚園利用世帯	64
(3)	区立認可保育園利用世帯	70
(4)	私立認可保育園利用世帯	76
(5)	認定こども園利用世帯	82
(6)	小規模保育事業所利用世帯	88
(7)	港区保育室利用世帯	94
(8)	認証保育所利用世帯	100
(9)	認可外保育施設利用世帯	106
(10)	各種学校利用世帯	112
第3	在宅子育て家庭について	118
1	在宅子育て家庭の状況	118
(1)	在宅子育て家庭の基本情報	118
2	在宅子育て家庭の要望	121
(1)	在宅子育て家庭の悩み	121
(2)	在宅子育て家庭の要望	122
第4	一時預かり事業について	125
1	一時預かり事業利用世帯の状況	125
(1)	一時預かり事業利用世帯の基本情報	125
(2)	一時預かり事業の利用状況	127
2	一時預かり事業への要望	130
(1)	一時預かり事業の未利用理由	130
(2)	一時預かり事業への要望	131
第5	子どもの障害や発達に不安を持つ世帯について	135
1	子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の状況	135
(1)	子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の基本情報	135
(2)	子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の施設利用	136
2	子どもに障害や発達に関する不安を持つ世帯の要望	137
第6	ひとり親世帯について	143
1	ひとり親世帯の状況	143
(1)	ひとり親世帯の基本情報	143
2	ひとり親世帯の要望	147
第7	多子世帯について	148
1	多子世帯の状況	148
(1)	多子世帯の基本情報	148
2	多子世帯の要望	151

第4章 基本集計結果	153
第1 基本集計	155
参考資料	207
第1 調査票	209

本書の見方

- | |
|---|
| <p>① 本書に記載している回答比率は、アンケート調査の各設問の回答者数を母数とした百分率（％）で示している。百分率（％）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、比率の合計が100％を前後する場合がある。</p> <p>② 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100％を超える。</p> <p>③ 図表内のNは、回答の合計数である。例えば、N=1,009の場合、回答数は1,009となる。</p> <p>④ アンケート調査の回答数は、回答された内容に関わらず、回答された通りに計上している。例えば、区内に施設のスクールバスを有する私立認可保育園はないが、登園方法として施設のスクールバスを選択している回答も調整することなくそのまま計上している。</p> <p>⑤ 掲載している自由回答は、寄せられた回答の一部を抜粋している。回答内容は、原則として原文のまま掲載しているが、回答者の特定を避けること等を目的として、趣旨を変えずに文言等を修正している場合がある。</p> |
|---|

A red triangle pointing to the left, partially overlapping the top-left corner of the page's main content area.

第1章

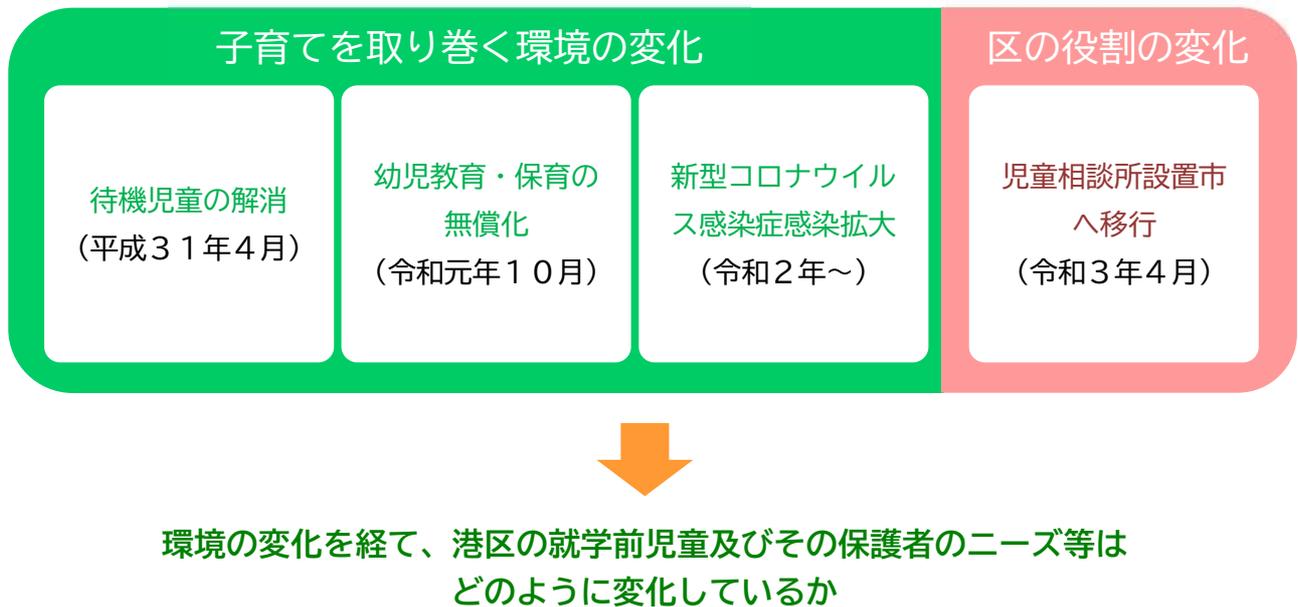
調査の概要

1 調査の目的

近年、幼児教育・保育の無償化等の子育て支援に関する大きな制度改革、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が社会生活に及ぼす様々な影響、区の児童相談所設置市への移行、区における待機児童ゼロの達成・継続など、区内の就学前の子どもを取り巻く環境が大きく変化しました。

環境変化に伴い、就学前の子どもがいる世帯が持つニーズや課題も従前とは変わってきており、新たな子育て支援策の必要性が生じています。

こういった状況を踏まえ、環境変化後のニーズ等を改めて把握し、早急に子育て支援策に繋げるために、区内在住の就学前の子どもがいる全世帯を対象とした「港区の就学前児童に対する子育て支援検討に当たってのアンケート調査」（以下「アンケート調査」といいます。）を実施しました。



2 調査の概要

(1) 調査名称

港区の就学前児童に対する子育て支援検討に当たってのアンケート調査

(2) 調査主体

港区 子ども家庭支援部 保育政策課

(3) 調査対象

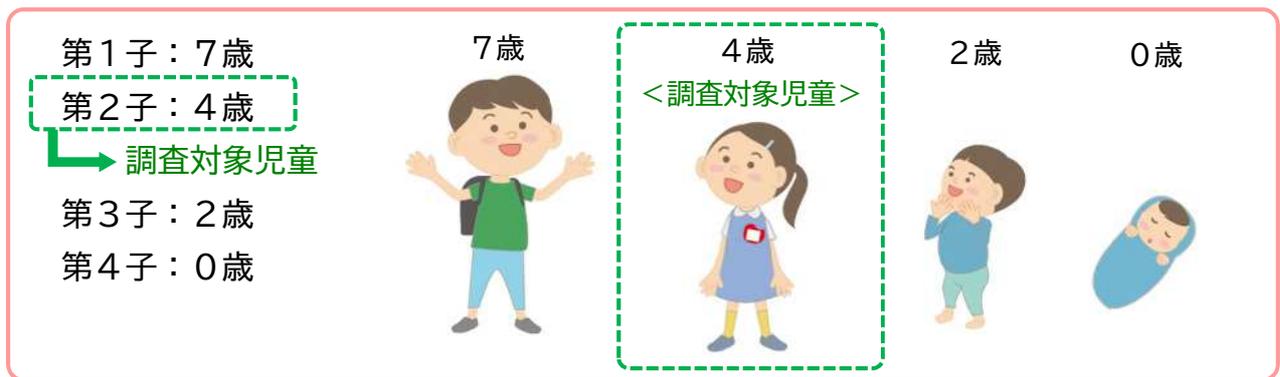
区内在住の就学前児童がいる全世帯 13, 233世帯

なお、世帯内の就学前児童に関する問いの対象は、世帯内でもっとも年長の就学前児童（以下「調査対象児童」といいます。）とする。

第1章 調査の概要

【調査対象児童について】

例：世帯内の児童が7歳、4歳（調査対象児童）、2歳、0歳の4人きょうだいの場合



(4) 調査時点及び期間

令和4年1月19日（水）～令和4年2月14日（月）

(5) 調査方法

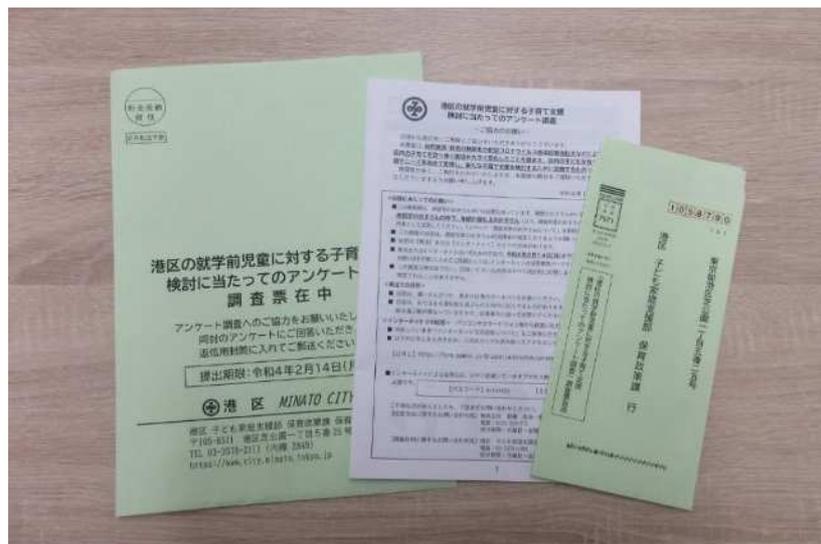
郵送配布し、郵送又はインターネットにより回収

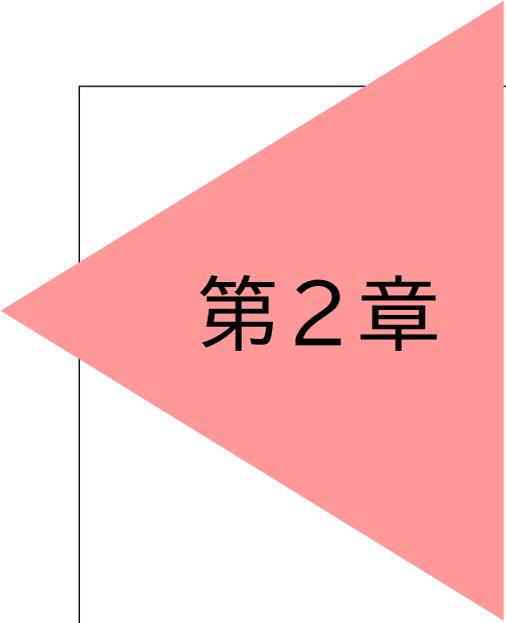
(6) 回収数及び回収率

送付数	有効送付数※	回収数	回収率 (回収数/有効送付数)
13,536 世帯	13,233 世帯	郵 送：2,296 世帯 インターネット：3,714 世帯 合 計：6,010 世帯	45.4%

※転居等の理由で返送された調査票を除いた数。

【調査用品（発送用封筒、調査票、返信用封筒）】





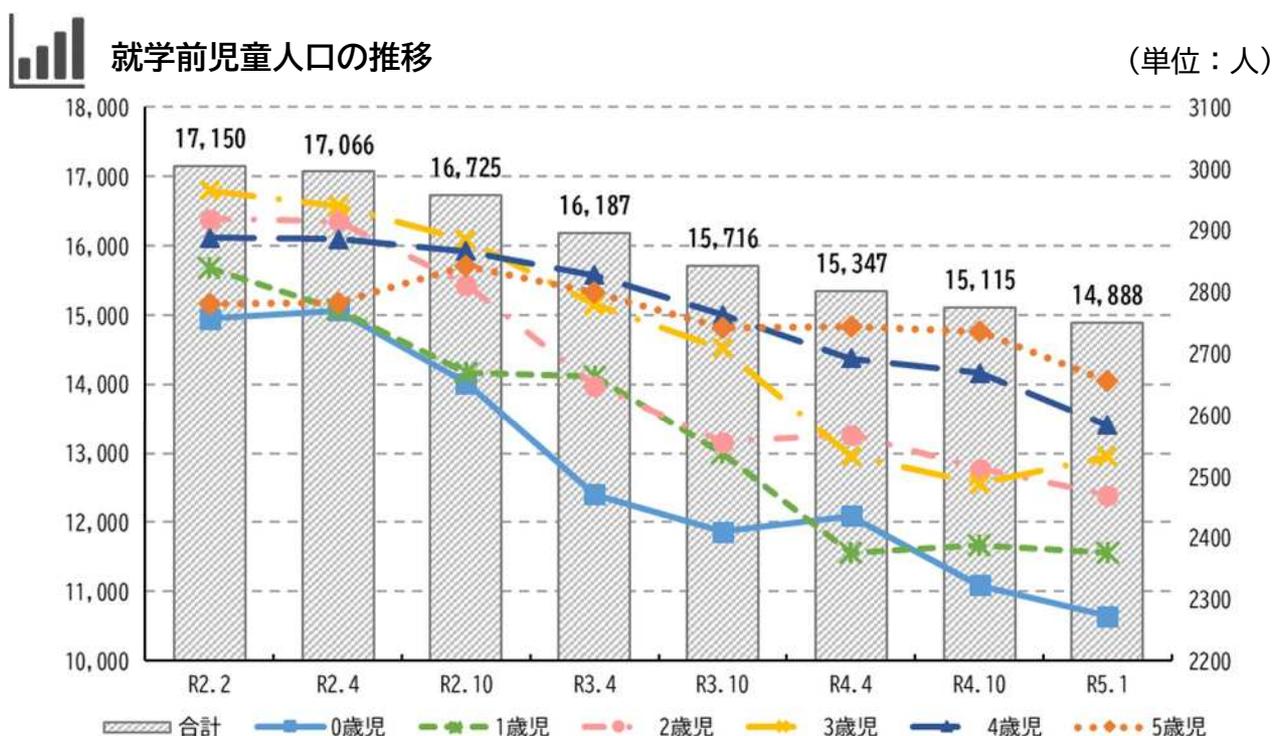
第2章

港区の子育て支援における 10のトピック

序 人口

就学前児童人口は減少傾向にあり、コロナ禍以降で 13.2%減

近年、右肩上がり伸び続けていた港区の就学前児童人口（0～5歳）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、令和2年2月（17,150人）をピークに減少に転じ、令和5年1月には14,888人となりました。令和2年2月と比較すると、令和5年1月は13.2%の減となっており、現在も減少傾向にあります。



就学前児童人口と調査回答世帯数

年齢	人口 (R2年2月)	人口 (R5年1月)	変化率 (R2.2→R5.1)	調査回答 世帯数
0歳児	2,757	2,273	-17.6%	1,181
1歳児	2,840	2,375	-16.4%	732
2歳児	2,919	2,469	-15.4%	836
3歳児	2,965	2,532	-14.6%	957
4歳児	2,888	2,583	-10.6%	1,118
5歳児	2,781	2,656	-4.5%	1,138
無回答				48
合計	17,150	14,888	-13.2%	6,010

出典：住民基本台帳 ※調査回答世帯数の年齢はクラス年齢

1 利用している教育・保育施設

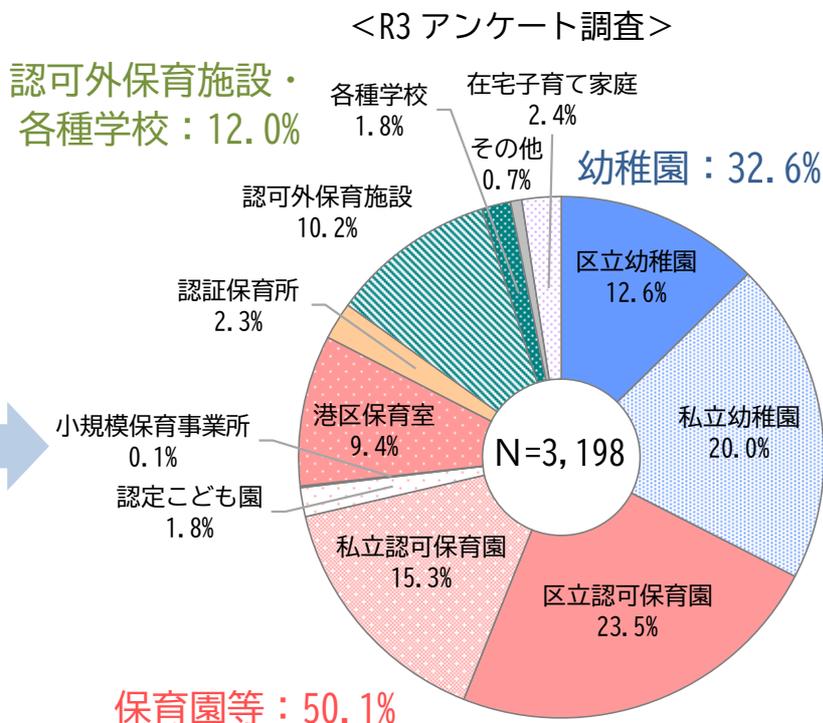
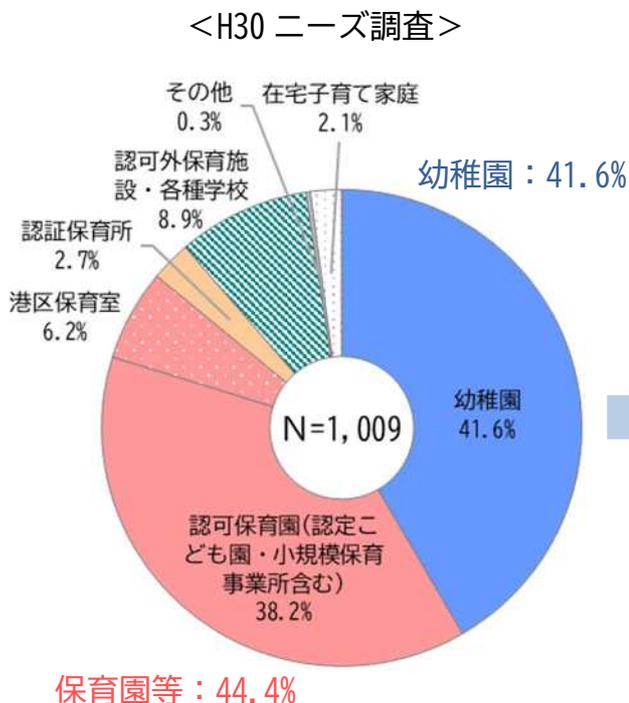
3～5歳児の**32.6%**が幼稚園、**50.1%**が保育園等、**12.0%**がインターナショナルスクールなどの認可外保育施設・各種学校を利用

幼稚園等が入園可能になる3～5歳児の利用施設割合を、平成30年度のデータと比較すると、幼稚園利用者が41.6%から32.6%に減少しています。

保育園等（認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室）は44.4%から50.1%に増加、認可外保育施設・各種学校は8.9%から12.0%に増加しており、データ上は、幼稚園からこれらの施設種別に利用が移っていると読み取れます。

なお、保育園等の利用施設割合の増加については、平成31年4月待機児童解消以降、保育園等に入園しやすくなったことが要因のひとつと考えられます。

 利用施設割合（3～5歳児）



—H30 ニーズ調査について—
 調査名称：港区子ども・子育て支援ニーズ調査
 調査期間：平成30年11月15日～12月3日
 配布数：小学校入学前児童の保護者5,000人
 回収数：2,203人 回収率：44.1%

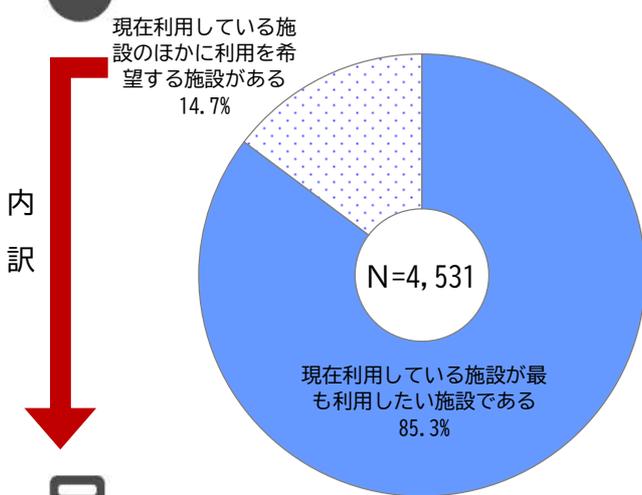
2 利用を希望する教育・保育施設

教育・保育施設を利用する世帯の**14.7%**が、現利用施設ではない第1希望の施設があると回答

そのうちの**44.3%**は、インターナショナルスクールなどの認可外保育施設・各種学校が第1希望

現在、教育・保育施設を利用する世帯の85.3%が、第1希望の施設に通えている一方、14.7%の世帯は現利用施設とは別に第1希望の施設があると回答しています。別の第1希望の施設の44.3%はインターナショナルスクールなどの認可外保育施設・各種学校です。

教育・保育施設利用者が本来利用を希望する施設



- 第1希望に挙げられた主な施設 —
- <認可外保育施設>
 ロースインターナショナルスクール
 キッズガーデン南青山 など
 - <各種学校>
 東京インターナショナルスクール
 西町インターナショナルスクール など

(例)「現在利用している施設のほかに利用を希望する施設がある」区立保育園現利用者のうち、第1希望施設を認可外・各種学校と回答した割合が52.8%

現在利用している施設×もっとも利用を希望する施設

利用希望 現利用	区立幼	私立幼	区立保	私立保	こども園	小規模	保育室	認証	認可外	各種学校	その他	合計
区立幼	2.4%	17.1%	26.8%	2.4%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	41.5%	0.0%	4.9%	100.0%
私立幼	5.6%	7.4%	5.6%	5.6%	7.4%	3.7%	1.9%	5.6%	42.6%	3.7%	11.1%	100.0%
区立保	6.3%	13.9%	11.8%	1.4%	6.9%	0.0%	0.0%	0.7%	49.3%	3.5%	6.3%	100.0%
私立保	10.7%	16.8%	15.4%	3.4%	6.0%	0.7%	1.3%	0.7%	38.3%	0.7%	6.0%	100.0%
こども園	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100.0%
小規模	10.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	10.0%	100.0%
保育室	11.1%	9.5%	25.4%	6.3%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	1.6%	3.2%	100.0%
認証	3.4%	6.9%	24.1%	13.8%	6.9%	0.0%	0.0%	3.4%	34.5%	3.4%	3.4%	100.0%
認可外	4.2%	2.8%	18.1%	8.3%	4.2%	2.8%	1.4%	1.4%	41.7%	11.1%	4.2%	100.0%
各種学校	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	100.0%
その他	9.1%	0.0%	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	7.2%	11.7%	16.3%	5.0%	6.4%	0.9%	0.9%	1.4%	41.2%	3.1%	6.0%	100.0%

44.3%

3 就労状況と教育・保育施設

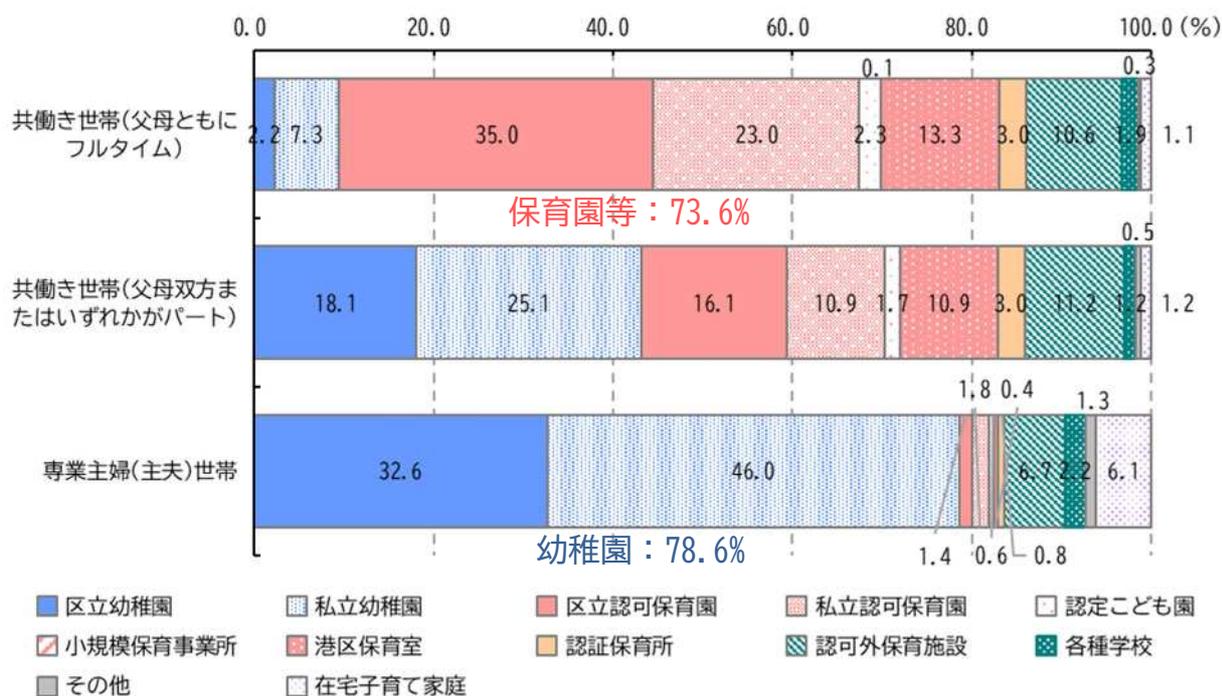
父母共にフルタイム就労世帯の**73.6%**は保育園等を利用、専業主婦(主夫)世帯の**78.6%**は幼稚園を利用

保護者の就労状況が、施設選択における重要な要素となっていることは従前と変わりません。共働きの世帯は、保育時間の長い保育園等を利用する傾向があり、特に父母共にフルタイムで就労する世帯の73.6%は保育園等を利用しています。一方、父母のいずれかが就労する専業主婦(主夫)世帯では、幼稚園の利用が多く、78.6%を占めています。

共働き世帯からは、幼稚園の保育時間の短さが、共働き世帯の幼稚園利用のネックになっているとの意見も寄せられています。

なお、父母の就労状況に関わらず、インターナショナルスクールなどの認可外保育施設・各種学校を利用する世帯が1割程度存在します。

 就労状況と利用施設種別 (3~5歳児)



※共働き世帯(父母共にフルタイム)には、ひとり親のフルタイム含む。

※共働き世帯(父母双方またはいずれかがパート)には、ひとり親のパートタイム含む。



- ・ 幼稚園は預かり時間が短いため、保育園を選んだ。教育内容を考えると、本心では幼稚園へ通わせたい。(共働き/私立保育園利用/40代母親)
- ・ 帰国子女で、継続して英語を学ばせたくてインターナショナルスクールを選んだ。また、保育園よりも教育内容が優れており、幼稚園よりも預かり時間が長いことも理由。(共働き/認可外利用/30代母親)

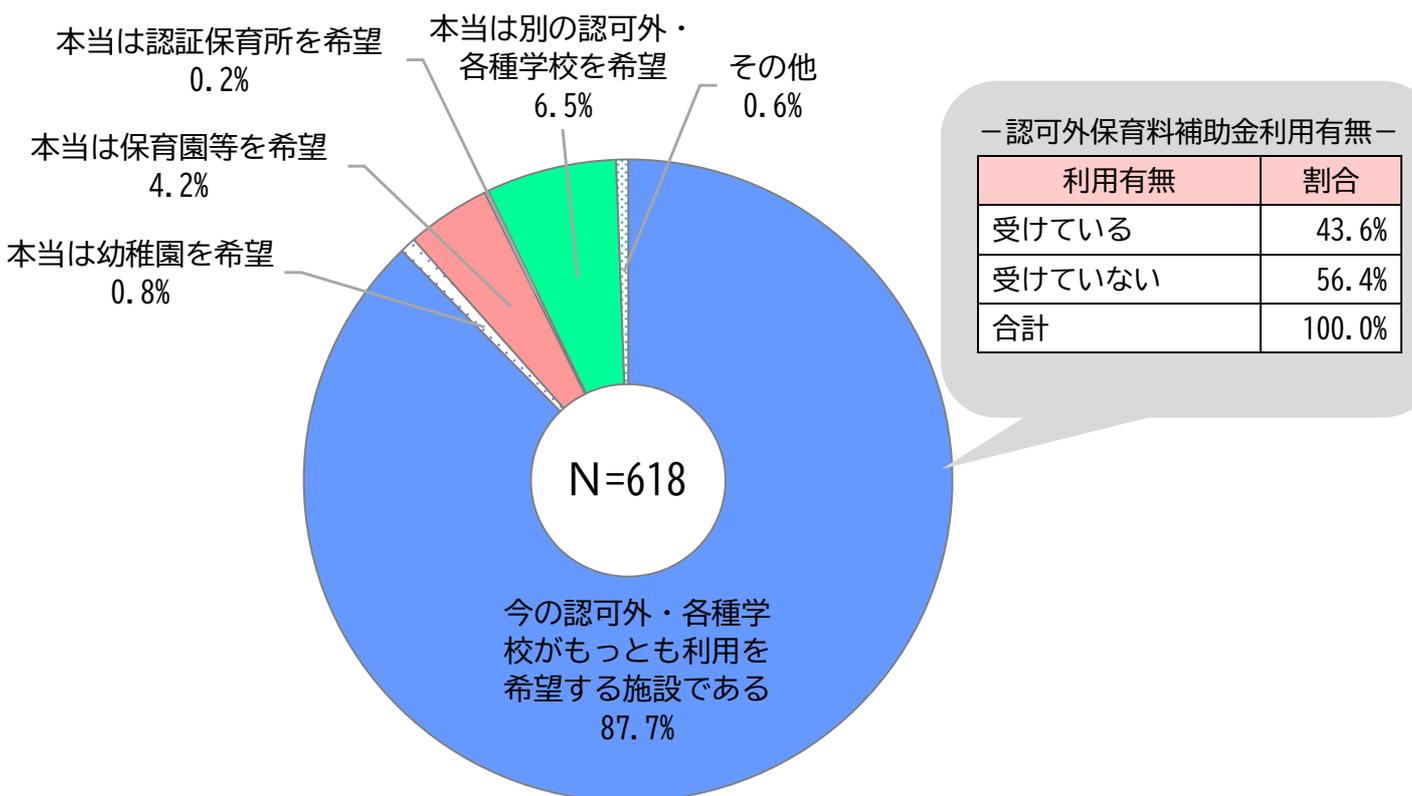
4 認可外保育施設・各種学校

認可外保育施設・各種学校利用者のうち、87.7%は今通っている施設が第1希望の施設

認可外保育施設・各種学校利用者の87.7%は、今通っている施設が第1希望の施設だったと回答しており、認可保育園等に入れずにやむを得ず認可外保育施設・各種学校に通っている世帯は極めて少ないのが現状です。また、認可外保育施設・各種学校を第1希望とする世帯のうち、43.6%が認可外保育施設保育料補助金を受けています。

利用者の多くは、インターナショナルスクールなどの認可外保育施設・各種学校を選んだ理由として、「英語を学ばせたかったから」「カリキュラムが魅力的だから」を挙げており、保護者からは主に教育カリキュラムの内容で評価されていることがわかります。

 今通っている施設以外の利用希望有無（認可外・各種学校）



- ・ インターナショナルスクールは、教育カリキュラムや施設が充実しており、金額は高いが、のびのびと子供を育てるには良い環境だと考えた。（専業主婦（主夫）/認可外利用/30代母親）
- ・ 認可保育園は、園庭や給食もあり魅力的だが、全体主義というか集団主義なところが気になった。（共働き/認可外利用/30代母親）

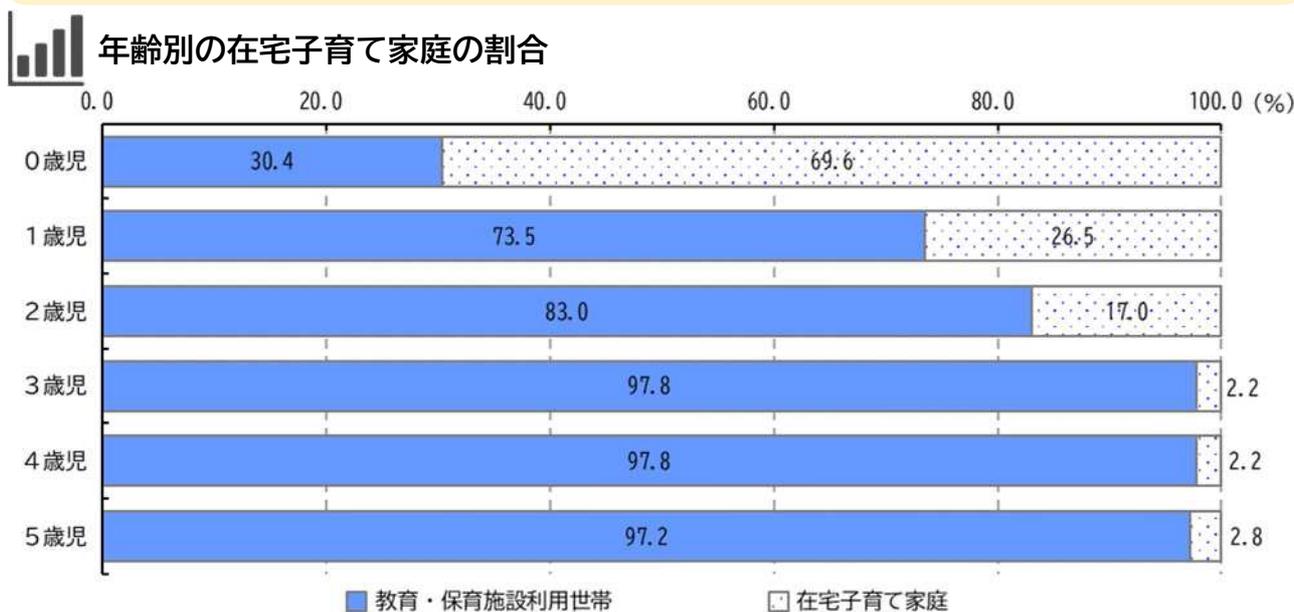
5 在宅子育て家庭

在宅子育て家庭の割合は、**20.7%**

その多くは0歳児で、0歳児の**69.8%**が在宅で子育て中

港区全体での在宅子育て家庭の割合は20.7%ですが、年齢別に見ると、そのほとんどが0歳児となっています。

平成30年度のデータと比較すると、0歳児の在宅子育て割合は73.1%から69.8%にやや減少していますが、1歳児以降は育児休業が明けて在宅子育て割合が激減するなど、全体の傾向は変わりません。0歳児の在宅子育て割合の減少理由としては、平成31年4月待機児童解消以降、保育園等に入園しやすくなったことなどが考えられます。



年齢別の在宅子育て家庭の割合

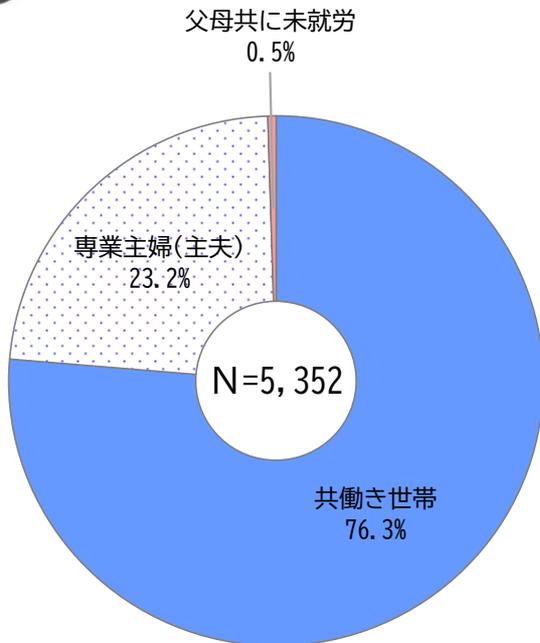
クラス年齢	教育・保育施設利用世帯		在宅子育て家庭		合計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
0歳児	357	30.4%	819	69.6%	1,176	100.0%
1歳児	538	73.5%	194	26.5%	732	100.0%
2歳児	693	83.0%	142	17.0%	835	100.0%
3歳児	936	97.8%	21	2.2%	957	100.0%
4歳児	1,093	97.8%	25	2.2%	1,118	100.0%
5歳児	1,105	97.2%	32	2.8%	1,137	100.0%
合計	4,722	79.3%	1,233	20.7%	5,955	100.0%
0歳児(H30調査)	134	26.9%	365	73.1%	499	100.0%
1歳児(H30調査)	234	74.3%	81	25.7%	315	100.0%

6 保護者の就労状況

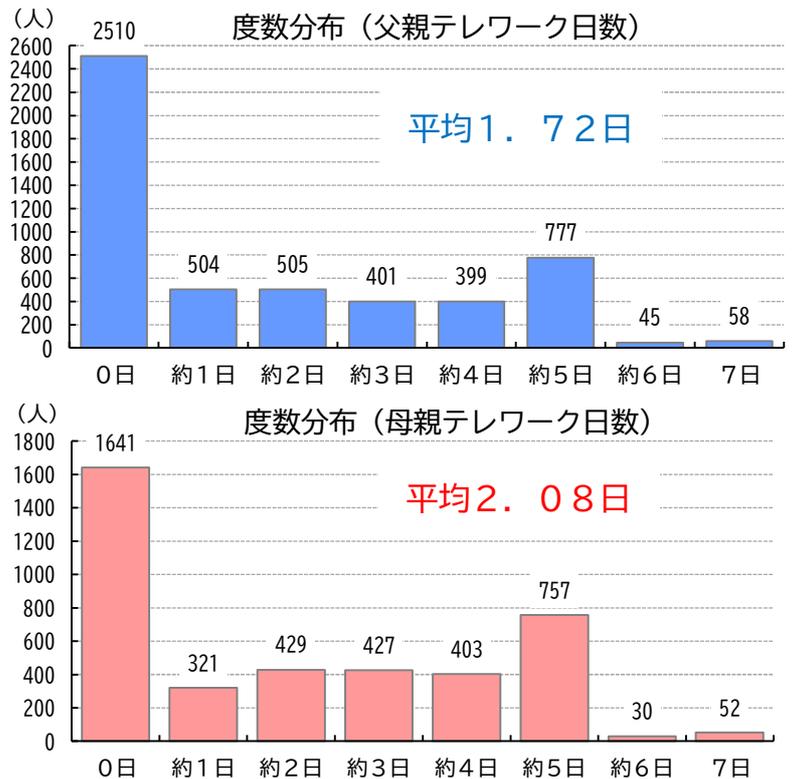
就学前児童の保護者の共働き率は**76.3%**、週あたりの平均テレワーク日数は父親が**1.72日**、母親が**2.08日**

港区内の就学前児童の保護者の共働き率は76.3%です。テレワーク日数や育児系休暇等取得割合は、父親よりも母親が高い状況です。

 就学前児童がいる世帯の就労状況



 週あたりのテレワーク日数



共働き世帯の育児系休暇等取得状況

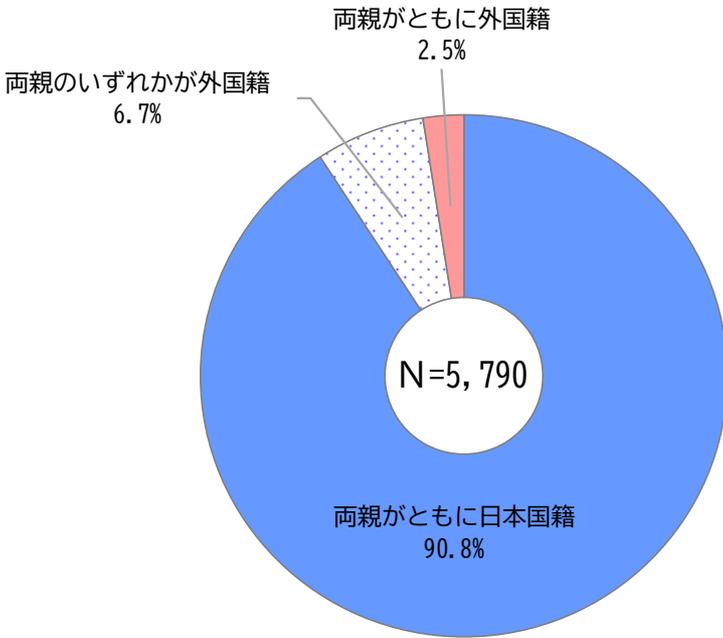
	父親			母親		
	通常勤務	産休・育休・介護休業中	育児短時間勤務中	通常勤務	産休・育休・介護休業中	育児短時間勤務中
0歳児	94.1%	2.6%	3.2%	32.1%	59.2%	8.7%
1歳児	96.1%	0.2%	3.7%	61.1%	24.6%	14.3%
2歳児	95.9%	1.1%	3.0%	69.6%	17.6%	12.7%
3歳児	97.1%	0.2%	2.7%	74.0%	14.5%	11.5%

7 国籍

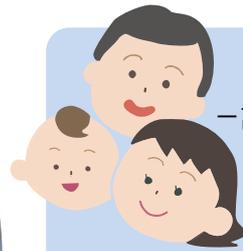
就学前児童の両親がともに外国籍の世帯は **2.5%**
 いずれかが外国籍の世帯は **6.7%**

就学前児童がいる世帯の約1割弱は、両親のいずれかまたはともに外国籍の世帯です。外国籍の両親がいる世帯は、両親がともに日本国籍の世帯よりも、英語が通じるインターナショナルスクールなどの認可外保育施設・各種学校を利用する割合が高い傾向にあります。

就学前児童の両親の国籍



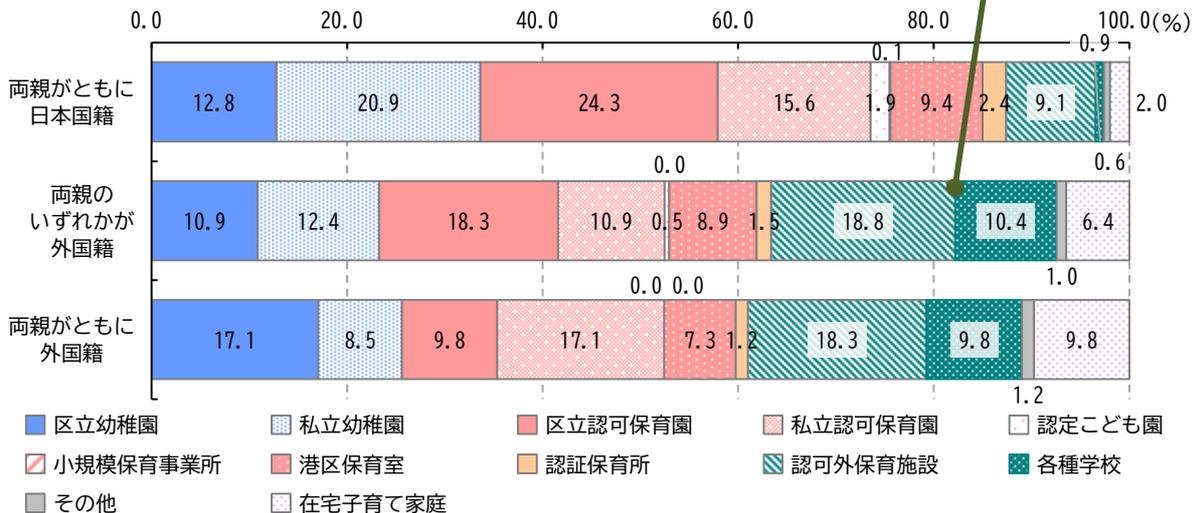
—世帯数に換算すると—
 就学前児童がいる全世帯：13,233世帯(調査対象)
 <内訳>
 両親ともに日本国籍：12,017世帯
 両親いずれかが外国籍：889世帯
 両親ともに外国籍：327世帯



—認可外・各種学校の選択理由—
 (両親に外国籍がいる世帯)

- ・ インターナショナルスクールで父親の国の言語を学ばせたかった。(父外国籍/認可外利用/40代母親)
- ・ 語学教育、海外大学への進学を見据えて施設を選んだ。(母外国籍/各種学校利用/40代父親)

国籍別の利用施設種別 (3～5歳児)

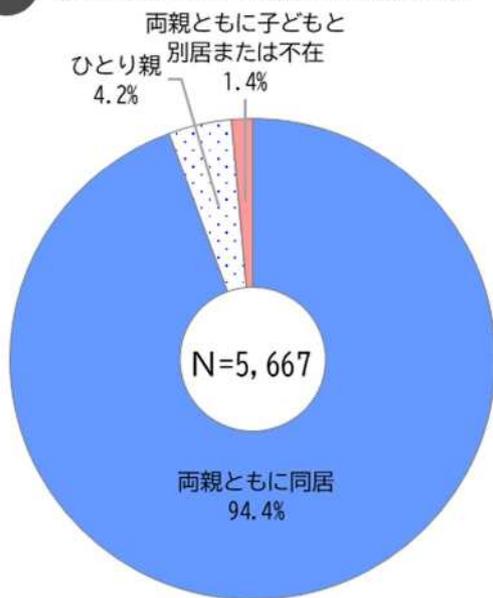


8 ひとり親

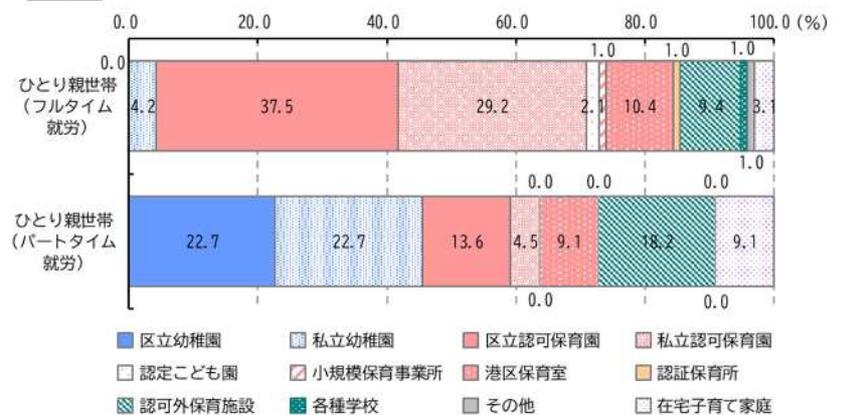
就学前児童の保護者の4.2%はひとり親世帯

港区の就学前児童がいる世帯のうち、4.2%はひとり親世帯です。また、1.4%は両親ともに子どもと別居または不在の世帯となっています。

就学前児童と両親の同居状況



就労状況と利用施設種別（ひとり親・3～5歳児）



度数分布（ひとり親世帯テレワーク日数）



※「両親ともに同居」には単身赴任等一時的な別居を含む。

－世帯数に換算すると－
 就学前児童がいる全世帯：13,233世帯（調査対象）
 <内訳>
 両親ともに同居：12,486世帯
 ひとり親：558世帯
 両親ともに子どもと別居または不在：189世帯

－ひとり親世帯の区に対する要望等－

- ひとり親のため、「エンジョイ・セレクト事業」などを利用させていただいております。コロナ禍で収入も大幅に減っているため、このサービスは我が家の食を補う貴重なものとなっており、大変助かっています。（ひとり親/30代母親）
- 「ひとり親家庭ホームヘルプサービス」でベビーシッターを利用しています。家の中でのシッティングというルールがありますが、コロナ禍で在宅勤務になったため、散歩や公園での外遊びなど、外でのシッティングも可能にして頂けないでしょうか。（ひとり親/40代母親）



9 障害や発達に関する不安

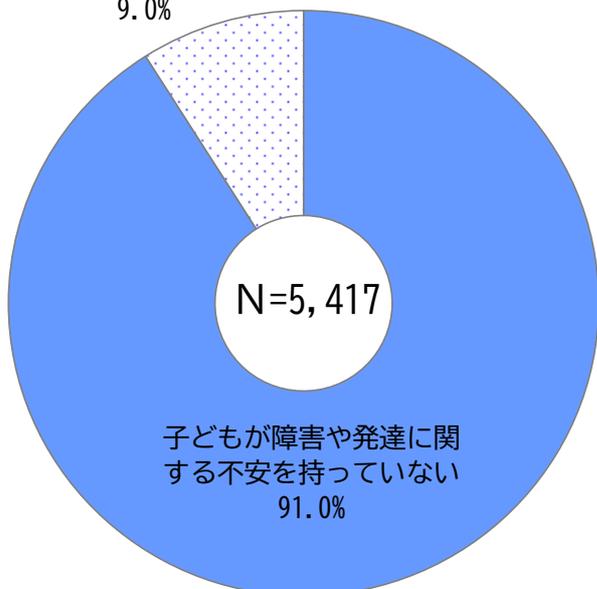
就学前児童の保護者の9.0%は子どもに対して障害や発達に関する不安を持っている

港区の就学前児童の保護者のうち、9.0%は子どもに対して障害や発達に関する何らかの不安を持っています。不安内容としては、言語発達に関する不安が40.2%と最も高く、多動やコミュニケーション、発達障害に関する不安も高い割合を示しています。

子どもの障害や発達に関する不安

子どもが障害や発達に関する不安を持っている

9.0%



—世帯数に換算すると—
就学前児童がいる全世帯:13,233世帯(調査対象)
<内訳>
障害・発達の不安なし:12,038世帯
障害・発達の不安あり:1,195世帯



—区に対する要望等—
(障害児がいる世帯)

- ・ 楽器や運動など習いたいですが、先生とのコミュニケーションが難しい為、普通の子と一緒に学ぶ事が難しい。障害のある子どもの習い事が出来る施設を作って欲しい。(40代母親)



子どもの障害や発達に関する不安の内容（設問は複数回答）

不安内容	割合
言語発達に関する不安	40.2%
多動や衝動性等行動に関する不安	34.2%
対人関係等コミュニケーションに関する不安	31.5%
発達障害	26.3%
運動発達に関する不安	20.6%
未熟児、虚弱児	3.5%
定期的な服薬や自己注射	3.1%
難病	2.7%
高次脳機能障害	1.5%
医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）	1.3%

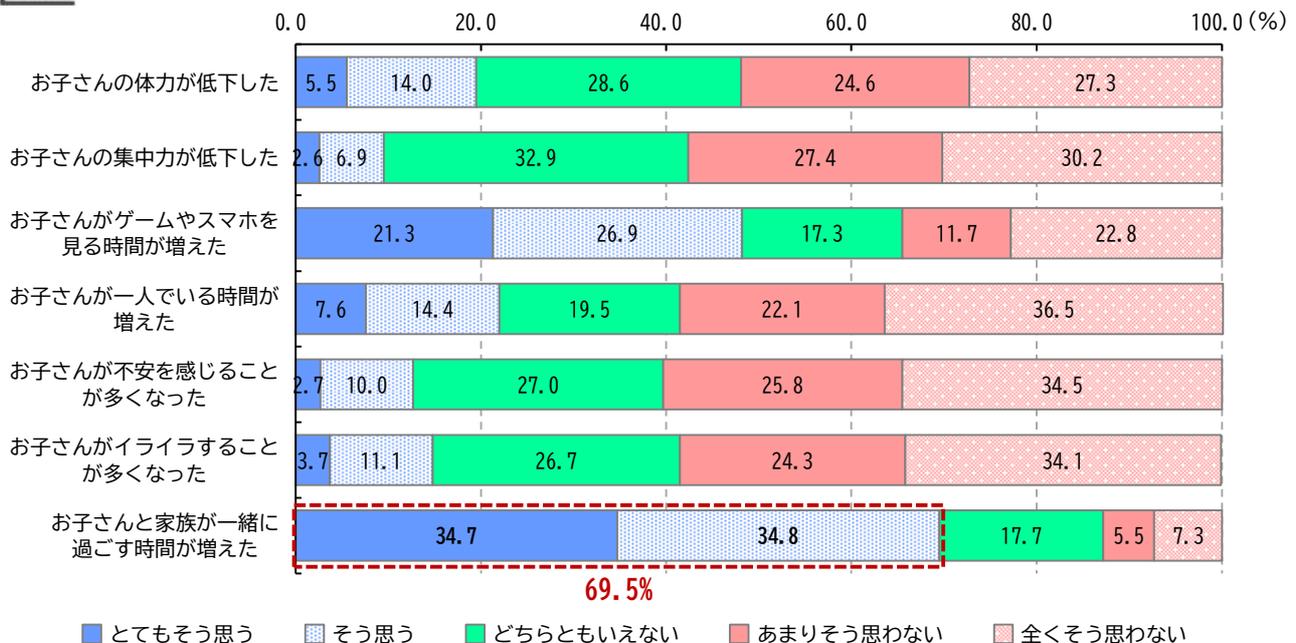
10 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響

コロナ禍以降、子どもと一緒に過ごす時間が増えたと感じる世帯は、**69.5%**

コロナ禍における教育・保育施設の休園や登園自粛要請、両親の在宅勤務増加で、親子が家の中にいる時間が増えています。

家族一緒の時間、特に父親と子どもの触れ合う時間の増加を喜ぶ声がある一方、外遊びの機会の減少やマスク着用によるコミュニケーション力の低下、スマートフォン等を見る時間が増えることへの懸念などの不安も多く見られました。

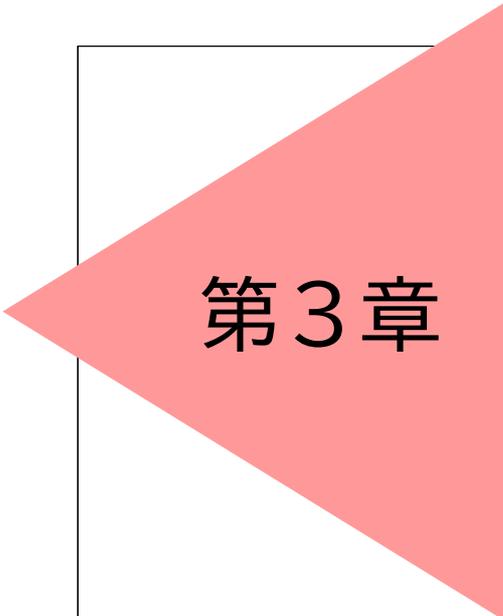
 コロナ禍による子どもへの影響



ーコロナ禍による子ども等への影響の具体的内容ー

- ・ 出産した病院では、授乳室も私語禁止でママ友を作る機会が全くありませんでした。第一子で分からないことだらけの中、孤独な育児でした。(0歳児/30代母親)
- ・ 感染者が多いため、区の子育て支援施設などに行くのをためらってしまう。(0歳児/20代母親)
- ・ コロナの影響で父親の在宅勤務が認められ、初めて立ったり喋ったりした瞬間を両親で見ることができました。(1歳児/40代母親)
- ・ 体力面に限らず、マスク着用・黙食等によるコミュニケーション力の低下も懸念している。(4歳児/30代母親)
- ・ 子どもが発達障害で、マスクを常時着けさせるのが困難なため、咳が出るときなどは施設の利用を断られることがある。(5歳児/40代父親)
- ・ 保育園の下の子は、不安定になることなく過ごせていますが、小学生の上の子は、緊急事態宣言前後は非常に不安が大きく、学校へ行きたくないと涙を流すこともあり、心療内科を受診した事もありました。(5歳児/30代母親)



A red triangle pointing to the left, partially overlapping the top-left corner of the page's main content area.

第3章

調査結果の分析

第1 調査回答世帯の基本属性

1 住まい

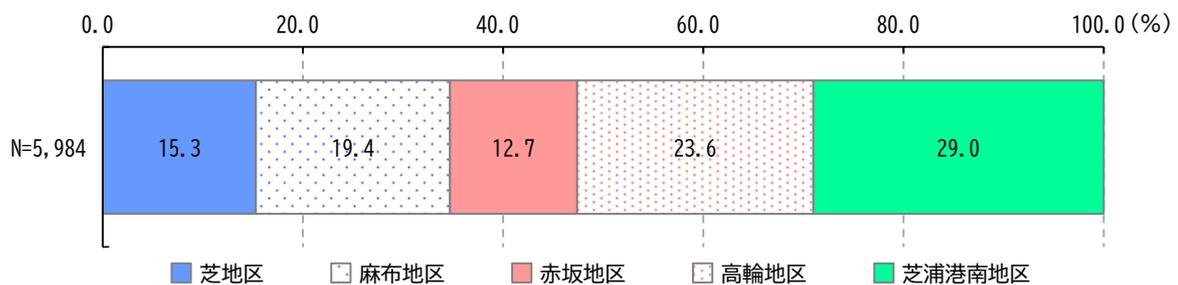
POINT | 住まい

- 調査回答世帯がもっとも多く住んでいるのは芝浦港南地区。
- 約8割がマンションに居住。
- 港区に住んでいる期間は「5～10年未満」がもっとも多く、約7割が出産前から住んでいる。
- 港区居住の理由は、「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」がもっとも多く、約半数が今後もずっと住み続けたいと回答。

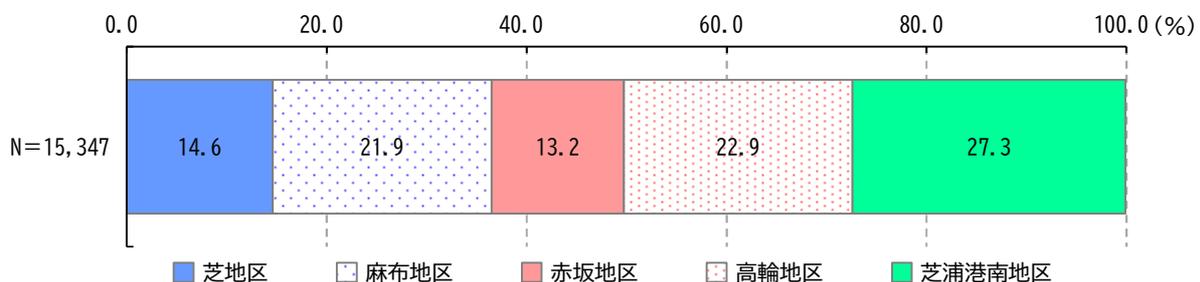
(1) 居住地区

調査回答世帯の居住地区は、「芝浦港南地区（29.0%）」、「高輪地区（23.6%）」、「麻布地区（19.4%）」、「芝地区（15.3%）」、「赤坂地区（12.7%）」の順に多い。

Q お住まいの地域はどこですか。⇒アンケート問2



【参考】0～5歳児人口の地区別割合（R4.4.1 現在）

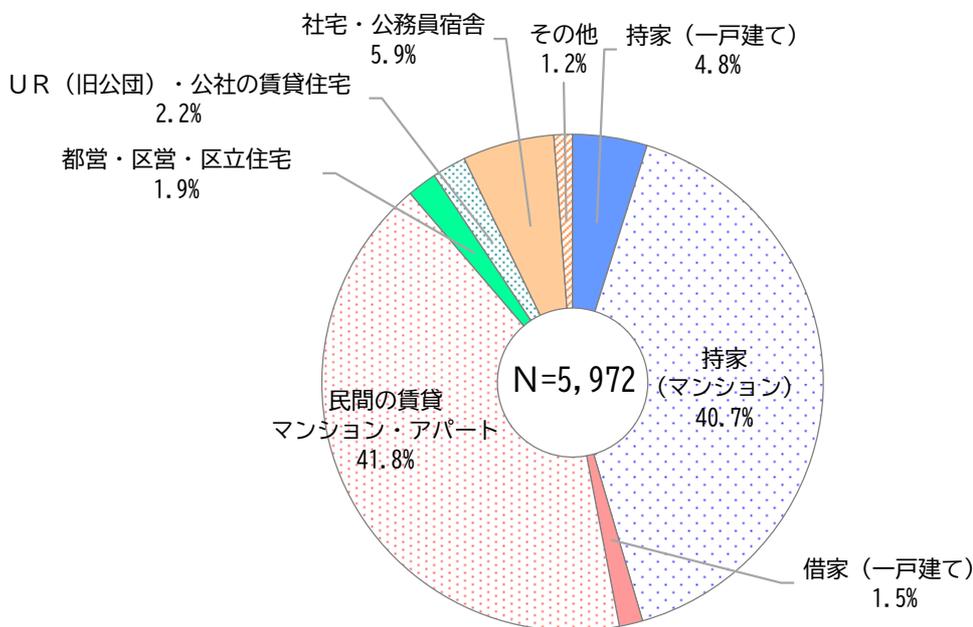


出典：住民基本台帳

(2) 住まいの形態

調査回答世帯の住まいの形態は、「民間の賃貸マンション・アパート (41.8%)」がもっとも多く、次いで「持家 (マンション) (40.7%)」となっている。

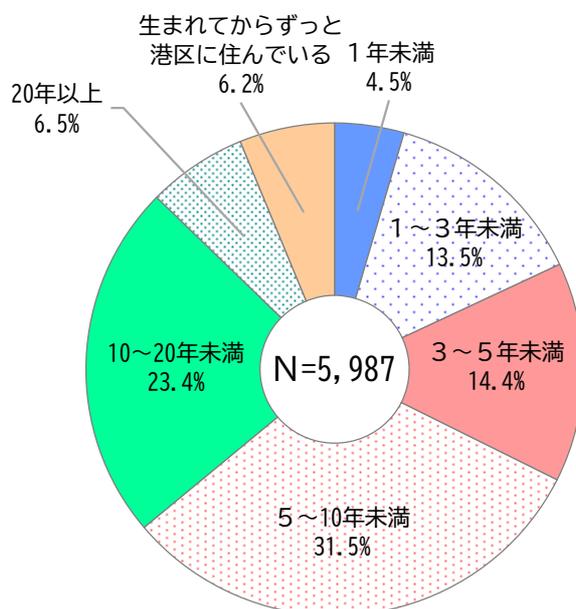
Q お住まいをお答えください。⇒アンケート問 10



(3) 港区居住期間

調査回答世帯の港区居住期間は、「5～10年未満 (31.5%)」がもっとも多く、次いで「10～20年未満 (23.4%)」、「3～5年未満 (14.4%)」、「1～3年未満 (13.5%)」となっている。

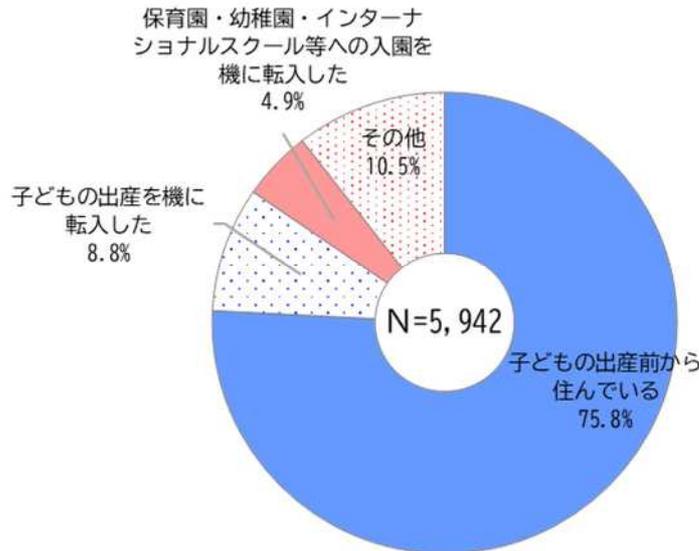
Q 港区に住んで何年になりますか。⇒アンケート問 11



(4) 港区居住のタイミング

調査回答世帯の港区に住むことになったタイミングは、「子どもの出産前から住んでいる (75.8%)」がもっとも多い。

Q 港区に住むことになったタイミングはいつですか。⇒アンケート問 12

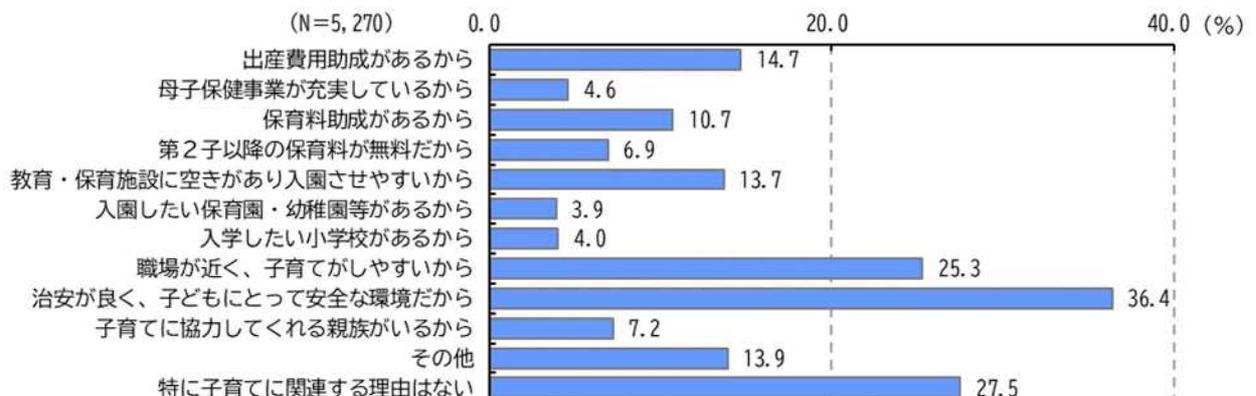


(5) 港区居住の理由

調査回答世帯の港区居住の理由（子育てに関連するもの）は、「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから (36.4%)」がもっとも多く、次いで「職場が近く、子育てがしやすいから (25.3%)」、「出産費用助成があるから (14.7%)」、「教育・保育施設に空きがあり入園させやすいから (13.7%)」、「保育料助成があるから (10.7%)」となっている。「特に子育てに関連する理由はない」は 27.5%であった。

Q 港区に住むことになった理由のうち、子育てに関連するものはありますか。

⇒アンケート問 13

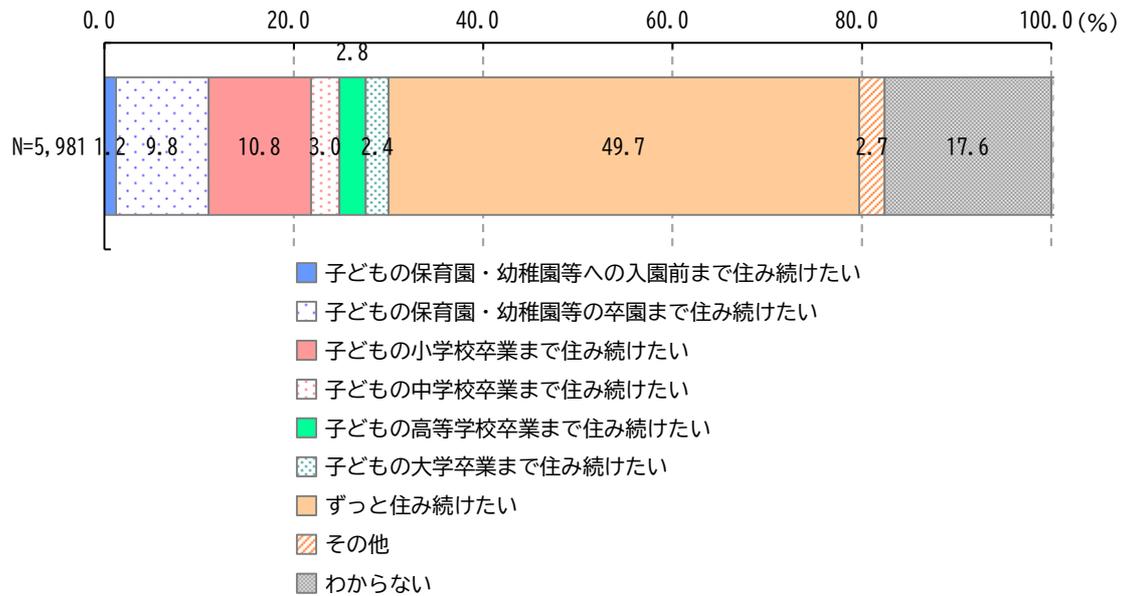


(6) 今後の港区居住の意向

調査回答世帯の今後の港区居住の意向は、「ずっと住みたい (49.7%)」がもっとも多く、次いで「子どもの小学校卒業まで住みたい (10.8%)」となっている。「わからない」は17.6%であった。

Q

これからも港区に住み続けたいと思いますか。⇒アンケート問 14



2 子どもの年齢ときょうだいの数

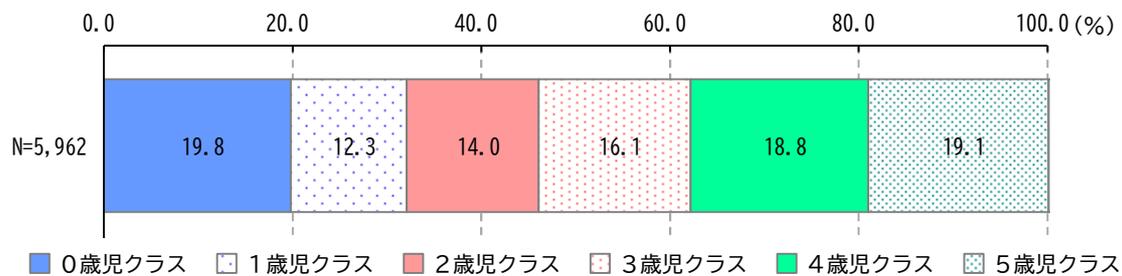
POINT | 子どもの年齢ときょうだいの数

- 調査回答世帯の子どもの年齢は、0歳、5歳、4歳、3歳、2歳、1歳の順に多い。
- 約半数がいわゆる一人っ子。2人きょうだいは約4割。

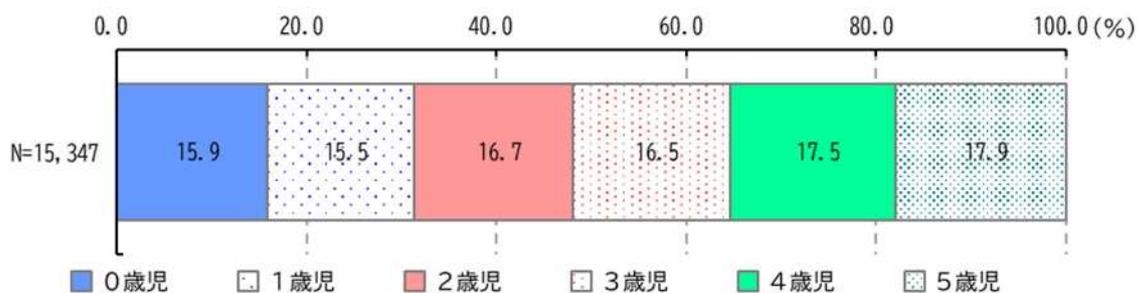
(1) 子どもの年齢

調査回答世帯の子ども(世帯の中でもっとも年長)のクラス年齢は、「0歳(19.8%)」、「5歳(19.1%)」、「4歳(18.8%)」、「3歳(16.1%)」、「2歳(14.0%)」、「1歳(12.3%)」の順に多い。

Q 調査対象のお子さんの生まれた年と月についてうかがいます。⇒アンケート問3



【参考】0～5歳児人口の年齢構成割合 (R4.4.1 現在)



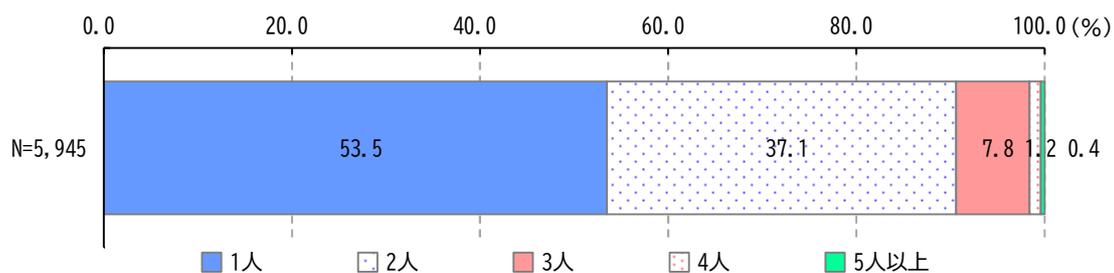
出典：住民基本台帳

(2) きょうだいの数

調査回答世帯のきょうだいの数は、「1人(53.5%)」、「2人(37.1%)」、「3人(7.8%)」、「4人(1.2%)」、「5人以上(0.4%)」の順に多い。

Q 調査対象のお子さんのきょうだいは何人いますか（調査対象のお子さん含む）。

⇒アンケート問4



3 両親の年齢と国籍

POINT | 両親の年齢と国籍

- 調査回答世帯の父親の平均年齢は 40.5 歳、母親の平均年齢は 37.7 歳。
- 約 9 割が両親ともに日本国籍。

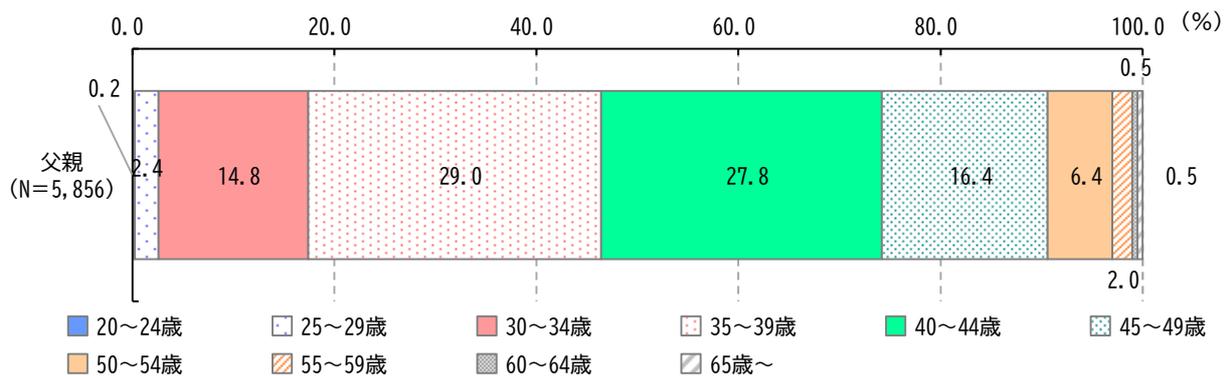
(1) 両親の年齢

調査回答世帯の父親の年齢は、「35～39 歳 (29.0%)」がもっとも多く、次いで「40～44 歳 (27.8%)」、「45～49 歳 (16.4%)」、「30～34 歳 (14.8%)」となっている。平均年齢は 40.5 歳であった。

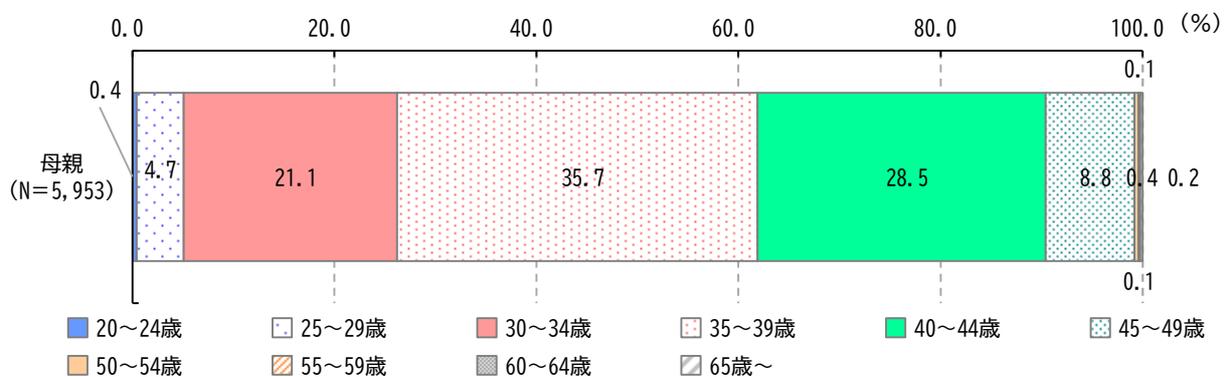
調査回答世帯の母親の年齢は、「35～39 歳 (35.7%)」がもっとも多く、次いで「40～44 歳 (28.5%)」、「30～34 歳 (21.1%)」となっている。平均年齢は 37.7 歳であった。

Q 調査対象のお子さんのご両親の年齢について教えてください。⇒アンケート問7

<父親>



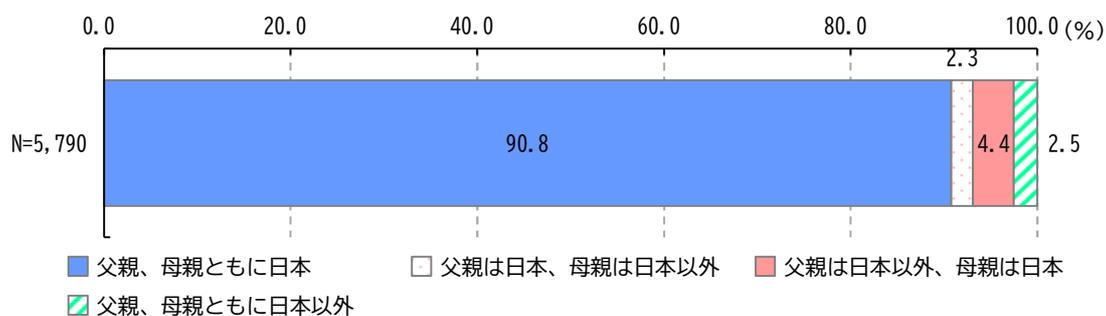
<母親>



(2) 両親の国籍

調査回答世帯の両親の国籍は、「父親、母親ともに日本 (90.8%)」がもっとも多く、次いで「父親は日本以外、母親は日本 (4.4%)」、「父親、母親ともに日本以外 (2.5%)」、「父親は日本、母親は日本以外 (2.3%)」となっている。

Q 調査対象のお子さんのご両親の国籍について教えてください。⇒アンケート問8



4 就労状況

POINT | 就労状況

- 調査回答世帯の父親の約7割が「会社員など雇用契約による就労」、約2割が「会社経営者」。母親の約6割が「会社員など雇用契約による就労」、約2割が「以前は就労していたが、現在は就労していない」。
- 父親の約9割、母親の約6割がフルタイム勤務。
- 在宅勤務日数は、父親が1週あたり平均1.72日、母親が1週あたり平均2.08日

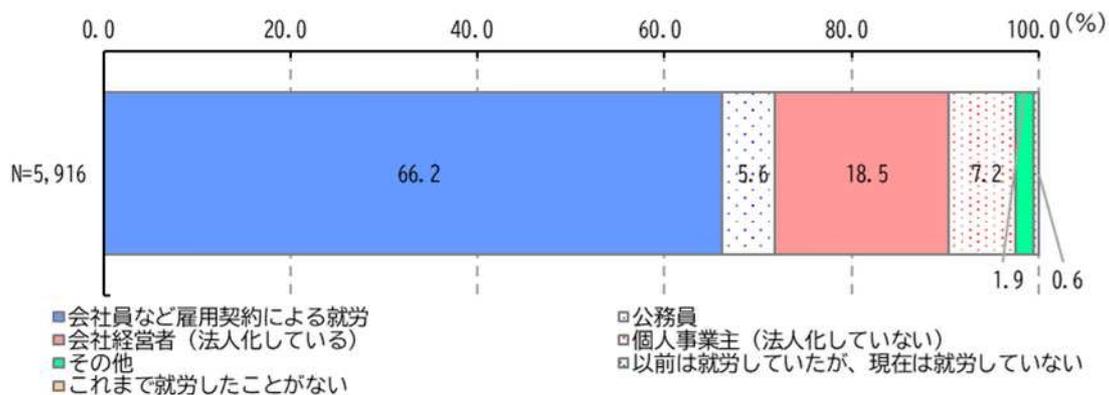
(1) 両親の勤務形態

調査回答世帯の父親の勤務形態は、「会社員など雇用契約による就労（66.2%）」がもっとも多く、次いで「会社経営者（法人化している）（18.5%）」となっている。

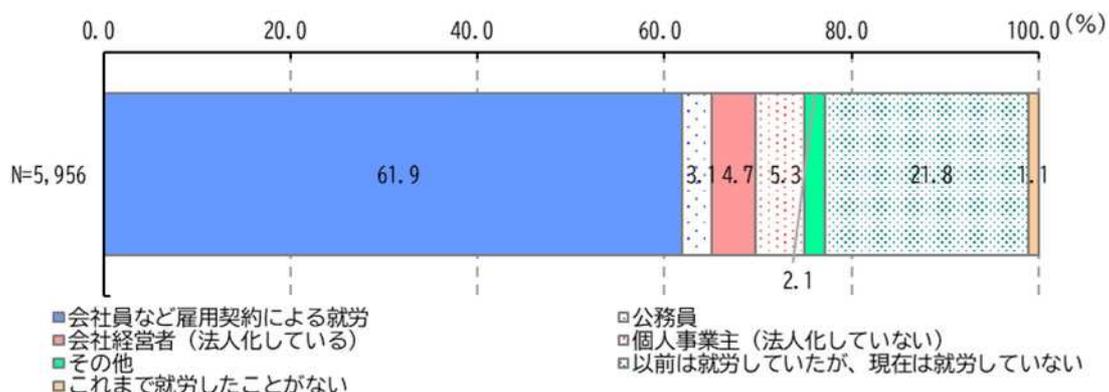
調査回答世帯の母親の勤務形態は、「会社員など雇用契約による就労（61.9%）」がもっとも多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない（21.8%）」となっている。

Q 保護者のもっとも収入が多い勤務形態をお答えください。⇒アンケート問15

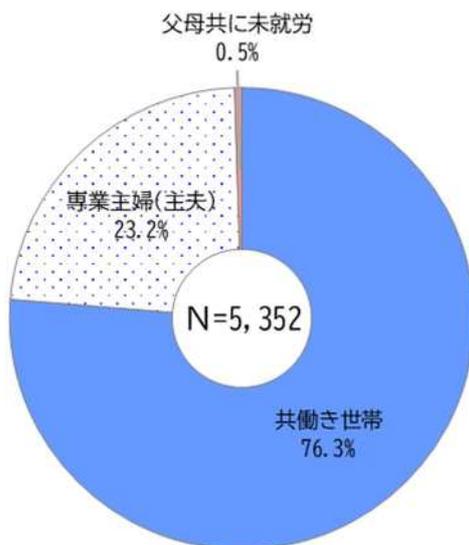
<父親>



<母親>



【参考】共働き世帯の割合



※共働き世帯には、就労しているひとり親世帯を含む。

(2) 両親の就労時間

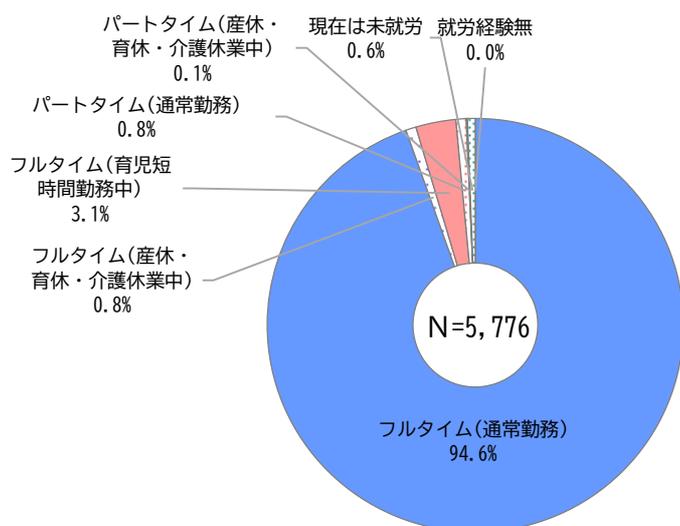
調査回答世帯の父親の就労時間は、「フルタイム（通常勤務）（94.6%）」がもっとも多かった。

調査回答世帯の母親の就労時間は、「フルタイム（通常勤務）（39.7%）」がもっとも多く、次いで「現在は未就労（22.4%）」、「フルタイム（産休・育休・介護休業中）（15.8%）」、「パートタイム（通常勤務）（10.9%）」となっている。

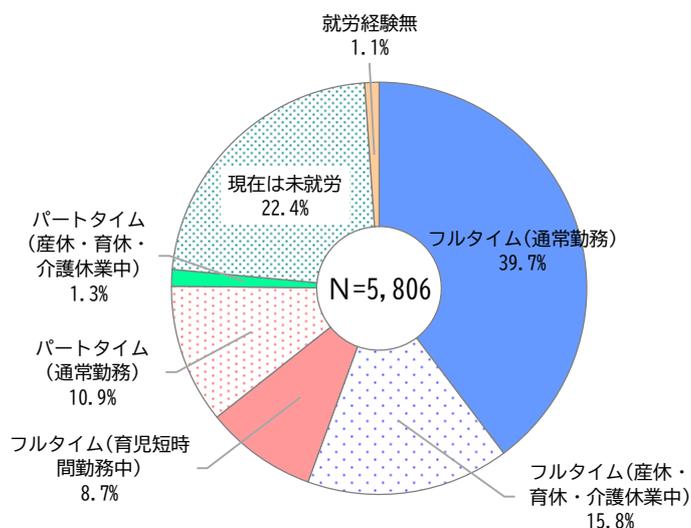


保護者の就労時間についてお答えください。⇒アンケート問 15-1

<父親>



<母親>



(3) 両親の在宅勤務

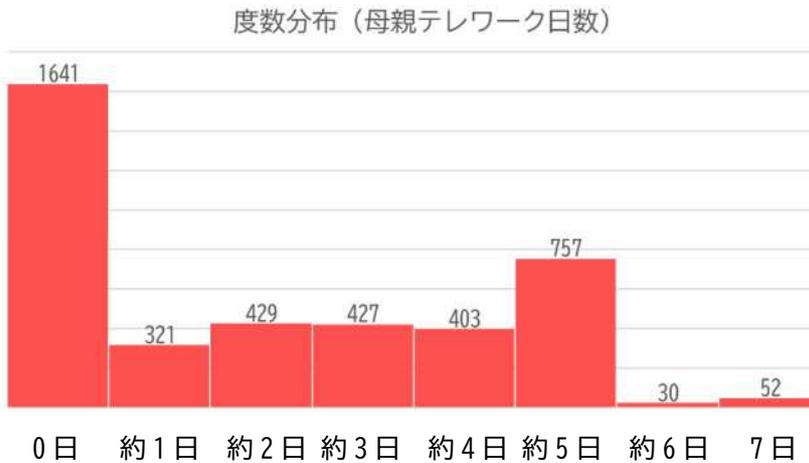
調査回答世帯の父親の在宅勤務日数は、1週あたり平均1.72日であった。
調査回答世帯の母親の在宅勤務日数は、1週あたり平均2.08日であった。

Q 1週あたりの在宅勤務日数をお答えください。⇒アンケート問15-2

<父親> 平均1.72日



<母親> 平均2.08日



5 経済状況

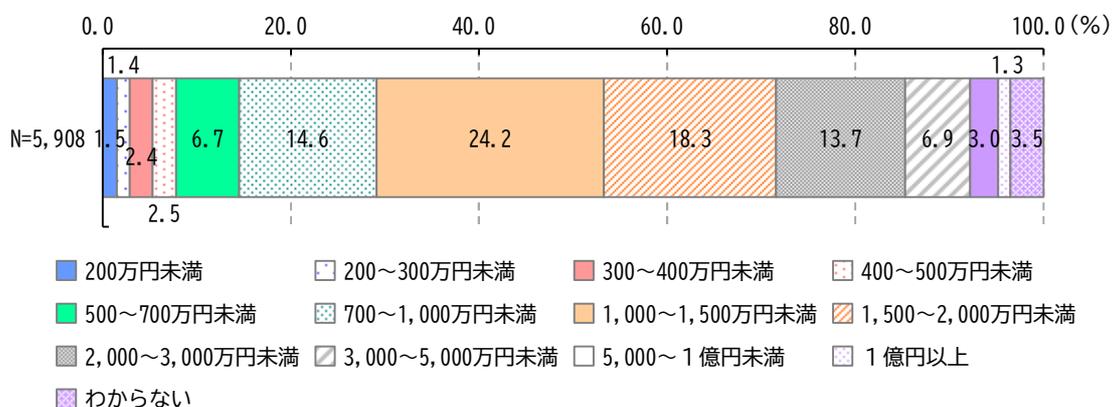
POINT | 経済状況

- 調査回答世帯の世帯年収でもっとも多いのは、「1,000～1,500万円未満」。
- 約9割は、給与がもっとも大きな収入源。

(1) 世帯年収

調査回答世帯の世帯年収は、「1,000～1,500万円未満 (24.2%)」がもっとも多く、次いで「1,500～2,000万円未満 (18.3%)」、「700～1,000万円未満 (14.6%)」、「2,000～3,000万円未満 (13.7%)」となっている。

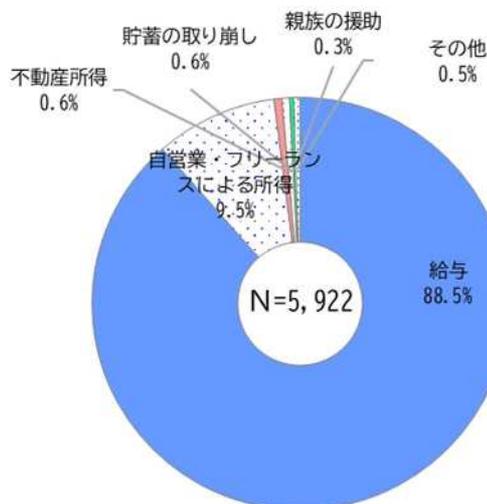
Q 世帯全体の年収 (税込) は、おおよそどれくらいですか。 ⇒アンケート問 17



(2) 収入源

調査回答世帯のもっとも大きな収入源は、「給与 (88.5%)」がもっとも多かった。

Q 世帯のもっとも大きな収入源は何ですか。 ⇒アンケート問 18



6 子どもと両親の同別居状況

POINT | 子どもと両親の同別居状況

- 調査回答世帯の父親と母親のいずれも9割以上が、子どもと一緒に住んでいる。

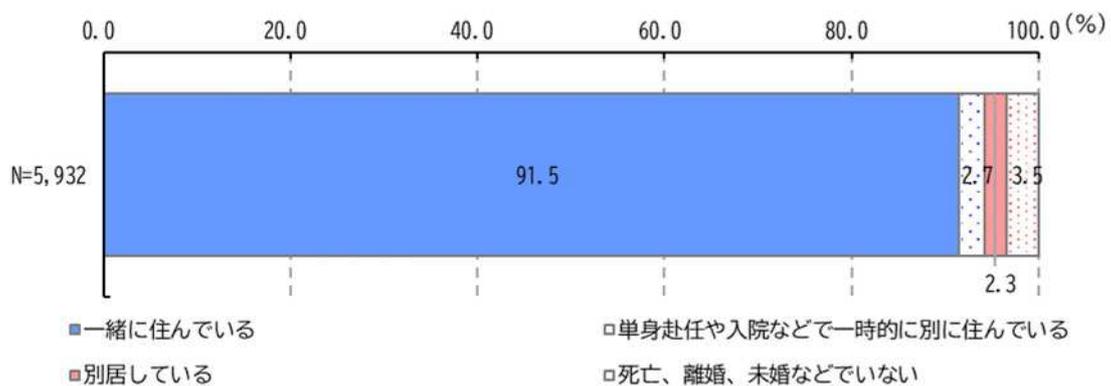
(1) 子どもと両親の同別居状況

調査回答世帯の子どもと父親の同別居状況は、「一緒に住んでいる(91.5%)」がもっとも多く、次いで「死亡、離婚、未婚などでいない(3.5%)」、「単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる(2.7%)」、「別居している(2.3%)」となっている。

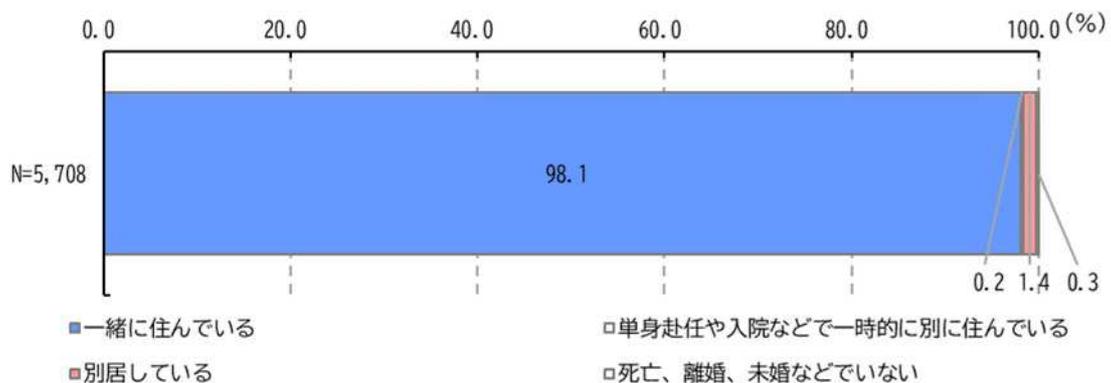
調査回答世帯の子どもと母親の同別居状況は、「一緒に住んでいる(98.1%)」がもっとも多く、次いで「別居している(1.4%)」、「死亡、離婚、未婚などでいない(0.3%)」、「単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる(0.2%)」、となっている。

Q お子さんご両親の同別居状況についてうかがいます。⇒アンケート問6

<父親>

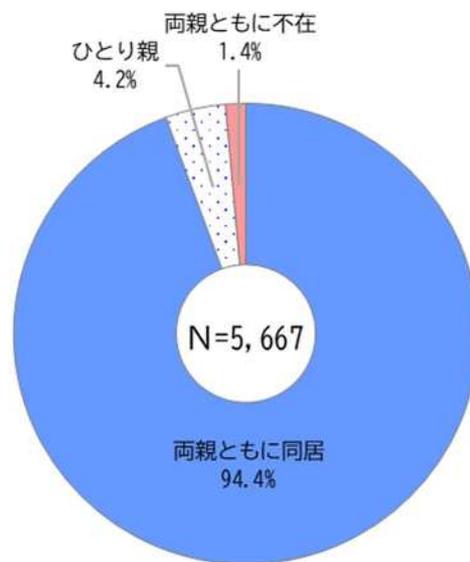


<母親>



第3章 調査結果の分析

【参考】ひとり親世帯の割合



7 子どもの障害や発達に関する不安

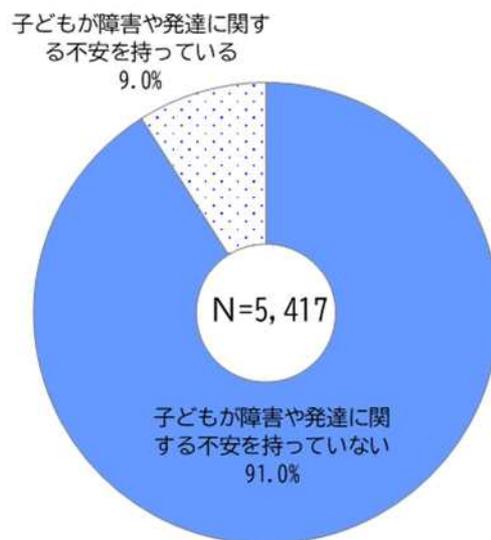
POINT | 子どもの障害や発達に関する不安

- ▶ 調査回答世帯の約1割が、子どもの障害や発達に関する不安を持っている。

(1) 障害や発達に関する不安の有無

調査回答世帯の子どもの障害や発達に関する不安の有無は、「持っていない」が91.0%、「持っている」が9.0%となっている。

Q お子さんは障害や発達に関する不安をお持ちですか。 ⇒アンケート問9



(2) 障害や発達に関する不安の内容

調査回答世帯の障害や発達に関する不安の内容は、「言語発達に関する不安 (40.2%)」がもっとも多く、次いで「多動や衝動性等行動に関する不安 (34.2%)」、「対人関係等コミュニケーションに関する不安 (31.5%)」、「発達障害 (26.3%)」、「運動発達に関する不安 (20.6%)」、「その他 (12.7%)」となっている。

Q お子さんをお持ちの手帳や発達に関する不安について、あてはまるものをお答えください。

⇒アンケート問9-1



8 保護者の教育・保育に対する考え方

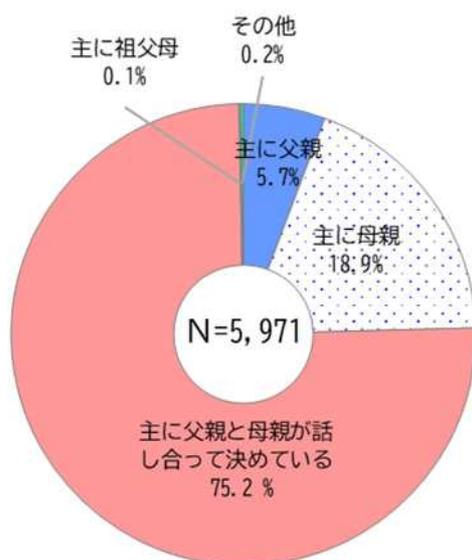
POINT | 保護者の教育・保育に対する考え方

- 調査回答世帯の約8割が、父親と母親が話し合っ、子育てや教育の方針を決めている。
- 保護者の約半数が「子どもが希望すれば留学させたい」と考えている。また、約2割が「できれば留学させたい」、約1割が「必ず留学させたい」意向がある。
- 約6割がスイミングスクール、体操教室、塾、ピアノ、語学教室、ダンスなどの習い事をしている。

(1) 子育てや教育の方針を主に決めている人

調査回答世帯の子育てや教育の方針を主に決めている人は、「主に父親と母親が話し合っ決めている (75.2%)」がもっとも多く、次いで「主に母親 (18.9%)」となっている。

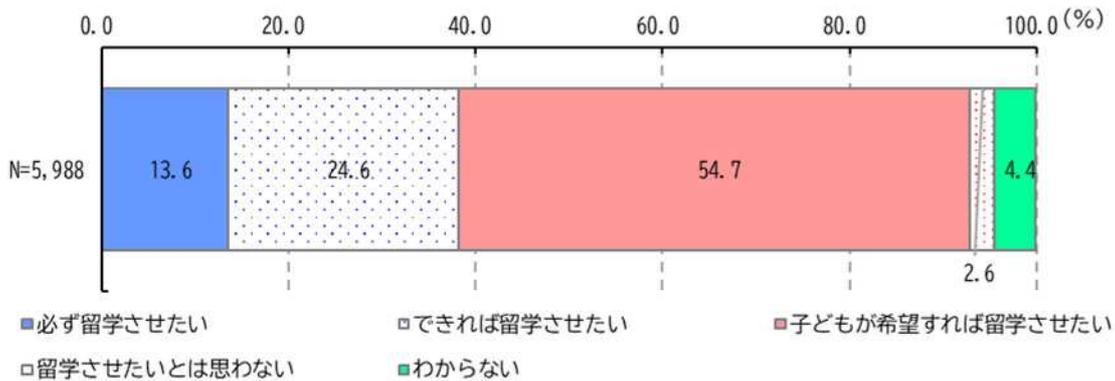
Q 子育てや教育の方針を主に決めているのはどなたですか。 ⇒アンケート問 19



(2) 海外留学意向

調査回答世帯の保護者の子どもに対する海外留学意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (54.7%)」がもっとも多く、次いで「できれば留学させたい (24.6%)」、「必ず留学させたい (13.6%)」となっている。

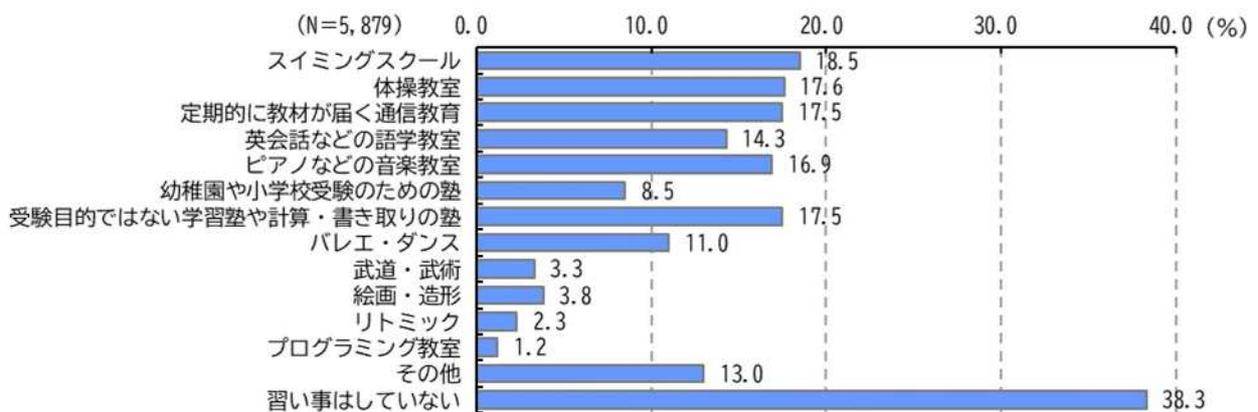
Q お子さんを海外留学させたいと思いますか。⇒アンケート問 21



(3) 習い事の状況

調査回答世帯がしている習い事は、「スイミングスクール (18.5%)」がもっとも多く、次いで「体操教室 (17.6%)」、「定期的に教材が届く通信教育 (17.5%)」、「受験目的ではない学習塾や計算・書き取りの塾 (17.5%)」、「ピアノなどの音楽教室 (16.9%)」、「英会話などの語学教室 (14.3%)」、「その他 (13.0%)」、「バレエ・ダンス (11.0%)」となっている。習い事をしていない世帯は 38.3%であった。

Q お子さんは、現在習い事をしていますか。⇒アンケート問 22



第2 教育・保育施設を利用している世帯について

1 年齢別の利用状況

(1) 現在の状況

POINT | 現在の状況

- 0歳の子どもがいる世帯の約7割が在宅子育て家庭。1歳になると在宅子育て家庭は約3割に減少し、約6割が保育園等を利用ようになる。2歳では在宅子育て家庭は約2割とさらに減少し、約8割が何らかの教育・保育施設を利用ようになる。
- 3歳からは幼稚園利用が約3割を占めるようになる。3歳以降の保育園等利用の割合は約5割で、在宅子育て家庭は1割に満たない。

ア 年齢別の施設利用の違い

調査回答世帯の施設利用割合について、年齢別に順位をまとめた表は下記のとおりである。0歳では、在宅子育て家庭がもっとも多く約7割となっている。1歳でも在宅子育て家庭がもっとも多いが、割合は約3割となっており、0歳から低下している。2歳以降の施設利用は、区立認可保育園がもっとも多く約2割、私立認可保育園が約1～2割、港区保育室が約1割となっている。3歳以降は、私立幼稚園が約2割、区立幼稚園が約1割を占めている。また、認可外保育施設は0歳から5歳まで一定数の利用割合があり、1歳以降は約1割前後の利用割合を維持している。



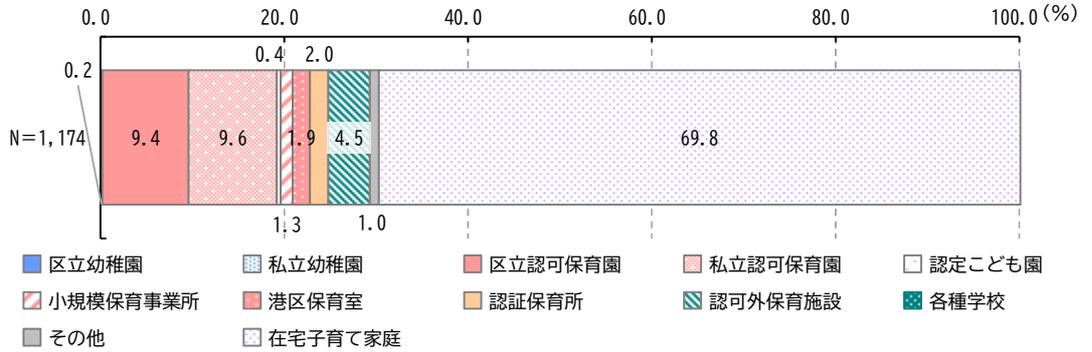
施設利用割合の順位

年齢	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	施設名	割合	施設名	割合	施設名	割合	施設名	割合	施設名	割合
0歳	在宅子育て家庭	69.8%	私立認可保育園	9.6%	区立認可保育園	9.4%	認可外保育施設	4.5%	認証保育所	2.0%
1歳	在宅子育て家庭	26.5%	区立認可保育園	24.3%	私立認可保育園	22.8%	認可外保育施設	11.3%	港区保育室	7.4%
2歳	区立認可保育園	24.5%	私立認可保育園	23.4%	在宅子育て家庭	17.0%	認可外保育施設	15.7%	港区保育室	7.8%
3歳	区立認可保育園	24.3%	私立幼稚園	17.5%	私立認可保育園	15.8%	認可外保育施設	13.9%	区立幼稚園	10.7%
4歳	区立認可保育園	22.0%	私立幼稚園	21.0%	私立認可保育園	16.0%	区立幼稚園	13.4%	港区保育室	10.0%
5歳	区立認可保育園	24.2%	私立幼稚園	21.0%	私立認可保育園	14.0%	区立幼稚園	13.5%	港区保育室	8.6%

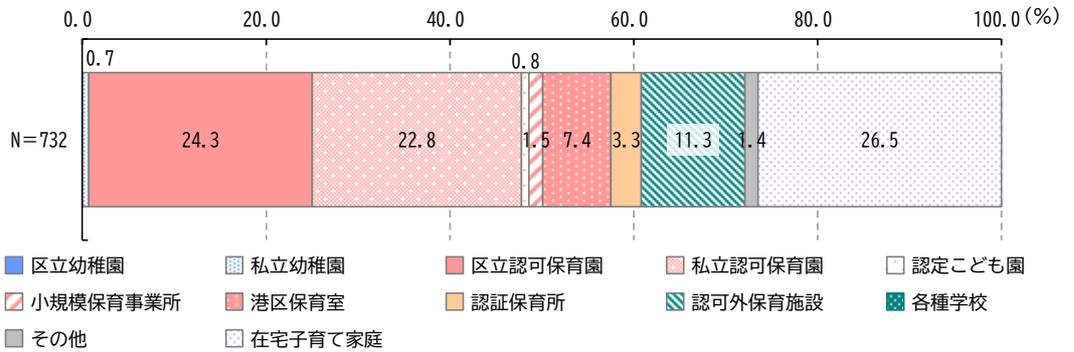


施設利用割合（年齢別）

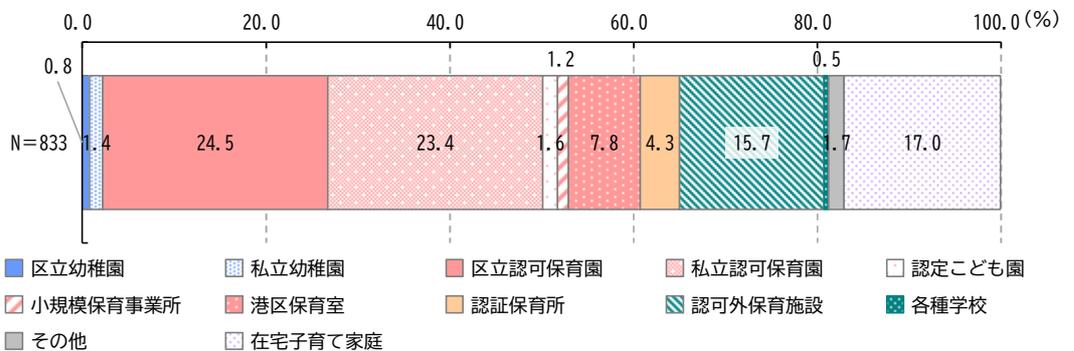
0歳



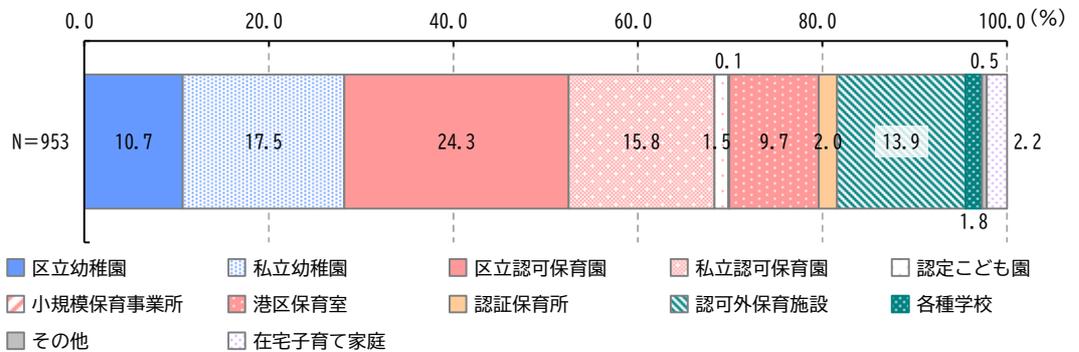
1歳



2歳

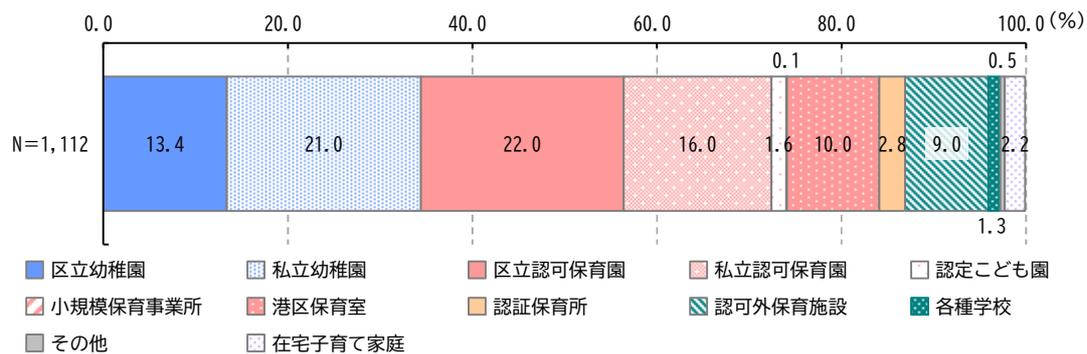


3歳

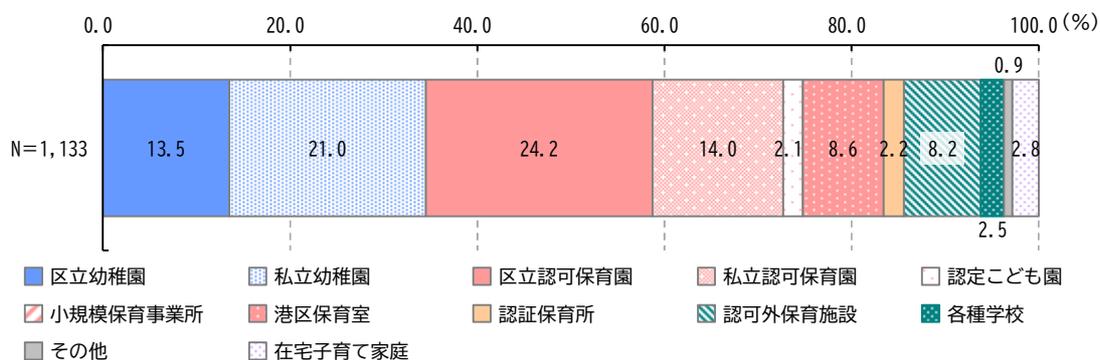


第3章 調査結果の分析

4歳



5歳



(2) 過去との比較

POINT 過去との比較

- 0歳から2歳の子どもがいる調査回答世帯の約4割が保育園等を利用しており、過去の調査結果と比較すると利用割合は増加している。
- 3歳から5歳の子どもがいる調査回答世帯の約半数が保育園等を利用し、約3割が幼稚園を利用している。過去の調査結果と比較すると保育園等の利用割合は増加し、幼稚園の利用割合は減少している。

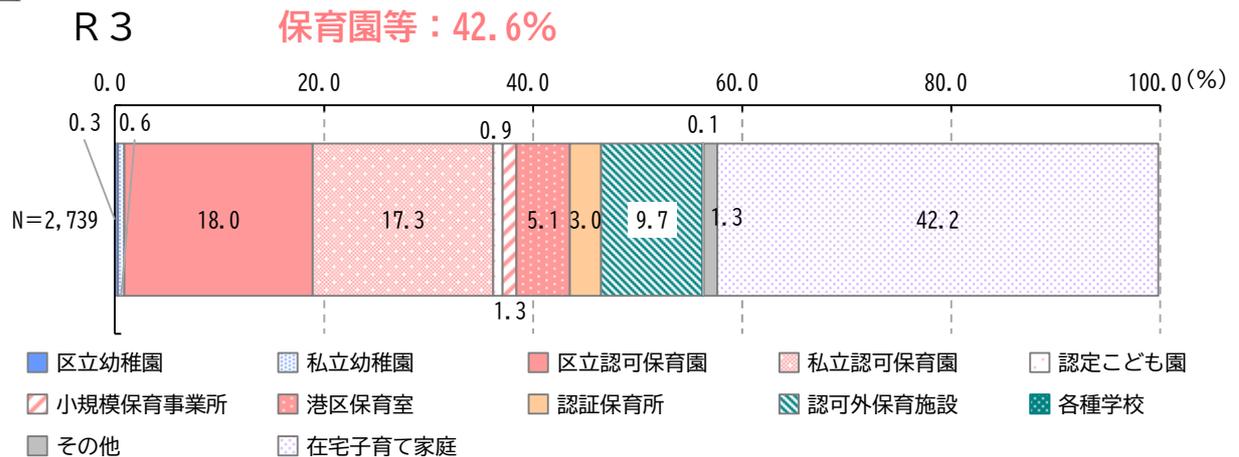
ア 0～2歳児

0歳から2歳の子どもがいる調査回答世帯が利用する施設は、「区立認可保育園(18.0%)」がもっとも多く、次いで「私立認可保育園(17.3%)」、「認可外保育施設(9.7%)」、「港区保育室(5.1%)」、「認証保育所(3.0%)」、「小規模保育事業所(1.3%)」となっている。「在宅子育て家庭」は42.2%であった。

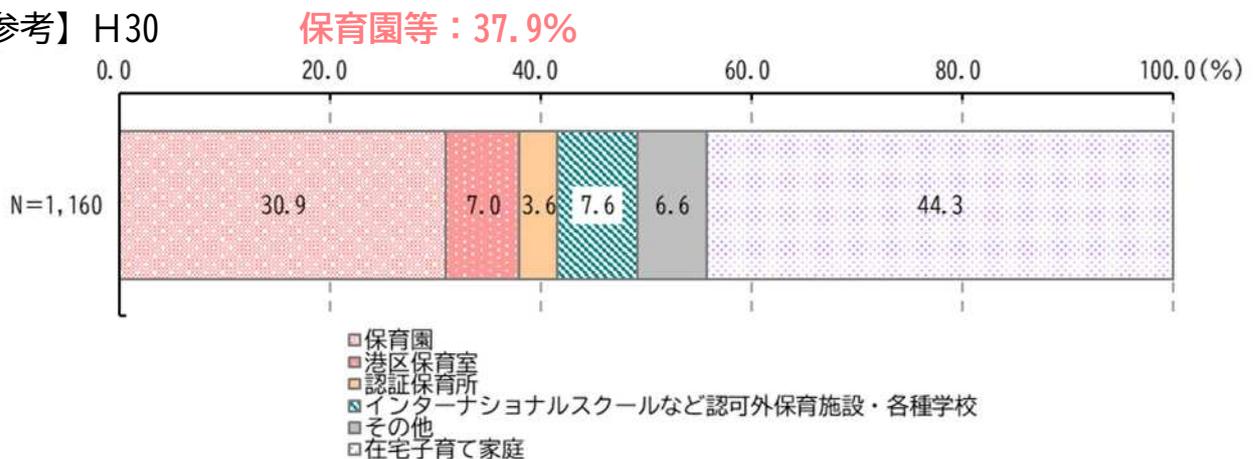
区の利用調整の対象である保育園等(認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室の合計)は42.6%となっている。平成30年度の港区子ども・子育て支援ニーズ調査の結果と比較すると、4.7ポイント高い。



施設利用割合(0～2歳)



【参考】H30



出典：平成30年度港区子ども・子育て支援ニーズ調査結果を基に作成

イ 3～5歳児

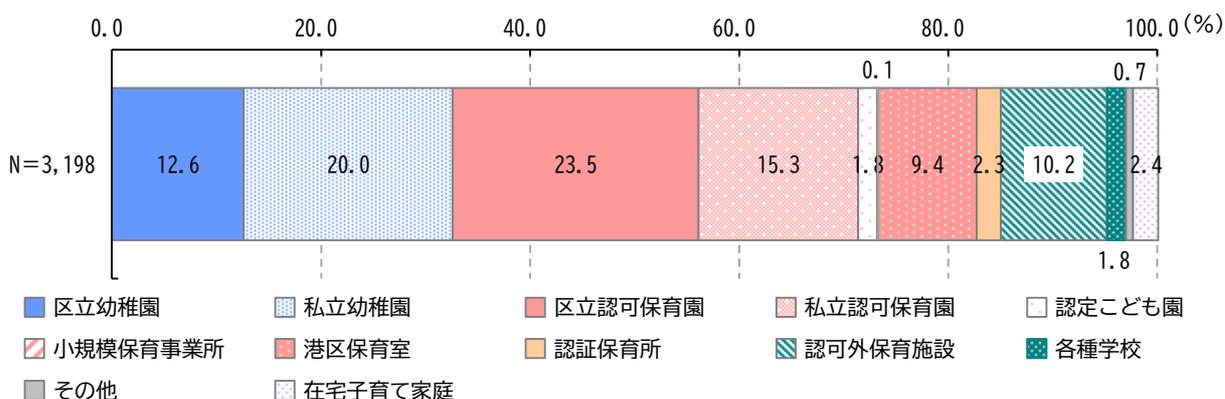
3歳から5歳の子どもがいる調査回答世帯が利用する施設は、「区立認可保育園(23.5%)」がもっとも多く、次いで「私立幼稚園(20.0%)」、「私立認可保育園(15.3%)」、「区立幼稚園(12.6%)」、「認可外保育施設(10.2%)」、「港区保育室(9.4%)」、「認証保育所(2.3%)」、「認定こども園(1.8%)」、「各種学校(1.8%)」となっている。「在宅子育て家庭」は2.4%であった。

区の利用調整の対象である保育園等(認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室の合計)は50.1%、幼稚園は区立と私立を合わせ32.6%となっている。平成30年度の港区子ども・子育て支援ニーズ調査の結果と比較すると、保育園等は5.7ポイント高く、幼稚園は9.0ポイント低い。

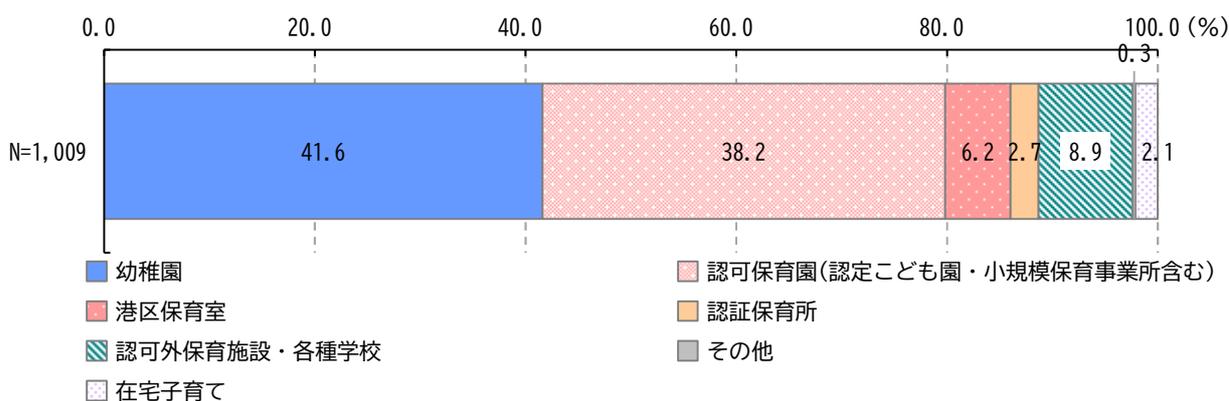


施設利用割合(3～5歳)

R3 幼稚園：32.6% 保育園等：50.1%

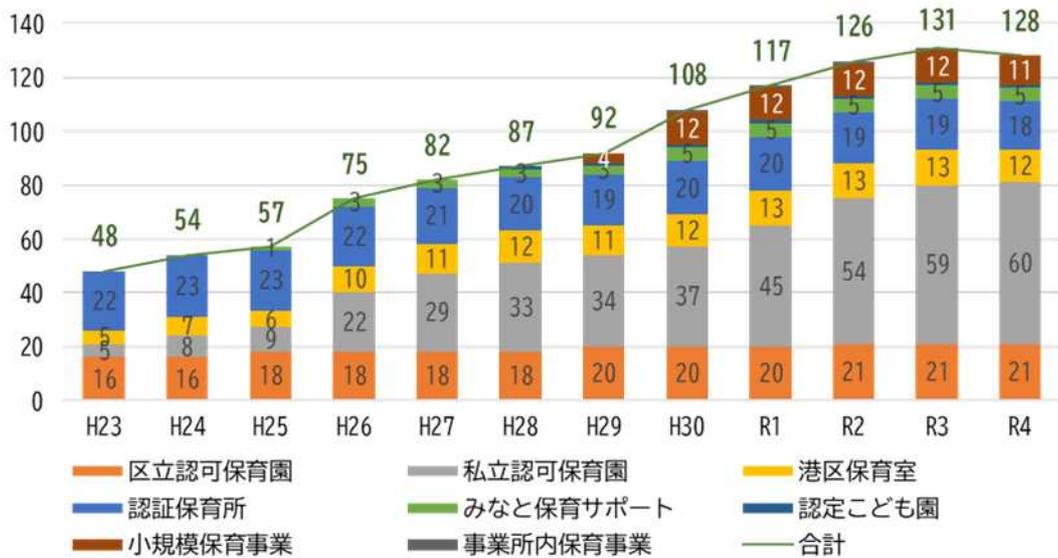


【参考】 H30 幼稚園：41.6% 保育園等：44.4%



出典：平成30年度港区子ども・子育て支援ニーズ調査結果を基に作成

【参考】区内保育施設数の推移

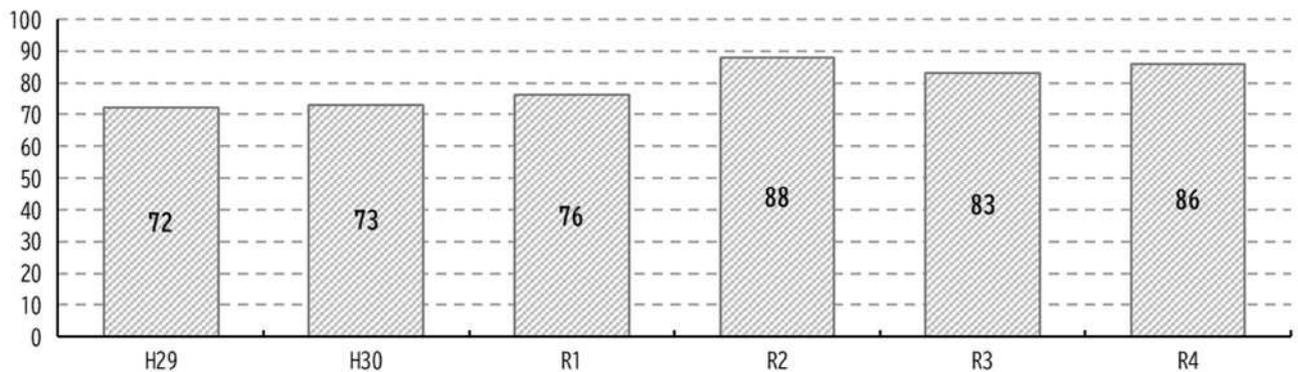


※認定こども園は、H28 以降 1 園

※事業所内保育事業は、H30～R3 は 1 園、R4 は 0 園

出典：保育政策課資料を基に作成

【参考】区内認可外保育施設数の推移



※ベビーホテル、事業所内保育施設、院内保育施設、その他の認可外の合計数

※設置者が港区のものは除く

※各年 4 月 1 日現在

出典：港区認可外保育施設一覧を基に作成

(3) 0歳児がいる世帯

POINT | 0歳児がいる世帯

- 0歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の9割以上が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務である一方、母親の約半数が、産休・育休・介護休業中。
- 約7割が在宅子育て家庭。施設利用世帯は約3割。



ア 両親の就労時間

0歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(92.7%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。母親の就労時間は、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である(44.4%)」がもっとも多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(20.6%)」、「以前は就労していたが、現在は就労していない(20.0%)」となっている。



両親の就労時間(0歳)

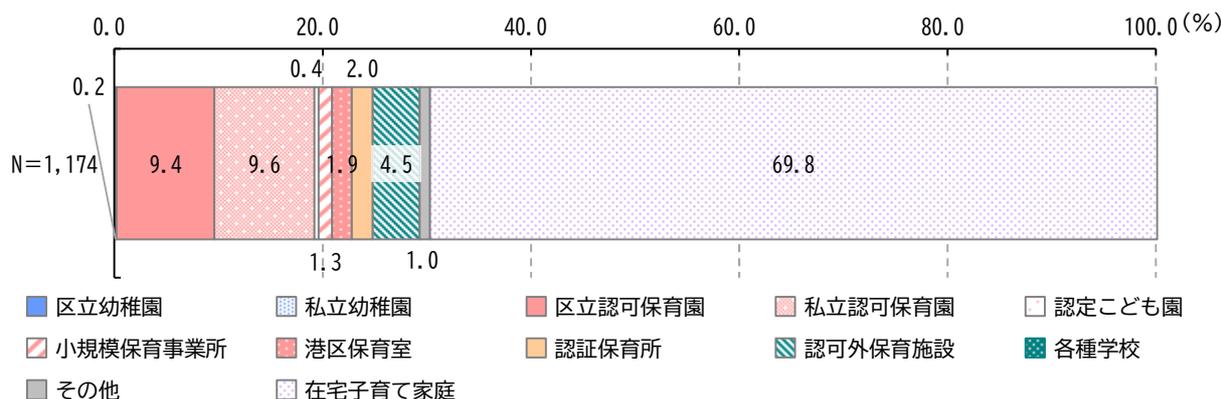
下段 上段 % 度数	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	1,062	23	42	9	2	8	0	1,146
	92.7%	2.0%	3.7%	0.8%	0.2%	0.7%	0.0%	100.0%
母親	238	512	78	58	29	231	8	1,154
	20.6%	44.4%	6.8%	5.0%	2.5%	20.0%	0.7%	100.0%

イ 施設の利用状況と選んだ理由

0歳の子どもがいる調査回答世帯の施設利用は、「在宅子育て家庭(69.8%)」、「私立認可保育園(9.6%)」、「区立認可保育園(9.4%)」、「認可外保育施設(4.5%)」、「認証保育所(2.0%)」、「港区保育室(1.9%)」、「小規模保育事業所(1.3%)」の順に多い。



施設利用割合(0歳)





施設を選んだ理由（0歳・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	276	78.6%	近所だったからが決め手です。送り迎えが楽なことが一番重要です。【私立認可利用】
施設設備が充実しているから	122	34.8%	保育園選定の条件として、何よりも災害時や緊急時に子供の命を守っていただけるかどうかが最重要だったので、建物の安全性、ハザードマップ、近隣の環境、職員数を考慮して区立保育園を第一希望とした。【区立認可利用】
園庭があるから	99	28.2%	園庭ではいつも元気に走り回る園児たちと、自ら楽しんで体を動かし園児と関わる保育者の方々の姿を見ることができ、子供にとってとても良い環境に感じ選択しました。【こども園利用】
職員の保護者対応が適切だから	120	34.2%	言葉を話せない0歳の子供を預ける不安もあり、なるべく人手の厚く一人ひとりに目の届きそうな園が良かった。保育士さん達の雰囲気良く感じた。【小規模利用】
カリキュラムが魅力的だから	58	16.5%	将来的に幼稚園受験、小学校受験を考えていて、柔軟に対応できると思った。【認可外利用】
英語を学ばせたかったから	27	7.7%	英語でモンテッソーリ教育が2歳未満でできる所だったから。他のところは2歳以上と指定されていた。【認可外利用】
給食など保育サービスが充実しているから	68	19.4%	フルタイムで働いているため、なるべく保護者の負担がない方針が魅力的だった。連絡帳がアプリ、オムツがサブスク、お食事エプロン等も用意してもらえて着替えとバスタオルを持っていくだけで良いのが助かる。【私立認可利用】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	3	0.9%	—
自転車による通園が認められているから	5	1.4%	—
自家用車による通園が認められているから	2	0.6%	—
保育料が安いから	30	8.5%	0歳児の受け入れをしてくれ、また費用面でも認可保育園が適切だと思った。【私立認可利用】
利用料に対する補助金が活用できるから	11	3.1%	—
保護者の就労形態に合っているから	88	25.1%	0歳なので保育園の選択肢しかなく、区立のほうが安全面等で管理が行き届いていると考えたから。【区立認可利用】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	53	15.1%	0歳からの保育を考えるにあたり、区立ほどの大人数よりは私立の少人数の方がよいと考えたため。【私立認可利用】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	31	8.8%	希望の園（しばうら保育園）が空いていなかったから。【保育室利用】
その他	45	12.8%	他の年齢のクラスの交流をしており、兄弟がいない子どもにも年下の子への優しさや年上の心強さを学ぶ機会を積極的にあたえているところ。【区立認可利用】
0歳回答合計	351	100.0%	

(4) 1歳児がいる世帯

POINT | 1歳児がいる世帯

- 1歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の約9割、母親の約4割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 産休・育休・介護休業中の母親は約2割。0歳の子どもがいる調査回答世帯の約半数から減少。
- 約7割が施設利用世帯。
- 在宅子育て家庭は約3割。0歳の子どもがいる調査回答世帯の約7割から減少。



ア 両親の就労時間

1歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(94.6%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(39.1%)」がもっとも多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない(20.8%)」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である(15.4%)」、「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である(11.7%)」となっている。



両親の就労時間(1歳)

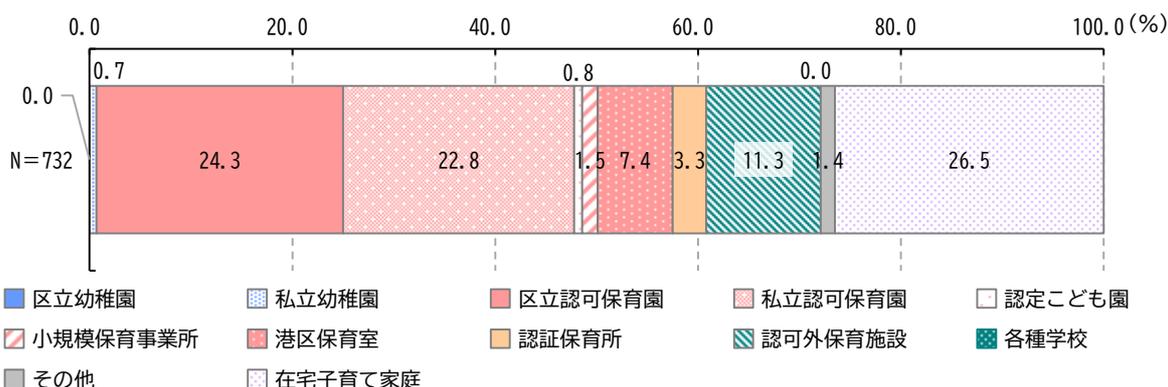
下段: 上段: 度数 %	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験無	合計
	通常勤務	産休・育休・ 介護休業中	育児短時間 勤務中	通常勤務	産休・育休・ 介護休業中			
父親	670	3	23	6	1	5	0	708
	94.6%	0.4%	3.2%	0.8%	0.1%	0.7%	0.0%	100.0%
母親	277	109	83	67	16	147	9	708
	39.1%	15.4%	11.7%	9.5%	2.3%	20.8%	1.3%	100.0%

イ 施設の利用状況と選んだ理由

1歳は、「在宅子育て家庭(26.5%)」、「区立認可保育園(24.3%)」、「私立認可保育園(22.8%)」、「認可外保育施設(11.3%)」、「港区保育室(7.4%)」、「認証保育所(3.3%)」、「小規模保育事業所(1.5%)」の順に多い。



施設利用割合(1歳)





施設を選んだ理由（1歳・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	438	81.9%	フルタイムで仕事をする上で、できるだけ家から近い場所に預けたいと思ったので、一番近い園を第一希望にしました。【区立認可利用】
施設設備が充実しているから	154	28.8%	ひとクラスの部屋が広く、体育館なども併設されており、雨の日や夏の高温注意報が出ている日でも安心して室内で遊べる点が魅力的だと思った。また、夏場は敷地内にプールを設置して遊べたり、園庭はないものの、敷地内の屋外でも安心して活動ができる点も魅力的だと思った。【保育室利用】
園庭があるから	159	29.7%	最も近い保育園よりも、園庭があることを最優先とした。【保育室利用】
職員の保護者対応が適切だから	154	28.8%	先生方がしっかりされていて、親切で温かい方が多いと感じ、自分の子どもを預けるのに安心できると思ったため。【区立認可利用】
カリキュラムが魅力的だから	89	16.6%	満1歳から預かってくれ、リトミックや工作などカリキュラムも豊富で魅力的だったから。【認可外利用】
英語を学ばせたかったから	59	11.0%	先生が日本語を話すことが無い為、子供は通っている時間ずっと英語に触れられるから。【認可外利用】
給食など保育サービスが充実しているから	117	21.9%	給食は言う事がない程充実、苦手なものがたべられるようになった。【小規模利用】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	7	1.3%	—
自転車による通園が認められているから	17	3.2%	—
自家用車による通園が認められているから	6	1.1%	—
保育料が安いから	35	6.5%	共働きかつそこまで保育にお金をかけられないので、保育園以外の選択肢はなかった。【区立認可利用】
利用料に対する補助金が活用できるから	27	5.0%	—
保護者の就労形態に合っているから	122	22.8%	復職するために1歳で預ける必要があった。また、何回も保活をするのは難しかったので、5歳まで預けられる施設がよかった。そうすると保育園か港区保育室が選択肢となるが、見学しに行ったり、家との距離を考えて希望を出し、第一希望が通った。【私立認可利用】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	86	16.1%	小規模園かつ保育理念もシンプルで、子供が子供らしく過ごせる環境だと心から思いました。家から近い大型園も候補に上がっていましたが、賑やかな環境が、家庭とはあまりにも異なり過ぎて生後12ヶ月での入園はストレスフルだと感じた。【小規模利用】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	42	7.9%	空いている施設がそこしかなかった。【保育室利用】
その他	58	10.8%	義理の母が、毎日行く保育園を認めてないので。【認可外利用】
1歳回答合計	535	100.0%	

(5) 2歳児がいる世帯

POINT | 2歳児がいる世帯

- 2歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の約9割、母親の約4割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 産休・育休・介護休業中の母親は約1割。1歳の子どもがいる調査回答世帯の約2割から減少。
- 約8割が施設利用世帯。
- 在宅子育て家庭は約2割。1歳の子どもがいる調査回答世帯の約3割から減少。



ア 両親の就労時間

2歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(94.4%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(43.6%)」がもっとも多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない(20.2%)」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である(11.9%)」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(11.4%)」、「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である(11.1%)」となっている。



両親の就労時間(2歳)

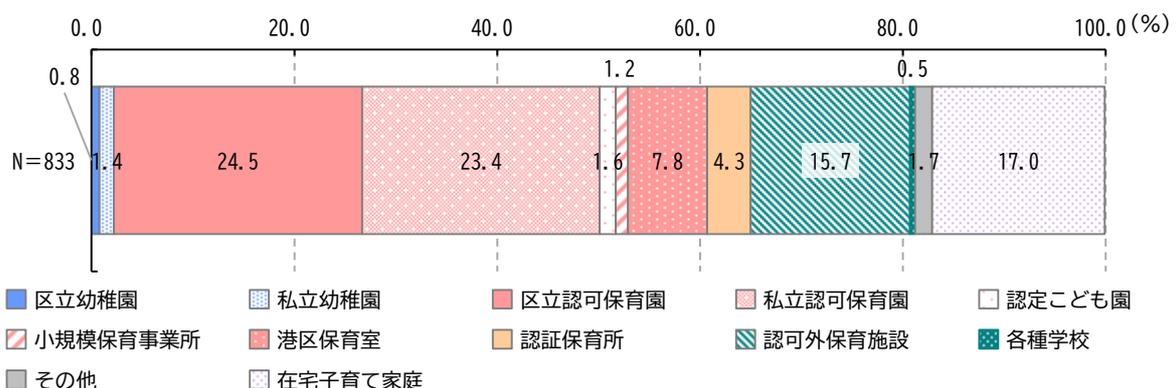
下段: 上段: 度 数 %	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労経 験無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	761	7	27	8	0	3	0	806
	94.4%	0.9%	3.3%	1.0%	0.0%	0.4%	0.0%	100.0%
母親	353	96	90	92	6	164	9	810
	43.6%	11.9%	11.1%	11.4%	0.7%	20.2%	1.1%	100.0%

イ 施設の利用状況と選んだ理由

2歳は、「区立認可保育園(24.5%)」、「私立認可保育園(23.4%)」、「在宅子育て家庭(17.0%)」、「認可外保育施設(15.7%)」、「港区保育室(7.8%)」、「認証保育所(4.3%)」、「認定こども園(1.6%)」、「小規模保育事業所(1.2%)」の順に多い。



施設利用割合(2歳)





施設を選んだ理由（2歳・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	510	74.0%	自宅から1番近く、雨の日でも濡れずに登園できるから。【私立認可利用】
施設設備が充実しているから	206	29.9%	建物が元々保育園として作られている為に子供にとっても良く考えられた作りに成っている。【区立認可利用】
園庭があるから	196	28.4%	園庭で裸足で遊べるし、木登りもでき、子供らしくのびのび育児してくれる。【こども園利用】
職員の保護者対応が適切だから	214	31.1%	園長先生の保育に対する姿勢が素晴らしく、全ての対応に安心感があります。【区立認可利用】
カリキュラムが魅力的だから	139	20.2%	運動能力の開発と非認知能力を鍛えられる園と感じたから。【認可外利用】
英語を学ばせたかったから	86	12.5%	英語教育を可能な限り早期から始めたかった、また考える力をつけさせたかった為インターナショナルスクールを選択した。【認可外利用】
給食など保育サービスが充実しているから	137	19.9%	給食やプール、病児保育とサービスが充実していると感じた。経営が病院系なので安心感があった。【私立認可利用】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	21	3.0%	スクールバスがあるから。以前通っていた区の認可園は片道30分以上かかったため。【認可外利用】
自転車による通園が認められているから	32	4.6%	—
自家用車による通園が認められているから	3	0.4%	—
保育料が安いから	44	6.4%	利用料金が低額で、それにも関わらず園庭など施設が非常に充実していることから区立保育園を選択した。【区立認可利用】
利用料に対する補助金が活用できるから	45	6.5%	区立保育園、私立保育園と比べて補助があれば保育料の負担に差がないため。【認証利用】
保護者の就労形態に合っているから	157	22.8%	上の子もお世話になった信頼感と、学区内中心に位置する利便性、認証保育園であるため、一時的に仕事を辞めることがあっても利用可能であること。【認証利用】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	105	15.2%	定員が100人以上だったので、より多くの友達と触れ合えると思った。【区立認可利用】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	49	7.1%	認可保育園に落ちて、空いている保育室に再度希望を出して通った。結果的には先生達が子どもの事を良く見てくれていると感じられて安心して預けられている。【保育室利用】
その他	64	9.3%	医療的ケアが可能な保育園は他になく、比較検討なし。【区立認可利用】
2歳回答合計	689	100.0%	

(6) 3歳児がいる世帯

POINT | 3歳児がいる世帯

- 3歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の約9割、母親の約4割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 育児短時間勤務中の母親は約1割。
- 9割以上が施設利用世帯。
- 在宅子育て家庭は約0.2割。2歳の子どもがいる調査回答世帯の約2割から減少。



ア 両親の就労時間

3歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(94.9%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(43.3%)」がもっとも多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない(22.3%)」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(12.9%)」となっている。



両親の就労時間 (3歳)

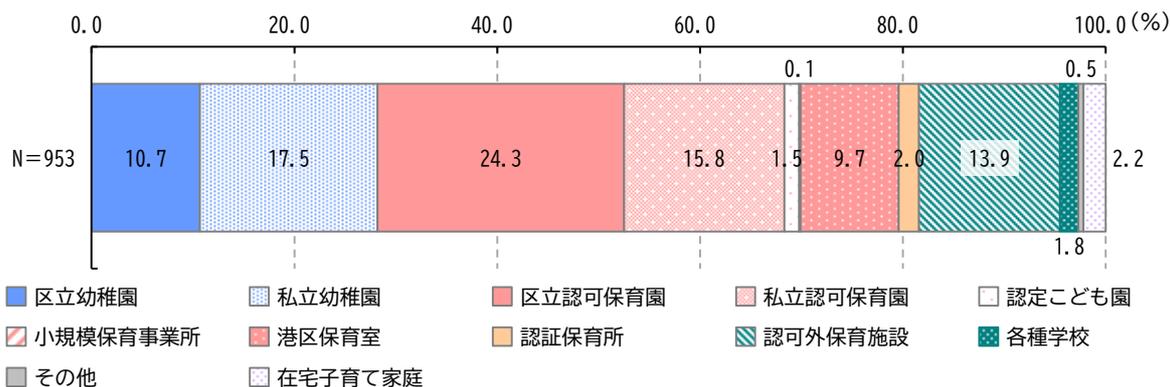
下段・ 上段 度数 %	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	872	5	27	9	2	3	1	919
	94.9%	0.5%	2.9%	1.0%	0.2%	0.3%	0.1%	100.0%
母親	398	87	87	119	10	205	14	920
	43.3%	9.5%	9.5%	12.9%	1.1%	22.3%	1.5%	100.0%

イ 施設の利用状況と選んだ理由

3歳は、「区立認可保育園(24.3%)」、「私立幼稚園(17.5%)」、「私立認可保育園(15.8%)」、「認可外保育施設(13.9%)」、「区立幼稚園(10.7%)」、「港区保育室(9.7%)」、「在宅子育て家庭(2.2%)」、「認証保育所(2.0%)」、「各種学校(1.8%)」、「認定こども園(1.5%)」の順に多い。



施設利用割合 (3歳)





施設を選んだ理由（3歳・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	651	69.8%	父母共に就労する上で、通園・送迎が無理なく行える立地にある保育園を選択した。【私立認可利用】
施設設備が充実しているから	242	25.9%	見学に行った際、施設が大変綺麗で日当たりが良く、明るい印象を受けました。室内でもホールが広く、雨でも遊べて良いと思いました。【保育室利用】
園庭があるから	327	35.0%	園庭で水遊びをした後にシャワーを浴びた子供を保育士が待ち構えて拭いているのを見て、のびのび育てられていると思った。【区立認可利用】
職員の保護者対応が適切だから	311	33.3%	子供第一に考え、子育てにおいても私自身が学ぶことが多い園だと思ったから。【区立幼利用】
カリキュラムが魅力的だから	252	27.0%	国際バカロレア教育、英語教育、日本語教育に加えて、毎週の専門家によるリトミック・体操・空手・水泳教室などカリキュラムが充実していること。さらに、アフタースクールで、ダンス・STEM・英語・リトルアスリートがあり、共働きののでありがたい。【認可外利用】
英語を学ばせたかったから	109	11.7%	区立保育園に通っていたが、保育園に比べるとカリキュラム構成やビジョンが全く違うレベルで優れており、かつ英語話者になれる近道という事でインターナショナルスクールを選択した。【認可外利用】
給食など保育サービスが充実しているから	182	19.5%	給食があることも含め、3年保育の幼稚園が港区の自宅付近で選択肢が少なく、自らが通っていた幼稚園を選択した。【私立幼利用】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	73	7.8%	スクールバスや週5日給食があるので助かっています。【私立幼利用】
自転車による通園が認められているから	54	5.8%	—
自家用車による通園が認められているから	21	2.3%	—
保育料が安いから	85	9.1%	働かないと収入が低いことから保育園しか選択がなかった。【区立認可利用】
利用料に対する補助金が活用できるから	75	8.0%	認可保育園に落ちて、近所で補助金ができる保育園を探していたたまたまみつけたので選んだが、保育時間も長く、子供も楽しんでいて、英語も身についたので満足している。【認可外利用】
保護者の就労形態に合っているから	208	22.3%	本来は教育内容が優れていると考えて幼稚園に通わせなかったが、延長保育等の制度が充実しておらず、保護者の就業形態上、利用が難しく、結果的に保育園を選択した。【区立認可利用】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	133	14.3%	小規模園であり、大きな集団で過ごすのはストレスが多いと思われた息子にはあっているのではないかと思った。【私立認可利用】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	33	3.5%	港区の幼稚園は弁当持参が基本。たとえ延長保育があっても、働いている朝に弁当を作る負担は、凄く大きい。働く場合、保育園しかないと思う。【保育室利用】
その他	103	11%	首都直下が懸念される中、職員がどれくらい危機意識を持って日頃の防災訓練に力を入れているか質問した。実際災害が起こった場合、避難ルートやどのように対応するか答えられる園は意外と少なかった。園長は、きちんと防災マップを把握しており、時と場合によっては避難せず園に留まる場合もあるとしっかり答えてくれた。【保育室利用】
3歳回答合計	933	100.0%	

(7) 4歳児がいる世帯

POINT | 4歳児がいる世帯

- 4歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の約9割、母親の約5割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 育児短時間勤務中の母親は約1割。
- 9割以上が施設利用世帯。



ア 両親の就労時間

4歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(94.7%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(46.5%)」がもっとも多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない(24.3%)」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(13.9%)」となっている。

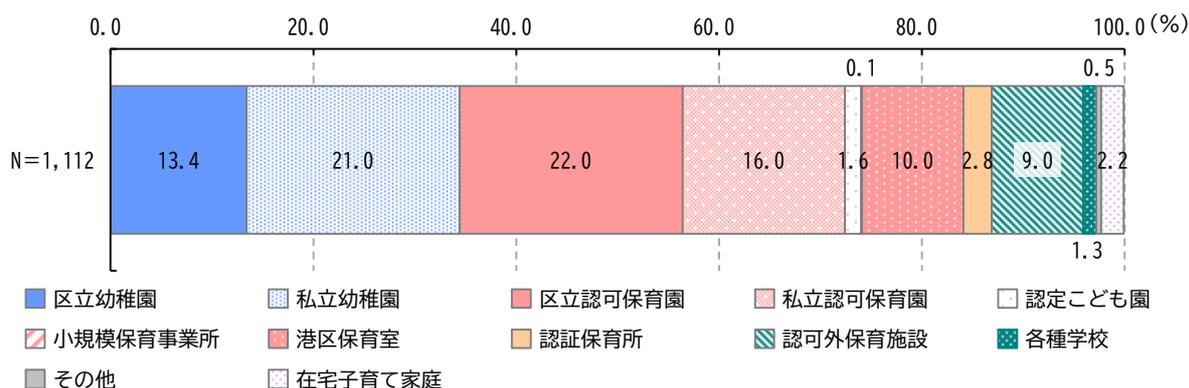
両親の就労時間 (4歳)

下段: 上段: 度: 数: %	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労経 験無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	1,002	5	38	6	1	6	0	1,058
	94.7%	0.5%	3.6%	0.6%	0.1%	0.6%	0.0%	100.0%
母親	499	52	89	149	10	260	13	1,072
	46.5%	4.9%	8.3%	13.9%	0.9%	24.3%	1.2%	100.0%

イ 施設の利用状況と選んだ理由

4歳は、「区立認可保育園(22.0%)」、「私立幼稚園(21.0%)」、「私立認可保育園(16.0%)」、「区立幼稚園(13.4%)」、「港区保育室(10.0%)」、「認可外保育施設(9.0%)」、「認証保育所(2.8%)」、「在宅子育て家庭(2.2%)」、「認定こども園(1.6%)」、「各種学校(1.3%)」の順に多い。

施設利用割合 (4歳)





施設を選んだ理由（4歳・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	739	68.5%	自宅マンションの1階にあるのは、時短になり、災害などがあつた時にすぐに駆けつけられるので、最重要。【私立認可利用】
施設設備が充実しているから	241	22.3%	新設の園で衛生的にきれいかつ、部屋も広かった所以他と比べて子供がのびのび過ごせると思ったから。【私立認可利用】
園庭があるから	388	36.0%	素晴らしい園庭があり自然との関わりを大切にしたい育児に好感が持てた。【区立幼利用】
職員の保護者対応が適切だから	319	29.6%	前に通っていた施設は、先生により子供に対する接し方に大きく差があり、毎年どの先生が担任になるか不安であった。また、保育士の都合で子供を保育している様子が見てとれた為、疑問を感じた。一方、現在通っている施設は、子供のことを第一に考え保育しており、先生がたが真剣に子供と向き合い成長の手助けをしている。【私立幼利用】
カリキュラムが魅力的だから	278	25.8%	子供が楽しく通えそうな行事やカリキュラムが充実していること。土の園庭や畑、動植物とのふれあいを通して、都会で暮らしていながら、自然を感じることができることが魅力的で選択した。【私立幼利用】
英語を学ばせたかったから	86	8.0%	今後、国際的に活躍する上で、子供の頃からの語学を含め、英語教育が大事と考えているため。【認可外利用】
給食など保育サービスが充実しているから	149	13.8%	幼稚園よりも給食などのサービスが充実していると考えて保育園を選択した。【認証利用】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	75	7.0%	出社に間に合うスクールバスがあつたから。【認可外利用】
自転車による通園が認められているから	79	7.3%	公立の幼稚園は倍率もあり、希望より遠いところになってしまったり、遠いにも関わらず自転車通園も認められていないので幼児教室に通い、なんとか私立幼稚園への入園に至った。【私立幼利用】
自家用車による通園が認められているから	19	1.8%	—
保育料が安いから	84	7.8%	港区認可のため利用料が安い。【区立認可利用】
利用料に対する補助金が活用できるから	68	6.3%	認証しか入れなかった。補助も出るのでまずは入園し、一ヶ月以内にすぐ働けるパートをはじめてから契約派遣社員になった。【認証利用】
保護者の就労形態に合っているから	220	20.4%	両親フルタイム（早朝勤務・残業有）の就労形態を踏まえると、子どもの保育環境として、認可保育園が最善だから。【私立認可利用】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	131	12.1%	明確な教育方針があり、小規模で園児ひとりひとりを丁寧に見てくださるため、子供の情操教育上良いと感じて選択した。【私立幼利用】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	71	6.6%	園庭のある所を希望したが、入れなかった。近所で口コミも良い所を選んだ。【認証利用】
その他	137	12.7%	家系が代々卒業生なので。【私立幼利用】
4歳回答合計	1,079	100.0%	

(8) 5歳児がいる世帯

POINT | 5歳児がいる世帯

- 5歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の9割以上、母親の約5割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 育児短時間勤務中の母親は約1割。
- 9割以上が施設利用世帯。



ア 両親の就労時間

5歳の子どもがいる調査回答世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(95.9%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(47.4%)」がもっとも多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない(26.0%)」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(13.0%)」となっている。

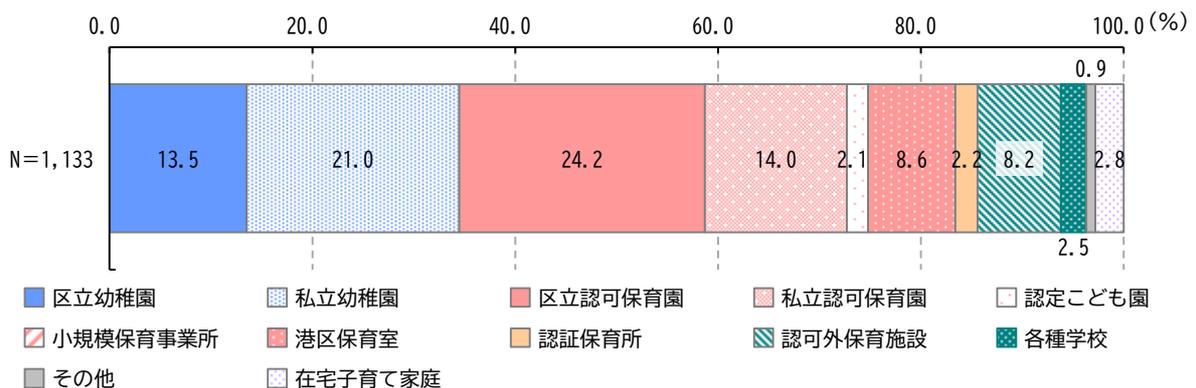
両親の就労時間 (5歳)

下段: 上段: 度 数 %	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労経 験無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	1,050	2	23	8	0	11	1	1,095
	95.9%	0.2%	2.1%	0.7%	0.0%	1.0%	0.1%	100.0%
母親	520	55	79	143	6	285	10	1,098
	47.4%	5.0%	7.2%	13.0%	0.5%	26.0%	0.9%	100.0%

イ 施設の利用状況と選んだ理由

5歳は、「区立認可保育園(24.2%)」、「私立幼稚園(21.0%)」、「私立認可保育園(14.0%)」、「区立幼稚園(13.5%)」、「港区保育室(8.6%)」、「認可外保育施設(8.2%)」、「在宅子育て家庭(2.8%)」、「各種学校(2.5%)」、「認証保育所(2.2%)」、「認定こども園(2.1%)」の順に多い。

施設利用割合 (5歳)





施設を選んだ理由（5歳・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	728	66.4%	居住しているタワーマンションの1階に入っている園だから、クラスメイトも同じマンションで休みの日に一緒に遊べる。【私立認可利用】
施設設備が充実しているから	264	24.1%	プールや体育館の充実度、富士登山やスキー合宿などの行事の充実度を評価した。【認可外利用】
園庭があるから	399	36.4%	園庭が広く、目一杯走り回れることで体力がつくと考えて選択した。【区立認可利用】
職員の保護者対応が適切だから	358	32.6%	幼児教育専門の先生たちが愛情を持ってこどもに接してくれるので、信頼して預けることができる園だと考えて幼稚園を選択した。【私立幼利用】
カリキュラムが魅力的だから	241	22.0%	専業主婦の為、幼稚園の中で区立か私立かを検討し、小学校受験に向けても適切な環境となると思い、今の私立幼稚園に通わせたいと思いました。【私立幼利用】
英語を学ばせたかったから	92	8.4%	海外から帰国した為、英語力を維持したいと考えたから。【各種学校利用】
給食など保育サービスが充実しているから	164	14.9%	園庭や制服がある、給食もあり母親も就労できる幼稚園なので選択した。【私立幼利用】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	75	6.8%	専業主婦のため保育園は考えておらず、選んだ幼稚園は園バスの送迎が近くまで来ること、給食があること、アットホームでのびのびとしている教育理念に共感したから。【私立幼利用】
自転車による通園が認められているから	49	4.5%	—
自家用車による通園が認められているから	22	2.0%	車での送迎可能、給食、ほとんどの児童が受験するから。【私立幼利用】
保育料が安いから	71	6.5%	家から近く、価格の安い認可保育園だったから。【区立認可利用】
利用料に対する補助金が活用できるから	39	3.6%	—
保護者の就労形態に合っているから	180	16.4%	今の就労形態から保育園の一択だった。インターナショナルスクール等も魅力的でしたが、費用面から断念しました。【私立認可利用】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	125	11.4%	大人数でいろいろな友だちと接することができる、性別、年齢、様々な先生がいる点に魅力を感じた。【保育室利用】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	61	5.6%	私立幼稚園をお受験しましたが、入れず、入りました。本来、造形授業等が充実した学校に行かせたかったです。【区立幼利用】
その他	160	14.6%	食物アレルギーがあり、給食のある幼稚園だと1人だけお弁当になった場合に寂しい思いをと思ったため、全員お弁当の幼稚園を選択した。また、人数が多い幼稚園よりも園児1人1人に対して目が行き届くと思ったから。【区立幼利用】
5歳回答合計	1,097	100.0%	

(9) 3歳児クラス進級時の施設選択

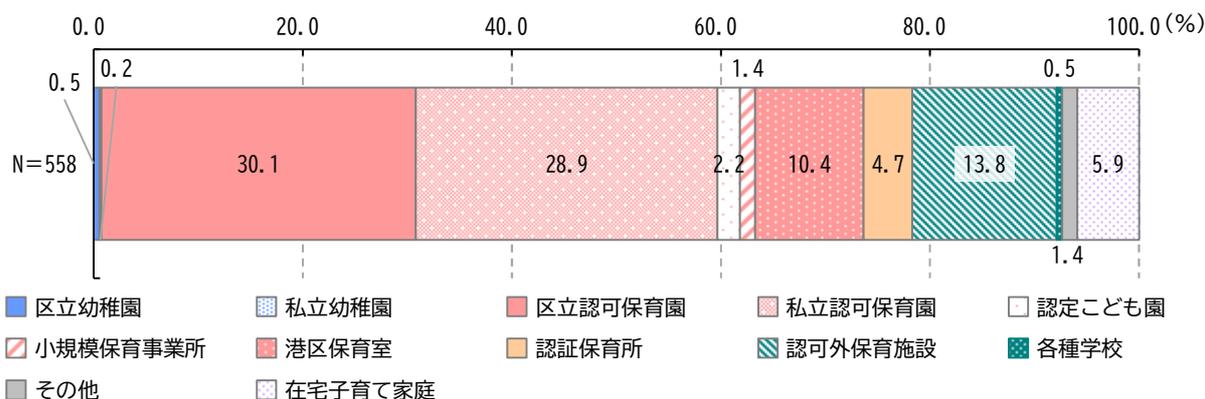
施設選択において、ターニングポイントとなる時期が、多くの幼稚園やインターナショナルスクールの入園可能年齢となる3歳児クラス進級時であり、共働き世帯と専業主婦（主夫）世帯では、2歳から3歳にかけての施設利用割合の変化の傾向が異なる。

共働き世帯の年齢別施設利用割合を見ると、2歳では73.0%あった保育園等（認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室）が、3歳では67.8%に微減し、幼稚園利用者が区立と私立をあわせて11.8%となっている。共働き世帯では、2歳から3歳にかけて入園可能年齢に達したことで幼稚園利用者が増えているものの、保育園等の利用割合は約7割あり、施設の選択肢が増える3歳においても保育園等の利用が多くを占めている。

専業主婦（主夫）世帯の年齢別施設利用割合を見ると、2歳では半数以上の56.9%が在宅子育て家庭、25.5%が認可外保育施設・各種学校を利用しているが、3歳では75.3%が幼稚園を利用し、在宅子育て家庭は5.9%と激減している。専業主婦（主夫）世帯では、在宅で子育てをしていた世帯や認可外保育施設を利用していた世帯が3歳になり、幼稚園を利用するようになる割合が高い。

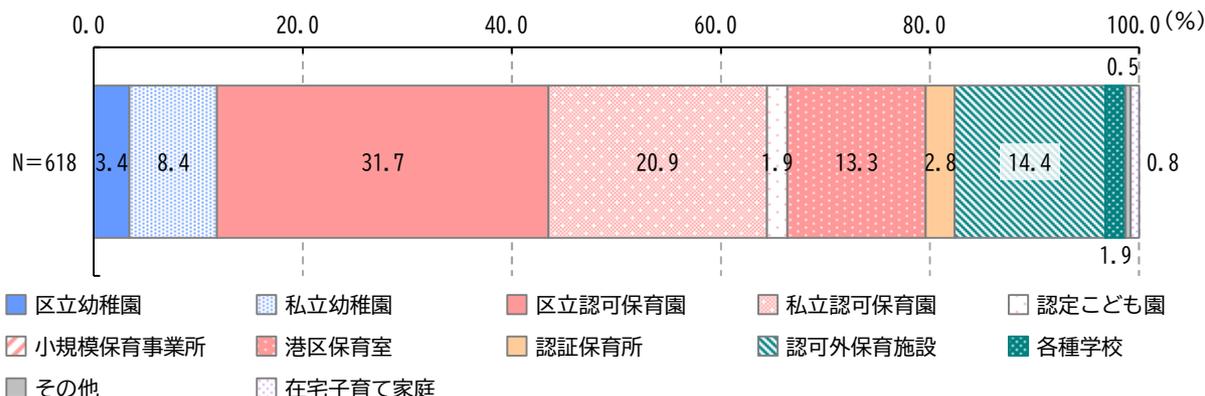
施設利用割合

< 2歳児(共働き世帯) > **保育園等：73.0%**



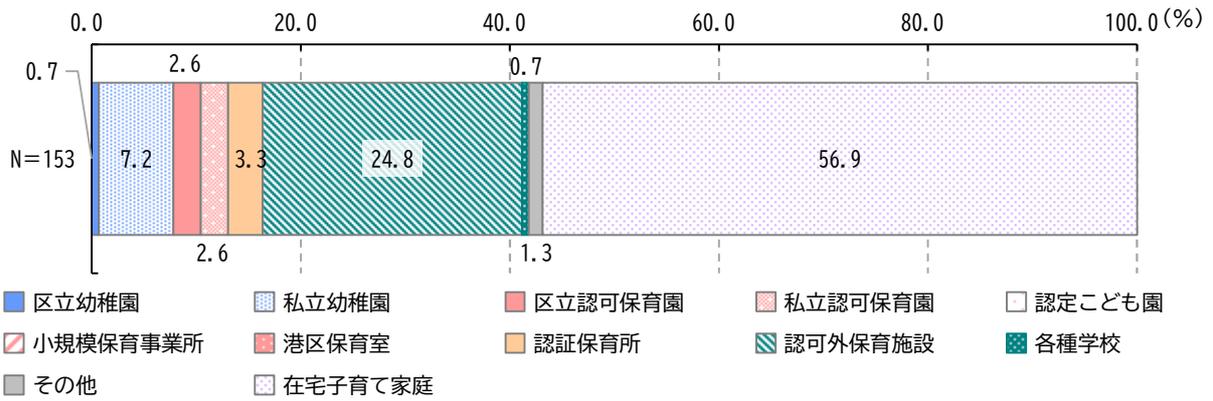
< 3歳児(共働き世帯) >

幼稚園：11.8% **保育園等：67.8%**



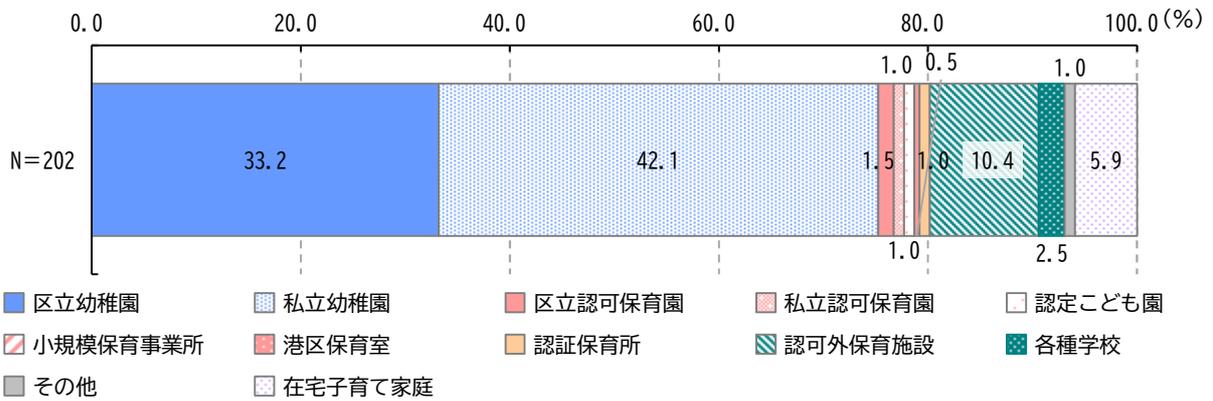
< 2歳児(専業主婦(主夫)世帯) >

在宅子育て家庭：56.9%



< 3歳児(専業主婦(主夫)世帯) >

幼稚園：75.3%

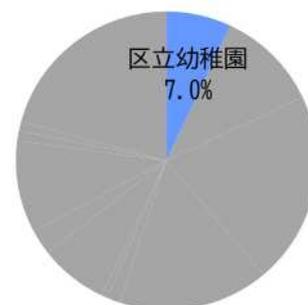


2 施設種別の利用状況

(1) 区立幼稚園利用世帯【回答 5,983 世帯中 418 世帯、全体の 7.0%】

POINT | 区立幼稚園利用世帯

- 区立幼稚園利用世帯の父親の約9割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。母親の約7割が未就労。
- 世帯年収でもっとも多いのは「1,000～1,500万円未満」。
- 登園方法でもっとも多いのは徒歩で約8割。
- 約9割が現在利用している区立幼稚園に満足している一方、約1割が別の施設を利用したいと考えている。
- 施設選択理由で多いのが、「家から近い」「園庭がある」。



ア 子どもの年齢

区立幼稚園利用世帯の子どものクラス年齢は、「5歳（37.0%）」、「4歳（36.1%）」、「3歳（24.7%）」の順に多い。



子どもの年齢（区立幼稚園利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	2	0.5%
1歳	-	-
2歳	7	1.7%
3歳	102	24.7%
4歳	149	36.1%
5歳	153	37.0%
合計	413	100.0%

※入園可能年齢以外の回答についてもそのまま掲載している。

イ 両親の就労時間

区立幼稚園利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（94.7%）」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「以前は就労していたが、現在は就労していない（63.6%）」がもっとも多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（20.1%）」となっている。



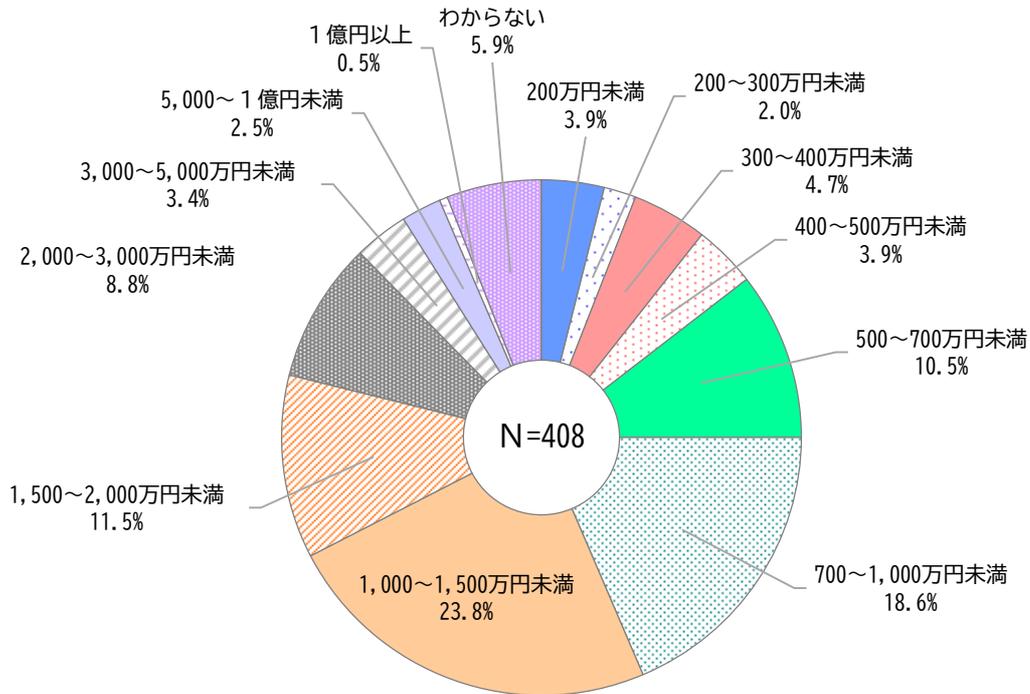
両親の就労時間（区立幼稚園利用世帯）

下段・上段 度数	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験 無	合計
	通常勤務	産休・育休・介護休業中	育児短時間勤務中	通常勤務	産休・育休・介護休業中			
父親	377	4	6	4	-	7	-	398
	94.7%	1.0%	1.5%	1.0%	-	1.8%	-	100.0%
母親	25	14	8	79	4	250	13	393
	6.4%	3.6%	2.0%	20.1%	1.0%	63.6%	3.3%	100.0%

ウ 経済状況

区立幼稚園利用世帯の世帯年収は、「1,000～1,500万円未満（23.8%）」がもっとも多く、次いで「700～1,000万円未満（18.6%）」、「1,500～2,000万円未満（11.5%）」、「500～700万円未満（10.5%）」となっている。

 世帯年収（区立幼稚園利用世帯）



エ 登園方法

区立幼稚園利用世帯の登園方法は、「徒歩（75.8%）」がもっとも多く、次いで「自転車（17.9%）」となっている。平均登園時間は10.9分だった。

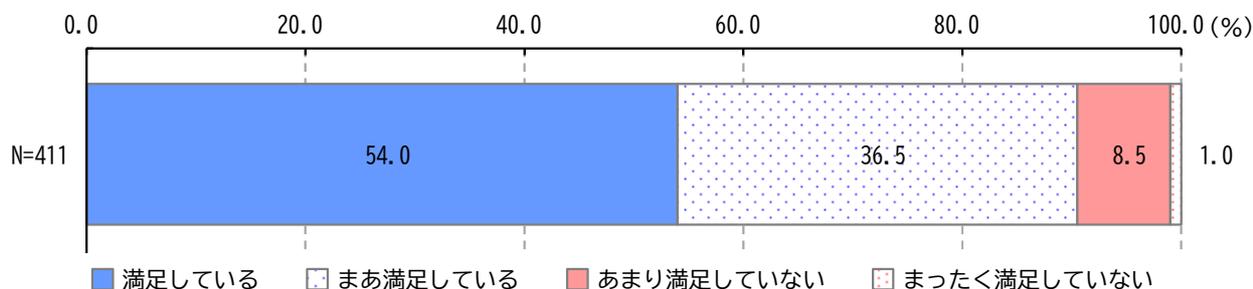
 登園方法（区立幼稚園利用世帯）

	実数	割合	平均時間
徒歩	313	75.8%	10.2分
自転車	74	17.9%	10.4分
乗用車	2	0.5%	8.5分
公共交通機関のバス	21	5.1%	21.8分
施設のスクールバス	-	-	-
電車	2	0.5%	25分
その他	1	0.2%	20分
合計	413	100.0%	10.9分

オ 満足度

区立幼稚園利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している（54.0%）」がもっとも多く、次いで「まあ満足している（36.5%）」となっている。

 施設に対する満足度（区立幼稚園利用世帯）



 満足度の理由（区立幼稚園利用世帯）

満足度	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
満足している	222	54.0%	小学校への進学を意識した教育内容、季節行事も多く取り入れており、子供の成長にとって良いと感じています。【4歳/共働き】 素晴らしい園庭があり自然との関わりを大切にしていることに共感しているから。また、それを園長や先生方が適宜発信して保護者に伝えてくれているから。娘も大好きで毎日楽しく通っているから。【4歳/共働き】 最近では、コロナ禍においても感染対策をした上で最大限の出来ることを、子ども達に教育や経験の場として提供してくれているから。【5歳/共働き】 少人数なので、園が一体となって見守ってくれているように感じます。また、日当たりがとても良く小学校の運動場も使用させてもらえたりするので、子供たちも元気に過ごせているようだから。【5歳/共働き】
まあ満足している	150	36.5%	教育内容には満足しているが、サポート保育を充実させて欲しい。共働きの親でも通いやすいようにして欲しい。【4歳/共働き】 不満はあるが、先生方の子どもへの対応が素晴らしいので全てカバーできている。【5歳/専業主婦】 子供が楽しそうにしているので良いと思うが、学年が上がると少しお勉強要素も入れてほしいとも思う。【3歳/専業主婦】
あまり満足していない	35	8.5%	勉強までとは言わないが、日本の伝統行事や文化などの教育、箸や身の回りの事の指導はしっかりして欲しい。【4歳/共働き】 自転車での通園が認められていない。PTAの存在意義が不明。園児の人数が少ない。【4歳/共働き】 就学前の準備（学力）、体力づくりの時間があまり設けられていない。給食がない（弁当を持参しなくては行けない）。【5歳/専業主婦】
まったく満足していない	4	1.0%	保育中のカリキュラムの内容が保育園や他の幼稚園に比べ充実していない。【4歳/専業主婦】 就労時間に合わないため保育園に転校すべきか迷っている。【4歳/共働き】

カ 選んだ理由

区立幼稚園利用世帯の施設を選んだ理由は、「家から近く利用しやすいから（85.3%）」がもっとも多く、次いで「園庭があるから（48.1%）」、「職員の保護者対応が適切だから（23.8%）」、「保育料が安いから（18.8%）」、「施設設備が充実しているから（15.9%）」、「施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから（15.6%）」となっている。

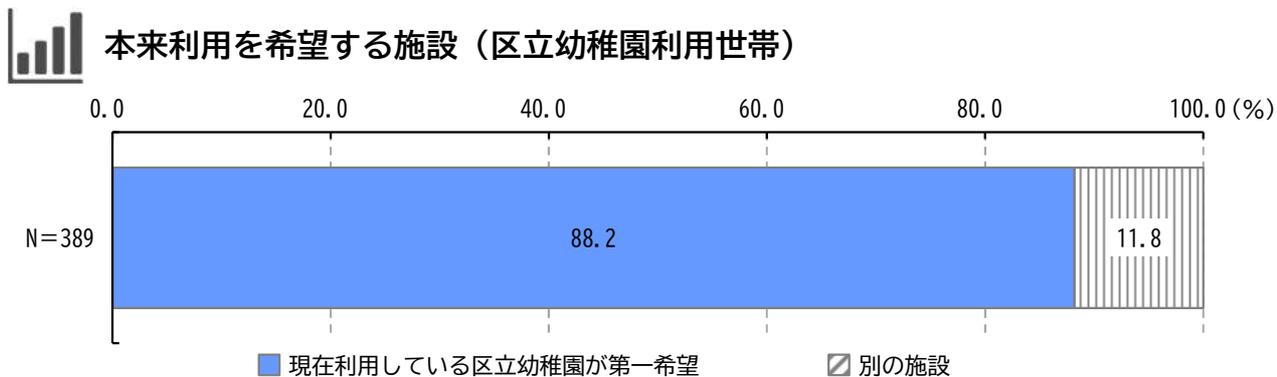


施設を選んだ理由（区立幼稚園利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	355	85.3%	兄姉が近くの小学校に通学しており、災害時の引取りに際して場所が近い事で保護者の負担が少なくなると考えたから。【3歳/専業主婦】 家からの近さでしか選んでない（下の子がいるので）。【3歳/専業主婦】
施設設備が充実しているから	66	15.9%	豊富な絵本の蔵書に惹かれた。【5歳/共働き】
園庭があるから	200	48.1%	園庭があって保育園よりも体を使って過ごす機会が多そうだったから。【3歳/共働き】 のびのび遊べる、自然と触れ合える幼稚園に行かせたかった。【5歳/専業主婦】
職員の保護者対応が適切だから	99	23.8%	生徒同士、親同士、先生方とも沢山の交流ができています。【5歳/専業主婦】
カリキュラムが魅力的だから	30	7.2%	保育園より幼稚園のほうが、一人の教育に対しての目標と成果発表がきちんとされているため。【4歳/専業主婦】
英語を学ばせたかったから	-	-	—
給食など保育サービスが充実しているから	2	0.5%	—
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	-	-	—
自転車による通園が認められているから	20	4.8%	自転車通園が可能だった。【4歳/専業主婦】
自家用車による通園が認められているから	-	-	—
保育料が安いから	78	18.8%	近さ重視でインターナショナルスクールと区立幼稚園で検討したが、あまりに費用の差が大きかったので安い区立にした。【3歳/専業主婦】
利用料に対する補助金が活用できるから	14	3.4%	—
保護者の就労形態に合っているから	23	5.5%	保育園に入る要件を満たしていなかったため、必然的に幼稚園を選択することになった。【4歳/専業主婦】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	65	15.6%	こじんまりとした規模で教師の保育が行き届いている。【3歳/専業主婦】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	26	6.3%	希望した幼稚園の入園試験に落ちたため。【4歳/専業主婦】
その他	43	10.3%	行きたい小学校の敷地内にあるから。【5歳/共働き】

キ 本来の利用希望施設

区立幼稚園利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している区立幼稚園を第一希望とする世帯が 88.2%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が 11.8% となっている。

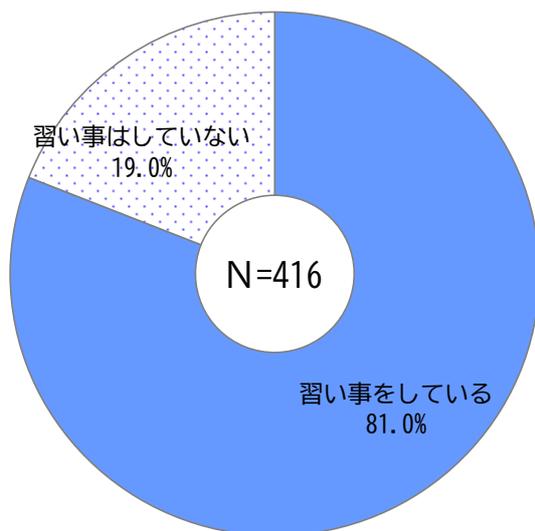


ク 習い事の有無・海外留学意向

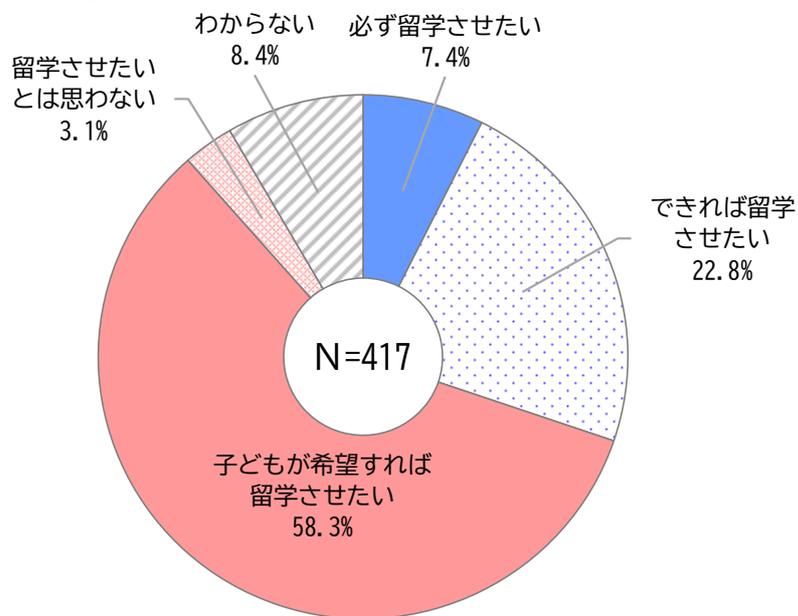
区立幼稚園利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が 81.0%、習い事をしていない世帯が 19.0% となっている。

区立幼稚園利用世帯の海外留学の意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (58.3%)」がもっとも多く、次いで「できれば留学させたい (22.8%)」となっている。

習い事の有無 (区立幼稚園利用世帯)



海外留学意向 (区立幼稚園利用世帯)



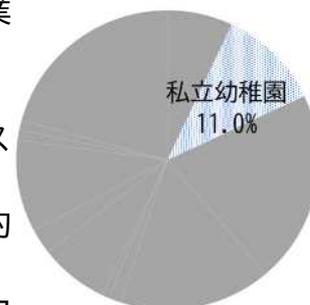
【参考】港区立幼稚園一覧（令和4年5月現在）

施設名	所在地	定員数
赤羽幼稚園	三田 1-4-52	60
芝浦幼稚園	芝浦 4-8-18	155
高輪幼稚園	高輪 2-12-31	115
白金台幼稚園	白金台 3-7-1	170
三光幼稚園	白金 3-13-8	85
港南幼稚園	港南 4-3-27	170
麻布幼稚園	麻布台 1-5-15	170
南山幼稚園	元麻布 3-8-15	85
本村幼稚園	南麻布 3-9-33	60
中之町幼稚園	赤坂 9-7-8	170
青南幼稚園	南青山 4-18-17	170
にじのはし幼稚園	台場 1-1-5	85

(2) 私立幼稚園利用世帯【5,983世帯中661世帯、全体の11.0%】

POINT | 私立幼稚園利用世帯

- 私立幼稚園利用世帯の父親の約9割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。母親の約6割が未就労。
- 世帯年収でもっとも多いのは「1,000～1,500万円未満」。
- 登園方法でもっとも多いのは自転車で約3割。次いで施設のスクールバス、徒歩。
- 約9割が現在利用している私立幼稚園に満足している一方、約1割が別の施設を利用したいと考えている。
- 施設選択理由で多いのが、「家から近い」「カリキュラムが魅力的」。



ア 子どもの年齢

私立幼稚園利用世帯の子どものクラス年齢は、「5歳（36.3%）」、「4歳（35.7%）」、「3歳（25.5%）」の順に多い。



子どもの年齢（私立幼稚園利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	-	-
1歳	5	0.8%
2歳	12	1.8%
3歳	167	25.5%
4歳	234	35.7%
5歳	238	36.3%
合計	656	100.0%

※入園可能年齢以外の回答についてもそのまま掲載。

イ 両親の就労時間

私立幼稚園利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（95.0%）」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「以前は就労していたが、現在は就労していない（58.0%）」がもっとも多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（17.4%）」、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（14.3%）」となっている。



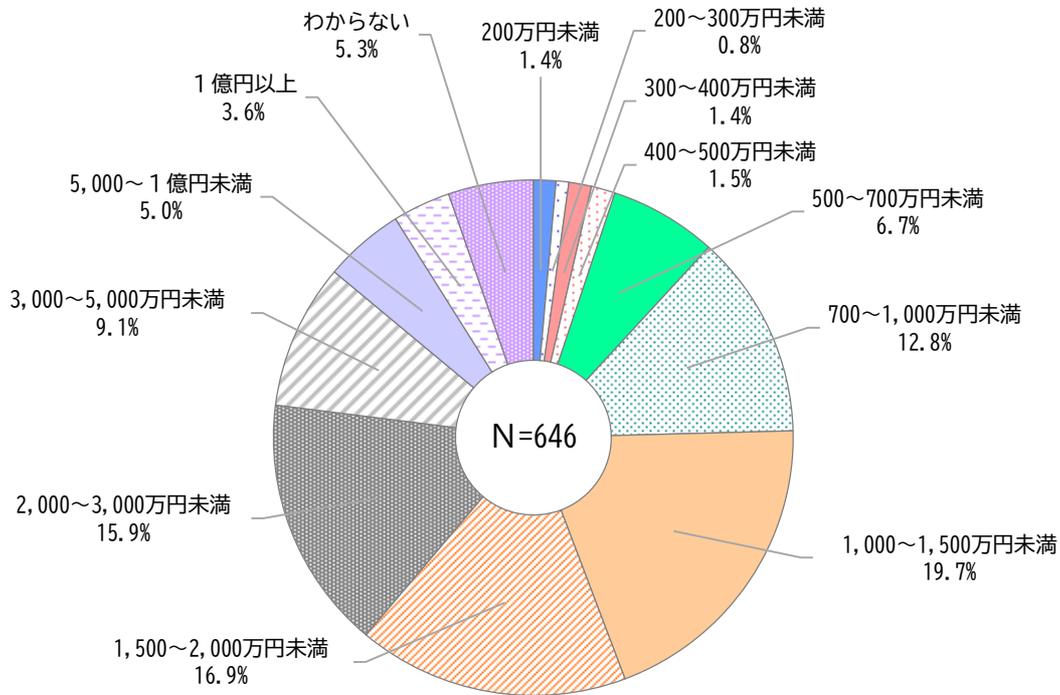
両親の就労時間（私立幼稚園利用世帯）

下段・上段・度数%	フルタイム			パートタイム		現在は未就労	就労経験無	合計
	通常勤務	産休・育休・介護休業中	育児短時間勤務中	通常勤務	産休・育休・介護休業中			
父親	610	-	25	6	-	1	-	642
	95.0%	-	3.9%	0.9%	-	0.2%	-	100.0%
母親	90	16	33	110	4	366	12	631
	14.3%	2.5%	5.2%	17.4%	0.6%	58.0%	1.9%	100.0%

ウ 経済状況

私立幼稚園利用世帯の世帯年収は、「1,000～1,500万円未満（19.7%）」がもっとも多く、次いで「1,500～2,000万円未満（16.9%）」、「2,000～3,000万円未満（15.9%）」、「700～1,000万円未満（12.8%）」となっている。

 世帯年収（私立幼稚園利用世帯）



エ 登園方法

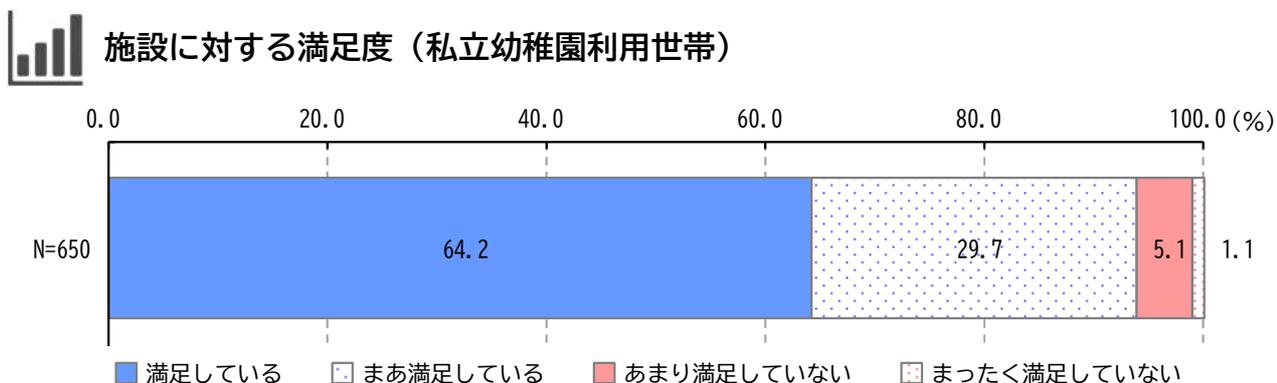
私立幼稚園利用世帯の登園方法は、「自転車（28.3%）」がもっとも多く、次いで「施設のスクールバス（24.0%）」「徒歩（23.9%）」となっている。平均登園時間は17.2分だった。

 登園方法（私立幼稚園利用世帯）

	実数	割合	平均時間
徒歩	156	23.9%	11.8分
自転車	185	28.3%	11.7分
乗用車	56	8.6%	17.1分
公共交通機関のバス	55	8.4%	27.5分
施設のスクールバス	157	24.0%	20.5分
電車	40	6.1%	35.8分
その他	4	0.6%	20分
合計	653	100.0%	17.2分

オ 満足度

私立幼稚園利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している（64.2%）」がもっとも多く、次いで「まあ満足している（29.7%）」となっている。



満足度の理由（私立幼稚園利用世帯）

満足度	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
満足している	417	64.2%	<p>幼児教育に関して専門知識のある先生たちが愛情を持ってこどもに接してくれるので信頼して預けることができます。【5歳/専業主婦（主夫）】日々の保育の中で、季節を取り入れた工作やお歌、遊びをたっぷりとやらせてくれて、こどものよい成長を感じられている。けんかや行き違いもきちんと向き合い、どのように乗り越えたらよいか丁寧に指導してくれている。【5歳/共働き】</p> <p>コロナ禍においても、「生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期」である幼児期に経験すべきことを沢山経験させてくださいます。子どもたちの笑顔が溢れ、長年にわたるノウハウが随所に活かされている教育内容だと思います。【4歳/共働き】</p>
まあ満足している	193	29.7%	<p>延長保育なし、お弁当作りやどこよりも早く長期休みになる等、親にとっては辛い時もありますが、教育方針がしっかりしており、お優しい先生方に見守られて、息子もお友達の気持ちを思いやれる優しい子に育ちました。幼稚園には感謝の気持ちでいっぱいです。【5歳/就労形態無回答】</p> <p>コロナ禍で殆どの行事が無くなったり保育時間もかなり削られたため、本来の幼稚園の良さを存分に味わえていないため。【3歳/専業主婦（主夫）】園庭が広く自由遊びの時間が長い。子供の考えを大切にしてくれる。トラブルの対応が良い。保育士の入れかわりが多い。【4歳/専業主婦（主夫）】</p>
あまり満足していない	33	5.1%	<p>コロナ禍において行事の中止などはやむを得ないが、もう少し園での子供の様子を知るための機会を作って頂きたい。【4歳/専業主婦（主夫）】</p> <p>働きながらも預けられる幼稚園ということで入園したにもかかわらず、働きながらの理解が違い、フルタイムでは預けにくい幼稚園が多いことに気付きました。ぜひフルタイムで働く夫婦でも安心して預けられる園を作ってほしいです！【3歳/共働き】</p>
まったく満足していない	7	1.1%	<p>コロナになり、園の対策に疑問を感じる。新しい先生が来ても1日で来なくなったり、なにか先生達に問題があるのではと思うところもある。【3歳/専業主婦（主夫）】</p>

カ 選んだ理由

私立幼稚園利用世帯の施設を選んだ理由は、「家から近く利用しやすいから（46.9%）」がもっとも多く、次いで「カリキュラムが魅力的だから（44.6%）」、「園庭があるから（43.5%）」、「職員の保護者対応が適切だから（41.1%）」、「給食など保育サービスが充実しているから（25.5%）」となっている。

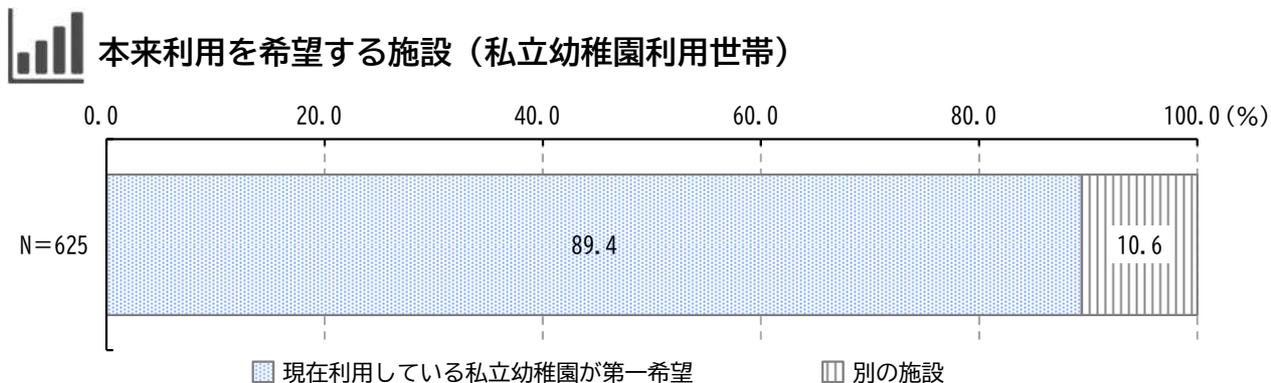


施設を選んだ理由（私立幼稚園利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	305	46.9%	家から徒歩圏であり、幼稚園の規模が適当でありかつ雰囲気の子供にあっていると思ったから。【3歳/共働き】 家から非常に近く、教育方針が素晴らしく、給食のサービスが非常に充実しているため。【5歳/共働き】
施設設備が充実しているから	153	23.5%	施設設備が充実して園庭も新しく、英語の授業などもある為。また、本人に選ばせ希望した為。【5歳/共働き】 給食室が有り、温かく栄養バランスの取れた食事が食べられるから。スクールバスが有るから。【4歳/専業主婦（主夫）】 自然が多い環境。園の教育方針。【3歳/共働き】
園庭があるから	283	43.5%	子供がのびのび遊べることを優先し幼稚園を選択した【5歳/就労形態無回答】 インターと比較したが園庭があるから選んだ。【3歳/専業主婦（主夫）】
職員の保護者対応が適切だから	267	41.1%	知人から、環境や教職員の対応などが、とても良いと聞き、希望して受験しました。【4歳/専業主婦（主夫）】 先生の対応がとても良かった事【3歳/就労形態無回答】
カリキュラムが魅力的だから	290	44.6%	園の教育方針が我が家の教育方針にあうので【5歳/専業主婦（主夫）】 カトリック教育の下で学んでほしかったので。【3歳/就労形態無回答】
英語を学ばせたかったから	7	1.1%	—
給食など保育サービスが充実しているから	166	25.5%	降園後に、5時までの延長保育サービスがありますので、働きながら対応できる。しかも、習い事の教室もオプションとして選べるから。【4歳/共働き】 給食があり、小学校入学への準備ができるから。【4歳/専業主婦（主夫）】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	142	21.8%	区立は給食や園バスがなく蔵書もあまり豊富でなかったため、今の私立幼稚園を選んだ。【3歳/共働き】 近所まで送迎してくれること。【4歳/共働き】
自転車による通園が認められているから	72	11.1%	—
自家用車による通園が認められているから	44	6.8%	—
保育料が安いから	3	0.5%	—
利用料に対する補助金が活用できるから	34	5.2%	—
保護者の就労形態に合っているから	39	6.0%	早朝・保育後ともに預かり保育を実施しており、両親の就労形態で対応出来るうえ、保育園よりも施設・カリキュラムともに充実しているため、入園を希望し転居してきた。認可保育園は第一希望に内定するとは限らないが、幼稚園は自ら受験し、結果によりどの園に行くか自分たちが決められるため、納得感もある。【3歳/共働き】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	99	15.2%	明確な教育方針があり、小規模で園児ひとりひとりを丁寧に見てくださるため、子供の情操教育上良いと感じて選択した【4歳/専業主婦（主夫）】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	7	1.1%	—
その他	125	19.2%	小学校受験を前提に幼稚園の方が保育園よりも望ましいと考えて幼稚園を選択した【5歳/共働き】 子供と過ごす時間を大切にしたいので、預かり時間が短い幼稚園にした。【5歳/就労形態無回答】 家系が代々卒業生なので。【4歳/専業主婦（主夫）】

キ 本来の利用希望施設

私立幼稚園利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している私立幼稚園を第一希望とする世帯が 89.4%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が 10.6% となっている。



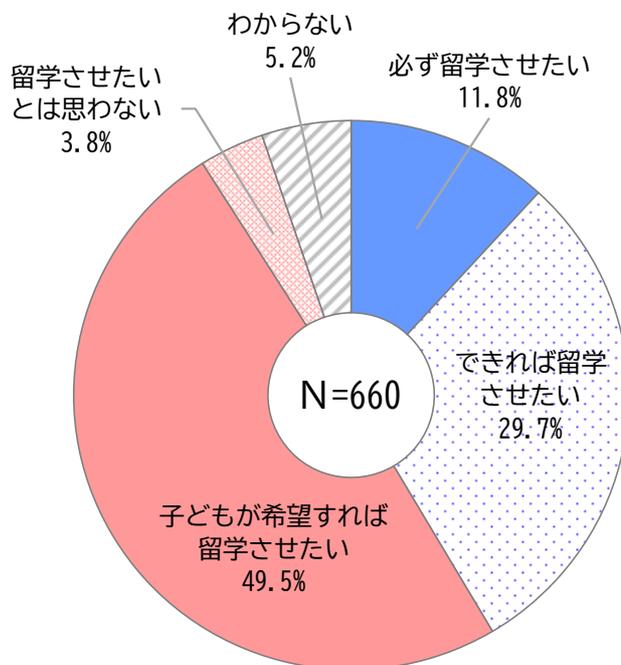
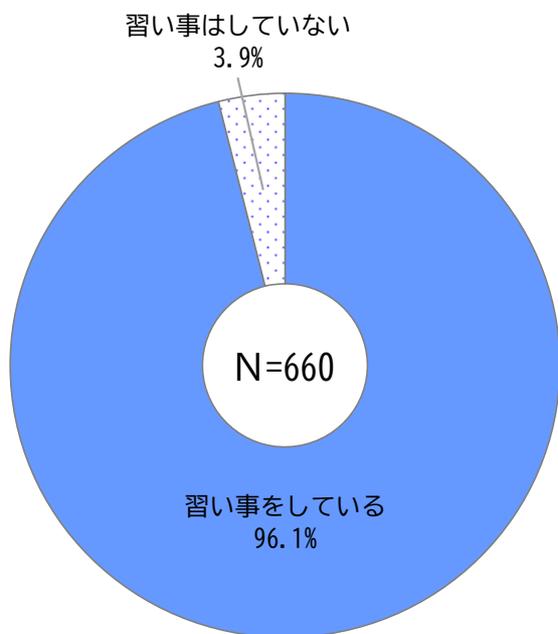
ク 習い事の有無・海外留学意向

私立幼稚園利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が 96.1%、習い事をしていない世帯が 3.9% となっている。

私立幼稚園利用世帯の海外留学の意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (49.5%)」がもっとも多く、次いで「できれば留学させたい (29.7%)」、「必ず留学させたい (11.8%)」となっている。

習い事の有無（私立幼稚園利用世帯）

海外留学意向（私立幼稚園利用世帯）



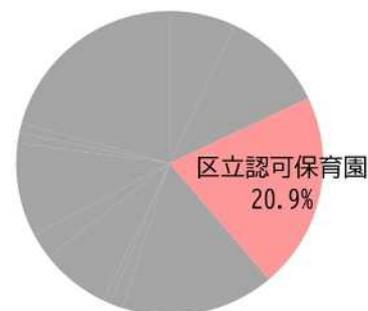
【参考】港区内私立幼稚園一覧（令和4年度）

施設名	所在地	定員数
愛育幼稚園	南麻布 5-6-8	162
麻布山幼稚園	元麻布 1-6-21	120
麻布みこころ幼稚園	西麻布 3-21-6	120
安藤記念教会附属幼稚園	元麻布 2-14-16	70
サンタ・セシリア幼稚園	白金 4-7-23	120
枝光会附属幼稚園	三田 4-19-36	105
白金幼稚園	白金台 5-23-11	150
聖徳大学三田幼稚園	三田 3-4-28	315
東洋英和幼稚園	六本木 5-6-14	130
南部坂幼稚園	南麻布 4-5-6	65
みなと幼稚園	芝 2-25-6	156
明德幼稚園	芝公園 4-7-4	210
霊南坂幼稚園	赤坂 1-14-3	100
若葉会幼稚園	西麻布 4-13-25	160
愛育学園幼稚部（特別支援学校）	南麻布 5-6-8	12

(3) 区立認可保育園利用世帯【5,983世帯中1,250世帯、全体の20.9%】

POINT | 区立認可保育園利用世帯

- 区立認可保育園利用世帯の父親の約9割、母親の約7割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 世帯年収でもっとも多いのは「1,000～1,500万円未満」。
- 登園方法でもっとも多いのは徒歩で約6割。次いで自転車。
- 約9割が現在利用している区立認可保育園に満足している一方、約1割が別の施設を利用したいと考えている。
- 施設選択理由で多いのが、「家から近い」「園庭がある」。



ア 子どもの年齢

区立認可保育園利用世帯の子どものクラス年齢は、「5歳(22.0%)」、「4歳(19.7%)」、「3歳(18.7%)」、「2歳(16.4%)」、「1歳(14.3%)」、「0歳(8.8%)」の順に多い。



子どもの年齢（区立認可保育園利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	110	8.8%
1歳	178	14.3%
2歳	204	16.4%
3歳	232	18.7%
4歳	245	19.7%
5歳	274	22.0%
合計	1,243	100.0%

イ 両親の就労時間

区立認可保育園利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(96.3%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(65.5%)」がもっとも多く、次いで「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である(13.7%)」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である(11.7%)」となっている。



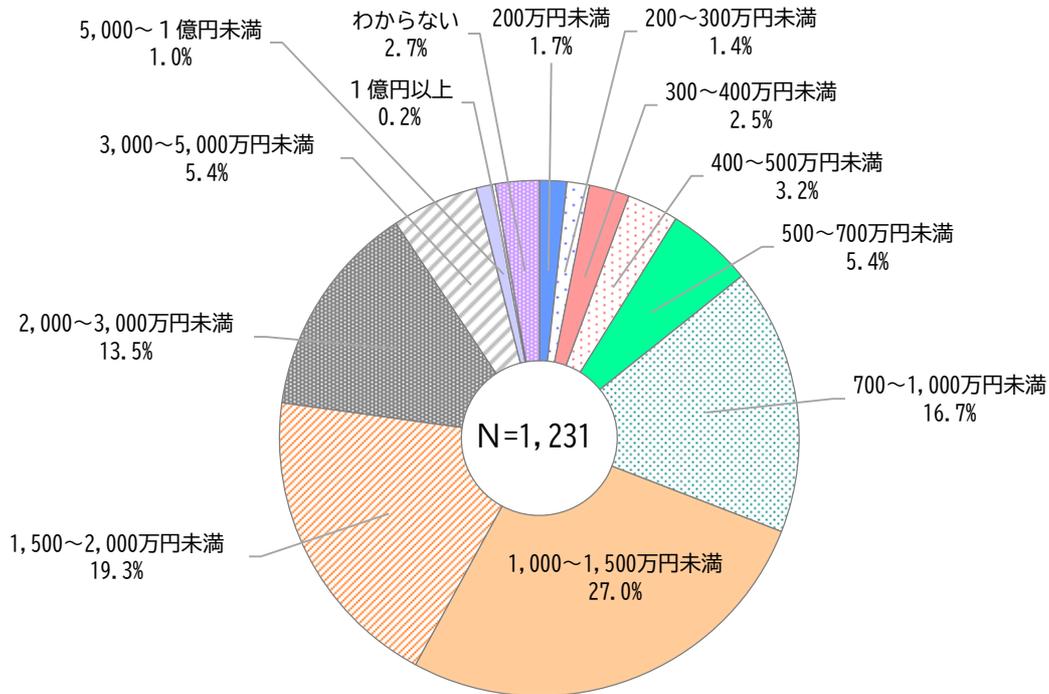
両親の就労時間（区立認可保育園利用世帯）

下段・上段 度数	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験 無	合計
	通常勤務	産休・育休・介護休業中	育児短時間勤務中	通常勤務	産休・育休・介護休業中			
父親	1,148	5	28	6	-	5	-	1,192
	96.3%	0.4%	2.3%	0.5%	-	0.4%	-	100.0%
母親	802	143	168	85	8	18	-	1,224
	65.5%	11.7%	13.7%	6.9%	0.7%	1.5%	-	100.0%

ウ 経済状況

区立認可保育園利用世帯の世帯年収は、「1,000～1,500万円未満（27.0%）」がもっとも多く、次いで「1,500～2,000万円未満（19.3%）」、「700～1,000万円未満（16.7%）」、「2,000～3,000万円未満（13.5%）」となっている。

 世帯年収（区立認可保育園利用世帯）



エ 登園方法

区立認可保育園利用世帯の登園方法は、「徒歩（62.1%）」がもっとも多く、次いで「自転車（33.7%）」となっている。平均登園時間は9.6分だった。

 登園方法（区立認可保育園利用世帯）

	実数	割合	平均時間
徒歩	769	62.1%	9分
自転車	418	33.7%	9.5分
乗用車	11	0.9%	13.2分
公共交通機関のバス	19	1.5%	20.9分
施設のスクールバス	5	0.4%	20分
電車	5	0.4%	27分
その他	12	1.0%	16分
合計	1,239	100.0%	9.6分

オ 満足度

区立認可保育園利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している (71.2%)」がもっとも多く、次いで「まあ満足している (25.9%)」となっている。

 施設に対する満足度 (区立認可保育園利用世帯)



 満足度の理由 (区立認可保育園利用世帯)

満足度	実数	割合	主な具体的内容 (自由記述・原文)
満足している	879	71.2%	職員の方々の配置が手厚く、子どもたちのことを皆さんとてもよく把握してくれていて安心感がある。季節の行事や子どもたちの成長に合わせたイベントも工夫して頂いている。園庭・プール・屋上菜園等、施設も充実しており、都会の真ん中にありながらこれ以上ない環境。 【3歳/共働き】 先生方がとても多彩で熱心で、様々な事に取り組んでくださいます。上の子が先に小学校に上がり、授業の内容も見ますが、保育園ですでにやっていたり、園の方が質が高かったりします。工作は、先生方が箱や容器などを自前で集めて下さったり、染め物をかなり本格的にやって下さったり、将棋や縄跳び、作物栽培等、多岐に渡ってかなり深く学ばせてもらっています。保護者とのコミュニケーションも見事です。先生方が、ベテランから新卒まで幅広い年齢で人材が揃っている点においても安心できます。 【4歳/共働き】 コロナ禍でも、できる限り子供達の遊びの可能性を広げることにご尽力して下さり感謝しています。 【4歳/共働き】 年長さんは皆字が書けていて最低限の教育もして下さっているようです。働いている親としては、幼稚園との差が就学後心配なので教えていただけるのはありがたいです。 【3歳/共働き】
まあ満足している	319	25.9%	2歳まで保育園に預けるという選択肢の中では、設備や保育士の対応について満足しており、大変感謝しています。一方で3歳以降について考えたときに幼稚園と比較すると園庭の広さなど気になる点がありました。 【2歳/共働き】 子供を預ける上で、職員の方々の対応に不安を抱いたことがない為。友人知人の話を聞いていると、色々な事があるようなので。一方で幼児になり、保育を超えた教育をもっと取り入れて欲しいとも感じます。 【3歳/就労形態無回答】
あまり満足していない	32	2.6%	もっと制作や絵画、体操、歌、その他、日によって様々なプログラムを取り入れてほしい。税金も保育料もたくさん払っているので、幼稚園の子と差が出ないようにしてほしい。 【3歳/共働き】
まったく満足していない	4	0.3%	写真を撮ってくれない。オムツが外れない。教育系を一切しないところ 【2歳/共働き】

カ 選んだ理由

区立認可保育園利用世帯の施設を選んだ理由は、「家から近く利用しやすいから（81.9%）」がもっとも多く、次いで「園庭があるから（63.5%）」、「施設設備が充実しているから（43.3%）」、「職員の保護者対応が適切だから（32.0%）」、「保護者の就労形態に合っているから（28.7%）」となっている。



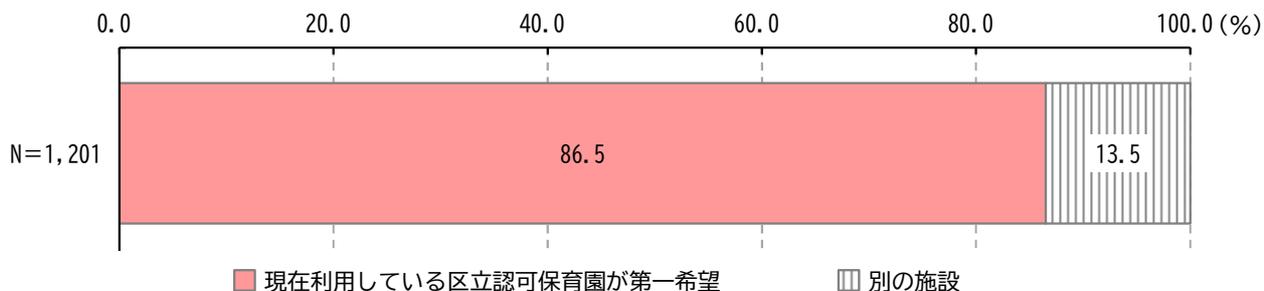
施設を選んだ理由（区立認可保育園利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	1,020	81.9%	家から近く、区立小学校も目の前にあり小学校の兄弟が通っているので災害があった場合など2人で一緒にすぐ迎えに行ける。小学校にあがってもほぼ同じ場所なので環境の大きい変化がなくて良いと思った。【4歳/共働き】
施設設備が充実しているから	539	43.3%	室内に広い人工芝の広場が有り、悪天候の日でも思いっきり走って遊ばせてあげられるのがとても魅力的でした。見学の際に「夏場は男性職員が泥プールを作って泥遊び等もしています」と言われ、とっても楽しそうな事で公園等の砂場よりも衛生的な場所で遊ばせられるのが素晴らしいと思いました。【0歳/共働き】
園庭があるから	791	63.5%	保育室に通っていたため、施設が広く園庭がある保育園が良いと思っていた。また園庭が砂や土で、よく散歩に連れて行ってくださることを希望していたため。【0歳/共働き】
職員の保護者対応が適切だから	399	32.0%	区立の保育園に転園したら、当然園長先生をはじめ、ベテランの先生がしっかり若い先生を統率していますし、絵や工作、園庭や公園での外遊びなど保育内容も充実しており、子供たちが本当に楽しそうに通っています。安全対策もきちんとされていますし、万一怪我があった際も、保健師の先生がしっかりとみて報告してくださるので安心してます。【4歳/共働き】
カリキュラムが魅力的だから	67	5.4%	乳児に向けた「マイドル制度」、5歳児に向けて「和太鼓」、保護者が年に一度園見学がしっかりできる「ママ/パパ先生制度」など、こちらの園で取り組んでいる独自の内容に魅力を感じた。【5歳/共働き】
英語を学ばせたかったから	9	0.7%	—
給食など保育サービスが充実しているから	198	15.9%	実際に働いていると、たとえ延長保育があっても幼稚園に通わせるのは夏休みやお弁当など保護者の負担が大きいと感じる。【3歳/共働き】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	2	0.2%	※回答者は元麻布保育園利用
自転車による通園が認められているから	43	3.5%	—
自家用車による通園が認められているから	-	-	—
保育料が安いから	138	11.1%	幼稚園よりも利用可能時間が長く、かつ利用料金が低額で、それにも関わらず園庭など施設が非常に充実していることから区立保育園を選択した。【2歳/共働き】 保育料、特に2人目無料の魅力が大きく、無認可インターからの転園を決めました。【5歳/共働き】
利用料に対する補助金が活用できるから	24	1.9%	—
保護者の就労形態に合っているから	357	28.7%	自分たち（両親）がフルタイムで働きたく、また勤務時間と費用の面を考慮すると保育園がベストだと考えたため。幼稚園は送り迎えを依頼するベビーシッター代がかさむのと長期期間中の預け先に困る、ベビーシッターは集団生活を送ることができないのが難点だと考えた。【0歳/共働き】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	113	9.1%	定員人数が多いので、子ども同士のコミュニケーションも小規模園より多いと思ったため、社会性を育てるのにも良いと思った。【2歳/共働き】
希望する教育・保育施設に入らなかったから	34	2.7%	土曜保育が就労に限られていない近隣の認証保育園が第1希望でしたが、入れず。【2歳/共働き】
その他	140	11.2%	区が（委託でなく）直接運営しており、雇用の安定した質の高い職員、保育士が担当していること。【児童年齢無回答/就労形態無回答】

キ 本来の利用希望施設

区立認可保育園利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している区立認可保育園を第一希望とする世帯が86.5%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が13.5%となっている。

 本来利用を希望する施設（区立認可保育園利用世帯）

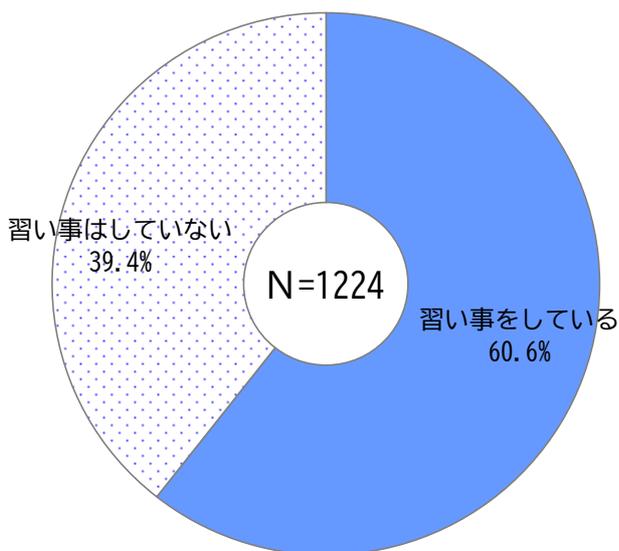


ク 習い事の有無・海外留学意向

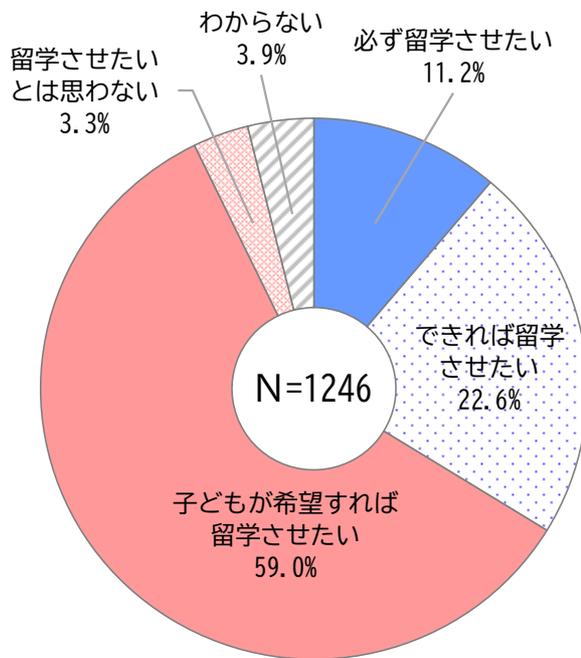
区立認可保育園利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が60.6%、習い事をしていない世帯が39.4%となっている。

区立認可保育園利用世帯の海外留学の意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (59.0%)」がもっとも多く、次いで「できれば留学させたい (22.6%)」、「必ず留学させたい (11.2%)」となっている。

 習い事の有無（区立認可保育園利用世帯）



 海外留学意向（区立認可保育園利用世帯）



【参考】港区立認可保育園一覧（令和4年4月現在）

施設名	所在地	定員数
芝保育園	芝 5-18-1-101	164
神明保育園	浜松町 1-6-7	165
芝公園保育園	芝公園 2-7-3	150
南麻布保育園	南麻布 4-2-29-101	102
本村保育園	南麻布 4-6-7	111
西麻布保育園	西麻布 2-13-3	129
麻布保育園	六本木 5-16-46	147
飯倉保育園	東麻布 1-21-2	133
東麻布保育園	東麻布 2-1-1	164
元麻布保育園	元麻布 2-14-12	174
赤坂保育園	赤坂 5-5-26-101	99
南青山保育園	南青山 1-3-15	138
青山保育園	北青山 3-4-14-101	130
伊皿子坂保育園	三田 4-19-30	151
高輪保育園	高輪 3-18-15	148
白金保育園	白金 3-10-12	102
しばうら保育園	芝浦 3-1-16	222
しばうら保育園分園	芝浦 1-16-1	36
こうなん保育園	港南 4-2-3-101	149
たかはま保育園	港南 4-3-7	156
台場保育園	台場 1-5-1	131

(4) 私立認可保育園利用世帯【5,983世帯中972世帯、全体の16.2%】

POINT | 私立認可保育園利用世帯

- 私立認可保育園利用世帯の父親の約9割、母親の約6割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 世帯年収でもっとも多いのは「1,000～1,500万円未満」。
- 登園方法でもっとも多いのは徒歩で約7割。次いで自転車。
- 約9割が現在利用している私立認可保育園に満足している一方、約2割が別の施設を利用したいと考えている。
- 施設選択理由で多いのが、「家から近い」「職員の保護者対応が適切」。



ア 子どもの年齢

私立認可保育園利用世帯の子どものクラス年齢は、「2歳(20.2%)」、「4歳(18.5%)」、「1歳(17.3%)」、「5歳(16.5%)」、「3歳(15.7%)」、「0歳(11.7%)」の順に多い。

子どもの年齢 (私立認可保育園利用世帯)

クラス年齢	実数	割合
0歳	113	11.7%
1歳	167	17.3%
2歳	195	20.2%
3歳	151	15.7%
4歳	178	18.5%
5歳	159	16.5%
合計	963	100.0%

イ 両親の就労時間

私立認可保育園利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(94.6%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(62.8%)」がもっとも多く、次いで「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である(16.2%)」となっている。

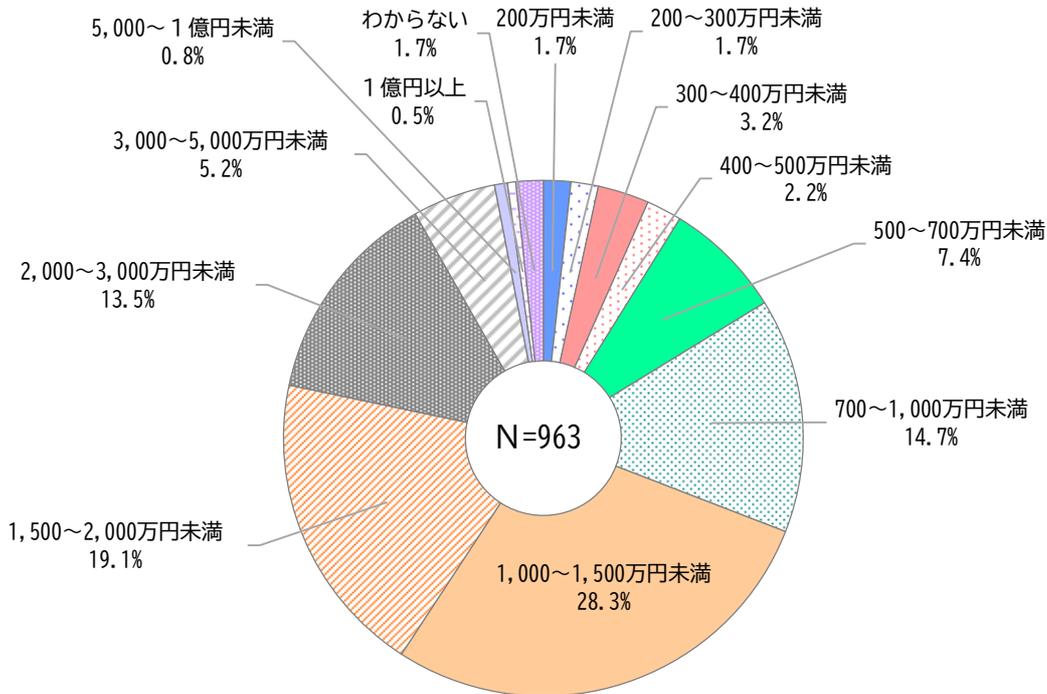
両親の就労時間 (私立認可保育園利用世帯)

下段: 上段: % 度数	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験 無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	877	3	31	8	1	6	1	927
	94.6%	0.3%	3.3%	0.9%	0.1%	0.6%	0.1%	100.0%
母親	592	83	153	85	7	20	3	943
	62.8%	8.8%	16.2%	9.0%	0.7%	2.1%	0.3%	100.0%

ウ 経済状況

私立認可保育園利用世帯の世帯年収は、「1,000～1,500万円未満（28.3%）」がもっとも多く、次いで「1,500～2,000万円未満（19.1%）」、「700～1,000万円未満（14.7%）」、「2,000～3,000万円未満（13.5%）」となっている。

 世帯年収（私立認可保育園利用世帯）



エ 登園方法

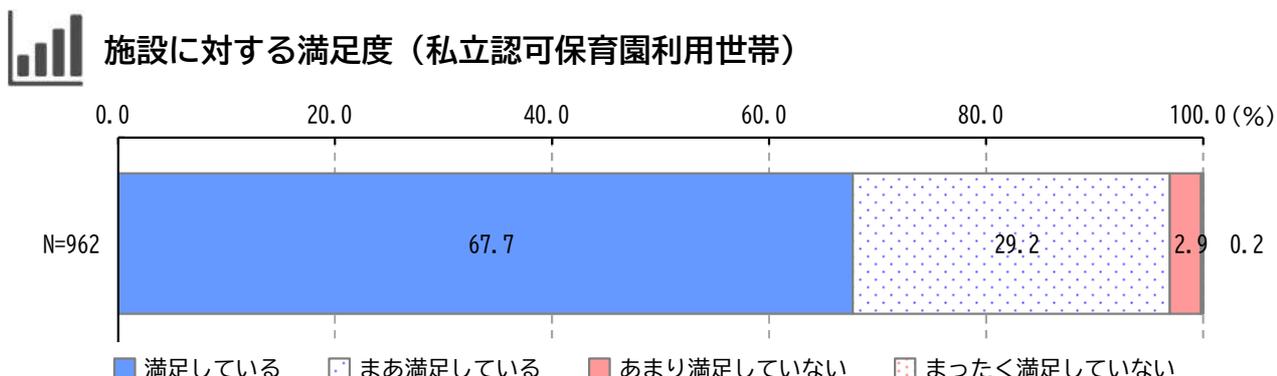
私立認可保育園利用世帯の登園方法は、「徒歩（73.0%）」がもっとも多く、次いで「自転車（22.6%）」となっている。平均登園時間は8.6分だった。

 登園方法（私立認可保育園利用世帯）

	実数	割合	平均時間
徒歩	704	73.0%	8分
自転車	218	22.6%	8.4分
乗用車	10	1.0%	16.2分
公共交通機関のバス	20	2.1%	22.8分
施設のスクールバス	1	0.1%	15分
電車	5	0.5%	29分
その他	6	0.6%	11.7分
合計	964	100.0%	8.6分

オ 満足度

私立認可保育園利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している（67.7%）」がもっとも多く、次いで「まあ満足している（29.2%）」となっている。



満足度の理由（私立認可保育園利用世帯）

満足度	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
満足している	651	67.7%	先生方は若い、活気がありよい。また会社としてのマニュアルや研修がしっかりしている印象があるので、安心できる。園庭がないのだが、週に3回以上は公園などにでてくれるのがとてもよい。食育や英語なども行ってきており子供により刺激がある。【5歳/共働き】 職員の雰囲気がよく、子どもがとても楽しんでおり大切に保育して頂いていると日々感じる。園庭はないが、毎日近隣のさまざまな公園に散歩に行っており、体力もつけられている。小規模園で保育士の目が全ての子に行き届いている。また異年齢クラスとの交流も多い。【3歳/共働き】 1人目育児は孤独でいつも迷子のような気持でしたが、保育園に入ってから、保育士さん、園長先生がいつも寄り添ってくれて、孤独ではなくなりました。2人目、3人目と考えられたのは保育園のおかげです。【1歳/共働き】
まあ満足している	281	29.2%	基本的には満足している。ただ、保育園費用を最高額払っているのに、教育に関わるコンテンツ・サービスを強化してほしいと思う。モノ的観点で言えば、遊び道具の充実、運動施設の充実など。サービスの観点で言えば、英語教育、スポーツ教育の充実など【0歳/共働き】 とても良い保育園だと思いますが、学習面で幼稚園の子に劣らないか不安が強いです。本来自宅で行うべきなのでしょうが、仕事&保育園で疲れた状況でひらがなや数字の勉強をするのは親子共に負担が大きい。導入だけでも助けてもらえると自宅で復習出来るので、学習のきっかけ導入を切に願っています。【2歳/共働き】 ADHDの疑いがあり大きな手間をかけている我が子に対してサポートの人員を配置してくれたり、常に気を配ってくださりとても感謝している。不満というほどでもないが、園庭のある施設であったら良かったと思っている。【4歳/共働き】
あまり満足していない	28	2.9%	先生方は良くしてくださっていますが、すぐに先生が辞めるので目が行き届いていないこともあり、子供が我慢することが多くなっていた。【5歳/就労形態無回答】
まったく満足していない	2	0.2%	保育しているのみで、全く教育しているように感じられないので。【0歳/就労形態無回答】

カ 選んだ理由

私立認可保育園利用世帯の施設を選んだ理由は、「家から近く利用しやすいから（84.3%）」がもっとも多く、次いで「職員の保護者対応が適切だから（35.7%）」、「保護者の就労形態に合っているから（23.2%）」、「給食など保育サービスが充実しているから（19.8%）」、「施設設備が充実しているから（18.7%）」となっている。

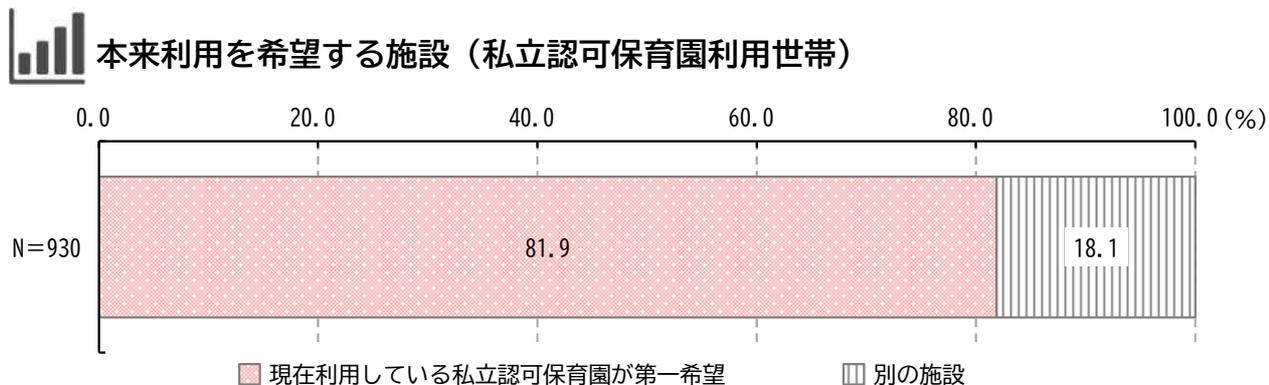


施設を選んだ理由（私立認可保育園利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	817	84.3%	公園内にある保育園で、かつ家の隣にあるため、出勤時には大変便利であるのと、お迎えに行ってから自宅までが近いのでストレスが無い。【3歳/共働き】
施設設備が充実しているから	181	18.7%	近隣保育園の中では規模が大きく、ホールや教室、玄関が広く、雨の日も子供がしっかり園内で遊べて、清潔感もあった。【3歳/共働き】
園庭があるから	74	7.6%	白金台で長く運営されていて園の運営も安定しており、園庭があるのが魅力でした。【0歳/就労形態無回答】
職員の保護者対応が適切だから	346	35.7%	公立よりも私立の方が柔軟性を持って対応をしてくれるし、見学していて私立の方が、ルールを押し付けてこない感じが良い印象を持った。【0歳/共働き】
カリキュラムが魅力的だから	129	13.3%	私立認可保育園ならではの独自プログラム（英語、絵本読み聞かせ重視など）にも魅力を感じました【3歳/共働き】。
英語を学ばせたかったから	38	3.9%	外部講師を招いた英語教育があり、見学の際に先生たちの対応がよかったため【0歳/共働き】
給食など保育サービスが充実しているから	192	19.8%	食育など給食のサービスが充実しており、見学会で試食した際も美味しく食への興味を持ってもらえるのではないかと考えて選択した。【1歳/就労形態無回答】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	-	-	—
自転車による通園が認められているから	30	3.1%	—
自家用車による通園が認められているから	2	0.2%	—
保育料が安いから	63	6.5%	家から近く利用できるし、保育料は認可外の保育施設より安いです。【0歳/就労形態無回答】
利用料に対する補助金が活用できるから	21	2.2%	—
保護者の就労形態に合っているから	225	23.2%	保育園だと夏休みなどの長期休暇もなく給食もあり、就労との両立がしやすいため。幼稚園で預かり保育等を利用して就労継続することも検討したが、トータルで見たときの費用負担やマネジメントが煩雑だと思い断念した。【3歳/共働き】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	165	17.0%	区立の園に比べ、私立園の方がひとクラスの人数が少なく、低月齢の娘には向いてそうだと考えたため。【0歳/共働き】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	94	9.7%	園庭のある区立保育園に入園させたかったが、入れなかった為。【2歳/共働き】
その他	116	12.0%	保育者の給与が業界内でも高く、しっかりとした保育者の雇用が図られていると感じた【1歳/共働き】 本の所蔵数の多さ、系列専門学校とのコラボのお教室の実施【5歳/就労形態無回答】

キ 本来の利用希望施設

私立認可保育園利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している私立認可保育園を第一希望とする世帯が81.9%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が18.1%となっている。



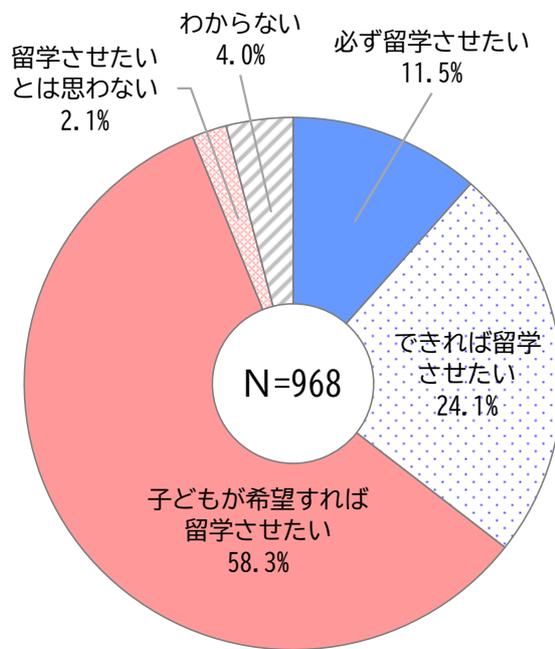
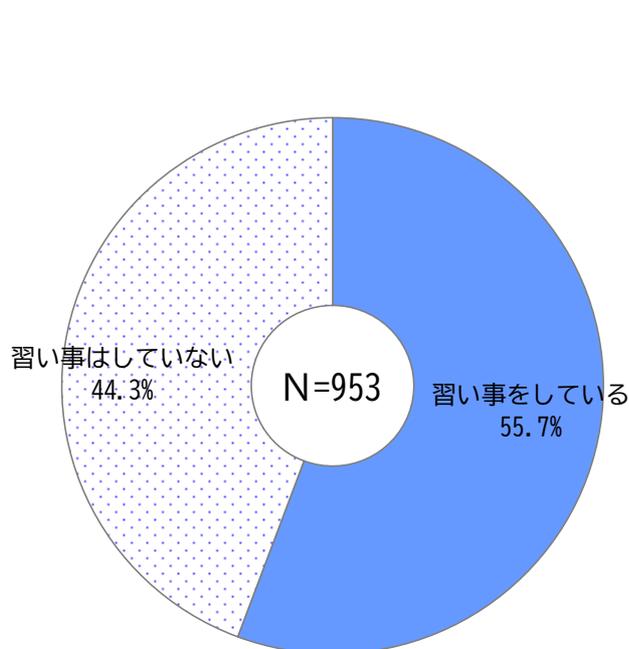
ク 習い事の有無・海外留学意向

私立認可保育園利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が55.7%、習い事をしていない世帯が44.3%となっている。

私立認可保育園利用世帯の海外留学の意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (58.3%)」がもっとも多く、次いで「できれば留学させたい (24.1%)」、「必ず留学させたい (11.5%)」となっている。

習い事の有無 (私立認可保育園利用世帯)

海外留学意向 (私立認可保育園利用世帯)



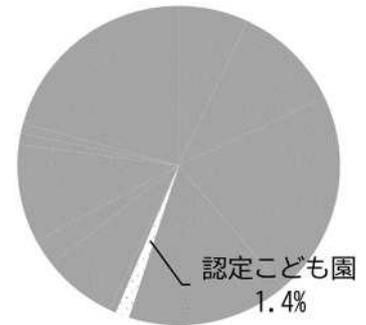
【参考】港区内私立認可保育園一覧（令和4年4月現在）

施設名	所在地	定員	施設名	所在地	定員
アスク芝公園保育園	芝 2-12-16	60	太陽の子三田五丁目保育園	三田 5-4-3	60
太陽の子三田保育園	三田 1-2-18	69	みなと保育園	高輪 1-6-9	63
あい保育園赤羽橋	三田 1-3-31	60	愛星保育園	高輪 1-27-40	65
こころ新橋保育園	新橋 6-4-3	54	ゆらりん高輪保育園	高輪 1-5-38	101
グローバルキッズ虎ノ門保育園	虎ノ門 3-19-13	56	高輪夢保育園	高輪 3-25-33	58
小鳩ナーサリースクール浜離宮	浜松町 1-3-1	41	ゆらりん白金保育園	白金 1-26-10	50
ニチキッズ芝公園保育園	芝 2-1-27	45	みつばち保育園	白金 4-7-2	30
にじいろ保育園竹芝	海岸 1-13-15	32	ニチキッズ白金台保育園	白金台 2-26-10	70
にじいろ保育園新橋	新橋 6-11-13	24	高輪さつき保育園	高輪 1-16-15	60
まなびの森保育園麻布	南麻布 1-8-11	60	えほんのもり白金台保育園	白金台 2-11-3	35
あい保育園南麻布	南麻布 2-11-10	98	さくらさくみらい高輪	高輪 2-6-21	84
太陽の子南麻布保育園	南麻布 4-11-30	69	ミアヘルサ保育園ひびき白金高輪	白金 3-2-3	50
あい保育園元麻布	元麻布 3-2-19	60	うれしい保育園白金高輪	三田 5-17-2	49
まちの保育園六本木	六本木 1-9-10	38	ほっぺるランド高輪二丁目	高輪 2-16-8	49
まちの保育園六本木分園	虎ノ門 5-5-1	32	あい保育園白金台	白金台 3-13-18	45
AIAI NURSERY 麻布十番	東麻布 2-32-7	70	太陽の子シーバンス保育園	芝浦 1-2-2	100
コスモス西麻布保育園	西麻布 2-2-2	50	太陽の子芝浦一丁目保育園	芝浦 1-9-7	66
ふたばクラブ東麻布保育園	東麻布 1-5-6	59	アンジェリカ田町保育園	芝浦 1-6-41	60
まなびの森保育園麻布十番	南麻布 1-14-1	50	にじのいるか保育園芝浦	芝浦 2-3-31	60
麻布十番ちとせ保育園	麻布十番 1-3-2	49	太陽の子芝浦三丁目保育園	芝浦 3-20-2	52
sakura 保育園六本木	六本木 4-5-11	40	アスク芝浦4丁目保育園	芝浦 4-12-28	60
リトルパルズ保育園六本木	六本木 6-5-27	48	ゆらりん港南保育園	港南 1-6-27	60
赤坂ちとせ保育園	赤坂 4-7-15	50	グローバルキッズ港南保育園	港南 4-1-8	99
太陽の子赤坂保育園	赤坂 8-12-16	60	ベネッセ港南保育園	港南 4-6-7	60
あい保育園青山一丁目	南青山 1-3-1	60	ふたばクラブ港南保育園	港南 2-16-6	29
太陽の子南青山保育園	南青山 4-1-6	60	ゆらりん港南緑水保育園	港南 4-7-37	101
小学館アカデミー南青山保育園	南青山 4-15-8	39	ゆらりんはあと保育園	港南 1-8-23	50
赤坂山王保育園	赤坂 4-1-26	99	デイジー保育園芝浦	芝浦 4-17-3	54
赤坂クリア保育園	赤坂 4-9-25	52	にじいろ保育園海岸三丁目	海岸 3-16-6	101
おはよう保育園ののあおやま	北青山 3-4-3	23	太陽の子芝浦二丁目保育園	芝浦 2-9-1	50

(5) 認定こども園利用世帯【5,983世帯中81世帯、全体の1.4%】

POINT | 認定こども園利用世帯

- 認定こども園利用世帯の約8割が、芝浦アイランドこども園を利用。そのほかに中央区、新宿区、渋谷区の認定こども園を利用する世帯がいる。
- 父親の約9割、母親の約6割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 世帯年収でもっとも多いのは「1,500～2,000万円未満」。
- 登園方法でもっとも多いのは徒歩で約5割。次いで自転車。
- 約9割が現在利用している認定こども園に満足している一方、約1割が別の施設を利用したいと考えている。
- 施設選択理由で多いのが、「家から近い」「園庭がある」。



ア 子どもの年齢

認定こども園利用世帯の子どものクラス年齢は、「5歳(30.0%)」、「4歳(22.5%)」、「3歳(17.5%)」、「2歳(16.3%)」、「1歳(7.5%)」、「0歳(6.3%)」の順に多い。



子どもの年齢（認定こども園利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	5	6.3%
1歳	6	7.5%
2歳	13	16.3%
3歳	14	17.5%
4歳	18	22.5%
5歳	24	30.0%
合計	80	100.0%

イ 両親の就労時間

認定こども園利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(96.2%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(63.3%)」がもっとも多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(11.4%)」となっている。



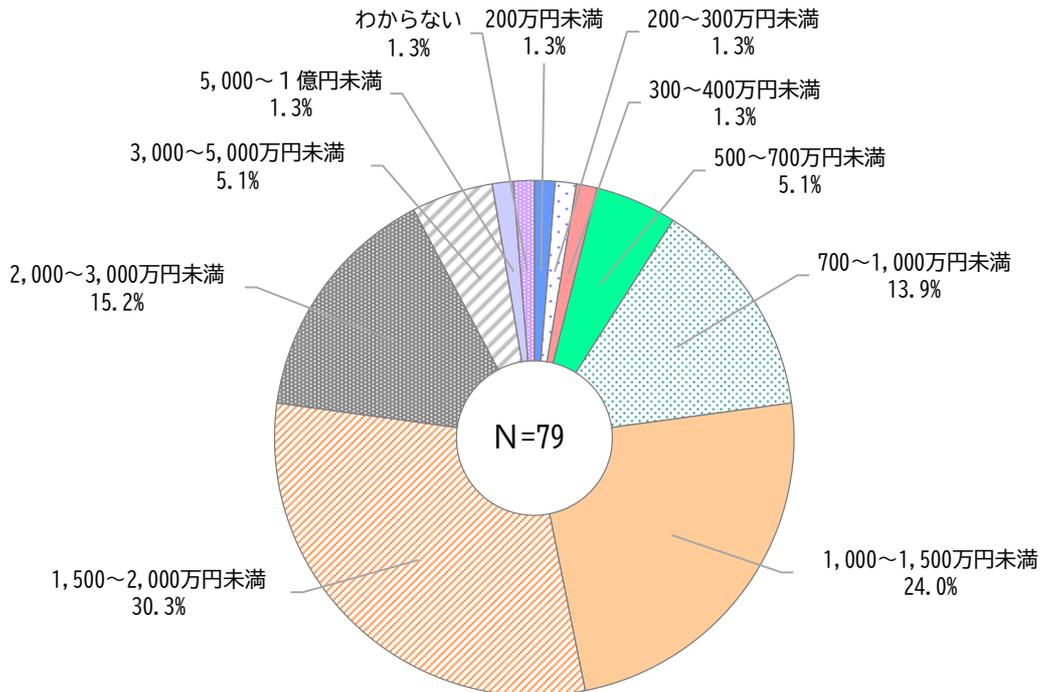
両親の就労時間（認定こども園利用世帯）

下段: 上段: % 度数	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験 無	合計
	通常勤務	産休・育休・介護休業中	育児短時間勤務中	通常勤務	産休・育休・介護休業中			
父親	75	-	2	1	-	-	-	78
	96.2%	-	2.6%	1.3%	-	-	-	100.0%
母親	50	7	7	9	1	4	1	79
	63.3%	8.9%	8.9%	11.4%	1.3%	5.1%	1.3%	100.0%

ウ 経済状況

認定こども園利用世帯の世帯年収は、「1,500～2,000万円未満（30.3%）」がもっとも多く、次いで「1,000～1,500万円未満（24.0%）」、「2,000～3,000万円未満（15.2%）」、「700～1,000万円未満（13.9%）」、となっている。

 世帯年収（認定こども園利用世帯）



エ 登園方法

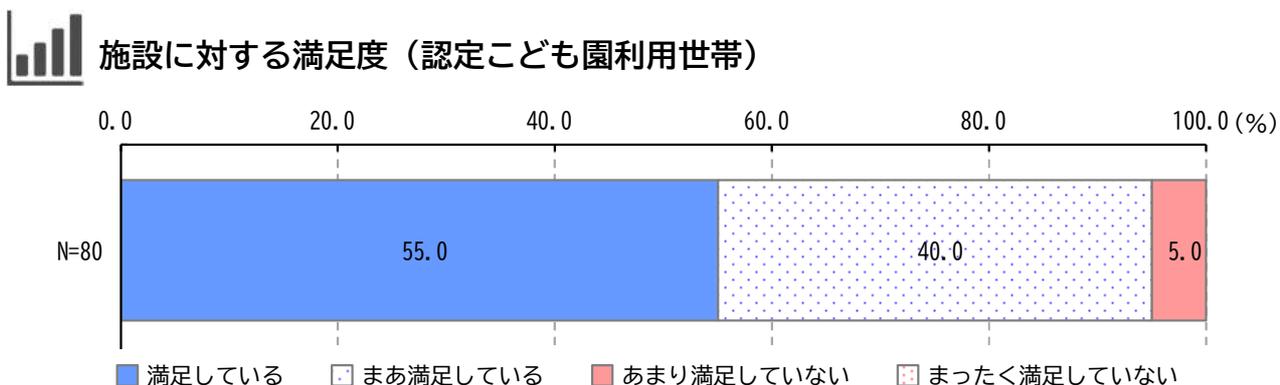
認定こども園利用世帯の登園方法は、「徒歩（54.3%）」がもっとも多く、次いで「自転車（38.3%）」となっている。平均登園時間は9.7分だった。

 登園方法（認定こども園利用世帯）

	実数	割合	平均時間
徒歩	44	54.3%	6.9分
自転車	31	38.3%	9.3分
乗用車	1	1.2%	-
公共交通機関のバス	2	2.5%	27.5分
施設のスクールバス	-	-	-
電車	3	3.7%	43.3分
その他	-	-	-
合計	81	100.0%	9.7分

オ 満足度

認定こども園利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している（55.0%）」がもっとも多く、次いで「まあ満足している（40.0%）」となっている。



 満足度の理由（認定こども園利用世帯）

満足度	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
満足している	44	55.0%	教室も広々していて、園庭もあり、子供たちがのびのび遊べる。行事ごともきちんとやってくれたり、給食も栄養が考えられ安心して子供を預けられる。保育者の連携もきちんとしていてよい。【0歳/共働き】
まあ満足している	32	40.0%	施設もきれいで先生方の保育教育もともしっかりしていて不満はありませんが、コロナでイベントが中止となり、一泊でのキャンプ等を体験させられなかったのは残念でした。【5歳/共働き】
あまり満足していない	4	5.0%	教育が行き届いているとは言えない。【2歳/共働き】
まったく満足していない	-	-	-

カ 選んだ理由

認定こども園利用世帯の施設を選んだ理由は、「家から近く利用しやすいから（77.8%）」がもっとも多く、次いで「園庭があるから（66.7%）」、「施設設備が充実しているから（45.7%）」、「保護者の就労形態に合っているから（25.9%）」、「給食など保育サービスが充実しているから（24.7%）」となっている。

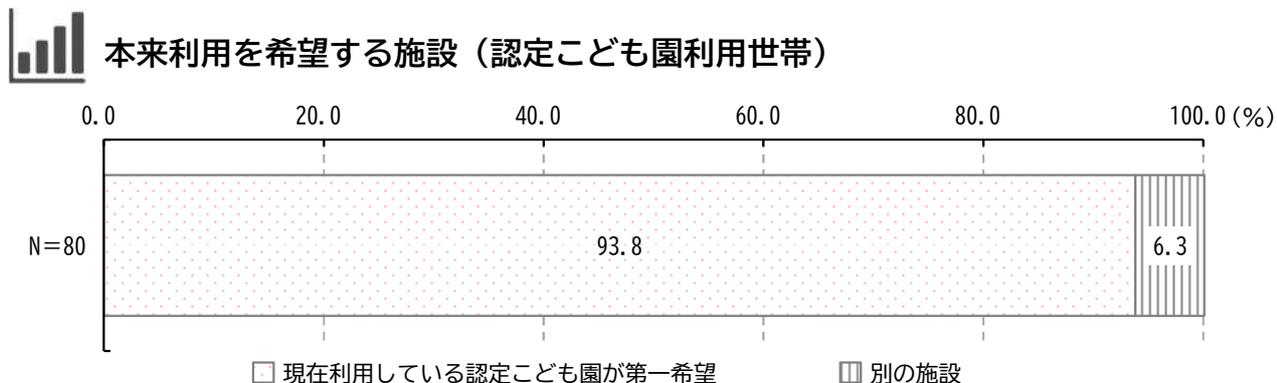


施設を選んだ理由（認定こども園利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	63	77.8%	家から最も近く、幼稚園教育も受けられるこども園だから。【4歳/共働き】
施設設備が充実しているから	37	45.7%	園庭があることに加え、保育室が広く導線も細かく設計されていると感じた。【0歳/共働き】
園庭があるから	54	66.7%	園庭ではいつも元気に走り回る園児たちと、自ら楽しんで体を動かし園児と関わる保育者の方々の姿を見ることができ、子供にとってとても良い環境に感じ選択しました。【0歳/共働き】
職員の保護者対応が適切だから	14	17.3%	コロナ禍で公立保育園は見学させてもらえなかったので、電話口で質問事項を尋ねたところ、最も電話対応が丁寧だった。【4歳/共働き】
カリキュラムが魅力的だから	15	18.5%	園庭を含め、ホールなど体をのびのびと動かす施設や音楽遊びや体験型の行事やカリキュラムが魅力的だと感じたから。【3歳/共働き】
英語を学ばせたかったから	3	3.7%	—
給食など保育サービスが充実しているから	20	24.7%	幼稚園より給食などのサービスが充実していると考えてこども園を選択した。【5歳/就労形態無回答】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	-	-	—
自転車による通園が認められているから	3	3.7%	—
自家用車による通園が認められているから	-	-	—
保育料が安いから	4	4.9%	—
利用料に対する補助金が活用できるから	4	4.9%	—
保護者の就労形態に合っているから	21	25.9%	幼稚園より給食や延長保育のサービスが充実していると考え、こども園を選択しました。家により近いのがこども園だったので、保育園ではなくこども園を選びました。【4歳/共働き】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	10	12.3%	小規模のアットホームな保育園に在籍していたが、母親の退職に伴い、また小学校就学に向けて大規模の園に移行したいと思った。【5歳/就労形態無回答】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	-	-	—
その他	7	8.6%	こども園だから。保育園よりも幼児教育がよかった。【4歳/就労形態無回答】

キ 本来の利用希望施設

認定こども園利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している認定こども園を第一希望とする世帯が 93.8%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が 6.3%となっている。

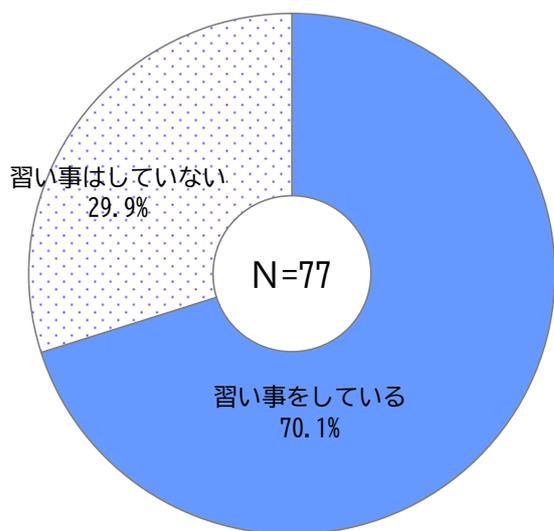


ク 習い事の有無・海外留学意向

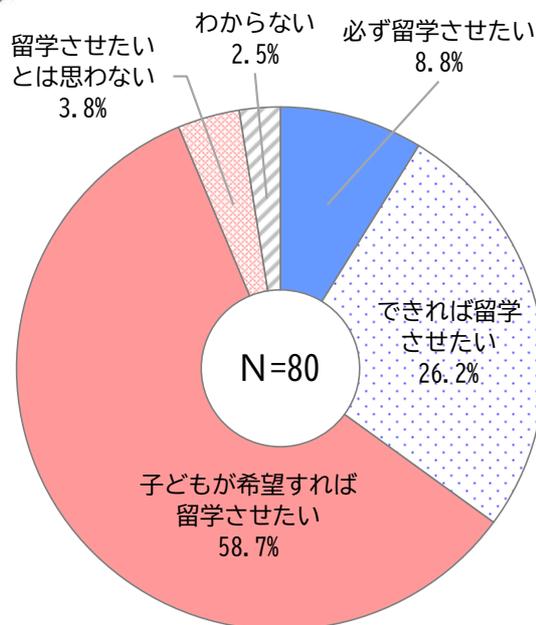
認定こども園利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が 70.1%、習い事をしていない世帯が 29.9%となっている。

認定こども園利用世帯の海外留学の意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (58.7%)」がもっとも多く、次いで「できれば留学させたい (26.2%)」となっている。

習い事の有無（認定こども園利用世帯）



海外留学意向（認定こども園利用世帯）



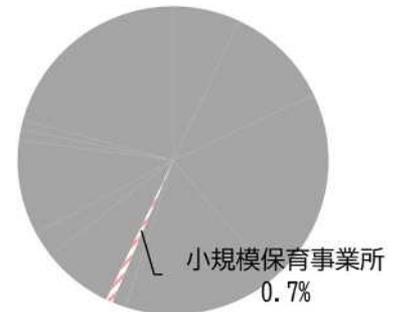
【参考】港区内認定こども園一覧（令和4年4月現在）

施設名	所在地	定員数
芝浦アイランドこども園	芝浦 4-20-1	171

(6) 小規模保育事業所利用世帯【5,983世帯中39世帯、全体の0.7%】

POINT | 小規模保育事業所利用世帯

- 区立認可保育園利用世帯の父親の約9割、母親の約6割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 世帯年収でもっとも多いのは「700～1,000万円未満」。
- 登園方法でもっとも多いのは徒歩で約7割。次いで自転車。
- 約8割が現在利用している小規模保育事業所に満足している一方、約4割が別の施設を利用したいと考えている。
- 施設選択理由で多いのが、「家から近い」「職員の保護者対応が適切」「定員規模が子に合っている」。



ア 子どもの年齢

小規模保育事業所利用世帯の子どものクラス年齢は、「0歳（39.5%）」、「1歳（28.9%）」、「2歳（26.3%）」の順に多い。



子どもの年齢（小規模保育事業所利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	15	39.5%
1歳	11	28.9%
2歳	10	26.3%
3歳	1	2.6%
4歳	1	2.6%
5歳	-	-
合計	38	100.0%

※入園可能年齢以外の回答についてもそのまま掲載。

イ 両親の就労時間

小規模保育事業所利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（97.2%）」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（57.9%）」がもっとも多く、次いで「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である（15.8%）」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（15.8%）」となっている。



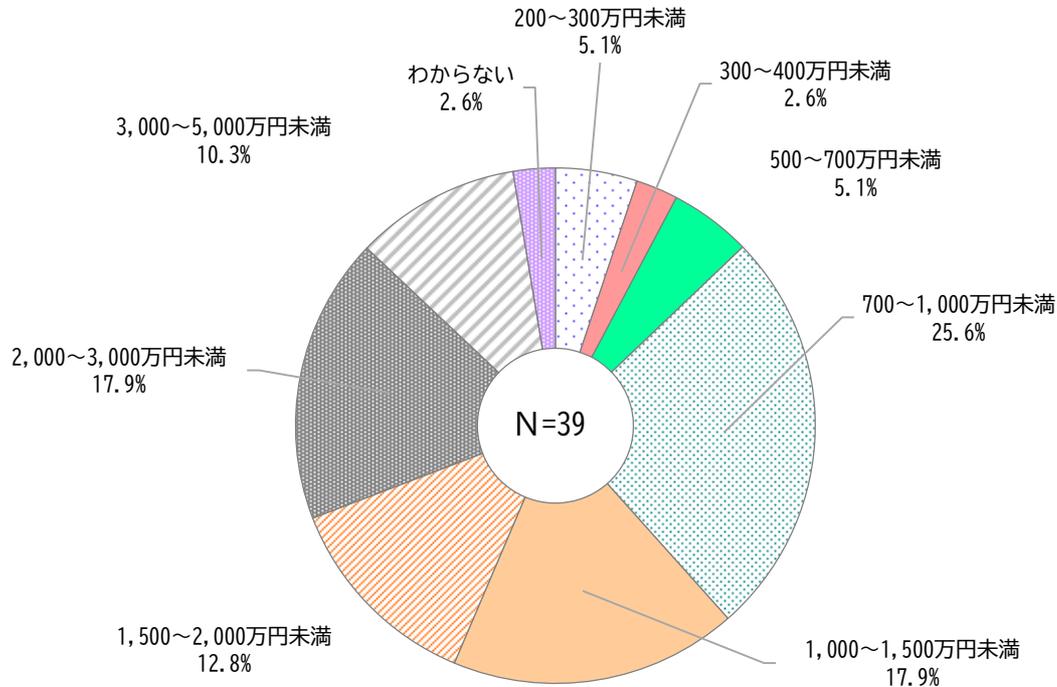
両親の就労時間（小規模保育事業所利用世帯）

下段： 上段： 度 数 %	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験 無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	35	-	-	-	-	1	-	36
	97.2%	-	-	-	-	2.8%	-	100.0%
母親	22	2	6	6	-	2	-	38
	57.9%	5.3%	15.8%	15.8%	-	5.3%	-	100.0%

ウ 経済状況

小規模保育事業所利用世帯の世帯年収は、「700～1,000万円未満（25.6%）」がもっとも多く、次いで「1,000～1,500万円未満（17.9%）」、「2,000～3,000万円未満（17.9%）」、「1,500～2,000万円未満（12.8%）」となっている。

 世帯年収（小規模保育事業所利用世帯）



エ 登園方法

小規模保育事業所利用世帯の登園方法は、「徒歩（71.8%）」がもっとも多く、次いで「自転車（20.5%）」となっている。平均登園時間は9.5分だった。

 登園方法（小規模保育事業所利用世帯）

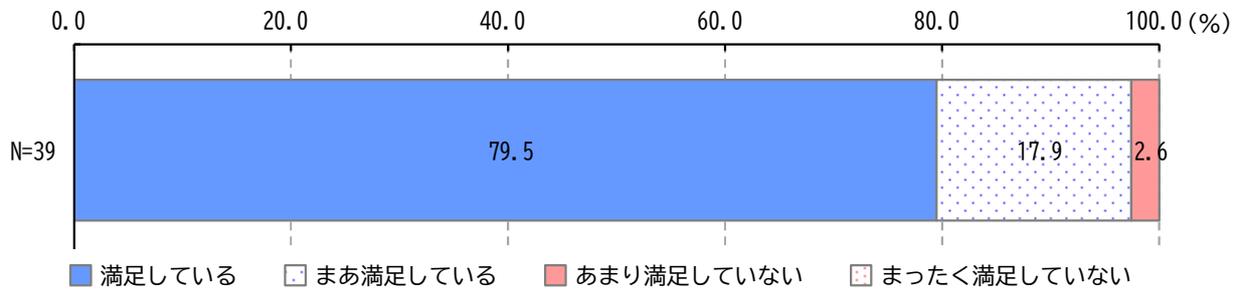
	実数	割合	平均時間
徒歩	28	71.8%	9分
自転車	8	20.5%	7.9分
乗用車	1	2.6%	10分
公共交通機関のバス	1	2.6%	15分
施設のスクールバス	-	-	-
電車	1	2.6%	30分
その他	-	-	-
合計	39	100.0%	9.5分

オ 満足度

小規模保育事業所利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している（79.5%）」がもっとも多く、次いで「まあ満足している（17.9%）」となっている。



施設に対する満足度（小規模保育事業所利用世帯）



満足度の理由（小規模保育事業所利用世帯）

満足度	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
満足している	31	79.5%	小規模なので、きめ細かにみてもらっている実感がある【0歳/共働き】
まあ満足している	7	17.9%	保育園に入ってからできることが増えた。たくさん散歩もしてくれていて、保育内容は満足しているが、英語に触れる機会があればさらに良い。【0歳/共働き】
あまり満足していない	1	2.6%	小規模であるため、同級生が少ない【2歳/就労形態無回答】
まったく満足していない	-	-	-

カ 選んだ理由

小規模保育事業所利用世帯の施設を選んだ理由は、「家から近く利用しやすいから（74.4%）」がもっとも多く、次いで「職員の保護者対応が適切だから（56.4%）」、「施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから（41.0%）」、「給食など保育サービスが充実しているから（23.1%）」、「施設設備が充実しているから（17.9%）」、「保護者の就労形態に合っているから（17.9%）」となっている。

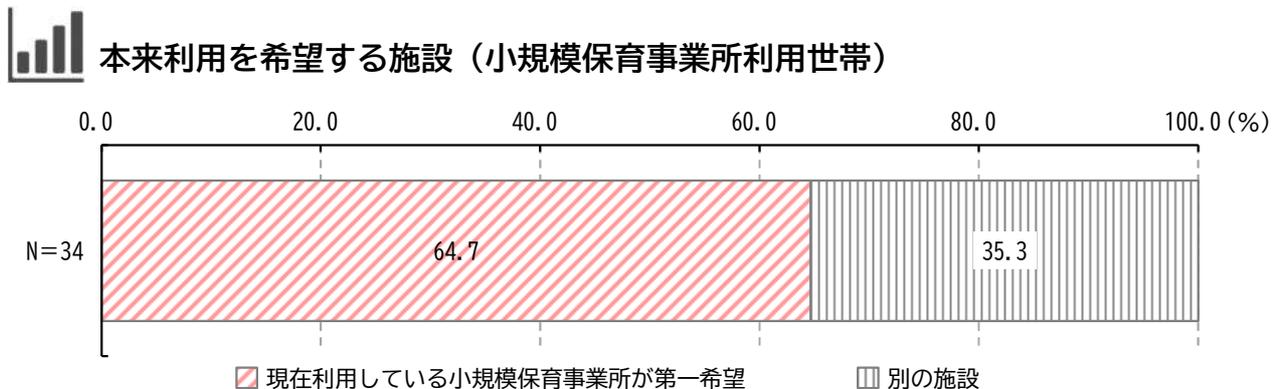


施設を選んだ理由（小規模保育事業所利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	29	74.4%	とにかく立地で第一候補にし、見学に行き、対応がよかったため。【0歳/共働き】
施設設備が充実しているから	7	17.9%	—
園庭があるから	-	-	—
職員の保護者対応が適切だから	22	56.4%	施設内がとても清潔感があり、先生たちの対応が素晴らしく信頼して子供を預けられると思ったので。【1歳/共働き】
カリキュラムが魅力的だから	6	15.4%	—
英語を学ばせたかったから	1	2.6%	—
給食など保育サービスが充実しているから	9	23.1%	給食は田舎から取り寄せた食材とオイシックスの野菜・牛乳など水準の高い給食。他の保育園と比較したが、ずば抜けて良かった。【2歳/共働き】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	-	-	—
自転車による通園が認められているから	2	5.1%	—
自家用車による通園が認められているから	-	-	—
保育料が安いから	3	7.7%	—
利用料に対する補助金が活用できるから	-	-	—
保護者の就労形態に合っているから	7	17.9%	就労時間に見合った保育を提供してもらえるので。幼稚園は選択肢にはなかった。【2歳/共働き】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	16	41.0%	生後3ヶ月から預けることとなったため、小規模の方がより丁寧なサービスを提供していると考えたためです。また2歳児までしかいないため、比較的落ち着いて保育時間を過ごすことができると考えました。【0歳/共働き】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	3	7.7%	—
その他	8	20.5%	—

キ 本来の利用希望施設

小規模保育事業所利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している小規模保育事業所を第一希望とする世帯が64.7%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が35.3%となっている。

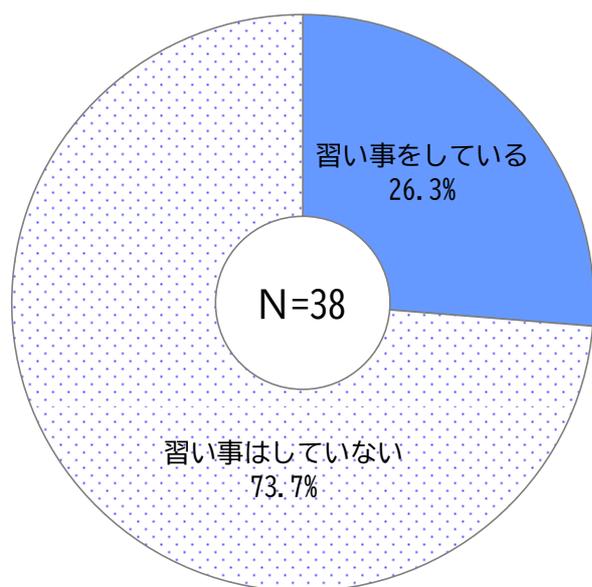


ク 習い事の有無・海外留学意向

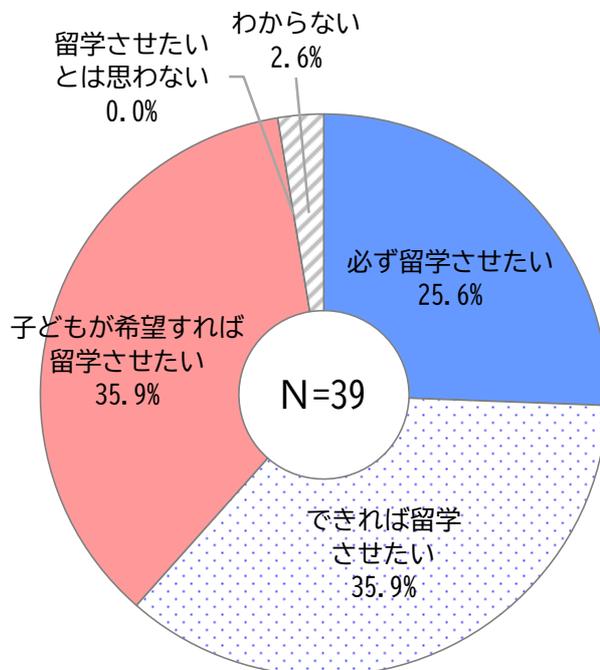
小規模保育事業所利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が26.3%、習い事をしていない世帯が73.7%となっている。

小規模保育事業所利用世帯の海外留学の意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (35.9%)」、「できれば留学させたい (35.9%)」がもっとも多く、次いで、「必ず留学させたい (25.6%)」となっている。

習い事の有無 (小規模保育事業所利用世帯)



海外留学意向 (小規模保育事業所利用世帯)



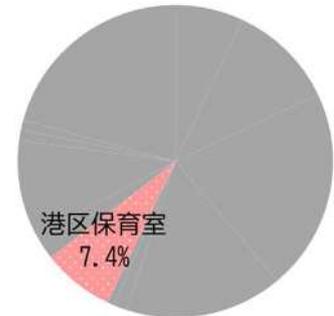
【参考】港区内小規模保育事業所一覧（令和4年4月現在）

施設名	所在地	定員数
正光寺保育園 赤羽橋園	三田 1-3-44	12
こころナーサリー新橋	新橋 5-35-10	18
ふらわあきっず保育園新橋	新橋 3-3-13	13
デイジー保育園麻布十番	麻布十番 3-10-12	18
デイジー保育園麻布十番フォレスト	麻布十番 3-10-12	18
ここいく保育園西麻布	西麻布 4-10-1	19
sakura 保育園	赤坂 2-12-17	13
ふらわあきっず保育園三田	三田 5-5-7	19
ちゃいんどはっぴっぴ!!白金保育園	白金 3-2-9	10
港南あおぞら保育園	港南 3-8-1	19
にじのそら保育園芝浦	芝浦 1-14-6	19

(7) 港区保育室利用世帯【5,983世帯中445世帯、全体の7.4%】

POINT | 港区保育室利用世帯

- ▶ 港区保育室利用世帯の父親の約9割、母親の約6割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- ▶ 世帯年収でもっとも多いのは「1,000～1,500万円未満」。
- ▶ 登園方法でもっとも多いのは徒歩で約6割。次いで自転車。
- ▶ 約9割が現在利用している港区保育室に満足している一方、約2割が別の施設を利用したいと考えている。
- ▶ 施設選択理由で多いのが、「家から近い」「職員の保護者対応が適切」。



ア 子どもの年齢

港区保育室利用世帯の子どものクラス年齢は、「4歳（25.2%）」、「5歳（22.0%）」、「3歳（20.9%）」、「2歳（14.7%）」、「1歳（12.2%）」、「0歳（5.0%）」の順に多い。



子どもの年齢（港区保育室利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	22	5.0%
1歳	54	12.2%
2歳	65	14.7%
3歳	92	20.9%
4歳	111	25.2%
5歳	97	22.0%
合計	441	100.0%

イ 両親の就労時間

港区保育室利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（94.7%）」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（61.9%）」がもっとも多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（14.4%）」「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である（11.2%）」となっている。



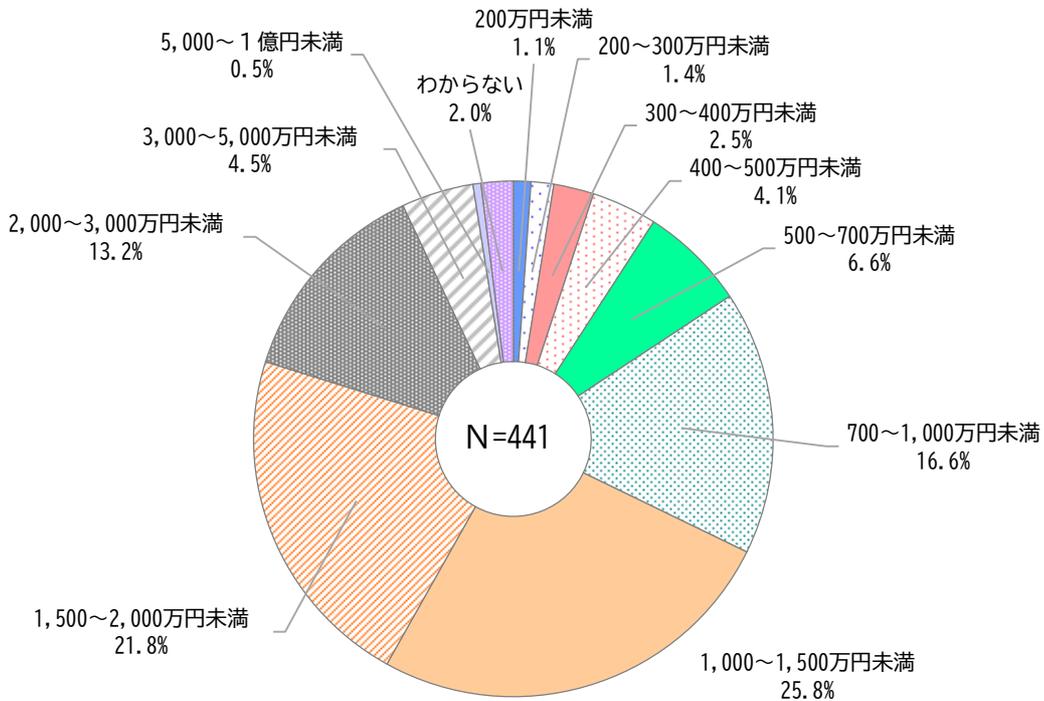
両親の就労時間（港区保育室利用世帯）

下段・上段 度数	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験 無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	412	3	14	5	1	-	-	435
	94.7%	0.7%	3.2%	1.1%	0.2%	-	-	100.0%
母親	270	40	49	63	5	6	3	436
	61.9%	9.2%	11.2%	14.4%	1.1%	1.4%	0.7%	100.0%

ウ 経済状況

港区保育室利用世帯の世帯年収は、「1,000～1,500万円未満（25.8%）」がもっとも多く、次いで「1,500～2,000万円未満（21.8%）」、「700～1,000万円未満（16.6%）」、「2,000～3,000万円未満（13.2%）」となっている。

 世帯年収（港区保育室利用世帯）



エ 登園方法

港区保育室利用世帯の登園方法は、「徒歩（61.7%）」がもっとも多く、次いで「自転車（36.5%）」となっている。平均登園時間は9.4分だった。

 登園方法（港区保育室利用世帯）

	実数	割合	平均時間
徒歩	272	61.7%	9.7分
自転車	161	36.5%	8.6分
乗用車	4	0.9%	11.3分
公共交通機関のバス	3	0.7%	30分
施設のスクールバス	-	-	-
電車	-	-	-
その他	1	0.2%	10分
合計	441	100.0%	9.4分

オ 満足度

港区保育室利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している（65.4%）」がもっとも多く、次いで「まあ満足している（31.7%）」となっている。

 施設に対する満足度（港区保育室利用世帯）



 満足度の理由（港区保育室利用世帯）

満足度	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
満足している	287	65.4%	先生の入れ替わりが多い印象ですが、それはちゃんと組織的に運営されている裏返しでもあり、その点で安心感があります。【3歳/共働き】 Covid-19前は、乳児クラスでも散歩や公園あそび、キャストによるリトミック・体操・英語があり、大変充実したカリキュラムと感じていた。Covid-19により、それらが縮小される中、それでもいろんな体験をさせてあげたいと先生方が工夫してくださっていることに、感謝している。【4歳/共働き】 希望する園には入れず第9希望の園でしたが、延長や急な休みにも柔軟に対応した下さり先生の対応も良い。1クラスの人数の多い環境も様々な個性のお友達を見つけたり、子どもなりの社会性を築く上でプラスとなっていると感じています。【3歳/共働き】 育休中でなければ当日の延長や急な土曜保育にも応じていただけたりと臨機応援に対応いただけるのもありがたいです。【5歳/共働き】
まあ満足している	139	31.7%	先生方の対応、カリキュラムは満足していますが、小学校で求められる内容が変わってきているので（英語必修、IT化等）、未就学児のうちに伸ばせる機会をいただけるとありがたいです。【1歳/共働き】 各種お便りなど紙ベースのやり取りや、写真や動画の配布のデジタル化を進めて欲しい。【3歳/共働き】 オフィスビルの中にあるにもかかわらず、できることを最大限にして頂いてのがわかるため。ただ換気が悪い（仕方がないことですが）。【3歳/共働き】
あまり満足していない	11	2.5%	今年度に入り、子供達の保育中の様子が見えづらくなり（先生からの報告も少ないため）、子供の話や保育参観の際から、子供へ寄り添う姿勢が少ない様に思え、子供への関わり方の園内研修や年齢に合わせた個別の対応も必要なのではないかと感じる。小学校入学を見据えた対応なのかもしれないが、入学準備にばかり目を向けるのではなく、本人たちの発達に合わせた個別の支援もまだ望まれる年齢だと思う。【4歳/共働き】
まったく満足していない	2	0.5%	保育園とはいえ教育に力を入れてもいいと思う。楽器、英語、そろばんなど。特色のある保育園作りをし、もっと営利目的で運営しても良いと思う。保育料が安過ぎる。価値のある『教育重視』の保育をし、保育園の人気を上げる→保育料を上げる→先生の収入を上げて、先生も能力向上を目指せば良い。【3歳/共働き】

カ 選んだ理由

港区保育室利用世帯の施設を選んだ理由は、「家から近く利用しやすいから（79.7%）」がもっとも多く、次いで「職員の保護者対応が適切だから（32.0%）」、「園庭があるから（30.9%）」、「保護者の就労形態に合っているから（24.3%）」、「施設設備が充実しているから（19.1%）」となっている。



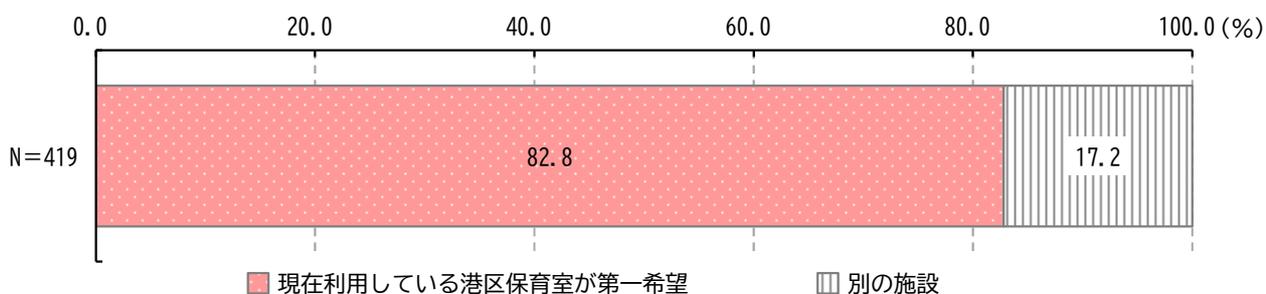
施設を選んだ理由（港区保育室利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	354	79.7%	夫婦共にフルタイム勤務なので自宅近くの保育園を選んだ【4歳/共働き】
施設設備が充実しているから	85	19.1%	見学に行った際、施設が大変綺麗で日当たりが良く、明るい印象を受けました。室内でもホールが広く、雨でも遊べて良いと思いました。【3歳/共働き】
園庭があるから	137	30.9%	男の子なので、しっかりと体を動かして欲しいと思い、園庭があり、遊具がある所が望ましかった。【2歳/共働き】
職員の保護者対応が適切だから	142	32.0%	首都直下が懸念される中、職員がどれくらい危機意識を持って日頃の防災訓練に力を入れているか質問した。園長は、きちんと防災マップを把握しており、時と場合によっては避難せず園に留まる場合もあるとしっかり答えてくれた。【3歳/共働き】
カリキュラムが魅力的だから	50	11.3%	英語やリトミック等専門の先生が来てくれるのが魅力だった。【2歳/共働き】
英語を学ばせたかったから	6	1.4%	—
給食など保育サービスが充実しているから	76	17.1%	幼稚園よりも給食などのサービスが充実していると考えて保育園を選択した。【4歳/共働き】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	1	0.2%	—
自転車による通園が認められているから	32	7.2%	—
自家用車による通園が認められているから	1	0.2%	—
保育料が安いから	32	7.2%	—
利用料に対する補助金が活用できるから	15	3.4%	—
保護者の就労形態に合っているから	108	24.3%	就業形態と保育料を考えると保育園（保育室）の選択しかなかった。【3歳/就労形態無回答】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	52	11.7%	集団生活の最初から、大人数で過ごすことによって、早い段階で社会性に触れる機会が得られると期待して選択した。大人数をカバーできる職員体制であることも魅力的と感じた。【4歳/共働き】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	73	16.4%	行きたかった保育園は定員がいっぱいで入れなかったのが港区保育室を選んだ。【0歳/共働き】
その他	37	8.3%	保育園行事や日常的にお弁当準備や持ち物など、親の負担となるタスクが比較的少ないと感じたから。【4歳/共働き】

キ 本来の利用希望施設

港区保育室利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している港区保育室を第一希望とする世帯が 82.8%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が 17.2% となっている。

本来利用を希望する施設（港区保育室利用世帯）

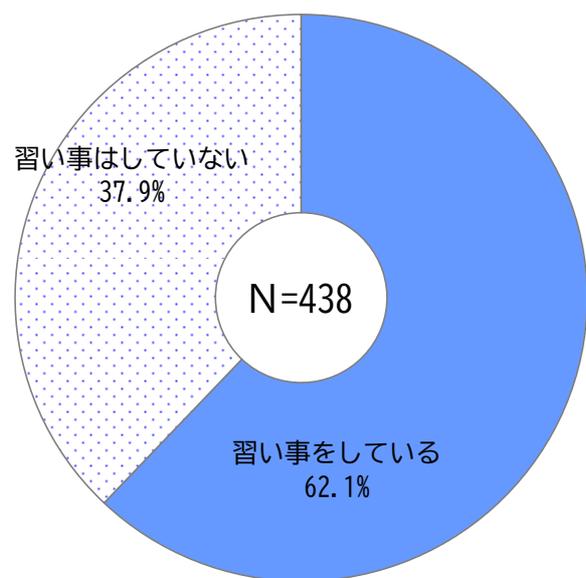


ク 習い事の有無・海外留学意向

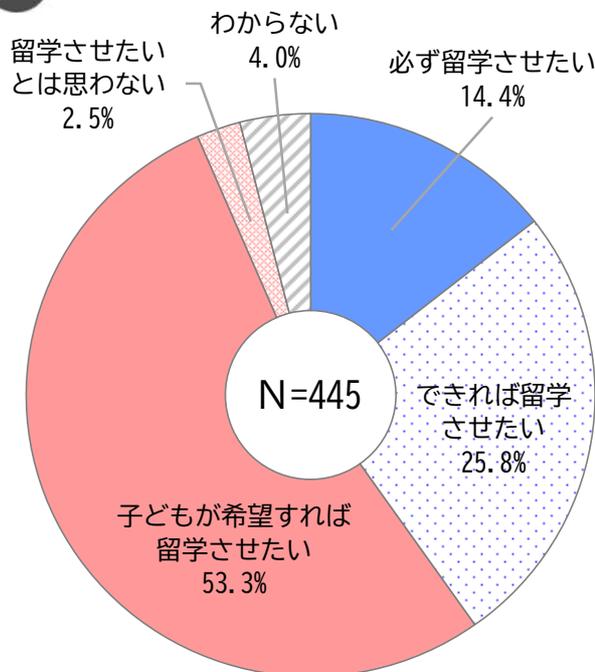
港区保育室利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が 62.1%、習い事をしていない世帯が 37.9% となっている。

港区保育室利用世帯の海外留学の意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (53.3%)」がもっとも多く、次いで「できれば留学させたい (25.8%)」、「必ず留学させたい (14.4%)」となっている。

習い事の有無（港区保育室利用世帯）



海外留学意向（港区保育室利用世帯）



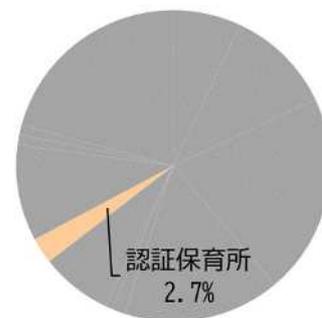
【参考】港区保育室一覧（令和4年4月現在）

施設名	所在地	定員数
芝公園二丁目保育室	芝公園 2-12-10	83
南麻布三丁目保育室	南麻布 3-5-15	45
青南保育室	南青山 4-19-18	106
第二青南保育室	南青山 4-19-5	97
桂坂保育室	高輪 3-19-36	168
志田町保育室	白金 1-11-16	130
白金三丁目保育室	白金 3-7-13	45
三光保育室	白金 3-18-2	120
たまち保育室	芝浦 3-4-1	157
芝浦橋保育室	芝浦 4-6-8	199
五色橋保育室	海岸 3-5-13	71

(8) 認証保育所利用世帯【5,983世帯中159世帯、全体の2.7%】

POINT | 認証保育所利用世帯

- 認証保育所利用世帯の父親の約9割、母親の約5割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 世帯年収でもっとも多いのは「1,000～1,500万円未満」。
- 登園方法でもっとも多いのは徒歩で約6割。次いで自転車。
- 約9割が現在利用している認証保育所に満足している一方、約2割が別の施設を利用したいと考えている。
- 施設選択理由で多いのが、「家から近い」「職員の保護者対応が適切」。



ア 子どもの年齢

認証保育所利用世帯の子どものクラス年齢は、「2歳（22.8%）」、「4歳（19.6%）」、「5歳（15.8%）」、「1歳（15.2%）」、「0歳（14.6%）」、「3歳（12.0%）」の順に多い。



子どもの年齢（認証保育所利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	23	14.6%
1歳	24	15.2%
2歳	36	22.8%
3歳	19	12.0%
4歳	31	19.6%
5歳	25	15.8%
合計	158	100.0%

イ 両親の就労時間

認証保育所利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（92.9%）」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（53.2%）」がもっとも多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（17.3%）」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である（11.5%）」となっている。



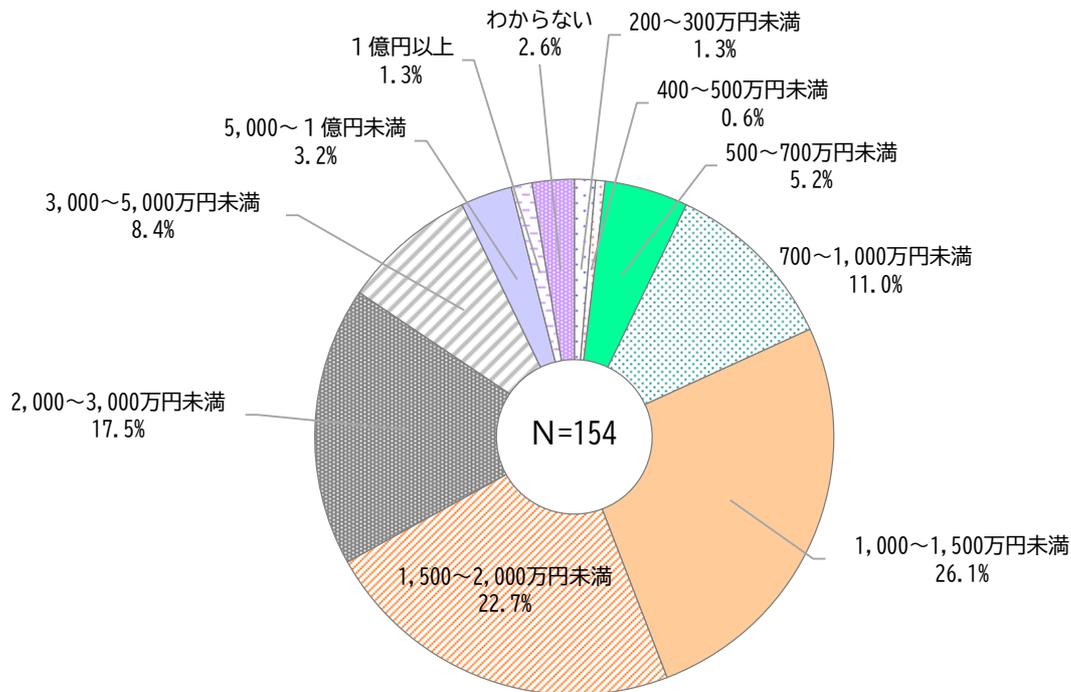
両親の就労時間（認証保育所利用世帯）

下段・ 上段 度数 %	フルタイム			パートタイム		現在は 未就 労	就労 経験 無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	145	1	5	4	-	1	-	156
	92.9%	0.6%	3.2%	2.6%	-	0.6%	-	100.0%
母親	83	18	14	27	-	14	-	156
	53.2%	11.5%	9.0%	17.3%	-	9.0%	-	100.0%

ウ 経済状況

認証保育所利用世帯の世帯年収は、「1,000～1,500万円未満（26.1%）」がもっとも多く、次いで「1,500～2,000万円未満（22.7%）」、「2,000～3,000万円未満（17.5%）」、「700～1,000万円未満（11.0%）」となっている。

 世帯年収（認証保育所利用世帯）



エ 登園方法

認証保育所利用世帯の登園方法は、「徒歩（60.8%）」がもっとも多く、次いで「自転車（32.9%）」となっている。平均登園時間は9分だった。

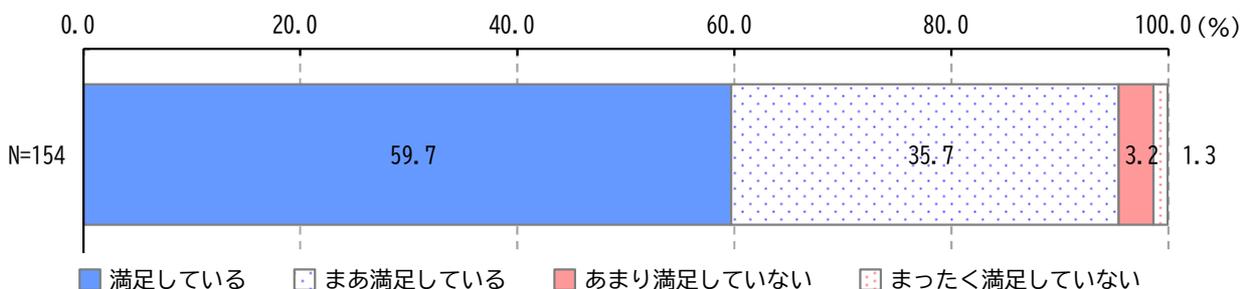
 登園方法（認証保育所利用世帯）

	実数	割合	平均時間
徒歩	96	60.8%	7分
自転車	52	32.9%	10.2分
乗用車	5	3.2%	9.5分
公共交通機関のバス	3	1.9%	18.3分
施設のスクールバス	-	-	-
電車	2	1.3%	55分
その他	-	-	-
合計	158	100.0%	9分

オ 満足度

認証保育所利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している（59.7%）」がもっとも多く、次いで「まあ満足している（35.7%）」となっている。

 施設に対する満足度（認証保育所利用世帯）



 満足度の理由（認証保育所利用世帯）

満足度	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
満足している	92	59.7%	保育時間の変更が柔軟で、保育者の対応がとても良いから。【2歳/専業主婦（主夫）世帯】 サービス内容が保育だけでなく教育も重視している内容であるため。連絡帳や通園記録が全て電子化されていて大変便利。持参する荷物が少ない（子供のエプロンやお尻拭きは園で用意してくれます）。保護者が持ち帰るようなお弁当をオーダーできるサービスは非常に助かっています。【0歳/共働き】 アプリでの連絡帳対応・おたより配布、面談や行事のオンライン対応。休み連絡や曜日振替対応などの利用しやすさ、保護者が休みでも預けられること。園庭はないが基本毎日お散歩に行ってくれること。オプションで英語や体操など習い事的なことも可能。在籍人数が認可保育園と比べて少ないことにより、一人ひとり丁寧にもらえる体制。 【5歳/共働き】 働く父母に優しく 18:00 の補食サービスが有り、急な延長に対応して頂ける。【4歳/共働き】 英語だのプログラミングだのと言った浮ついたカリキュラムを取り入れていない点。【1歳/共働き】
まあ満足している	55	35.7%	先生方の園児に対する対応がとても良い。英語やリズム集会など様々なプログラムを実施している。施設が狭いので少し運動不足が気になる。【2歳/共働き】 様々な制限がある中先生方が丁寧に保育してくれている。区立保育園と比べて経験不足な部分等もあるが、独立の特色を活かしており利用しやすい。【2歳/共働き】
あまり満足していない	5	3.2%	—
まったく満足していない	2	1.3%	—

カ 選んだ理由

認証保育所利用世帯の施設を選んだ理由は、「家から近く利用しやすいから (79.0%)」がもっとも多く、次いで「職員の保護者対応が適切だから (42.7%)」、「保護者の就労形態に合っているから (33.1%)」、「カリキュラムが魅力的だから (26.1%)」、「施設設備が充実しているから (26.1%)」となっている。

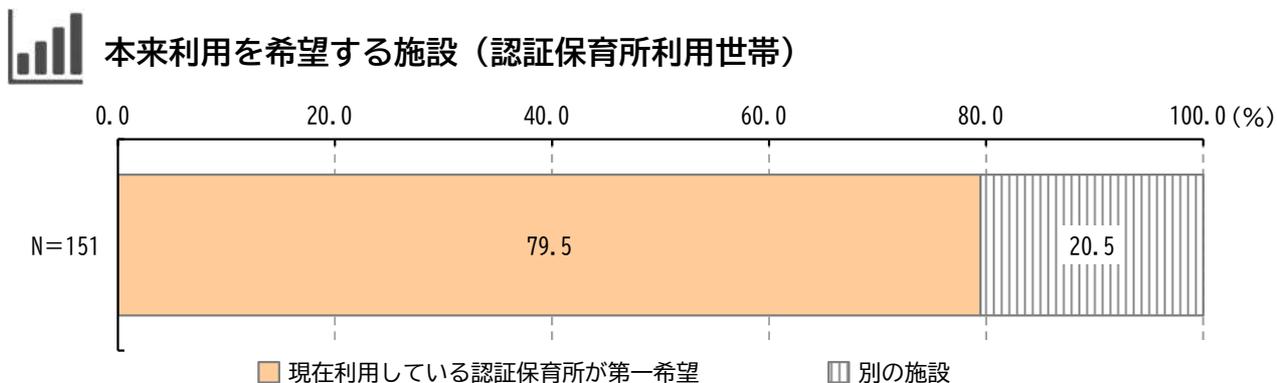


施設を選んだ理由（認証保育所利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	124	79.0%	両親が就労しているため、保育園を選択。最も至近にあったのが認証だったため通園している。【4歳/共働き】
施設設備が充実しているから	19	12.1%	—
園庭があるから	5	3.2%	—
職員の保護者対応が適切だから	67	42.7%	小規模な園である一方、大人が多く子供へのサポートが手厚く、また先生方、スタッフの言葉遣いや行動も丁寧で、遊びの活動と合わせ、こどもにふさわしいマナーや姿勢を教えてくれる点が、0~3歳の環境として非常に優れていると考えている。【2歳/共働き】
カリキュラムが魅力的だから	41	26.1%	一般的な保育園は「保育」に特化している中、現在通っている園は「保育+教育」を受けられることができるため選択しました【0歳/共働き】
英語を学ばせたかったから	9	5.7%	—
給食など保育サービスが充実しているから	41	26.1%	どこも大差は無い。挙げるのであれば園で給食を作っていること。【0歳/共働き】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	-	-	—
自転車による通園が認められているから	4	2.5%	—
自家用車による通園が認められているから	1	0.6%	—
保育料が安いから	5	3.2%	—
利用料に対する補助金が活用できるから	31	19.7%	—
保護者の就労形態に合っているから	52	33.1%	認証保育園は預ける時間の自由度が高く、融通がきくため。【3歳/共働き】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	31	19.7%	親としては少人数を希望していた為。以前の保育園は大人数の為、子供が自分の意思や意見が通らないことを3歳ながら不満を言っており、大人数だと弊害を感じていた。【5歳/共働き】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	17	10.8%	—
その他	17	10.8%	朝の開始時間が比較的遅く、迎え時間も多くの人が18時頃まで預けていることから、同時間帯に友達が多く子供がさみしくならない。月の合計時間で保育料が決まるため、融通が利きやすい。【3歳/共働き】

キ 本来の利用希望施設

認証保育所利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している認証保育所を第一希望とする世帯が 79.5%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が 20.5% となっている。

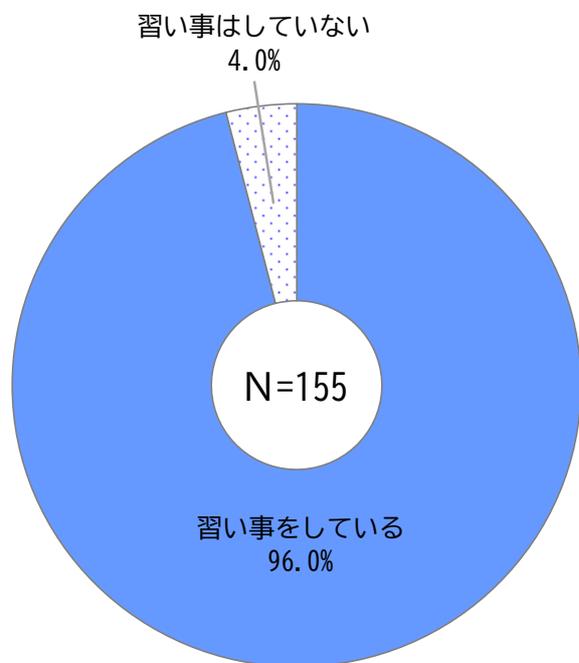


ク 習い事の有無・海外留学意向

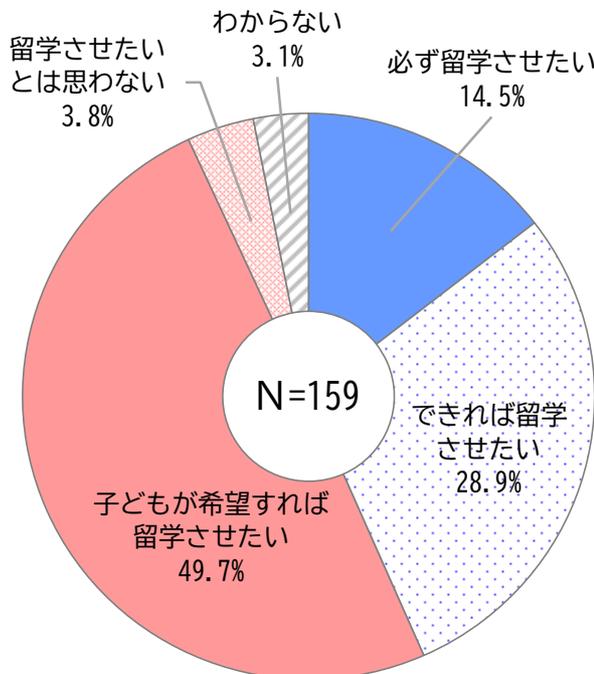
認証保育所利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が 96.0%、習い事をしていない世帯が 4.0% となっている。

認証保育所利用世帯の海外留学の意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (49.7%)」がもっとも多く、次いで「できれば留学させたい (28.9%)」、「必ず留学させたい (14.5%)」となっている。

習い事の有無 (認証保育所利用世帯)



海外留学意向 (認証保育所利用世帯)



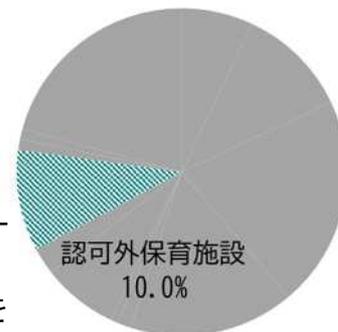
【参考】港区内認証保育所一覧（令和4年4月現在）

施設名	所在地	定員数
三田プチ・クレイシュ	芝 5-29-22	33
ゆらりん三田保育園	三田 2-7-13	30
プチ・ナーサリー田町	芝 4-16-1	40
ホームデイケア・六本木	西麻布 1-4-46	25
ニチイキッズさわやか麻布十番保育園	麻布十番 1-10-3	30
ナーサリールーム	南麻布 5-6-8	35
ポピンズナーサリースクール広尾	南麻布 5-1-11	33
ゆらりん東麻布保育園	東麻布 1-26-2	47
ポピンズナーサリースクール赤坂	赤坂 1-8-1	30
コンビプラザ白金台保育園	白金台 3-15-6	50
ニチイキッズさわやか白金高輪保育園	白金 1-25-25	20
ポピンズナーサリースクール高輪	三田 4-9-7	36
ポピンズナーサリースクール白金台	白金台 4-8-16	30
アスクお台場保育園	台場 2-2-3	30
アンジェリカ保育園芝浦園	芝浦 4-22-2	40
ポピンズナーサリースクール芝浦	芝浦 4-10-1	34
ニチイキッズさわやか港南保育園	港南 4-2-5	80
アンジェリカ保育園品川園	港南 2-3-13	40

(9) 認可外保育施設利用世帯【5,983世帯中596世帯、全体の10.0%】

POINT | 認可外保育施設利用世帯

- 認可外保育施設利用世帯の父親の約9割、母親の約4割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 世帯年収でもっとも多いのは「2,000～3,000万円未満」。
- 登園方法でもっとも多いのは徒歩で約3割。次いで自転車、施設のスクールバス、乗用車。
- 約9割が現在利用している認可外保育施設に満足している一方、約1割が別の施設を利用したいと考えている。
- 施設選択理由で多いのが、「カリキュラムが魅力的」「英語を学ばせたかった」。



ア 子どもの年齢

認可外保育施設利用世帯の子どものクラス年齢は、「3歳(22.3%)」、「2歳(22.1%)」、「4歳(16.9%)」、「5歳(15.7%)」、「1歳(14.0%)」、「0歳(9.0%)」の順に多い。



子どもの年齢（認可外保育施設利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	53	9.0%
1歳	83	14.0%
2歳	131	22.1%
3歳	132	22.3%
4歳	100	16.9%
5歳	93	15.7%
合計	592	100.0%

イ 両親の就労時間

認可外保育施設利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(94.7%)」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(42.5%)」がもっとも多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない(22.3%)」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない(15.5%)」となっている。



両親の就労時間（認可外保育施設利用世帯）

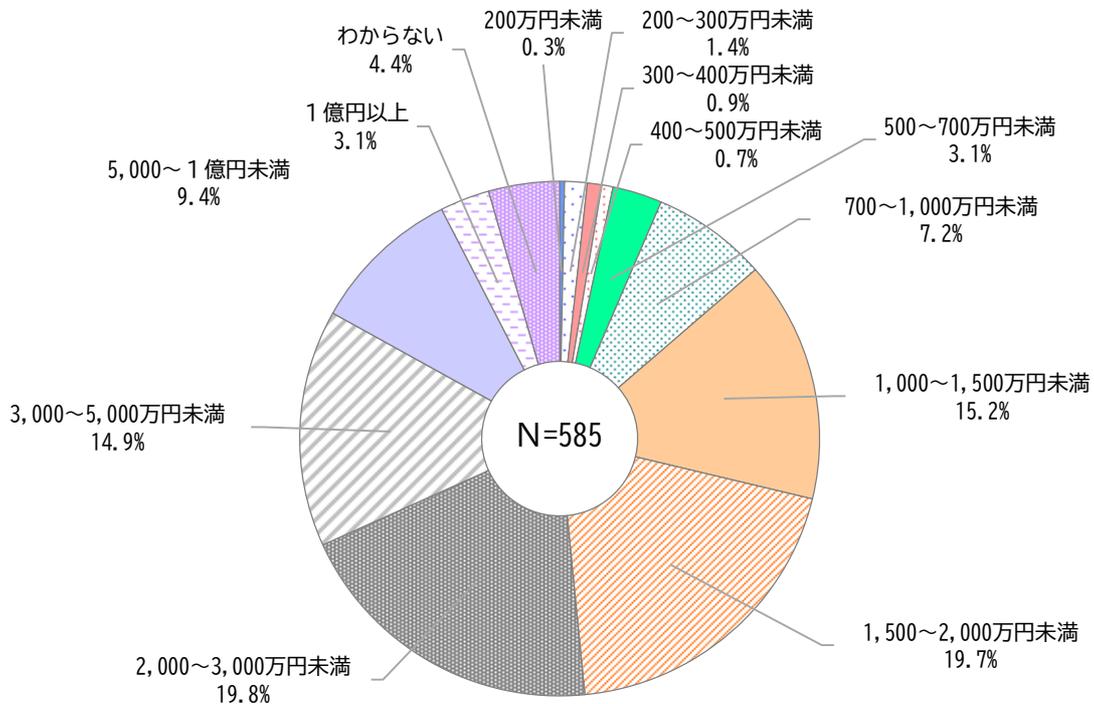
下段: 上段: % 度数	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験 無	合計
	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中	育児短時 間勤務中	通常勤務	産休・育 休・介護 休業中			
父親	539	4	22	3	1	2	1	569
	94.7%	0.7%	3.9%	0.5%	0.2%	0.4%	0.2%	100.0%
母親	242	47	42	88	11	127	9	569
	42.5%	8.3%	7.4%	15.5%	1.9%	22.3%	1.6%	100.0%

ウ 経済状況

認可外保育施設利用世帯の世帯年収は、「2,000～3,000万円未満（19.8%）」がもっとも多く、次いで「1,500～2,000万円未満（19.7%）」、「1,000～1,500万円未満（15.2%）」、「3,000～5,000万円未満（14.9%）」となっている。



世帯年収（認可外保育施設利用世帯）



エ 登園方法

認可外保育施設利用世帯の登園方法は、「徒歩（31.2%）」がもっとも多く、次いで「自転車（25.8%）」、「施設のスクールバス（18.5%）」、「乗用車（13.9%）」となっている。平均登園時間は16.2分だった。

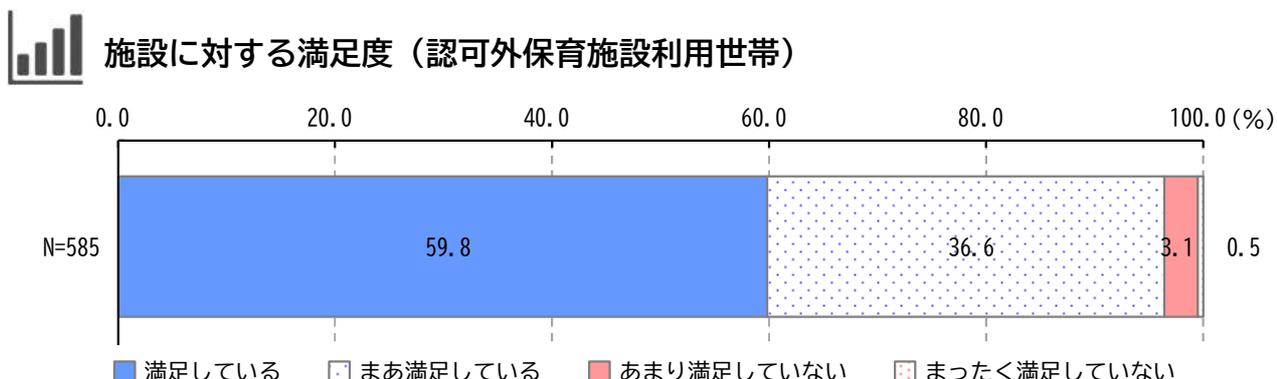


登園方法（認可外保育施設利用世帯）

	実数	割合	平均時間
徒歩	184	31.2%	10.1分
自転車	152	25.8%	11.6分
乗用車	82	13.9%	16.6分
公共交通機関のバス	25	4.2%	21.6分
施設のスクールバス	109	18.5%	28.2分
電車	25	4.2%	30.6分
その他	12	2.0%	11.3分
合計	589	100.0%	16.2分

オ 満足度

認可外保育施設利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している (59.8%)」がもっとも多く、次いで「まあ満足している (36.6%)」となっている。



満足度の理由 (認可外保育施設利用世帯)

満足度	実数	割合	主な具体的内容 (自由記述・原文)
満足している	350	59.8%	国際バカロレア教育、英語教育、日本語教育に加えて、毎週の専門家によるリトミック・体操・空手・水泳教室などカリキュラムが充実していること。さらに、アフタースクールで、ダンス・STEM・英語・リトルアスリートがあり、共働きなのでありがたい。【3歳/共働き】 授業内容が、国際バカロレアのカリキュラムセッション・探究・プレゼン・タイムマネジメント管理なので、大人になってから役立つことばかり。もちろん、授業は英語で行われている。英語を学ぶのではなく、英語で学べるところも良いと思っている。【5歳/共働き】 認可保育園と異なり、子供を預けるだけでよく、保護者の負担が軽い。設備も新しく、綺麗。カリキュラムも充実。刺激が多いのか、子供の成長が早くなった気がする。【0歳/共働き】 出勤時間が比較的遅めなのですが、11時間以内であれば延長料金もかからないため、長時間勤務でも安心できる。希望すればお着替えサービスも利用できるなど保育サービスも充実している。社員価格のため、値段が認可よりも安い、認可より使い勝手が良くとても助かっている。【2歳/共働き】
まあ満足している	214	36.6%	値段が高いこと以外には満足している。【5歳/共働き】 子供が楽しんで行っており、英語にも触れているため。徴収される金額が無駄に高く感じ、疑問に感じる点もある。【1歳/専業主婦(主夫)】 子供が楽しく登園しており、また、英語学習も進んでいるため。一方で平日の休園日が若千多く、また、親に求められる作業が多いのは改善して欲しい。【2歳/共働き】 バイリンガルな教育かつ先生のクオリティが高い。しかしながら全員の先生が英語のネイティブではありません。【2歳/共働き】
あまり満足していない	18	3.1%	学費が高すぎる、休みが多すぎる。【3歳/共働き】 何をしているか透明性が低い、特に午後には映画を見せていることが多い、金額が高い、子供の得意なことや好きなことにもっと焦点を当ててほしい。【3歳/共働き】 語学力強化のため週3以上の延長を求められたが、その時間が18:00と決められ保育園でないにお迎え時間が遅く、他の兄弟の世話に負担となった。【2歳/専業主婦(主夫)】
まったく満足していない	3	0.5%	金額に見合った教育が受けられていないと思う。【5歳/就労形態無回答】

カ 選んだ理由

認可外保育施設利用世帯の施設を選んだ理由は、「カリキュラムが魅力的だから（65.3%）」がもっとも多く、次いで「英語を学ばせたかったから（58.8%）」、「家から近く利用しやすいから（42.6%）」、「保護者の就労形態に合っているから（20.7%）」、「施設設備が充実しているから（20.2%）」となっている。

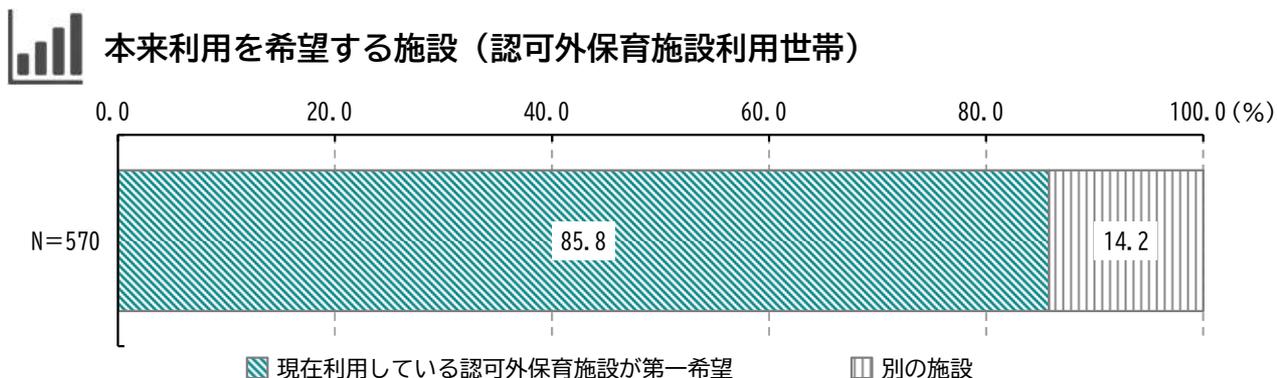


施設を選んだ理由（認可外保育施設利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	253	42.6%	自宅から近いインターナショナルスクールだったから。【3歳/就労形態無回答】
施設設備が充実しているから	120	20.2%	プールや体育館の充実度、富士登山やスキー合宿などの行事の充実度を評価した。【5歳/共働き】
園庭があるから	21	3.5%	—
職員の保護者対応が適切だから	106	17.8%	園児ひとりあたりに対応する先生の人数が多く、園児に目が届きやすい。先生方の保育に対する姿勢が高く、園児ひとり一人に対しての接し方に愛情が満ち溢れている。【3歳/共働き】
カリキュラムが魅力的だから	388	65.3%	英語も日本語もどちらも学べる。プログラムが良い。アフタースクールに空手やプログラミング等の先生が来て教えてくれる。【4歳/共働き】
英語を学ばせたかったから	349	58.8%	英語の早期教育を行いたかったから。共働きだと保育園とは別に英語教室へ連れて行くのが難しい。【3歳/共働き】 帰国子女のため、英語を継続して学ばせたかったことが大前提にある。また、保育園よりも教育内容が優れており、また幼稚園よりも預かり時間が長い。【4歳/共働き】
給食など保育サービスが充実しているから	110	18.5%	オールイングリッシュ、海外のカリキュラム、ランチあり、家から近い、持ち物が少ない、ルールが少ない、毎日写真サービスあり、子供たちが楽しそう。【0歳/共働き】
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	98	16.5%	送迎サービスが充実していて、マンションの下までバスで来てくれる点。保育園がなるべく親の負担（名前つけなどの作業等）が少なくなるようにという視点を持ってきている。【4歳/共働き】
自転車による通園が認められているから	26	4.4%	—
自家用車による通園が認められているから	21	3.5%	—
保育料が安いから	15	2.5%	ほかのインターより料金が割安で給食も出て、18時まで預けられるのが一番大きかった。【1歳/就労形態無回答】
利用料に対する補助金が活用できるから	112	18.9%	英語環境でかつ補助金を受けられる場所が限られていた。【3歳/専業主婦（主夫）】
保護者の就労形態に合っているから	123	20.7%	フルタイムで働いているため、幼稚園には通えない。保育園よりも教育に力を入れているという形態が魅力だった。バスでの送迎により、時間ギリギリまで働くことが可能。【4歳/共働き】
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	72	12.1%	先生一人に対する子供の数が少なく、充実した指導やケアを受けられる、先生の質がとても良いと感じて選択しました。【5歳/専業主婦（主夫）】
希望する教育・保育施設に入れなかったから	29	4.9%	当初は希望していた認可保育園に入れなかったため選んだが、結果的に認可保育園よりもサービスが手厚く、カリキュラムも豊富で良かったと感じている。【1歳/共働き】
その他	52	8.8%	インターナショナルスクールでも比較的学費が安く、先生方もきちんと子供に関わる教育の学位を持っている人達で安心できたため。【2歳/就労形態無回答】

キ 本来の利用希望施設

認可外保育施設利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している認可外保育施設を第一希望とする世帯が85.8%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が14.2%となっている。

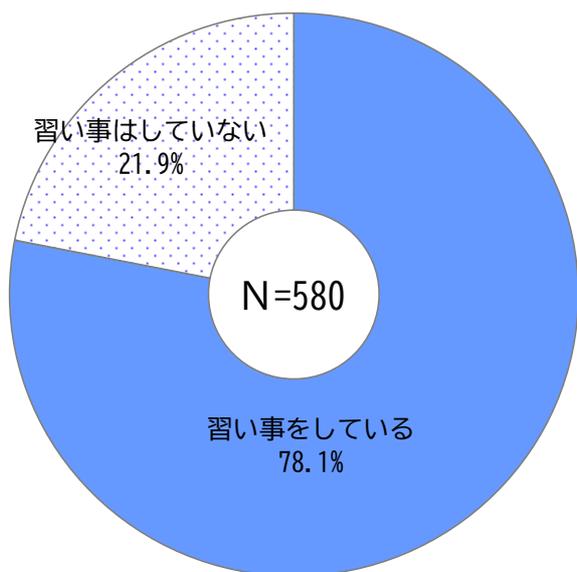


ク 習い事の有無・海外留学意向

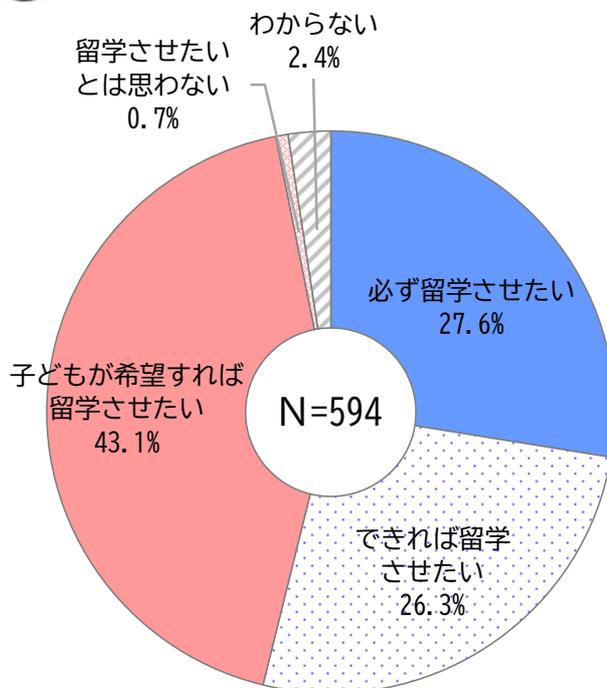
認可外保育施設利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が78.1%、習い事をしていない世帯が21.9%となっている。

認可外保育施設利用世帯の海外留学の意向は、「子どもが希望すれば留学させたい (43.1%)」がもっとも多く、次いで「必ず留学させたい (27.6%)」、「できれば留学させたい (26.3%)」となっている。

習い事の有無 (認可外保育施設利用世帯)



海外留学意向 (認可外保育施設利用世帯)



【参考】港区内認可外保育施設一覧（令和4年10月現在届出済）

施設名	所在地	定員	施設名	所在地	定員
ドリームキッズネットワーク	南青山 2-9-23	42	ステラプリスクール南青山	南青山 4-1-15	30
生きるカマンマ・マーン	西麻布 4-17-2	15	保育所ちびっこランド西麻布園	西麻布 1-8-12	16
だっこルーム	高輪 4-10-30	20	ten kids アークヒルズ園	六本木 1-3-41	26
キッズスクウェア六本木ヒルズ	六本木 6-10-1	45	Hayama International School Shirokane	白金台 5-17-1	6
高輪シュタイナーこども園	高輪 4-4-7	10	ナーサリールームミライズ	虎ノ門 4-3-1	21
アイインターナショナルスクール	三田 2-21-8	42	エンゼル精舎	白金 2-7-40	15
SOH	南青山 2-18-11	10	キッズスクウェア日比谷フォートタワー	西新橋 1-1-1	30
ローラスインターナショナルスクールオブサイエンス高輪校	高輪 3-21-7	108	レインボーヒルズ保育園竹芝	港区海岸 1-13-15	9
Ayla International School	白金台 5-13-28	30	第二エンゼル精舎	白金 4-15-5	30
まほうの保育園	港南 3-5-10	50	パソナファミリー保育園	南青山 3-1-30	19
リトルスターキッズクラブ	西麻布 4-10-1	20	虎の門病院 虎の子保育園	虎の門 2-2-2	21
キッズガーデン広尾	南麻布 5-16-13	設定なし	国際医療福祉大学三田病院どんぐり保育園	三田 1-4-3	12
伸芽'Sクラブ田町	芝浦 3-16-1	135	東京都済生会中央病院「のぞみ保育所」	三田 1-4-17	40
東京 international kindercare	東麻布 1-26-2	51	EtonHouse International Preschool	赤坂 9-2-16	96
St. Alban's Nursery	芝公園 3-6-25	20	K space	白金台 5-13-39	123
クランテデ三田	三田 1-3-31	100	広尾シュタイナーこども園	西麻布 4-8-12	24
キッズガーデンプレップスクール元麻布	元麻布 3-4-23	設定なし	ohana international school	元麻布 3-12-36	10
ローラスインターナショナルスクールオブサイエンス青山校	南青山 6-13-14	120	キンダーキッズインターナショナルスクール品川校	高輪 4-10-31	164
TOE アカデミー高輪校	高輪 4-5-3	35	CHATEAU SCHOOL	西麻布 3-17-3	130
ファミリアプリスクール	白金台 4-10-8	60	さくらインターナショナルスクール麻布校	西麻布 3-13-1	18
StarKids インターナショナルプレスクール	芝公園 2-8-2	74	ローラスインターナショナルスクールオブサイエンス白金台校	白金台 3-4-17	80
Ivy Prep International School	南麻布 3-11-4	設定なし	アオバジャパン・バイリンガルプリスクール芝浦キャンパス	芝浦 4-12-38	50
HS Care	白金台 5-17-1	20	クラレンスインターナショナルスクール	南青山 3-9-5	40
ジンボリーインターナショナルプリスクール&アフタースクール元麻布（広尾）教室	元麻布 2-3-30	24	キッズインターナショナル白金台	白金台 3-16-8	44
CULAFULキッズルーム	海岸 1-10-45	30	キッズインターナショナル品川	港南 3-5-16	37
Kids Home ぶどうの木	南麻布 3-8-15	13	ユニコーンキッズインターナショナルスクール	元麻布 3-1-6	12
ママズスマイル六本木店	六本木 4-5-2	12	ズー・フォニックス・アカデミー芝浦校	芝浦 3-11-6	10
カンガルーム汐留	東新橋 1-1-16	40	Go Global Inter Kids	三田 2-7-7	設定なし
本田技研工業株式会社一時保育	南青山 2-1-1	18	クラレンスインターナショナルスクールアネックス	南青山 3-3-14	設定なし
東大白金ひまわり保育園	白金台 4-6-1	15	Mitsui Gardens International Preschool	六本木 2-1-1	27
東京チルドレンズ・センター	六本木 6-7-6	10	biima school 芝浦アイランド校	芝浦 4-22-2	92
I-Kids	北青山 2-3-1	15	東京チルドレンズガーデン	西麻布 3-9-5	20
WithKids	赤坂 1-12-32	19	Pit スクール	白金台 2-7-5	113
COMO EN CASA 青山キッズクラブ	南青山 4-7-11	12	ヒーロー幼児園	南青山 1-22-5	6
のぼるキッズ東麻布	東麻布 1-8-14	12	PAL International School	西麻布 3-7-15	41
はっぴっぴ！白金高輪園	白金 3-13-13	8	ビッキオ・モンテッソーリ・スクール白金	白金 3-17-17	36
ゆーぐりん保育園	芝 5-29-11	12	Four Leaves International School Tokyo	南青山 6-13-17	38
フェニックスキッズ西麻布	西麻布 1-5-22	19	キッズガーデン南青山	南青山 3-3-3	設定なし
はなさかず保育園	赤坂 6-3-18	19	キッズインターナショナルキンダーガーデン東麻布	東麻布 1-5-2	70
キッズスクウェア赤坂見附	元赤坂 1-5-8	30	EtonHouse International Preschool Tokyo Toranomon	愛宕 1-1-1	60
ひかるほし保育園	浜松町 1-21-2	18	モンテッソーリ星と光プリスクール	芝 3-6-13	23
ディア・キッズたまち	芝浦 3-1-21	20	チルドレンズハウスモンテッソーリスクール	元麻布 3-1-23	30
MOEGI HOUSE	南青山 2-7-7	10	RED Bambini Montessori International School	芝公園 4-2-8	70
はっぴっぴ！白金台園	白金台 5-13-29	12			

(10) 各種学校利用世帯【5,983世帯中63世帯、全体の1.1%】

POINT | 各種学校利用世帯

- ▶ 各種学校利用世帯の父親の約9割、母親の約5割が、産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- ▶ 世帯年収でもっとも多いのは「3,000～5,000万円未満」。
- ▶ 登園方法でもっとも多いのは施設のスクールバスで約3割。次いで乗用車、自転車、徒歩となっている。
- ▶ 約9割が現在利用している各種学校に満足している一方、約1割が別の施設を利用したいと考えている。
- ▶ 施設選択理由で多いのが、「カリキュラムが魅力的」「英語を学ばせたかった」。



ア 子どもの年齢

各種学校利用世帯の子どものクラス年齢は、「5歳（44.4%）」、「3歳（27.0%）」、「4歳（22.2%）」、「2歳（6.3%）」の順に多い。



子どもの年齢（各種学校利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	-	-
1歳	-	-
2歳	4	6.3%
3歳	17	27.0%
4歳	14	22.2%
5歳	28	44.4%
合計	63	100.0%

イ 両親の就労時間

各種学校利用世帯の父親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（95.1%）」がもっとも多く、9割以上を占めている。

母親の就労時間は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（49.2%）」がもっとも多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない（26.2%）」となっている。



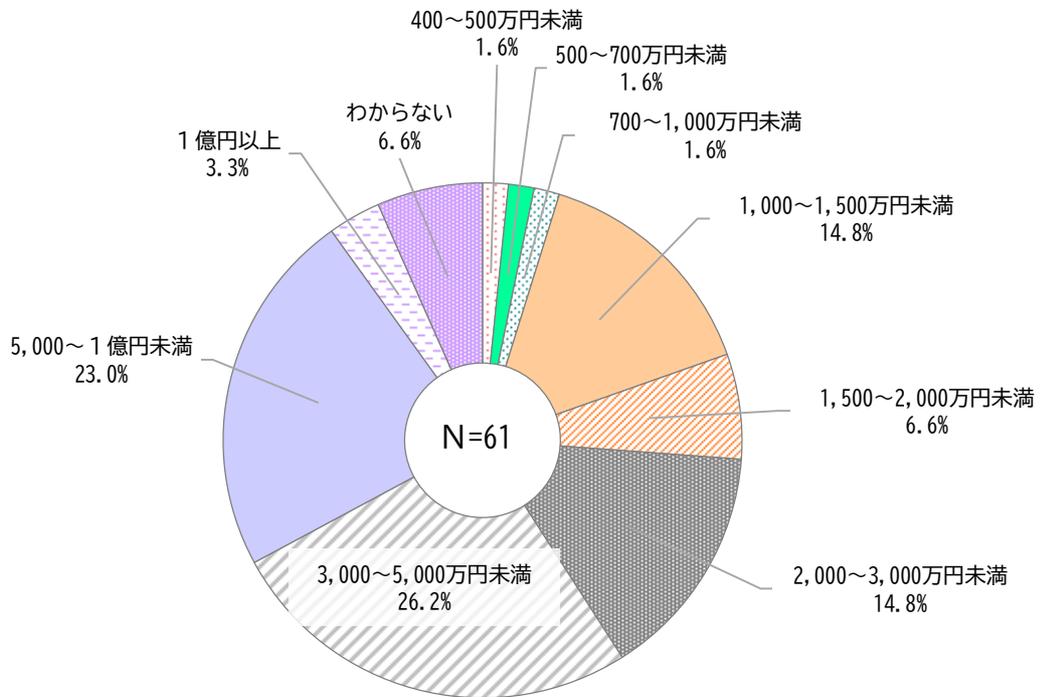
両親の就労時間（各種学校利用世帯）

下段： 上段： % 度数	フルタイム			パートタイム		現在は 未就労	就労 経験 無	合計
	通常勤務	産休・育休・介護休業中	育児短時間勤務中	通常勤務	産休・育休・介護休業中			
父親	58	1	1	-	-	1	-	61
	95.1%	1.6%	1.6%	-	-	1.6%	-	100.0%
母親	30	3	5	2	3	16	2	61
	49.2%	4.9%	8.2%	3.3%	4.9%	26.2%	3.3%	100.0%

ウ 経済状況

各種学校利用世帯の世帯年収は、「3,000～5,000万円未満(26.2%)」がもっとも多く、次いで「5,000万円～1億円未満(23.0%)」、「2,000～3,000万円未満(14.8%)」となっている。

 世帯年収（各種学校利用世帯）



エ 登園方法

各種学校利用世帯の登園方法は、「施設のスクールバス(28.6%)」がもっとも多く、次いで「乗用車(27.0%)」、「自転車(25.4%)」、「徒歩(11.1%)」となっている。平均登園時間は22.7分だった。

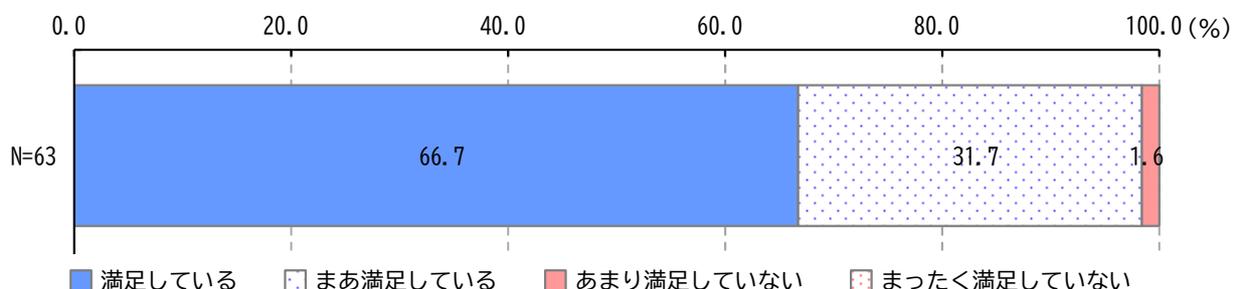
 登園方法（各種学校利用世帯）

	実数	割合	平均時間
徒歩	7	11.1%	12.4分
自転車	16	25.4%	13.1分
乗用車	17	27.0%	21.0分
公共交通機関のバス	2	3.2%	17.5分
施設のスクールバス	18	28.6%	35.9分
電車	1	1.6%	40分
その他	2	3.2%	27.5分
合計	63	100.0%	22.7分

オ 満足度

各種学校利用世帯の施設に対する満足度は、「満足している（66.7%）」がもっとも多く、次いで「まあ満足している（31.7%）」となっている。

 施設に対する満足度（各種学校利用世帯）



 満足度の理由（各種学校利用世帯）

満足度	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
満足している	42	66.7%	カリキュラムが良い。保護者と学校、保護者同士のコミュニティもあたたかい。【5歳/共働き】 型にはめず個性を重視し、考える力を養うカリキュラムだと思うため【5歳/共働き】 保育の質、施設の質、環境設定の質およびその説明や、子供の姿に対しての見方や説明が素晴らしい。人の質。【3歳/共働き】 子供の精神的に満たされ、成長している姿を見るとストレスがなく伸び伸び過ごしていると感じる為。【3歳/共働き】
まあ満足している	20	31.7%	日本のように物事を勉強として詰め込むのではなく、日常生活を通じて自然と学ぶ姿勢を大切にしている。【5歳/専業主婦】 金額（学費）に対して見合う内容かと言えばそうではないが、やっている内容自体は子供の為になっていると感じる。また子供が楽しんでいる様子な為。【3歳/共働き】 子供の将来に対する期待に沿う。給食や通勤時間（バス利用でなく全て徒歩で通いたい。）を除けば満足。【5歳/共働き】
あまり満足していない	1	1.6%	—
まったく満足していない	-	-	—

カ 選んだ理由

各種学校利用世帯の施設を選んだ理由は、「カリキュラムが魅力的だから（71.4%）」がもっとも多く、次いで「英語を学ばせたかったから（63.5%）」、「家から近く利用しやすいから（27.0%）」、「施設設備が充実しているから（25.4%）」、「職員の保護者対応が適切だから（14.3%）」となっている。

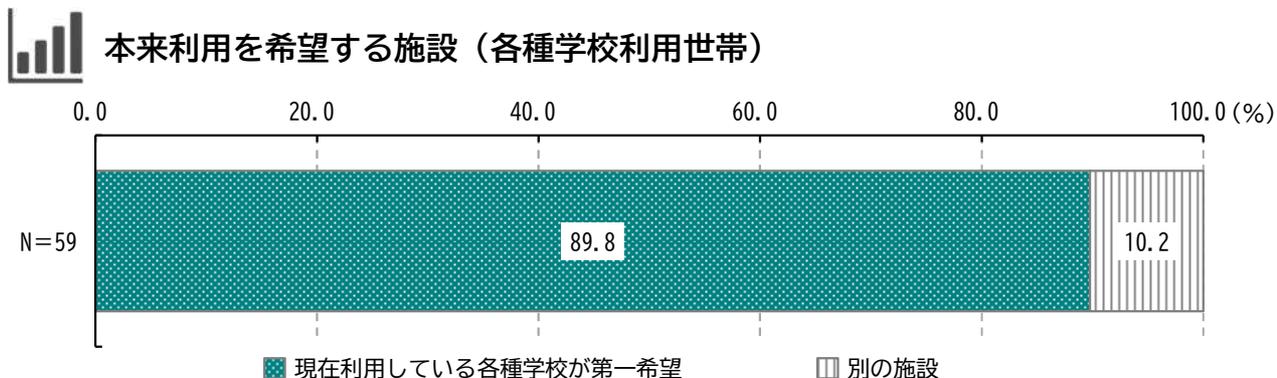


施設を選んだ理由（各種学校利用世帯・設問は複数回答）

理由	実数	割合	主な具体的内容（自由記述・原文）
家から近く利用しやすいから	17	27.0%	—
施設設備が充実しているから	16	25.4%	教育カリキュラムや施設が充実しており金額は高いがのびのびと子供を育てるには良い環境づくりが出来ると考えたため【5歳/専業主婦】
園庭があるから	7	11.1%	都内にして広大な校庭がある点【5歳/共働き】
職員の保護者対応が適切だから	9	14.3%	—
カリキュラムが魅力的だから	45	71.4%	主に英語を使って、探究型学習を行なっているから。独自のカリキュラムが魅力的で、保護者とのつながり方も好ましいと感じたから。【5歳/共働き】 子供がのびのびと育てたいので、団体行動など型にはまった日本のカリキュラムよりもインターナショナルスクールを選びました。【5歳/共働き】 国際バカロレアのカリキュラムだから。【5歳/専業主婦】
英語を学ばせたかったから	40	63.5%	語学教育、海外大学への進学【3歳/専業主婦】
給食など保育サービスが充実しているから	2	3.2%	—
スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	8	12.7%	—
自転車による通園が認められているから	5	7.9%	—
自家用車による通園が認められているから	4	6.3%	—
保育料が安いから	—	—	—
利用料に対する補助金が活用できるから	3	4.8%	—
保護者の就労形態に合っているから	2	3.2%	—
施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	5	7.9%	—
希望する教育・保育施設に入れなかったから	2	3.2%	—
その他	14	22.2%	アメリカと日本 2 つの国籍を持つので、学校ではアメリカの言葉・文化・価値観を学んで欲しい。将来どちらの国籍を選んでも両国に誇りを持つ人間として、社会に貢献して欲しい。この想いを満たすベストな施設と思っている。【3歳/共働き】

キ 本来の利用希望施設

各種学校利用世帯の本来利用を希望する施設については、現在利用している各種学校を第一希望とする世帯が 89.8%、本当は別の施設に通いたいとする世帯が 10.2%となっている。



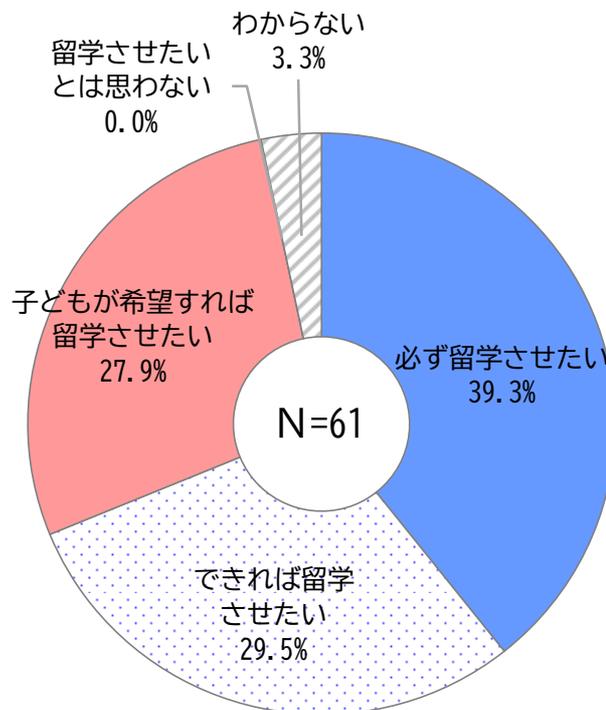
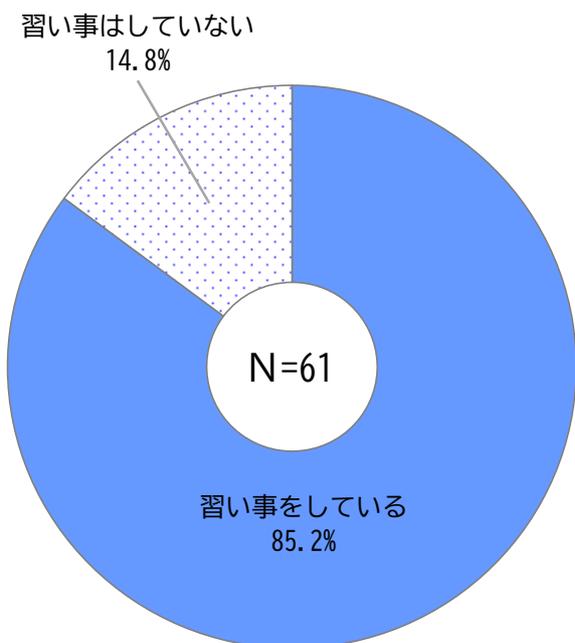
ク 習い事の有無・海外留学意向

各種学校利用世帯の習い事の有無については、習い事をしている世帯が 85.2%、習い事をしていない世帯が 14.8%となっている。

各種学校利用世帯の海外留学の意向は、「必ず留学させたい (39.3%)」がもっとも多く、次いで「できれば留学させたい (29.5%)」、「子どもが希望すれば留学させたい (27.9%)」となっている。

習い事の有無 (各種学校利用世帯)

海外留学意向 (各種学校利用世帯)



【参考】各種学校一覧（令和4年4月現在）

施設名	所在地
アメリカン・スクール・イン・ジャパン・アーリーラーニングセンター	六本木 6-16-5
東京インターナショナルスクール	南麻布 2-13-6
西町インターナショナルスクール	元麻布 2-14-7

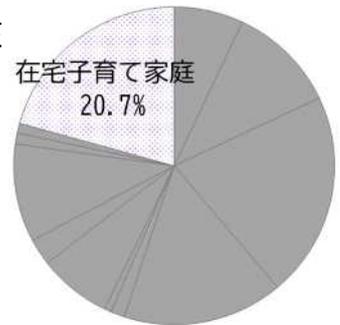
第3 在宅子育て家庭について

1 在宅子育て家庭の状況

(1) 在宅子育て家庭の基本情報

POINT | 在宅子育て家庭の基本情報

- 調査回答世帯の20.7%が、教育・保育施設を利用していない在宅子育て家庭。
- 在宅子育て家庭は、0歳から2歳の子どもがいる世帯に多い。0歳児がいる世帯の約7割、1歳児がいる世帯の約3割、2歳児がいる世帯の約2割が、在宅で子育てをしている。
- 在宅子育て家庭の約9割は、主に母親が子育てを担っている。
- 在宅子育て家庭の約3割が、祖父母等の子育て支援を得られていない。



ア 在宅子育て家庭の割合

調査回答世帯の20.7%が教育・保育施設を利用せず、在宅で子育てをしている。在宅子育て家庭の割合は、子どもの年齢が「0歳の世帯(69.6%)」がもっとも高く、次いで「1歳の世帯(26.5%)」、「2歳の世帯(17.0%)」となっている。



在宅子育て家庭の割合

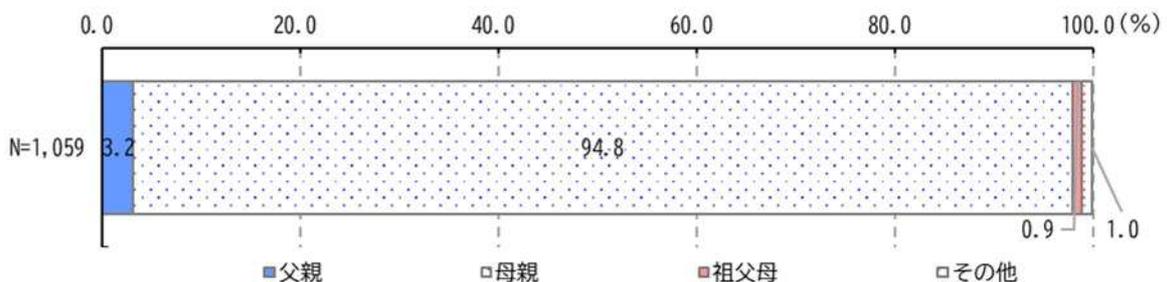
施設利用 クラス年齢	教育・保育施設 利用世帯		在宅子育て家庭		合計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
0歳	357	30.4%	819	69.6%	1,176	100.0%
1歳	538	73.5%	194	26.5%	732	100.0%
2歳	693	83.0%	142	17.0%	835	100.0%
3歳	936	97.8%	21	2.2%	957	100.0%
4歳	1,093	97.8%	25	2.2%	1,118	100.0%
5歳	1,105	97.2%	32	2.8%	1,137	100.0%
合計	4,722	79.3%	1,233	20.7%	5,955	100.0%

イ 在宅での子育てを主にしている人

調査回答世帯の在宅子育て家庭で、在宅での子育てを主にしている人は、母親(94.8%)が多い。



在宅での子育てを主にしている人



ウ 在宅で子育てをしている理由

調査回答世帯の在宅子育て家庭の在宅で子育てをしている理由は、「子育てを自分自身で行いたいから」、「家族・親族が子どもを見ることができる状況にあるので利用する必要がないから」、「新型コロナウイルス感染症への不安で施設利用したくないから」が多い。



在宅子育てをしている理由

クラス年齢 在宅子育ての理由（複数回答）	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
子育てを自分自身で行いたいから	256 35.7%	55 37.4%	46 41.1%	5 33.3%	4 25.0%	8 36.4%
家族・親族が子どもを見ることができる状況にあるので利用する必要がないから	244 34.0%	57 38.8%	47 42.0%	5 33.3%	6 37.5%	13 59.1%
新型コロナウイルス感染症への不安で施設利用したくないから	230 32.0%	58 39.5%	39 34.8%	5 33.3%	5 31.3%	1 4.5%
施設利用したいが希望する教育・保育施設に空きがないから	62 8.6%	16 10.9%	7 6.3%	- -	- -	- -
施設利用したいが経済的な理由で利用が難しいから	9 1.3%	3 2.0%	3 2.7%	- -	- -	- -
施設利用したいが延長・夜間等の時間帯の条件が合わないから	17 2.4%	3 2.0%	2 1.8%	- -	1 6.3%	1 4.5%
施設利用したいが教育内容の質や立地など納得できる施設がないから	25 3.5%	8 5.4%	4 3.6%	1 6.7%	3 18.8%	- -
施設利用したいと考えている年齢に子どもが達していないから	98 13.6%	10 6.8%	- -	- -	- -	- -
利用を希望する施設の対象年齢に達していないから	50 7.0%	11 7.5%	7 6.3%	- -	1 6.3%	- -
施設利用したいが子どもの疾病や障害などで施設利用が困難だから	3 0.4%	- -	1 0.9%	- -	- -	2 9.1%
その他の理由	143 19.9%	26 17.7%	17 15.2%	2 13.3%	5 31.3%	5 22.7%
回答世帯数	718 100.0%	147 100.0%	112 100.0%	15 100.0%	16 100.0%	22 100.0%

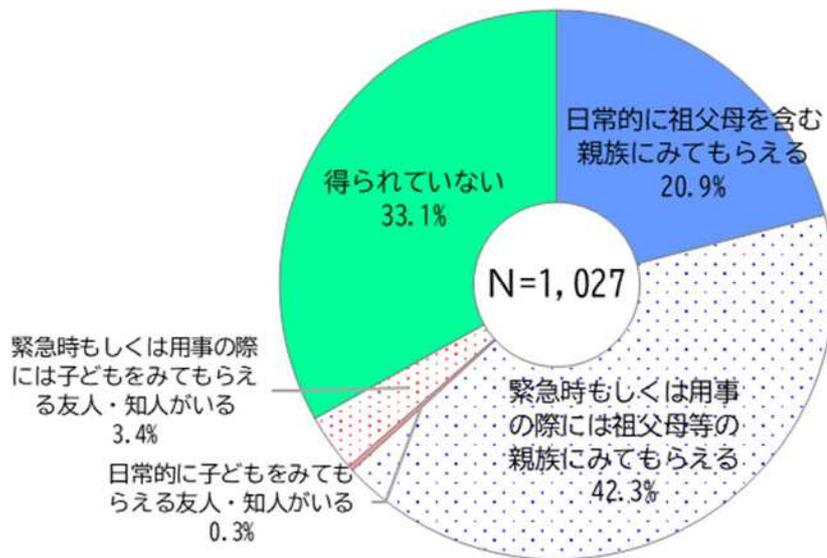
※数値の上段が実数、下段が割合

※在宅子育ての理由は複数回答

工 在宅子育て家庭の祖父母等の子育て支援

調査回答世帯の在宅子育て家庭の祖父母等の子育て支援は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる(42.3%)」がもっとも多く、次いで「得られていない(33.1%)」、「日常的に祖父母を含む親族にみてもらえる(20.9%)」となっている。

 在宅子育て家庭の祖父母等の子育て支援



2 在宅子育て家庭の要望

(1) 在宅子育て家庭の悩み

調査回答世帯の在宅子育て家庭の悩みは、「子どもの教育(41.7%)」がもっとも多く、次いで「子どもの集団生活への慣れ(30.1%)」、「子どもの健康(27.0%)」、「子どもの発達(25.8%)」、「子育ての孤独感(19.6%)」、「子育ての相談先(11.1%)」となっている。



在宅子育て家庭の悩み

在宅子育て家庭の悩み(複数回答)	実数	割合	主な具体的内容(自由記述・原文)
子育ての孤独感	207	19.6%	子供との接し方など、相談できる友達がいない。【0歳/共働き】 住んでいるところの辺りに同じ年齢帯の子供がいない。【5歳/片働き】 子育てを支援してくれる祖母が甘やかしすぎて、母に懐かず可愛いと思えない。食生活に不安だらけ。子供の教育方針などに口出しし母を叱るため孤独。【2歳/就労形態無回答】
子どもの集団生活への慣れ	318	30.1%	コロナ禍もあって、他の子どもとのコミュニケーションを取る機会があまりないこと。【0歳/共働き】 コロナで児童館でも子供同士の触れ合いが少ない、しにくい。【1歳/共働き】 4月から保育園に入園予定だがコロナ禍と言う事もあり、殆ど集団生活を経験した事が無いので入園後に対応出来るかが不安。【0歳/共働き】
子どもの健康	285	27.0%	食物アレルギーがあるのでそれがとても心配です。【0歳/就労形態無回答】 皮膚トラブルについて、授乳についてなど乳児期の細かな健康問題。【0歳/共働き】 風邪を機に咳が止まらず、入院した事がある為、今後も入院しないように特に風邪を引いた時は心配です。【1歳/片働き】
子どもの発達	272	25.8%	早生まれなので、同学年の子の発達についていけるか不安【0歳/共働き】 子供が健全に発達しているのが正確に判断したいが、判断基準がわからない。いろいろな情報が溢れていて、どの情報が正しいのか判断が難しいので。【5歳/共働き】 同じ月齢の他の赤ちゃんと比べてしまう。本人のペースに任せたいと思いつつ、まだ寝返りしていない等、不安になってしまう時がある。【0歳/就労形態無回答】
子どもの教育	440	41.7%	子供を0歳からどう教育したらいいかわからないので教えて欲しいです。【0歳/共働き】 今後の成長に合わせた親の教育方法など【0歳/共働き】 どの幼稚園や小学校に通わせるのが本人のためになるか。港区周辺は公立だけでなく私立において選択肢がたくさんある分、迷ってしまう。【0歳/共働き】 未就学のうちは親からの愛情で十分とよく聞きますが、1日を振り返ると一緒に生活しているだけのような気がして、子供にとって今の毎日が有意義なものなのか疑問に思うことがあります。【1歳/片働き】
子育ての相談先	117	11.1%	子供との関わりのみだと、自分が社会とどのように関わっているのだろうかと思う時がある。働きたいが子供のこともちゃんと育てたいと考えた際、どの様にサポートしてもらい、それを実現するか、また受け入れてくれる会社はあるかなど、全く1人で考えなければならず、相談先が分からない。【1歳/片働き】
その他	74	7.0%	万が一の時の預かり先。両親の体調不良時や緊急の仕事の際のサポート先がない。【0歳/共働き】
悩みは特にない	315	29.9%	-
回答世帯数	1,055	100.0%	-

(2) 在宅子育て家庭の要望

ア 一時預かり事業について

- とにかく一時保育の予約を取りやすくしてほしいです。当日や翌日でも、困った時に頼れる施設がほしいです。
- 一時預かりの0歳児枠をもっと増やしてほしい。
- 低月齢児(0~3ヶ月)の一時保育施設拡充を希望します。
- 港区は子育てに優しい街だと思うが、一時保育・休日保育は圧倒的に数が足りない。女性が仕事をセーブしない限り2人目はムリ。
- 一時預かりの予約を取りやすくしてほしい。保育園に行っておらず、親と子供が病気の場合にも子を預かってくれる場所がほしい。0歳の子の世話をする気力、体力がない中で義実家など他に頼る所がなかった時、子を連れて病院にも行けず、このまま家で倒れたらと恐怖でした。
- 私自身が今困っているのは、自分の急な体調不良の時の子供のサポートです。Pokke やあっぴいなどの施設はありますが、当日必要な時に緊急で相談出来る場所・人がいたらありがたいです。(ひとり親世帯です)。
- 他の区に比べて充実していると聞き、あえて港区に住んでいるので、とてもありがたいと思っています。ただ一時保育については予約が取れずに結構困ったので、もっと充実すれば良いなと思いました。
- あっぴいの一時的預かりの利便性の向上。
- 仕事など、急に予定が入ることがあるが、一時預かりの予約が取れないので仕事を調整してもらうことが多い。施設も保育士さんにも限りがあるので難しいとは思いますが、もう少し柔軟に予約が取れるととても嬉しい。
- 母親が病気や体調が悪い時に、当日予約ができる子供を預ける場所がほしい。
- 一時保育を予約取れる様にしてほしい。一人で2人の小さい子供を連れて乳幼児健診に行くのはかなり大変。
- 派遣型一時保育の支援者が見つかって本当に助かっています。この方が見つかっていなかったら今私はどうなっていたか分かりません。本当に感謝しています。

イ 子育てひろばについて

- Pokke などのひろば利用の際の予約が不要になり大変助かっています。ありがとうございます。
- 子育て広場やママサロンを増やす(保健所のうさちゃんクラブなどは低月齢のときにはあるが、それ以降はママ友さんを作りにくい。)
- あっぴいやあいぽーとなど、子育てひろばが利用できる箇所が多く、日によって行く場所を変えることができるので気分転換にもなります。
- 区の支援センターはとても充実していてとても助かる。特に新しく出来た表参道のひろばとカフェはとても利便性もよく利用している。コロナ禍で難しいとは思いますが、離乳食を食べられるスペースを他施設でも作ってもらえると助かります。おむつ等も捨てられると助かります。
- 港区は他区と比較すると遊び場も多く充実しているのではないかと思います。特にあいぽーとのスタッフの方々のご活躍は素晴らしく、興味をそそられる企画が多い。あいぽーとがあって本当に救われています。
- TAP やあっぴいなどの子育て広場をよく利用しています。無料で利用できるのがとても有難く、イベントも多く同じお母さんとの出会いもあって子育ての息抜きになっています。
- あっぴい白金の保育士さん方が非常仕事熱心。情報提供もたくさんしてくださいます。

ウ ファミリー・サポート・センター事業について

- ファミサポ利用したいですが、相手が見つからず利用できません。
- 子むすびは幸いにもいい方に巡り合うことができ、活用させていただいている。ただ、このようなケースは多くないと聞くので、民間のシッターを利用した際にも区としてサポートしてもらえると助かる。

エ 産前産後家事・育児支援事業について

- 妊娠前後の家事代行支援サービスに関して充実しており、大変ありがたかった。ただ、産後4ヶ月で終わってしまうため、子供が1歳になるまで支援の期間を延長してもらえるとありがたい。
- 家事支援サポートが大変助かりました。個人的には産後の方が助かったので、産後に使える期間を長くしてほしいです。産後過ぎても同様の事業が月1でもあると助かります。
- 産後1年限定のサービスがいくつかあると思うが、例えば家事代行サービスなどは安価でサービス提供などを続けてもらえると大変助かる。
- 産後ドゥーラを港区のHPで知り、出産入院退院日から利用しています。いいご縁があり同じ方にその後もお願いしています。
- 産後ドゥーラはとてもよかったです。産後ドゥーラの時間の拡充を強く望みます。両親の助けを得られず、コロナの中で孤独を感じました。産後ドゥーラを利用しましたが、助成時間が短くあっという間使い切ってしまいました。現在は個人契約にしていますが、経済的な負担が大きいです。
- 多胎育児の中でも特に0-1歳の月齢の時は、近所の児童館等への外出などは思うようにできず孤独感が強く、また睡眠不足や長期管理入院・出産後の体力の衰えなども重なり本当にしんどかった記憶があります。現在も既に多胎産婦に対してドゥーラなどの訪問型サービスの助成を手厚くして頂いておりましたが、特に0-1歳の多胎家庭に対してより一層手厚いサポートをご検討頂けると幸いです。
- 出産直後のサポートを充実させて申請の簡易化をして頂きたいです。産後ドゥーラは支援者を自分で探して日程調整をする必要があり、さらに初回の支援が1カ月後も先に成ってしまいました。産後に本当に生きるのに精一杯な状態なので申請の簡素化、迅速化をお願いします。

オ 産後母子ケア事業について

- 産後ケアのショートステイを生後4ヶ月直前に利用したところ、母親のサポートが中心で子供はコットに寝かせておくので、大きくなるとストレスになる可能性があると言われて、当該施設より、実質断られた。せっかく生後4ヶ月まで利用できるのに、この対応はない。
- ショートステイを利用してよかったが、日帰りメニューがあるととっても気楽です。明日辛いという日に飛び込みで利用できるとなお助かります。あらかじめの予約は結構精神的にしんどく、今つらいが解消できるだけで全然違います。

カ 母子保健事業について

- 1歳半健診のときにみなと保健所へ行って、保健士さんといろいろお話させていただけてとても良かった。保健士さんとお話している間、子供の相手もしていただけて、子供が楽しそうに遊んでいたのも嬉しかった。
- みなと母子手帳アプリが使いにくい。ホームページのリンクへ飛ぶのではなくてアプリ内で完結するのが理想。内容ももっと充実させてほしい。子育てに関する情報を区民が交換できる掲示板みたいなものがあったらいいかも。
- 母親学級が平日にしか開催されていないため、働いていても参加しやすいように土日にも開催を検討してほしい。
- 出産費用や予防接種、医療などの支援が他の地域よりも手厚いのはありがたいと思う。
- 1歳児健診も無料にしてほしい、保健所の子育て相談等のイベントを土日に開催してほしい。
- 助産師さんのでんわ相談を利用しましたが、いつも親切に対応していただき感謝しています。
- 産後の余裕が無い状態ではしかるべきサービスを調べ、連絡をし、登録し、実際に利用できるまでに1ヶ月以上を要するというのはとてもハードルが高いです。助産師訪問等を一度のみではなく、定期的に訪問・連絡頂けたり、各施設への利用を斡旋してもらえたらとても助かると思います。

キ その他

- オンラインや郵送でお便りなど、孤独にならないように支援してほしい。自分でインターネットで調べないと知ることができないようなシステムが孤独にさせたり情報量に差が出てしまう。
- ちいばすの利用無料は1歳になる月の前の月までですが、一人で歩けるようになる年齢くらいまでに延長してほしい。1歳すぎても抱っこ紐を使うことも多く、バスが気軽に使えるとありがたいです。
- 他の自治体では妊婦のタクシー助成があると聞きましたので、港区もそのような対応をご検討いただけるとこれからの妊婦さんも安心だと思います。

第4 一時預かり事業について

1 一時預かり事業利用世帯の状況

(1) 一時預かり事業利用世帯の基本情報

POINT | 一時預かり事業利用世帯の基本情報

- 調査回答世帯の12.4%が、一時預かり事業を利用している。
- 一時預かり事業利用世帯は、0歳から2歳の子どもがいる世帯に多い。
- 専業主婦（主夫）世帯、ひとり親世帯は、共働き世帯よりも一時預かり事業を利用している割合が高い。
- 在宅子育て家庭は、教育・保育施設を利用する世帯よりも一時預かり事業を利用している割合が高い。

ア 一時預かり事業の利用有無

調査回答世帯で一時預かり事業を利用している世帯は12.4%であった。



不定期な教育・保育事業の利用有無

不定期な教育・保育事業の利用状況	実数	利用している事業	実数	割合(※)
利用している事業がある	1,028	一時預かり（夏休み一時預かり除く）	729	12.4%
		夏休み一時預かり事業	34	0.6%
		ベビーシッター	350	6.0%
		ファミリー・サポート・センター	32	0.5%
		トワイライトステイ	29	0.5%
		緊急一時保護・レスパイト保護	6	0.1%
		その他	55	0.9%
		無回答	23	-
利用している事業はない	4,844	※割合は、調査回答世帯に対する利用世帯の割合		
合計	5,872	※利用している事業は複数回答		

イ 子どもの年齢

一時預かり事業利用世帯の子どものクラス年齢は、「0歳(26.2%)」、「2歳(17.6%)」、「1歳(15.7%)」、「3歳(14.3%)」、「4歳(13.6%)」、「5歳(12.5%)」の順に多い。



子どもの年齢（一時預かり事業利用世帯）

クラス年齢	実数	割合
0歳	190	26.2%
1歳	114	15.7%
2歳	128	17.6%
3歳	104	14.3%
4歳	99	13.6%
5歳	91	12.5%
合計	726	100.0%

ウ 両親の就労状況

一時預かり事業を利用している割合は、「専業主婦（主夫）世帯（16.0%）」、「ひとり親世帯（12.9%）」、「共働き世帯（11.4%）」の順に高い。



両親の就労状況（一時預かり事業利用世帯）

事業利用有無 就労状況	一時預かり事業を利用している		一時預かり事業を利用していない		合計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
共働き世帯	432	11.4%	3,345	88.6%	3,777	100.0%
専業主婦（主夫）世帯	195	16.0%	1,021	84.0%	1,216	100.0%
ひとり親世帯	39	12.9%	263	87.1%	302	100.0%
両親ともに未就労の世帯	-		11	100.0%	11	100.0%
合計	666	12.6%	4,640	87.4%	5,306	100.0%

エ 施設の利用状況

一時預かり事業を利用している割合は、「教育・保育施設を利用する世帯（10.7%）」よりも「在宅子育て家庭（19.3%）」のほうが高い。



施設利用状況（一時預かり事業利用世帯）

事業利用有無 利用施設	一時預かり事業を利用している		一時預かり事業を利用していない		合計	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
区立幼稚園	65	16.0%	341	84.0%	406	100.0%
私立幼稚園	108	16.9%	532	83.0%	640	100.0%
区立認可保育園	94	7.7%	1,131	92.3%	1,225	100.0%
私立認可保育園	76	8.0%	870	92.0%	946	100.0%
認定こども園	9	11.1%	72	88.9%	81	100.0%
小規模保育事業所	6	16.2%	31	83.8%	37	100.0%
港区保育室	24	5.6%	405	94.4%	429	100.0%
認証保育所	14	9.2%	138	90.8%	152	100.0%
認可外保育施設	76	13.2%	501	86.8%	577	100.0%
各種学校	8	13.8%	50	86.2%	58	100.0%
その他施設	12	21.4%	44	78.6%	56	100.0%
合計（施設利用世帯）	492	10.7%	4,115	89.3%	4,607	100.0%
在宅子育て家庭	235	19.3%	983	80.7%	1,218	100.0%

(2) 一時預かり事業の利用状況

POINT | 一時預かり事業の利用状況

- 一時預かり事業の過去1年間の利用日数について、教育・保育施設利用世帯は平日休日ともに平均10日程度。在宅子育て家庭は平日15日程度、休日は4日程度。
- 1回あたりの平均利用時間は、施設利用世帯で約5時間、在宅子育て家庭で約4時間。
- 一時預かり事業利用世帯の約4割が一時預かりをもっと多くの日数で利用したかったと回答。特に0歳から2歳でその傾向が強い。
- 一時預かり事業利用世帯の約3割がもっと多くの時間数で利用したかったと回答。
- 一時預かり事業を利用した施設は、「子育てひろば あっぴい」がもっとも多い。
- 自宅からの近さで一時預かり事業を利用する施設を選ぶ世帯が多い。

ア 利用日数と利用時間

一時預かり事業の過去1年間のおおよその利用日数は、教育・保育施設利用世帯が平日10.8日、休日10.4日、在宅子育て家庭が平日14.9日、休日4.3日となっている。

1回の利用で預ける時間は、教育・保育施設利用世帯が5.2時間、在宅子育て家庭が4.4時間となっている。



一時預かり事業の利用日数と利用時間

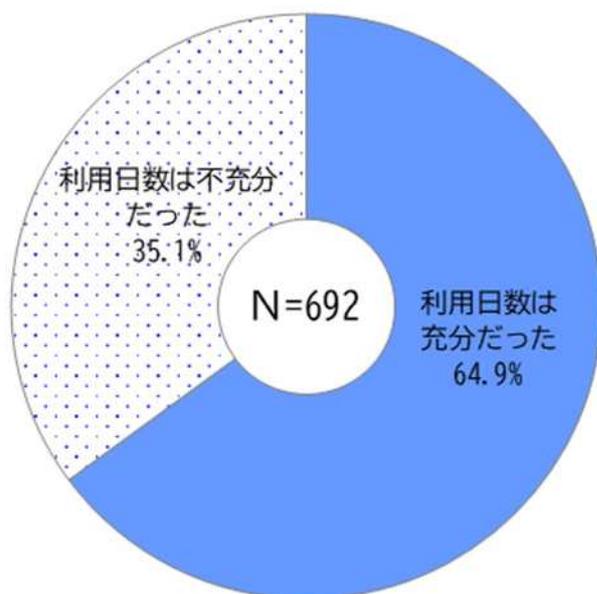
利用施設	平均利用日数（過去1年）		平均利用時間 （1回あたり）
	平日	休日	
区立幼稚園（回答 65 世帯）	14.3 日	8.7 日	4.0 時間
私立幼稚園（回答 108 世帯）	13.4 日	9.1 日	5.0 時間
区立認可保育園（回答 94 世帯）	9.0 日	6.6 日	5.4 時間
私立認可保育園（回答 76 世帯）	8.2 日	7.6 日	4.8 時間
認定こども園（回答 9 世帯）	3.0 日	13.0 日	6.3 時間
小規模保育事業所（回答 6 世帯）	11.5 日	24.0 日	5.0 時間
港区保育室（回答 24 世帯）	13.3 日	12.2 日	4.6 時間
認証保育所（回答 14 世帯）	9.5 日	5.0 日	4.6 時間
認可外保育施設（回答 76 世帯）	10.7 日	12.6 日	5.7 時間
各種学校（回答 8 世帯）	6.6 日	11.7 日	6.9 時間
その他施設（回答 12 世帯）	19.4 日	4.3 日	4.5 時間
合計（施設利用世帯）	10.8 日	10.4 日	5.2 時間
在宅子育て家庭	14.9 日	4.3 日	4.4 時間

イ 充足度

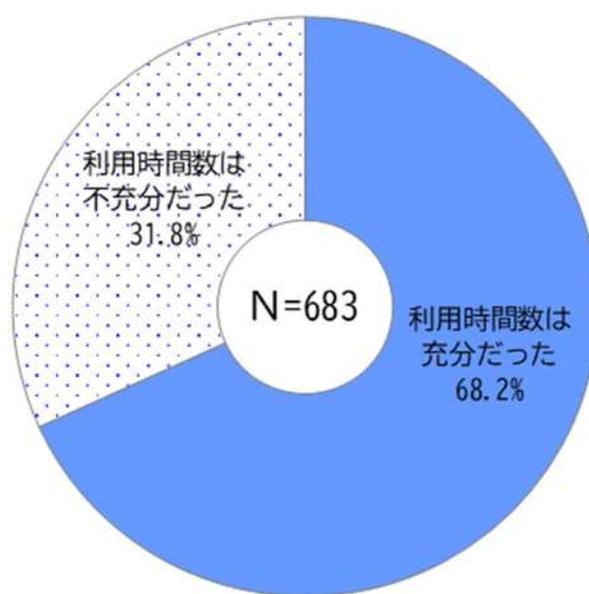
一時預かり事業利用世帯の利用した一時預かり事業の日数の充足度については、充分だったと回答した世帯が64.9%、不十分だったと回答した世帯が35.1%となっている。年齢別では、不十分だったと回答した世帯が「0歳(45.3%)」、「2歳(38.5%)」、「1歳(35.7%)」、「3歳(31.9%)」、「4歳(24.2%)」、「5歳(21.8%)」の順に多い。

一時預かり事業利用世帯の利用した一時預かり事業の1回あたり時間数の充足度については、充分だったと回答した世帯が68.2%、不十分だったと回答した世帯が31.8%となっている。

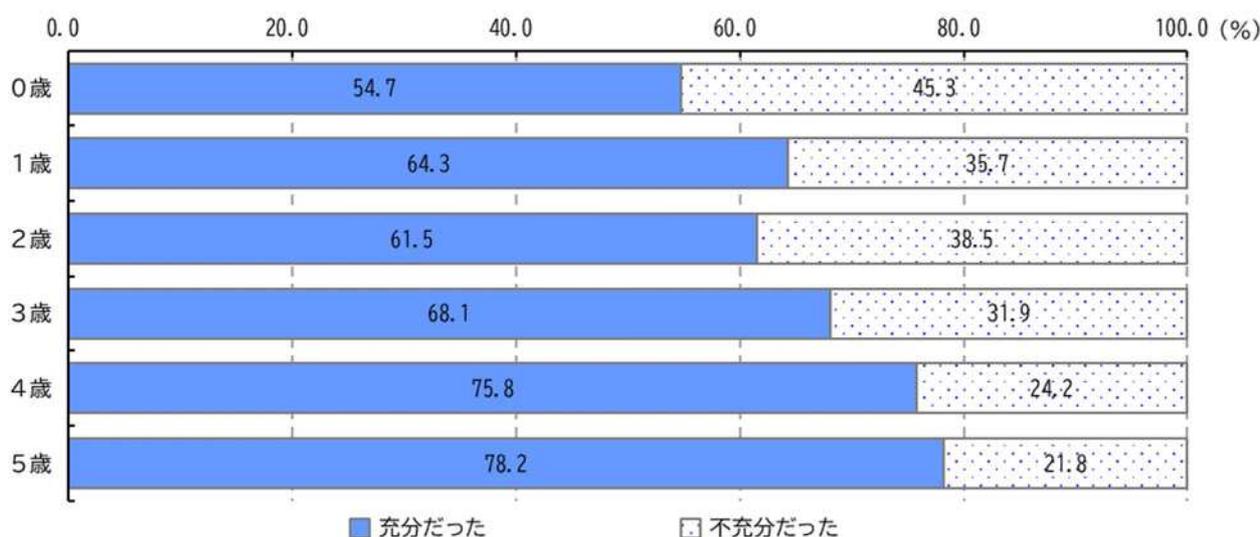
利用日数の充足度



利用時間数の充足度



利用日数の充足度（年齢別）

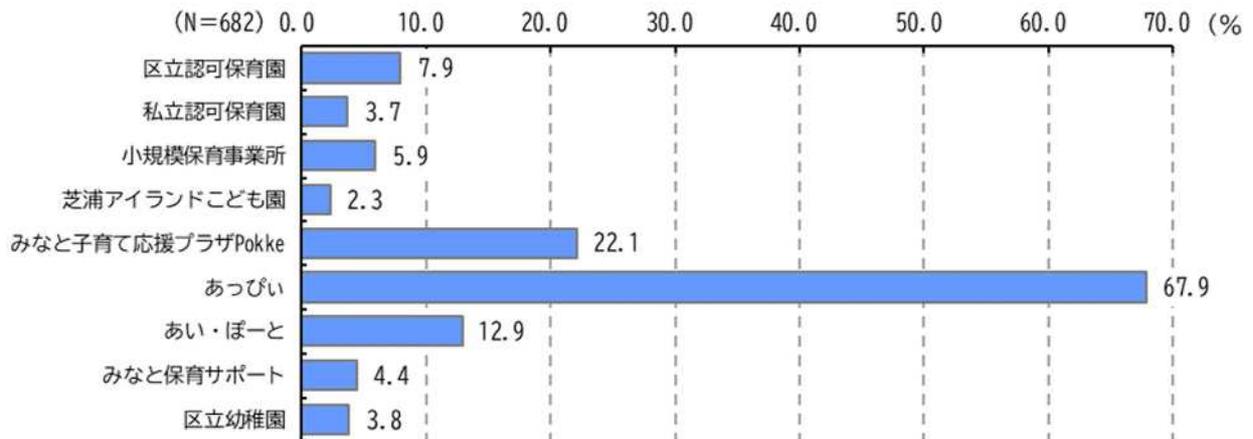


ウ 利用施設と選択理由

一時預かり事業を利用した施設は、「子育てひろば あっぴい (67.9%)」がもっとも多く、次いで「みなと子育て応援プラザ Pokke (22.1%)」、「子育てひろば あい・ぽーと (12.9%)」となっている。施設を選んだ理由は「自宅に近い」が多い。



一時預かり事業を利用した施設



利用した一時預かり施設を選んだ理由

利用理由 利用施設	自宅に近いから	目的地に近いから	利用料金が安いから	スタッフの対応がよいから	予約が取りやすいから	その他の理由	合計
区立認可保育園	40 76.9%	7 13.5%	19 36.5%	20 38.5%	12 23.1%	10 19.2%	52 100.0%
私立認可保育園	18 72.0%	3 12.0%	7 28.0%	15 60.0%	4 16.0%	3 12.0%	25 100.0%
小規模保育事業所	29 72.5%	8 20.0%	10 25.0%	20 50.0%	14 35.0%	3 7.5%	40 100.0%
芝浦アイランドこども園	15 93.8%	1 6.3%	4 25.0%	9 56.3%	2 12.5%	- -	16 100.0%
みなと子育て応援プラザ Pokke	110 74.3%	25 16.9%	61 41.2%	84 56.8%	44 29.7%	22 14.9%	148 100.0%
あっぴい	389 85.1%	90 19.7%	234 51.2%	205 44.9%	97 21.2%	29 6.3%	457 100.0%
あい・ぽーと	58 67.4%	16 18.6%	38 44.2%	50 58.1%	13 15.1%	15 17.4%	86 100.0%
みなと保育サポート	21 70.0%	3 10.0%	16 53.3%	16 53.3%	13 43.3%	6 20.0%	30 100.0%
区立幼稚園	15 62.5%	1 4.2%	6 25.0%	7 29.2%	6 25.0%	12 50.0%	24 100.0%

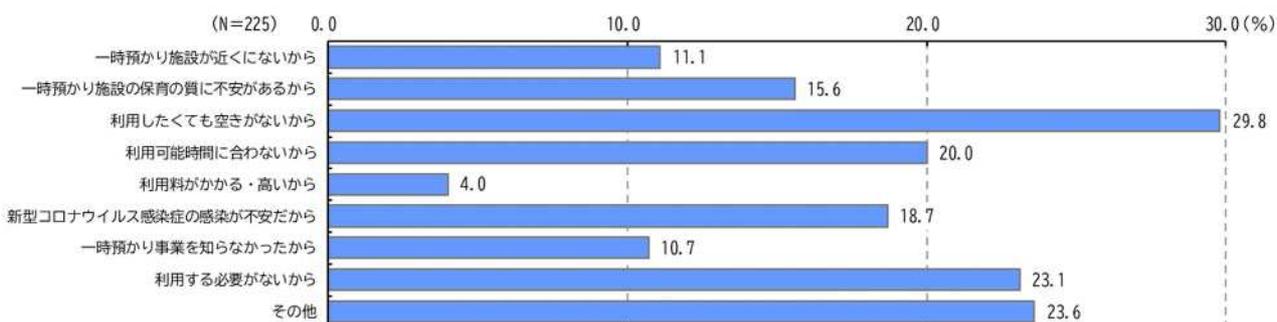
※利用理由は複数回答

2 一時預かり事業への要望

(1) 一時預かり事業の未利用理由

一時預かり事業未利用世帯の未利用理由は、「利用したくても空きがないから (29.8%)」がもっとも多く、次いで「利用する必要がないから (23.1%)」、「利用可能時間に合わないから (20.0%)」、「新型コロナウイルス感染症の感染が不安だから (18.7%)」、「一時預かり施設の保育の質に不安があるから (15.6%)」となっている。

 一時預かり事業の未利用理由



 一時預かり事業の未利用理由 (地区別)

居住地区	芝 (32 世帯)	麻布 (62 世帯)	赤坂 (46 世帯)	高輪 (46 世帯)	芝港 (38 世帯)	区全体 (224 世帯)
一時預かり施設が近くにないから	1 3.1%	8 12.9%	6 13.0%	8 17.4%	2 5.3%	25 11.2%
一時預かり施設の保育の質に不安があるから	3 9.4%	13 21.0%	8 17.4%	6 13.0%	5 13.2%	35 15.6%
利用したくても空きがないから	9 28.1%	17 27.4%	10 21.7%	19 41.3%	12 31.6%	67 29.9%
利用可能時間に合わないから	3 9.4%	13 21.0%	8 17.4%	10 21.7%	11 28.9%	45 20.1%
利用料がかかる・高いから	2 6.3%	2 3.2%	2 4.3%	1 2.2%	2 5.3%	9 4.0%
新型コロナウイルス感染症の感染が不安だから	5 15.6%	18 29.0%	7 15.2%	6 13.0%	6 15.8%	42 18.8%
一時預かり事業を知らなかったから	3 9.4%	6 9.7%	3 6.5%	7 15.2%	5 13.2%	24 10.7%
利用する必要がないから	11 34.4%	16 25.8%	11 23.9%	6 13.0%	7 18.4%	51 22.8%
その他	6 18.8%	17 27.4%	15 32.6%	7 15.2%	7 18.4%	52 23.2%

※未利用理由は複数回答

(2) 一時預かり事業への要望

ア 子育てひろば あっぴいについて

1 予約の取りにくさ

①全体

- あっぴいの一時預かりが常に一ヶ月前から満杯の状態なので、急な仕事などのイレギュラーな際には利用できず不便を感じます。
- あっぴいを利用していますが、場所によって予約の取れやすさが違う。人気があるところは1か月前から予約しておかないと希望した日時で予約が取れないので、直前で利用したい時は家から離れた場所を予約したりして不便に感じた。
- 一度、発熱で区の一時預かりを利用しようとしたことがあります。あっぴいなどですが、どこも満員で、今後のために先のことを聞くと、一週間ほど先まで埋まっていた。保育園に子供を預けていない母親にとっては、急な一時預かりを必要とするタイミングもあるので、そういう意味では全く予約がとれないなら、利用できないサービスだと思った。

②各施設

- あっぴい麻布などあっぴい系は人気アイドルのコンサートチケット並みに予約が取りづらいので諦めている。
- あっぴい港南はWEB予約枠が少ないのかすぐ埋まってしまう、電話だと取れるということが多かったので、予約枠を分けなくて欲しい。
- あっぴい新橋は予約が取りやすいので助かりました。
- あっぴい西麻布を使いたいと思うことはあるが予約が取りづらいので、トライするのもやめた。
- あっぴい芝浦の一時預かりを利用します。2021年10月くらいから、いきなり予約が取りづらくなり、利用日の1か月前に電話しても予約が取れない時もあります。専業主婦の為、保育園には入れておりません。主人は、ほぼ毎日朝9時～夜中の0時まで仕事をし、出張の際は1週間ワンオペのこともあります。その際に予約が取れたらなと思っていましたが、全く空いていないので、もう少し予約の枠が増えればなと思います。
- あっぴい赤坂に何度か預けたことがある。対応等は申し分ないが、予約はとても取りづらいです。
- 近隣のあっぴい白金台は予約が取れたことがない。遠距離のあっぴい芝浦、西麻布を主に使用しており移動に時間がかかった。預けたあと自宅に戻ると往復で1時間+預かり手続き30分がかかり、預けるメリットがない。

③予約枠

- あっぴい芝浦を4か月の頃から利用しました。当時は仕事をしていたし、家事と育児で体がきつく通院もしたのでとても助かりましたが、0歳は受け入れ人数が少なく、なかなか予約ができず苦労しました。
- 0歳児の一時保育(あっぴい)の予約が取れず困った。
- 多胎家庭の優先枠がほしい。
- あっぴい港南のように立地が良く人気なところは、月に一人何日まで利用可など、制限を付けてほしい。
- 区外の人も受け入れているが区民がまず使えるようにしてほしい。
- みんなとりあえず確保している。

2 予約方法

①予約システム

- あっぴいがウェブ予約できるようになったのは便利だと思う。
- 予約はオンラインでも可能ですが、オンラインは1か月前の10時から、電話受付だと9時から可能なようで、施設には9時に電話が集中してすぐに定員が埋まるようです。オンラインシステムが全く使われておらず、親は多忙な9時という時間に電話をかけまくらなくてはならないし、あまりに非効率だと思います。
- オンライン上で空き状況などがわかるようにしてほしいです。仕組み的には空き状況がわかるようになっているはずなのですが、現状結局のところ、施設に確認の電話をしないと本当に空いているのかわかりません。リアルタイムで確認できるようにしてほしいです。そして自分の予約状況をウェブ上で確認できるようにしてほしいです。
- 絶対予約をとりたい日は1か月前の9時に、受付へ来園し予約している。

②利用登録

- あっぴいが場所毎に会員カードが異なり、毎回登録説明を受け手続きをするのに1時間くらいかかり時間の無駄。会員カードを共通化し、初回利用したあっぴいの説明内容への合意のみで利用可能にしてほしい。
- あっぴい芝浦を急な用事のために利用したいと思ったが、利用希望期日までに登録すらさせてもらえず、登録したところで初回は2時間とのことであつたので、必要なだけの利用ができない。

③予約キャンセル

- あっぴいはとりあえず予約をとって必要無くなっても早めにキャンセルしない方が多いように思った。結局電話をしても予約がとれないのでコロナ禍もあり全く利用しなくなった。
- 予約の電話をするとほぼ毎回「キャンセル待ち」と言われるが、結果的にはこれまで100%希望通り預かってもらえています。大変ありがたいことではあるのですが、なぜ一旦もったいつけるのか不思議です。予約システムを明らかにしてほしいです。
- あっぴいの一時預かりは予約がとれた事がないです。コツを掴めば良いと、利用しているお母さんは言っていました。利用日を予想してopen日に予約して、後からキャンセルすると。
- あっぴいはドタキャンの方が多いと聞くので、もし多いならキャンセル料を取るべきだと思います。

3 利用可能時間

- あっぴいは5時間までしか預けられないので、1日仕事が入る日などは厳しい。
- あっぴい一時預かりはとても助かるが、用事があって預けるとなると5時間は短い。ポッケは駅の反対で行くのが負担なので、あっぴいの時間を長くしてほしい。8時間あったら嬉しい。
- あっぴいは、予約がとれても3時間とか中途半端な時間しかとれない。また、1時間単位での予約を求められるので、仮に3時から6時半まで空いていても、3時から6時とか、3時半から6時半とかしかとれない。少しでも長く預けたいので、不便でニーズに合っていない。30分250円で計算すればこと足るのに。
- 休日予定が有る際にあっぴいを利用して頂いてます。預け時間が18時までなので、予定や仕事を早く切り上げなければならない事もあり、せめて19時までなら良いなと毎回思っています。

4 利用可能年齢

- 0歳2か月の子供がいるが、新型コロナワクチンの接種に際し、あっぴい等の一時預かりは生後4か月～しか利用できず不便さを感じた。
- あっぴいは4か月からしか預けられず、しかも最初に1-2時間の慣らし保育が必要な上、長時間(3時間以上)の予約が取りにくくほぼ使えない。

5 利用料金

- 料金が安く気軽に利用できる点はとっても有難く助かっています。
- 3-5歳の保育園が無償なのに、仕事のための一時預かりが有償なのはなぜ？子育て中のフリーランス活動も、現状できる限りのことをしているのだから応援してほしい。

6 その他

- あっぴいは、使用済みのオムツを持ち帰る必要や、給食がないなど、使い勝手が悪い面がある。
- 台場地区は児童館、台場あっぴい、公園など親子での遊び場はたくさんあるが、一時保育の施設がなく、子育て世代が多いにもかかわらず孤立した子育てになりやすい。一番近いあっぴい芝浦はレインボーバスを乗らなくてはならず、母親の体調が悪い時、育児できついついとき、混雑した小さいバスに乗ってベビーカーで通うのは現実的に厳しかった。
- いつも利用しているあっぴいに給食があったらなと思っています。おにぎり1つでも助かります。

イ みなと子育て応援プラザ Pokke について

- Pokke は、ほんとうにスタッフの方が素晴らしい。お会いできるとホッとする方々で、安心して預けられる。ただ、予約が取れないことが多く、電話争奪戦になってしまったりする。
- Pokke の予約が以前は FAX で大変だったのですが、電話で受け付けて頂ける様になり有難いです。
- Pokke もあっぴいみたいにネットで予約できたら助かる。
- Pokke は一時預かりの登録が1か月半待ちなので気が遠くなる。
- 1/28に Pokke に登録に行くと、登録面談の最短予約可能日が3/11でした。その後の予約状況も、予約解放の9時に電話をしないと予約が取れないほどパンパンです。
- Pokke やあい・ぽーとなどは予約締切が早いのも使いにくい。せめてあっぴいのように前日17時まで受け付けてくれるとありがたい。そもそも空いてないのかもしれませんが。

ウ 子育てひろば あい・ぽーとについて

- 青山のあい・ぽーとは、とても素晴らしい保育士の方がいて、当時精神的にしんどかったのでその方の優しい言葉を聞くだけで涙が出る程嬉しかったことを覚えています。
- あい・ぽーとで予約を取ろうとした時、希望日を3つあげましたが、1つも取れませんでした。何度かチャレンジしましたが、1度も予約できた事はありませんでした。
- あい・ぽーとの金額はやや高いと感じます。ただ、あい・ぽーとのスタッフさんは安心感があるので、預けるならできればあい・ぽーとを利用したいです。また子どもの体調は急変することがあるため、当日や前日にやむをえずキャンセルしてしまう場合がありますが、キャンセル料が発生してしまうのが少し残念です。
- あい・ぽーとの派遣型を利用していたが、大変満足だった。

エ その他

1 保育園等の一時預かり

- 区立保育園の一時保育は毎日のように朝9時に電話をかけるが予約がとれません。
- 区立の認可保育園の一日保育はリーズナブルだし、同世代の子供と遊べるし、とても良いですが、とにかく予約が取りにくくて残念でした。
- 区立の認可保育園の一時預かりは、一度の電話で一日の予約しか取れず予約が取りにくかったため、WEB予約ができるとよい。
- 芝浦アイランドこども園の一時保育がぜんぜん取れなくて、こまっています。
- 小規模保育事業所は、定員割れしているときに預けられるものだったので、こちらも年度内の時期が進むにつれて予約できなくなった。

2 区立幼稚園の一時預かり

- 普段幼稚園に通っていて、その園の預かり保育の利用が可能だが、休園日など利用できない日も多い。
- 区立幼稚園入園希望者が増えることにつながりますから、よいのではないかと思います。

第5 子どもの障害や発達に不安を持つ世帯について

1 子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の状況

(1) 子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の基本情報

POINT | 子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の基本情報

- 調査回答世帯の9.0%が、子どもに障害や発達に関する不安を持っている。
- 不安内容は、不安を持つ世帯の約4割が言語発達、約3割が多動や衝動性等行動、コミュニケーション、発達障害、約2割が運動発達となっている。
- 不安を持つ世帯の3.5%が身体障害者手帳、5.8%が愛の手帳、0.2%が精神障害者保健福祉手帳を所持している。

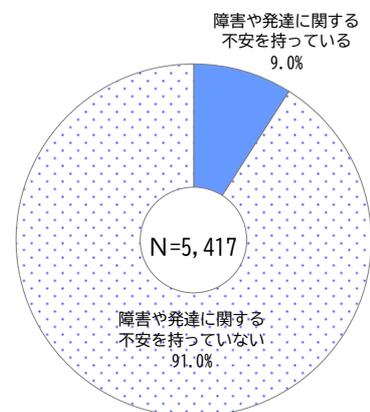
ア 子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の割合

調査回答世帯の9.0%が、子どもに障害や発達に関する不安を持っている。



子どもの障害や発達に関する不安の有無

	実数	割合
子どもに障害や発達に関する不安を持っている	489	9.0%
子どもに障害や発達に関する不安を持っていない	4,928	91.0%
合計	5,417	100.0%

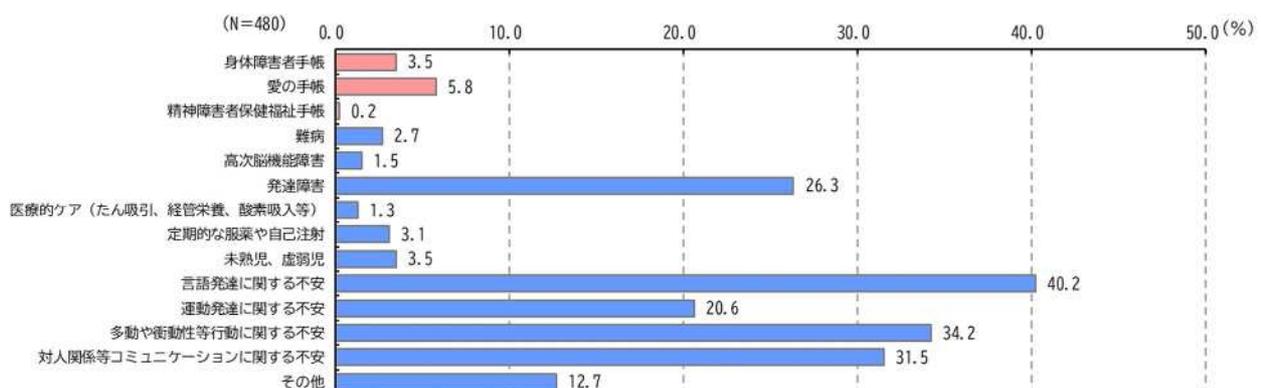


イ 子どもの障害や発達に関する不安の内容

子どもの障害や発達に関する不安の内容は、「言語発達に関する不安 (40.2%)」がもっとも多く、次いで「多動や衝動性等行動に関する不安 (34.2%)」、「対人関係等コミュニケーションに関する不安 (31.5%)」、「発達障害 (26.3%)」、「運動発達に関する不安 (20.6%)」となっている。また、3.5%が身体障害者手帳、5.8%が愛の手帳、0.2%が精神障害者保健福祉手帳を所持している。



子どもの障害や発達に関する不安の内容



※不安の内容は複数回答

(2) 子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の施設利用

POINT | 子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の施設利用

- 教育・保育施設を利用する世帯の9.1%が、子どもに障害や発達に関する不安を持っている。
- 認可保育園等の障害児・個別的配慮児の数は近年増加傾向にある。

ア 子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の施設利用

教育・保育施設を利用する世帯の9.1%が、子どもの障害や発達に不安を持っている。

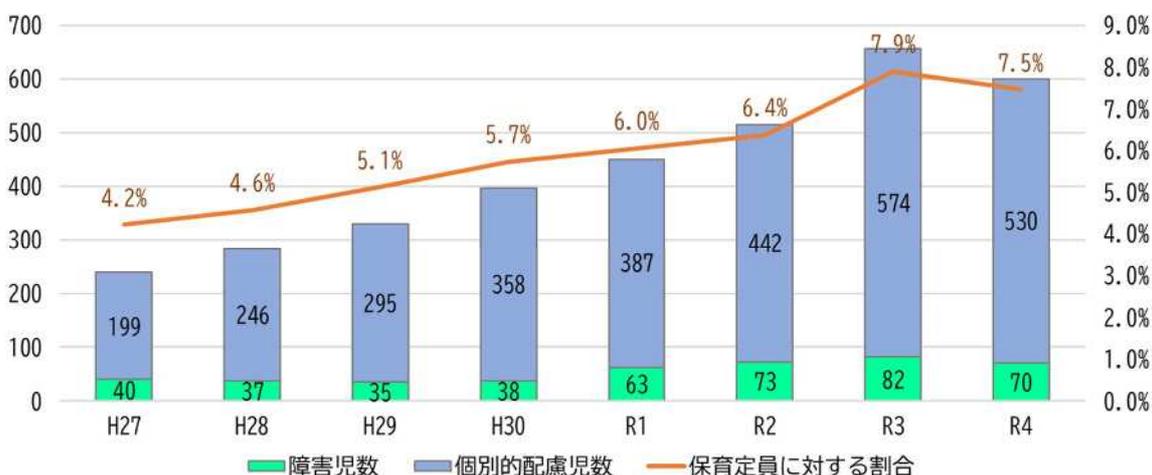
また、保育施設への職員の加配の算定根拠として把握している各施設の障害児数・個別的配慮児（障害認定は受けていないが、個別的な配慮が必要な児童）数では、令和4年4月の認可保育園、小規模保育事業所、港区保育室の在園児6,590人のうち、1.1%の72人が障害児、7.7%の505人が個別的配慮児となっており、近年増加傾向にある。



子どもの障害や発達に不安を持つ世帯の利用施設の割合

施設種別	障害や発達の不安を持っている		障害や発達の不安を持っていない	
	割合	実数	割合	実数
区立幼稚園	10.7%	39	89.3%	327
私立幼稚園	6.8%	40	93.2%	544
区立認可保育園	10.9%	123	89.1%	1,005
私立認可保育園	9.0%	80	91.0%	811
認定こども園	10.7%	8	89.3%	67
小規模保育事業所	8.8%	3	91.2%	31
港区保育室	7.2%	28	92.8%	362
認証保育所	16.2%	24	83.8%	124
認可外保育施設	7.3%	39	92.7%	496
各種学校	3.6%	2	96.4%	54
合計（施設利用世帯）	9.1%	386	90.9%	3,821

【参考】 認可保育園等における障害児・個別的配慮児数の推移（各年度8月1日現在）



出典：保育課資料を基に作成

2 子どもに障害や発達に関する不安を持つ世帯の要望

ア 児童発達支援センター「ぱお」について

クラス年齢	5歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	言語発達に関する不安
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	認証保育所
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	年少時に保育園から言葉の遅れの可能性を言われたのをきっかけに、3歳時健診で相談し、「ぱお」に繋げていただきました。子どもの発達に問題があるのか今のところはっきりしませんが、もしもの場合の心の準備と、早い時期に対応できたのは良かったと思います。		

クラス年齢	4歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	その他
保護者の就労形態	専業主婦(主夫)世帯	利用施設種別	在宅子育て家庭
子どもへのコロナの影響【問36-1】	ずっとマスクをつけた生活になっていて幼児期の発達の大事な時期に、経験できていないことがたくさんあるように感じる。このさき小学校に上がって、スムーズに学校生活になじむことができるのか不安がある。		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	児童発達支援の取り組みは質がとても良いと思うので、ぜひ継続してサービスを受けられるように、小学生も療育を無料で支援を受けられるようにしてほしい。		

クラス年齢	3歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	多動や衝動性等行動に関する不安 対人関係等コミュニケーションに関する不安
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	私立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	マスクを着用しないと人目が気になる、衝動性があるのでエレベーターのボタンなどあちこち触ることを心配ではないのかと通り掛かりの人に言われる、緊急事態宣言が出ると外遊びができない、保育園が閉まると会社を休めるので、子供と遊ぶ時間が増えるとともに家庭のことも出来て生活・心身が落ち着いた。		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	充実していると思います。敢えて言えば、こどもの個性に応じた子育ての助言は家庭相談でも発達支援センターでもいただけますが、親の個性も踏まえてご助言いただけるとなありがたいです。私は子育て相談をしたことで、却って事態が悪化したことがありました。		

クラス年齢	3歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	発達障害
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	私立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	通所受給者証を発行してもらい児童発達支援センターに通っているが、悩んでいる時から区の相談窓口を利用するなどして現在月2回のサービスを受けられるところまでサポート頂き、早めの対応ができたのは大変感謝している。ただ来年(年中)は同じグループでの療育が無いとのことで大変残念に感じている。		

第3章 調査結果の分析

クラス年齢	3歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	言語発達に関する不安 運動発達に関する不安 多動や衝動性等行動に関する不安 対人関係等コミュニケーションに関する不安
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	私立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	大人がマスクをすることにより、口が見えず言葉の獲得や表情を読み取る力が得られないのではと心配。		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	現在定期的に区の療育施設（ぱお）に通所しているが、もっと通える日数が多ければ（心理士の方はじめ皆様素晴らしく、子供の成長を感じられるので）と思う。また区の保健士の方もこちらの要望に丁寧に対応して下さり大変感謝しているが、いつもとてもお忙しそうだと感じる。療育関係のものはいつも手続き（面談、申請等）に数か月かかるので、きっと療育の相談が多い中、大変な思いをしてやって下さっていると思うものの、もう少し早く手続きが進むとスムーズに療育を受けられる人が増えるのではと思う。手続きの煩わしさもあり、親が仕事をしながら手続きを進めるのはかなり大変で、満足いく療育を受けさせるのを断念するケースもあるのではと思うので。		

クラス年齢	2歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	発達障害 定期的な服薬や自己注射 言語発達に関する不安 運動発達に関する不安 対人関係等コミュニケーションに関する不安
保護者の就労形態	無回答	利用施設種別	認証保育所
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	娘が知的障害、自閉症グレーゾーンを1歳半健診で引っかかり、現在3歳になります。4月からは幼稚園の年なのですが、本当に港区の幼稚園選びに困りました。もう少し港区の私立幼稚園も障害を持っている子に枠があればうれしく思います。港区の「ぱお」にも通っていますが、とても良いです。しかしやっぱり私立の丁寧さ民間とはどうしても劣ってしまうところもあります。4月からはABA三田の民間の療育と武蔵野東センターにも通いながら、年中さんからの幼稚園を目指します（療育に専念します）。		

クラス年齢	0歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	対人関係等コミュニケーションに関する不安
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	認証保育所
子どもへのコロナの影響【問36-1】	保育園の先生方はマスクなので、表情が分かりづらい（子供にとって）。		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	0～2歳位の子への児童発達支援を検討して欲しい（「ぱお」に通っているが、利用料がかかってもいいので、もう少し専門的な支援が受けられたらと感じる）。		

イ 元麻布保育園について

クラス年齢	無回答	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	無回答
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	区立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	療育のニーズが高いようで、3歳からの通園含め、なかなか受け入れがされず、空き待ちになっている。療育の拡充をお願いしたい。 障害児&医療的ケアのクラスに子供が通っているが、区として未だに、このクラスのみを対象としたアンケートがとられていない。23区で初の医療的ケアがある施設であり、この利用者を対象としたアンケートを適宜とることが現状把握及び今後の課題解決につながると思うので、しっかりこの施設の評価を確認してもらいたい。		

クラス年齢	3歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	身体障害者手帳1級 高次脳機能障害 発達障害 医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	区立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	元麻布保育園の障害児クラスに通わせたいが、送迎が出来ずに通えない子供がいる。我が子もその1人です。保育園としながらも、就労している親の負担にしかならない送迎を条件にすることには甚だ疑問です。それが原因で親の就労の妨げになるとは、本末転倒な保育園であります。療育施設の「ばお」が、親子分離の送迎を可としているのであれば、なぜ元麻布保育園は出来ないのかと不満です。		

ウ 障害児に対する就学・教育について

クラス年齢	4歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	愛の手帳3度 その他
保護者の就労形態	無回答	利用施設種別	認可外保育施設
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	障害児に対する就学をもっと支援して欲しい。保育園は医療ケアの必要な児童及び障害児専門の保育園を設けてくれているのだから、障害があっても普通級に通えるようにサポートをして欲しい。		

クラス年齢	4歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	発達障害 言語発達に関する不安 運動発達に関する不安 対人関係等コミュニケーションに関する不安
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	私立幼稚園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	発達障害を持った子供達の教育支援サービスをもっと充実させて欲しい。他国と比べ日本は色々な教育プログラムを選べない環境にある。		

第3章 調査結果の分析

クラス年齢	4歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	身体障害者手帳1級
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	区立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	<p>障害児でも特に医ケアが必要としても教育、保育施設への送迎援護を強化してほしい。付き添いが保護者必須の現状がほとんどの中、通常勤務を成すことはかなり厳しい。</p> <p>今後就学するにあたり、医ケア児が通学できる施設の選択枠がない。小学校の特別支援学級でも医ケア児が通えるよう看護師等の派遣をもっと強化して、自宅近隣の学校へフルで在籍(登校)できるようにしてほしい。</p>		

クラス年齢	4歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	発達障害 言語発達に関する不安 運動発達に関する不安 多動や衝動性等行動に関する不安 対人関係等コミュニケーションに関する不安
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	私立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	<p>障害のある子供の習い事が出来る施設を作って欲しい。専門の先生を呼んでいただくなど。楽器や運動など習いたいのが、先生とのコミュニケーションが難しい為、普通の子と一緒に学ぶ事が難しい。</p>		

エ 移動支援サービスについて

クラス年齢	5歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	愛の手帳3度 発達障害
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	港区保育室
子どもへのコロナの影響【問36-1】	<p>発達障害の特性のためマスクを常時着けさせるのが困難であり、咳が出るときなどは施設の利用を断られることがある点。</p>		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	<p>移動支援サービスについて、港区の責任において未就学児から確実に使えるようにしてほしい。また、療育施設についても港区が責任をもって斡旋等の対応を行い、確実に希望する施設の利用が行えるようにしていただきたい。</p>		

クラス年齢	5歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	愛の手帳3度
保護者の就労形態	専業主婦(主夫)世帯	利用施設種別	港区保育室
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	<p>移動支援などをもっと予約がとれるようになってくれたら嬉しいです(来年に向け探そうと思っていますが、聞いたところによればなかなか見つからないとのこと)。就学のタイミングでお金がかかりすぎる。</p>		

オ 手帳所持世帯の意見について

クラス年齢	5歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	身体障害者手帳1級 高次脳機能障害 医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等） 未熟児、虚弱児 その他
保護者の就労形態	無回答	利用施設種別	在宅子育て家庭
子どもへのコロナの影響【問36-1】	反応ない子供のため回答できません。コロナになり、さらに母子の生活は孤立化して家に閉じこもる生活です。医ケア児はコロナになると支援もストップして、命に関わる事態に陥ります。レスパイトや外出も怖くて普通の人よりずっと恐怖です。		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	医ケア児(重度、呼吸器)の母子の生活をもう少し知っていただきたい。その上で、必要なサービスを考えてほしいです。毎日生きることに必死です。障害児の親になる可能性は誰にでもあります。社会で子供を育てていくという考えで親が見ればよいというのではなく、社会全体で医ケア児を守ってほしい。呼吸器がついているだけで母はどんどん孤立していきます。辛いです。		

クラス年齢	4歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	身体障害者手帳1級 愛の手帳2度
保護者の就労形態	無回答	利用施設種別	無回答
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	重度心身の子供に対するサポートの充実を切に願います。重度心身の子供が遊べる場所や支援が少ないと感じています。個別授業等に民間を利用するしかなく、普通に交通機関も利用出来ず、病室は自費で個室に入らざるを得ず、お金がとてもかかってしまいます。少しでも心身に負担が軽くなる様なサポートがあればとても助かります。		

カ その他

クラス年齢	4歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	多動や衝動性等行動に関する不安
保護者の就労形態	無回答	利用施設種別	区立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	マスク生活をしていることで顔の表情を読み取ることができないようになるのではと懸念があります。		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	有料でいいので、遊具が充実した遊び場がもっとあれば嬉しいです。下の子が障害児なのですが、障害児の放課後デイが区内に圧倒的に不足していると感じています。		

クラス年齢	3歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	発達障害 運動発達に関する不安 対人関係等コミュニケーションに関する不安
保護者の就労形態	専業主婦(主夫)世帯	利用施設種別	認証保育所
子どもへのコロナの影響【問36-1】	表情の読み取りが苦手な療育で訓練中ですが、マスク生活でよりわかりづらくなっている様子。		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	事前に区の支援サービスを活用しようと思っていたので、必要な時に利用することができましたが、人によっては制度そのものを知らない、頼れない人も多くいます。周知と利便性の向上が必要だと思います。		

第3章 調査結果の分析

クラス年齢	2歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	言語発達に関する不安 多動や衝動性等行動に関する不安
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	私立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	療育に通っており、その関係で区役所とやりとりすることがあるのですが、地域の担当の方が1人しかいなくてその方が不在だと何も進まない。もう少し柔軟に対応してほしい。		

クラス年齢	2歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	発達障害 言語発達に関する不安 多動や衝動性等行動に関する不安 対人関係等コミュニケーションに関する不安
保護者の就労形態	無回答	利用施設種別	在宅子育て家庭
子どもへのコロナの影響【問36-1】	—		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	自閉症、発達障害の子にも便利なサービスとか保育事業を充実してほしいです。芝浦周辺では、こういうサービスがなくて本当に困ります。		

クラス年齢	2歳	障害や発達に関する不安内容【問9-1】	発達障害 言語発達に関する不安 対人関係等コミュニケーションに関する不安
保護者の就労形態	共働き世帯	利用施設種別	私立認可保育園
子どもへのコロナの影響【問36-1】	障害があるため、マスクをすることができない(嫌がる)。また、指示が通りにくくマスクなしで会話は控えることを注意しても、大きな声でしゃべってしまう。周りの冷たい視線を感じ、外出をしたくないなと思ってしまう。		
区の子育て支援サービス等への意見【問37】	<p>子育て広場はたくさんあると思うが、障害児だけが気軽に遊べる場所が無い。そうした場所を設けて欲しい。インクルーシブ公園のような場所。パートで働くと保育時間が短い。また、通勤時間が短いと17時前にお迎えにくるようと言われる。ワンオペ育児だと、このサイクルがとてもキツイ。正社員が一番大変だと思っていたが、仕事をしている間は子育てから一時的にでも解放されたり、有給や休暇など取得できたり、祖父母が居れば代わりに子供の面倒をみてくれることもある。働いていない、或いは非正規雇用者は、働いていないんだから家庭で子育てする時間があるはずだというのは理解できなくもないが、子供を預けている時間以外は仕事か家事に追われ、全く自分の時間を持つことができない。ストレスがたまり、子供へあたってしまうことがある。子供とずっと一緒にいることは(特に障害児)とてもストレスで、虐待につながりそうで、自分でもとても不安。港区は東京、日本の中心の行政区なので、積極的に率先して障害児への理解を促すような様々な形で働きかけて欲しい。日本は障害者に対してとても不寛容で皆と同じ行動ができないと、変な人とか犯罪を犯す人というようなレッテルをはったり、冷たい視線を浴びせる人が多いように感じる。日々、とても肩身の狭い思いをして過ごしています。障害者や外国人などマイノリティーと呼ばれる人たちが誰もが安全に安心して幸せに暮らすことが出来るような社会になって欲しいと切に願います。そうした取り組みに率先して港区には活動してもらいたい。</p>		

第6 ひとり親世帯について

1 ひとり親世帯の状況

(1) ひとり親世帯の基本情報

POINT | ひとり親世帯の基本情報

- 調査回答世帯の4.2%がひとり親世帯。
- ひとり親世帯になった理由は、「死亡、離婚、未婚」が約8割、「別居」が約2割。
- ひとり親世帯の9割以上が母子世帯。
- ひとり親世帯の約7割がいわゆる一人っ子。
- ひとり親世帯の保護者の約6割が「会社員など雇用契約による就労」。約7割が産休・育休・介護休業中ではないフルタイム勤務。
- 世帯年収は、「200万円未満」、「1,000～1,500万円未満」がもっとも多い。

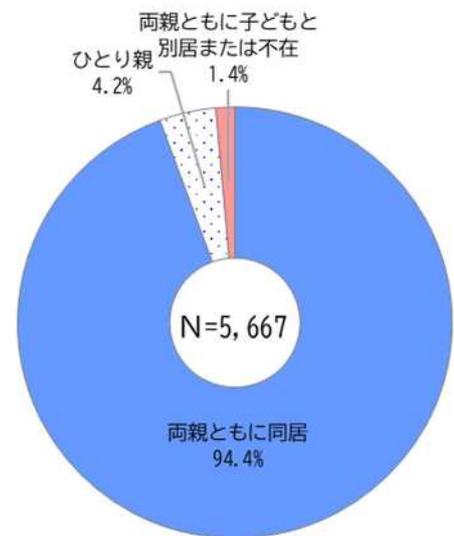
ア ひとり親世帯の割合

調査回答世帯の4.2%が、ひとり親世帯となっている。



就学前児童と両親の同居状況

	実数	割合
両親ともに同居	5,347	94.4%
ひとり親世帯	239	4.2%
両親ともに子どもと別居または不在	81	1.4%
合計	5,667	100.0%



イ ひとり親世帯になった理由

ひとり親世帯になった理由は、ひとり親世帯の75.7%が「死亡、離婚、未婚」、24.3%が「別居」となっている。



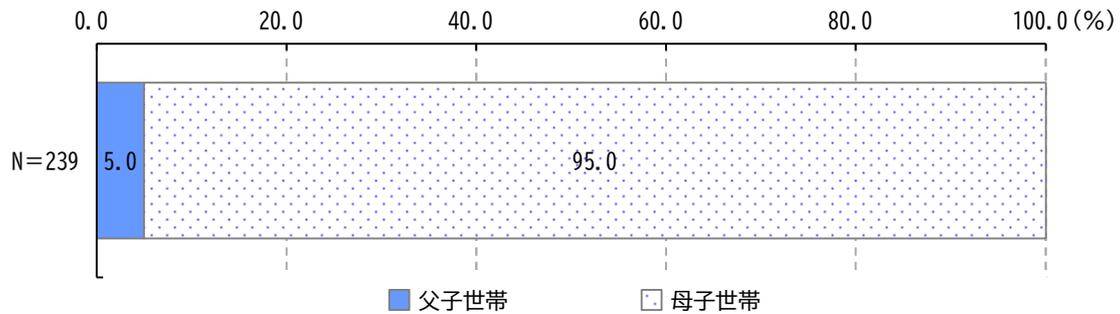
ひとり親世帯になった理由



ウ 父子世帯、母子世帯の別

父子世帯、母子世帯の別は、ひとり親世帯の 95.0%が「母子世帯」、5.0%が「父子世帯」となっている。

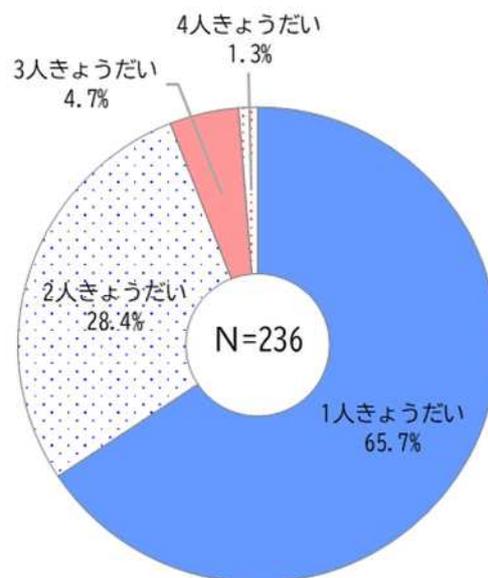
 父子世帯、母子世帯の別



エ ひとり親世帯のきょうだい数

ひとり親世帯のきょうだい数は、ひとり親世帯の 65.7%が「1人きょうだい」、28.4%が「2人きょうだい」となっている。

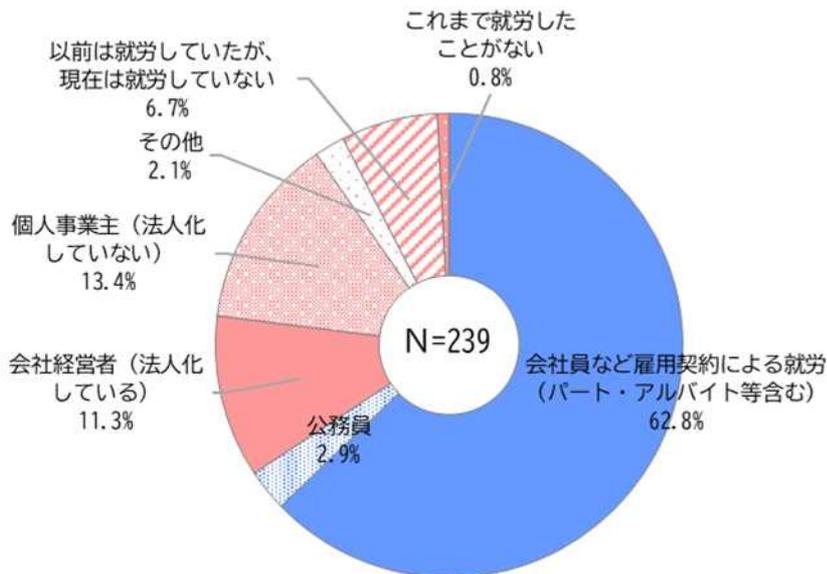
 ひとり親世帯のきょうだい数



オ ひとり親の勤務形態

ひとり親世帯の親の勤務形態は、「会社員など雇用契約による就労（62.8%）」がもっとも多く、次いで「個人事業主（法人化していない）（13.4%）」、「会社経営者（法人化している）（11.3%）」となっている。

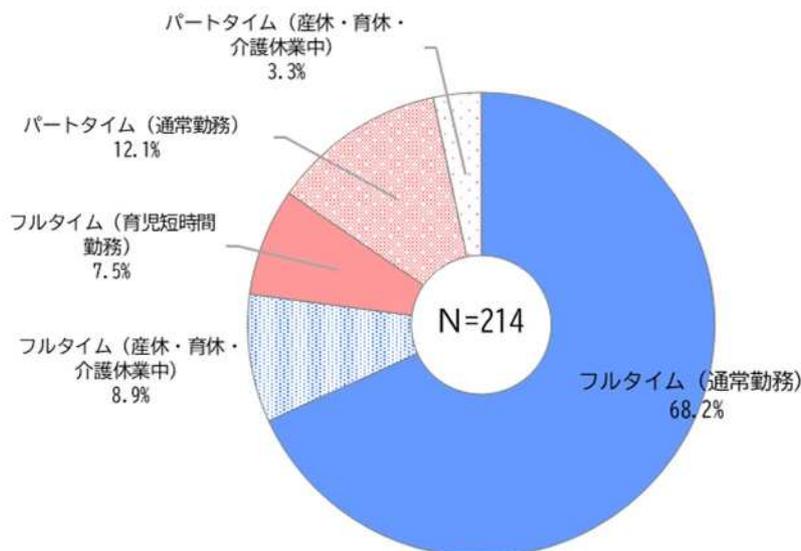
ひとり親世帯の親の勤務形態



カ ひとり親の就労時間

ひとり親世帯の親の就労時間は、「フルタイム（通常勤務）（68.2%）」がもっとも多く、次いで「パートタイム（通常勤務）（12.1%）」となっている。

ひとり親世帯の親の就労形態



カ ひとり親世帯の年収

ひとり親世帯の年収は、「200万円未満(16.3%)」、「1,000～1,500万円未満(16.3%)」がもっとも多く、次いで「700～1,000万円未満(12.2%)」、「200～300万円未満(11.8%)」、「300～400万円未満(11.8%)」となっている。



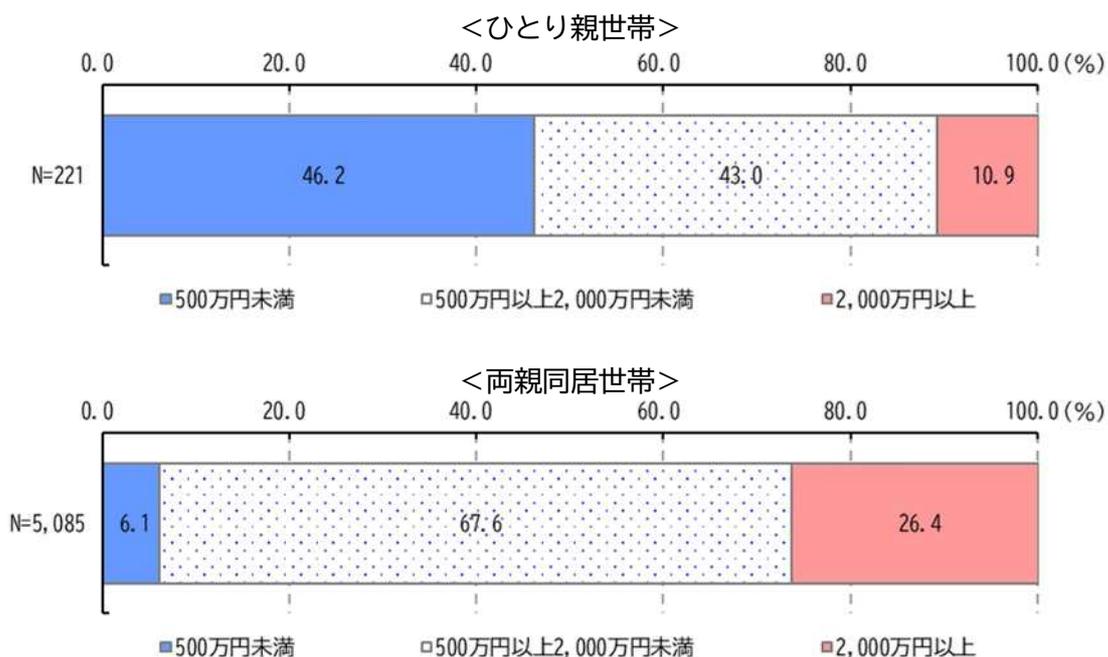
ひとり親世帯の年収

世帯年収	ひとり親世帯		両親同居世帯	
	実数	割合	実数	割合
200万円未満	36	16.3%	41	0.8%
200～300万円未満	26	11.8%	45	0.9%
300～400万円未満	26	11.8%	96	1.9%
400～500万円未満	14	6.3%	126	2.5%
500～700万円未満	21	9.5%	342	6.7%
700～1,000万円未満	27	12.2%	783	15.4%
1,000～1,500万円未満	36	16.3%	1,307	25.7%
1,500～2,000万円未満	11	5.0%	1,003	19.7%
2,000～3,000万円未満	12	5.4%	737	14.5%
3,000～5,000万円未満	10	4.5%	365	7.2%
5,000～1億円未満	0	0.0%	171	3.4%
1億円以上	2	0.9%	69	1.4%
合計	221	100.0%	5,085	100.0%

※両親同居世帯には、単身赴任等一時的な別居を含む。



ひとり親世帯の年収



2 ひとり親世帯の要望

ア エンジョイ・セレクト事業について

- 港区はエンジョイ・セレクト事業など、子育て世帯に寄り添って行っている区だとも思います。しかしこれ以上に保護者が必要とする支援はあり、事業者と連携して新たな取組をどんどん進めて欲しいです。
- ひとり親のため、エンジョイ・セレクト事業などを利用させていただいております。コロナ禍により雇用体系が変わり、個人事業主での働き方を余儀なくされている状況で収入も大幅に減っているため、このサービスは我が家の食を補う貴重なものとなっております。大変助かっています。コロナによるメンタルストレスに追加して収入不安のストレスがかかり、母子ともに不安定な状況ですが、区からの支援によりどうか毎日を過ごせています。ありがとうございます。
- 母子家庭に対しての対応力は他の地区よりもあると思う。特にエンジョイ・セレクト事業関連には大変助けられていて、親子共々元気をいただいております、満足です。
- シングルマザーの為、毎月エンジョイ・セレクト事業が届くが、これまでのように現金の方が助かった。毎月カタログの中が同じだし、産地直送は1つしか選べない。お金であれば、子供に服や食べ物など好きなものを買ってあげられるし、必要なものを変える。カタログよりも現金の方が助かる。毎年、現状届けを出すのに会社を休まなければならないので、ネットや休日でも提出出来れば良い。
- 以前あった親子ふれあい助成事業の施設利用券の配布を復活させてほしいです。新しく始まったエンジョイ・セレクト事業は正直あまり有り難いものではありませんでした。3歳の娘と私で消費できる量に対して、どれも大量すぎてダンボールで部屋が埋め尽くされました。そんなに広い部屋に住んでいる対象家庭はないと思います。質がよく、少ない数量のものや、可能であれば商品券にしてもらうなど、受け取る側の状況をもう少し考慮してほしいと思いました。
- エンジョイ・セレクト事業など大変助かりました。2022年4月以降も継続して頂けると嬉しいです。

イ ひとり親家庭ホームヘルプサービスについて

- ひとり親家庭ホームヘルプサービスを利用しています。仕事中に大変ありがたく利用させて頂いているのですが、コロナ禍で、在宅勤務になったため、ホームヘルプサービスでシッティングして頂く際に、家の中でのシッティングというルールがありますが、状況に合わせて、散歩や外遊び(公園)など、外でのシッティングも可能にして頂けないでしょうか。家で仕事ができないために、現在母親がカフェなどに外出するとお金もかかるためです。ご検討いただくとありがたいです。なにとぞよろしくお願いいたします。
- ひとり親家庭ホームヘルプサービスを利用させていただいておりますが、コロナの状況で非常に助かっています。自分の両親などサポートしてくれる人間が周囲にいないため、サポート体制があることがとても助けになっております。このような制度が継続的にあると助かります。また、この制度がひとり親に限らずとも、全体的な支援制度として増えればより良いと個人的には感じております。
- ひとり親用のヘルパーさんの派遣事業で、親が在宅で家事を片付ける間に子供の世話をするベビーシッター派遣も対象にして欲しい。

第7 多子世帯について

1 多子世帯の状況

(1) 多子世帯の基本情報

POINT | 多子世帯の基本情報

- 調査回答世帯の46.4%が、2人以上のきょうだいがいる世帯。
- 2人以上のきょうだいがいる世帯の父親の平均年齢は41.4歳、母親の平均年齢は38.8歳。
- 2人以上のきょうだいがいる世帯の年収は、「1,000～1,500万円未満」がもっとも多い。

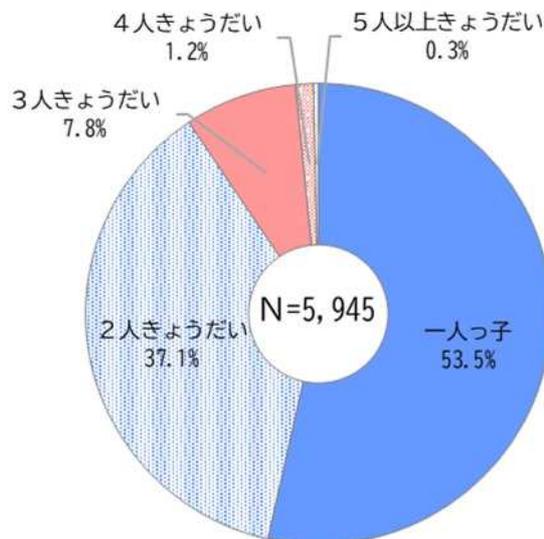
ア 多子世帯の割合

調査回答世帯の37.1%が「2人きょうだい」、7.8%が「3人きょうだい」、1.2%が「4人きょうだい」、「5人以上きょうだい」が0.3%となっている。



きょうだいの数

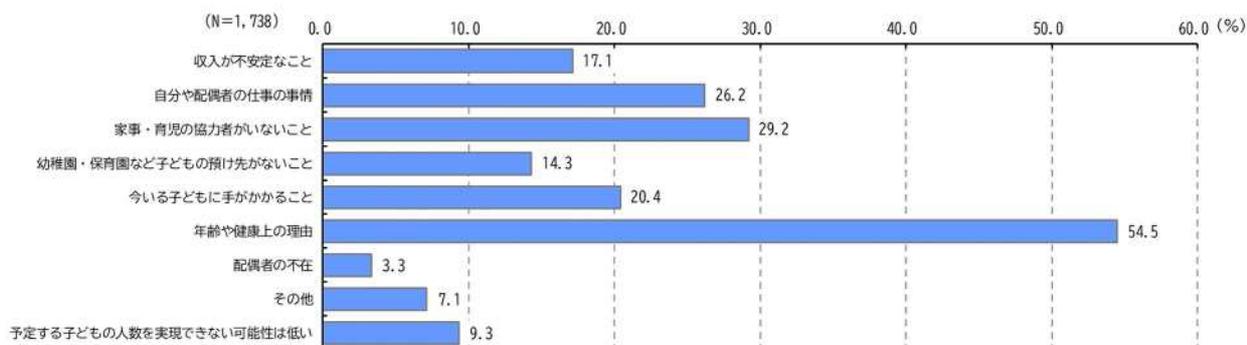
	実数	割合
一人っ子	3,180	53.5%
2人きょうだい	2,207	37.1%
3人きょうだい	465	7.8%
4人きょうだい	73	1.2%
5人以上きょうだい	20	0.3%
合計	5,945	100.0%



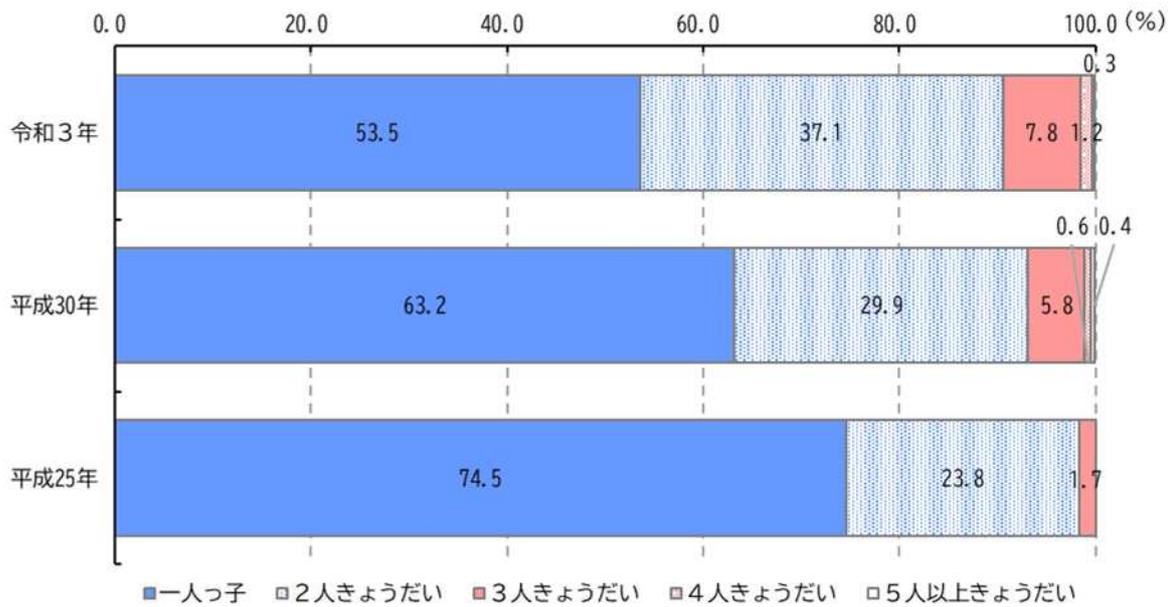
多子世帯合計	558	9.3%
--------	-----	------

【参考】

今後予定するお子さんの人数が、何らかの理由により叶わないことがあるとしたら、その理由は何である可能性が高いですか。 ⇒アンケート問5-1



【参考】きょうだいの数の推移



出典：H25、H30 港区子ども・子育て支援ニーズ調査を基に作成

イ 多子世帯の両親の年齢

2人以上のきょうだいがいる世帯の父親の平均年齢は41.4歳、母親の平均年齢は38.8歳であった。



多子世帯の両親の年齢

	2人以上のきょうだいがいる世帯		一人っ子世帯	
	父親	母親	父親	母親
平均年齢	41.4歳	38.8歳	40.0歳	37.1歳

ウ 多子世帯の年収

2人以上のきょうだいがいる世帯の年収は、「1,000～1,500万円未満(24.5%)」がもっとも多く、次いで「1,500～2,000万円未満(18.8%)」、「700～1,000万円未満(15.1%)」、「2,000～3,000万円未満(15.0%)」、「3,000～5,000万円未満(7.6%)」となっている。



多子世帯の年収

世帯年収	2人以上のきょうだいがいる世帯		一人っ子世帯	
	実数	割合	実数	割合
200万円未満	38	1.5%	52	1.7%
200～300万円未満	32	1.2%	50	1.6%
300～400万円未満	61	2.3%	76	2.5%
400～500万円未満	69	2.6%	77	2.5%
500～700万円未満	156	6.0%	236	7.8%
700～1,000万円未満	394	15.1%	460	15.1%
1,000～1,500万円未満	639	24.5%	775	25.5%
1,500～2,000万円未満	491	18.8%	581	19.1%
2,000～3,000万円未満	392	15.0%	410	13.5%
3,000～5,000万円未満	198	7.6%	204	6.7%
5,000～1億円未満	91	3.5%	87	2.9%
1億円以上	47	1.8%	29	1.0%
合計	2,608	100.0%	3,037	100.0%

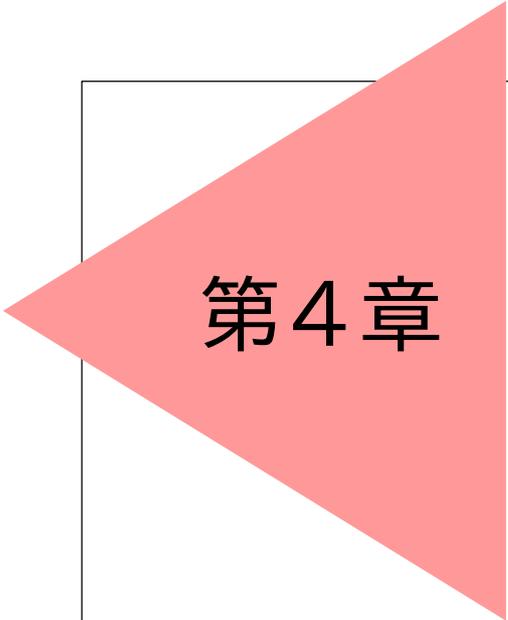
2 多子世帯の要望

ア 移動に関する支援について

- 複数の子供を持つ場合、通院等で困難がある。多くの荷物を持つての移動など、困難さを軽減できるようなサービスがあると良いと思う。
- 多胎児保育に対するサポートを充実してほしい。子ども3人では自転車で移動が出来ない。
- 子育て期間中は、母子ともにちいばすを無料にしてほしい。
- ちいばすの利用券は本当に助かったのですが、やはりベビーカーをたたんでバスに乗るとするのは、乳幼児が2人以上いると、とても厳しいです。結局タクシーしか選択肢がなくなります。港区は坂も多いので、自転車もなかなか大変です。移動手段が増えれば嬉しいです。
- 年に数回で良いので、タクシーチケットの無料配布を希望する。

イ その他の支援について

- 一時保育に空きがなくてとれない。第3子（1歳）の世話が大変で預けたいが、全然予約が取れない。
- 一時保育、病児保育の充実。3人の未就学児を保育施設に入れながら就業していたが、誰か1人でも風邪をひいたりすると順次うつっていき、遠方の両親にサポートを依頼することもあった。コロナ禍の現在、高齢の両親に依頼することも出来ず、仕事を休まざるを得ないこともある。
- 新橋近辺には、子供を診てくれるかかりつけ医がおらず、子ども3人を連れて自転車で田町まで行きます。地域での子どもの医者、歯医者さんの情報がほしいです。
- 我が家は4人の子どもがいます。しかし、規定の収入を超えているため、子ども手当の対象外です。多子世帯に対して、子ども手当の助成範囲を拡げてほしい。扶養人数に応じて、収入の基準額は異なっていますが、扶養人数が一人増えるごとに代わる金額幅が、子ども一人増えるごとに実際に必要となる金額とは大きくかけ離れています。
- 子どもに関する支援に所得制限は設けないでほしい。所得制限を設ける場合も扶養している子どもの人数を配慮してほしい。
- 多子家庭への金銭的なサポートを充実させてほしい。
- 第2子以降保育料免除の制度に大変助けられました。特に、所得制限や未就学児限定（上の子が小学生だとカウントされない）といった理不尽な制限がないことが本当にありがたかったです。
- ベビーシッター費用の補助を強く希望します。祖父母の協力が得られない（高齢、他界、住まいが遠い）家庭も多く、小さい子を連れて（未就学児2人以上）預けに行くのはとても難しいです。自宅に来てもらい支援してもらえると大変助かります。

A red triangle pointing to the left, partially overlapping the top-left corner of the page's main content area.

第4章

基本集計結果

第1 基本集計

問1 この調査票に回答いただく方はどなたですか。調査対象のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	父親	1,587	26.6
2	母親	4,371	73.2
3	その他	16	0.3
	無回答	36	
	合計(回答者数)	6,010	5,974

問2 お住まいの地域はどこですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	芝地区	915	15.3
2	麻布地区	1,163	19.4
3	赤坂地区	757	12.7
4	高輪地区	1,414	23.6
5	芝浦港南地区	1,735	29.0
	無回答	26	
	合計(回答者数)	6,010	5,984

問3 調査対象のお子さんの生まれた年と月についてうかがいます。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳児クラス	1,181	19.8
2	1歳児クラス	732	12.3
3	2歳児クラス	836	14.0
4	3歳児クラス	957	16.1
5	4歳児クラス	1,118	18.8
6	5歳児クラス	1,138	19.1
	無回答	48	
	合計(回答者数)	6,010	5,962

問4 調査対象のお子さんのきょうだいは何人いますか。(1) きょうだいの人数

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1人	3,180	53.5
2	2人	2,207	37.1
3	3人	465	7.8
4	4人	73	1.2
5	5人	14	0.2
6	6人	1	0.0
7	7人	2	0.0
8	8人	1	0.0
9	9人	2	0.0
10	10人	0	0.0
	無回答	65	
	合計(回答者数)	6,010	5,945

問4 (2) きょうだいの年齢【1人目】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	442	7.6
2	1歳	804	13.9
3	2歳	668	11.5
4	3歳	614	10.6
5	4歳	634	10.9
6	5歳	681	11.7
7	6歳	560	9.6
8	7歳	360	6.2

第4章 基本集計結果

9	8歳	305	5.3
10	9歳	241	4.2
11	10歳	150	2.6
12	11歳	117	2.0
13	12歳	74	1.3
14	13歳	49	0.8
15	14歳	35	0.6
16	15歳	30	0.5
17	16歳	11	0.2
18	17歳	9	0.2
19	18歳	5	0.1
20	19歳	0	0.0
21	20歳以上	15	0.3
	無回答	206	
	合計(回答者数)	6,010	5,804

問4 (2) きょうだいの年齢【2人目】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	361	13.6
2	1歳	388	14.6
3	2歳	360	13.5
4	3歳	358	13.5
5	4歳	316	11.9
6	5歳	326	12.3
7	6歳	285	10.7
8	7歳	55	2.1
9	8歳	64	2.4
10	9歳	48	1.8
11	10歳	30	1.1
12	11歳	23	0.9
13	12歳	15	0.6
14	13歳	10	0.4
15	14歳	2	0.1
16	15歳	5	0.2
17	16歳	2	0.1
18	17歳	3	0.1
19	18歳	2	0.1
20	19歳	4	0.2
21	20歳以上	0	0.0
	無回答	3,353	
	合計(回答者数)	6,010	2,657

問4 (2) きょうだいの年齢【3人目】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	75	14.3
2	1歳	85	16.2
3	2歳	76	14.5
4	3歳	63	12.0
5	4歳	68	13.0
6	5歳	67	12.8
7	6歳	53	10.1
8	7歳	11	2.1
9	8歳	5	1.0
10	9歳	7	1.3
11	10歳	4	0.8
12	11歳	2	0.4
13	12歳	1	0.2

14	13歳	0	0.0
15	14歳	2	0.4
16	15歳	1	0.2
17	16歳	1	0.2
18	17歳	2	0.4
19	18歳	0	0.0
20	19歳	0	0.0
21	20歳以上	1	0.2
	無回答	5,486	
	合計(回答者数)	6,010	524

問4 (2) きょうだいの年齢【4人目】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	15	19.2
2	1歳	11	14.1
3	2歳	7	9.0
4	3歳	12	15.4
5	4歳	11	14.1
6	5歳	9	11.5
7	6歳	8	10.3
8	7歳	1	1.3
9	8歳	2	2.6
10	9歳	0	0.0
11	10歳	0	0.0
12	11歳	1	1.3
13	12歳	0	0.0
14	13歳	1	1.3
15	14歳	0	0.0
16	15歳	0	0.0
17	16歳	0	0.0
18	17歳	0	0.0
19	18歳	0	0.0
20	19歳	0	0.0
21	20歳以上	0	0.0
	無回答	5,932	
	合計(回答者数)	6,010	78

問4 (2) きょうだいの年齢【5人目】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	4	26.7
2	1歳	2	13.3
3	2歳	3	20.0
4	3歳	1	6.7
5	4歳	2	13.3
6	5歳	0	0.0
7	6歳	2	13.3
8	7歳	0	0.0
9	8歳	0	0.0
10	9歳	0	0.0
11	10歳	0	0.0
12	11歳	1	6.7
13	12歳	0	0.0
14	13歳	0	0.0
15	14歳	0	0.0
16	15歳	0	0.0
17	16歳	0	0.0
18	17歳	0	0.0

第4章 基本集計結果

19	18歳	0	0.0
20	19歳	0	0.0
21	20歳以上	0	0.0
	無回答	5,995	
	合計(回答者数)	6,010	15

問5 あなた（調査対象のお子さんの保護者）の世帯の今後のお子さんの予定（現在妊娠中のお子さんも含めて）について教えてください。（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	もう産むつもりはない	2,990	51.2
2	あと1人産むつもり	1,526	26.1
3	あと2人産むつもり	203	3.5
4	あと3人産むつもり	20	0.3
5	あと4人以上産むつもり	8	0.1
6	わからない	1,090	18.7
	無回答	173	
	合計(回答者数)	6,010	5,837

問5-1 今後予定するお子さんの人数が、何らかの理由により叶わないことがあるとしたら、その理由は何である可能性が高いですか。（あてはまる番号すべてに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	収入が不安定なこと	298	17.1
2	自分や配偶者の仕事の事情	456	26.2
3	家事・育児の協力者がいないこと	508	29.2
4	幼稚園・保育園など子どもの預け先がないこと	249	14.3
5	今いる子どもに手がかかること	354	20.4
6	年齢や健康上の理由	948	54.5
7	配偶者の不在	57	3.3
8	その他	123	7.1
9	予定する子どもの人数を実現できない可能性は低いと考えている	161	9.3
	無回答	19	
	合計(回答者数)	1,757	1,738

問6 調査対象のお子さんご両親の同別居状況についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）（1）父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	一緒に住んでいる	5,430	91.5
2	単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	159	2.7
3	別居している	136	2.3
4	死亡、離婚、未婚などでいない	207	3.5
	無回答	78	
	合計(回答者数)	6,010	5,932

問6 調査対象のお子さんご両親の同別居状況についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）（1）母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	一緒に住んでいる	5,601	98.1
2	単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	10	0.2
3	別居している	79	1.4
4	死亡、離婚、未婚などでいない	18	0.3
	無回答	302	
	合計(回答者数)	6,010	5,708

問7 調査対象のお子さんご両親の年齢について教えてください。（1）父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	20～24	9	0.2
2	25～29	143	2.4

3	30～34	867	14.8
4	35～39	1,699	29.0
5	40～44	1,627	27.8
6	45～49	959	16.4
7	50～54	372	6.4
8	55～59	119	2.0
9	60～64	31	0.5
10	65～	30	0.5
	無回答	154	
	合計(回答者数)	6,010	5,856

問7 調査対象のお子さんのご両親の年齢について教えてください。(2) 母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	20～24	24	0.4
2	25～29	278	4.7
3	30～34	1,259	21.1
4	35～39	2,125	35.7
5	40～44	1,696	28.5
6	45～49	523	8.8
7	50～54	24	0.4
8	55～59	4	0.1
9	60～64	6	0.1
10	65～	14	0.2
	無回答	57	
	合計(回答者数)	6,010	5,953

問8 調査対象のお子さんのご両親の国籍について教えてください。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)(1) 父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	日本	5,429	93.2
2	日本以外	399	6.8
	無回答	182	
	合計(回答者数)	6,010	5,828

問8 調査対象のお子さんのご両親の国籍について教えてください。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)(1) 母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	日本	5,554	95.2
2	日本以外	278	4.8
	無回答	178	
	合計(回答者数)	6,010	5,832

問8-1 (1) 父親 聞く

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	相手の言うことを聞いて、理解できる	200	50.6
2	相手の言うことを聞いて、大体理解できる	63	15.9
3	相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる	55	13.9
4	単語だけ聞き取れる	43	10.9
5	ほとんど聞き取れない	34	8.6
	無回答	4	
	合計(回答者数)	399	395

問8-1 (1) 父親 話す

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	自分の言いたいことが問題なく話せる	187	47.5
2	自分の言いたいことが大体話せる	64	16.2
3	簡単な日常会話ができる	54	13.7

第4章 基本集計結果

4	自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	52	13.2
5	ほとんど話せない	37	9.4
	無回答	5	
	合計(回答者数)	399	394

問8-1 (1) 父親_読む

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	役所や教育・保育施設、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる	174	45.0
2	役所や教育・保育施設、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる	62	16.0
3	広告やチラシ、時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる	48	12.4
4	絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる	103	26.6
	無回答	12	
	合計(回答者数)	399	387

問8-1 (2) 母親_聞く

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	相手の言うことを聞いて、理解できる	153	55.6
2	相手の言うことを聞いて、大体理解できる	40	14.5
3	相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる	37	13.5
4	単語だけ聞き取れる	27	9.8
5	ほとんど聞き取れない	18	6.5
	無回答	3	
	合計(回答者数)	278	275

問8-1 (2) 母親_話す

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	自分の言いたいことが問題なく話せる	145	52.7
2	自分の言いたいことが大体話せる	41	14.9
3	簡単な日常会話ができる	42	15.3
4	自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	28	10.2
5	ほとんど話せない	19	6.9
	無回答	3	
	合計(回答者数)	278	275

問8-1 (2) 母親_読む

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	役所や教育・保育施設、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる	167	60.9
2	役所や教育・保育施設、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる	36	13.1
3	広告やチラシ、時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる	30	10.9
4	絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる	41	15.0
	無回答	4	
	合計(回答者数)	278	274

問9 調査対象のお子さんは障害や発達に関する不安をお持ちですか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	障害や発達に関する不安を持っている	489	9.0
2	障害や発達に関する不安を持っていない	4,928	91.0
	無回答	593	
	合計(回答者数)	6,010	5,417

問9-1 調査対象のお子さんがお持ちの手帳や発達に関する不安について、あてはまるものをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
-----	------	-------	-------

1	身体障害者手帳	17	3.5
2	愛の手帳	28	5.8
3	精神障害者保健福祉手帳	1	0.2
4	難病	13	2.7
5	高次脳機能障害	7	1.5
6	発達障害	126	26.3
7	医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）	6	1.3
8	定期的な服薬や自己注射	15	3.1
9	未熟児、虚弱児	17	3.5
10	言語発達に関する不安	193	40.2
11	運動発達に関する不安	99	20.6
12	多動や衝動性等行動に関する不安	164	34.2
13	対人関係等コミュニケーションに関する不安	151	31.5
14	その他	61	12.7
	無回答	9	
	合計(回答者数)	489	480

問9-1 身体障害者手帳（ ）級

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1級	10	62.5
2	2級	4	25.0
3	3級	1	6.3
4	4級	0	0.0
5	5級	0	0.0
6	6級	1	6.3
7	7級	0	0.0
	無回答	1	
	合計(回答者数)	17	16

問9-1 愛の手帳（ ）度

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1度	0	0.0
2	2度	4	16.7
3	3度	8	33.3
4	4度	12	50.0
	無回答	4	
	合計(回答者数)	28	24

問9-1 精神障害者保健福祉手帳（ ）級

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1級	0	0.0
2	2級	0	0.0
3	3級	0	0.0
	無回答	1	
	合計(回答者数)	1	0

問10 あなた（調査対象のお子さんの保護者）のお住まいをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	持家（一戸建て）	287	4.8
2	持家（マンション）	2,431	40.7
3	借家（一戸建て）	87	1.5
4	民間の賃貸マンション・アパート	2,497	41.8
5	都営・区営・区立住宅	116	1.9
6	UR（旧公団）・公社の賃貸住宅	131	2.2
7	社宅・公務員宿舎	351	5.9
8	その他	72	1.2

第4章 基本集計結果

	無回答	38	
	合計(回答者数)	6,010	5,972

問11 あなた（調査対象のお子さんの保護者）は、港区に住んで何年になりますか。調査対象のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1年未満	267	4.5
2	1～3年未満	810	13.5
3	3～5年未満	865	14.4
4	5～10年未満	1,885	31.5
5	10～20年未満	1,400	23.4
6	20年以上	389	6.5
7	生まれてからずっと港区に住んでいる	371	6.2
	合計(回答者数)	6,010	5,987

問12 問11と同様に、調査対象のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。あなた（調査対象のお子さんの保護者）が、港区に住むことになったタイミングはいつですか。（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	子どもの出産前から住んでいる	4,504	75.8
2	子どもの出産を機に転入した	523	8.8
3	保育園・幼稚園・インターナショナルスクール等への入園を機に転入した	291	4.9
4	その他	624	10.5
	無回答	68	
	合計(回答者数)	6,010	5,942

問13 あなた（調査対象のお子さんの保護者）が、港区に住むことになった理由のうち、子育てに関連するものはありますか。次のうち、あてはまる理由があればお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	出産費用助成があるから	775	14.7
2	母子保健事業が充実しているから	242	4.6
3	保育料助成があるから	565	10.7
4	第2子以降の保育料が無料だから	366	6.9
5	教育・保育施設に空きがあり入園させやすいから	723	13.7
6	入園したい保育園・幼稚園・インターナショナルスクール等があるから	207	3.9
7	入学したい小学校があるから	213	4.0
8	職場が近く、子育てがしやすいから	1,335	25.3
9	治安が良く、子どもにとって安全な環境だから	1,916	36.4
10	子育てに協力してくれる親族がいるから	381	7.2
11	その他	733	13.9
12	特に子育てに関連する理由はない	1,451	27.5
	無回答	740	
	合計(回答者数)	6,010	5,270

問14 これからも港区に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	子どもの保育園・幼稚園等への入園前まで住み続けたい	71	1.2
2	子どもの保育園・幼稚園等の卒園まで住み続けたい	588	9.8
3	子どもの小学校卒業まで住み続けたい	643	10.8
4	子どもの中学校卒業まで住み続けたい	181	3.0
5	子どもの高等学校卒業まで住み続けたい	166	2.8
6	子どもの大学卒業まで住み続けたい	144	2.4
7	ずっと住み続けたい	2,972	49.7

8	その他	163	2.7
9	わからない	1,053	17.6
	無回答	29	
	合計(回答者数)	6,010	5,981

問15 調査対象のお子さんの保護者(1)父親、(2)母親のそれぞれの現在の就労形態についてうかがいます。もっとも収入が多い勤務形態をお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)(1)父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	会社員など雇用契約による就労(パート・アルバイト等含む)	3,914	66.2
2	公務員	330	5.6
3	会社経営者(法人化している)	1,093	18.5
4	個人事業主(法人化していない)	426	7.2
5	その他	115	1.9
6	以前は就労していたが、現在は就労していない	36	0.6
7	これまで就労したことがない	2	0.0
	無回答	94	
	合計(回答者数)	6,010	5,916

問15 調査対象のお子さんの保護者(1)父親、(2)母親のそれぞれの現在の就労形態についてうかがいます。もっとも収入が多い勤務形態をお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)(2)母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	会社員など雇用契約による就労(パート・アルバイト等含む)	3,685	61.9
2	公務員	183	3.1
3	会社経営者(法人化している)	278	4.7
4	個人事業主(法人化していない)	316	5.3
5	その他	128	2.1
6	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,301	21.8
7	これまで就労したことがない	65	1.1
	無回答	54	
	合計(回答者数)	6,010	5,956

問15-1 調査対象のお子さんの保護者(1)父親、(2)母親のそれぞれの現在の就労時間についてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)(1)父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	5,458	95.1
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	46	0.8
3	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である	181	3.2
4	パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	47	0.8
5	パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	0.1
	無回答	140	
	合計(回答者数)	5,878	5,738

問15-1 調査対象のお子さんの保護者(1)父親、(2)母親のそれぞれの現在の就労時間についてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)(2)母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	2,306	51.9
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	915	20.6
3	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である	508	11.4
4	パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	634	14.3

第4章 基本集計結果

5	パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	77	1.7
	無回答	150	
	合計(回答者数)	4,590	4,440

問 15-2 1週あたりの「就労日数」(1) 父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日未満	6	0.1
2	2日未満	5	0.1
3	3日未満	11	0.2
4	4日未満	27	0.5
5	5日未満	39	0.7
6	6日未満	4,360	80.1
7	7日未満	721	13.3
8	7日	272	5.0
	無回答	437	
	合計(回答者数)	5,878	5,441

問 15-2 「在宅勤務日数」(1) 父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日未満	2,510	48.3
2	2日未満	504	9.7
3	3日未満	505	9.7
4	4日未満	401	7.7
5	5日未満	399	7.7
6	6日未満	777	14.9
7	7日未満	45	0.9
8	7日	58	1.1
	無回答	679	
	合計(回答者数)	5,878	5,199

問 15-2 1日あたりの「就労時間」(1) 父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	3時間未満	11	0.2
2	3時間	10	0.2
3	4時間	13	0.2
4	5時間	34	0.6
5	6時間	32	0.6
6	7時間	179	3.4
7	8時間	1,911	36.0
8	9時間	762	14.3
9	10時間	1,227	23.1
10	11時間	223	4.2
11	12時間以上	910	17.1
	無回答	566	
	合計(回答者数)	5,878	5,312

問 15-2 1週あたりの「就労日数」(2) 母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日未満	17	0.4
2	2日未満	54	1.3
3	3日未満	72	1.7
4	4日未満	192	4.5
5	5日未満	182	4.3
6	6日未満	3,419	80.9
7	7日未満	176	4.2
8	7日	116	2.7

	無回答	362	
	合計(回答者数)	4,590	4,228

問15-2 「在宅勤務日数」(2) 母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日未満	1,641	40.4
2	2日未満	321	7.9
3	3日未満	429	10.6
4	4日未満	427	10.5
5	5日未満	403	9.9
6	6日未満	757	18.6
7	7日未満	30	0.7
8	7日	52	1.3
	無回答	530	
	合計(回答者数)	4,590	4,060

問15-2 1日あたりの「就労時間」(2) 母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	3時間未満	62	1.5
2	3時間	86	2.1
3	4時間	117	2.8
4	5時間	188	4.5
5	6時間	423	10.2
6	7時間	608	14.6
7	8時間	1,852	44.5
8	9時間	371	8.9
9	10時間	273	6.6
10	11時間	27	0.6
11	12時間以上	156	3.7
	無回答	427	
	合計(回答者数)	4,590	4,163

問15-3 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○) (1) 父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	11	23.4
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	9	19.1
3	パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望	26	55.3
4	パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい	1	2.1
	無回答	6	
	合計(回答者数)	53	47

問15-3 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○) (2) 母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	50	7.7
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	130	19.9
3	パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望	440	67.4
4	パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい	33	5.1
	無回答	58	
	合計(回答者数)	711	653

第4章 基本集計結果

問16 就労したいという希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○) (1) 父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	14	37.8
2	1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	4	10.8
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	19	51.4
	無回答	1	
	合計(回答者数)	38	37

問16 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい【年齢】(1) 父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1歳未満	0	0.0
2	1歳	0	0.0
3	2歳	0	0.0
4	3歳	0	0.0
5	4歳	0	0.0
6	5歳	1	100.0
7	6歳	0	0.0
8	7歳	0	0.0
9	8歳	0	0.0
10	9歳	0	0.0
11	10歳	0	0.0
12	11歳	0	0.0
13	12歳	0	0.0
14	13歳	0	0.0
15	14歳	0	0.0
16	15歳	0	0.0
17	16歳	0	0.0
18	17歳	0	0.0
19	18歳以上	0	0.0
	無回答	3	
	合計(回答者数)	4	1

問16 就労したいという希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○) (2) 母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	641	48.1
2	1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	492	36.9
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	200	15.0
	無回答	33	
	合計(回答者数)	1,366	1,333

問16 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい【年齢】(2) 母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1歳未満	0	0.0
2	1歳	16	3.6
3	2歳	22	4.9
4	3歳	68	15.2
5	4歳	27	6.0
6	5歳	17	3.8
7	6歳	78	17.4
8	7歳	105	23.4
9	8歳	33	7.4
10	9歳	6	1.3
11	10歳	39	8.7
12	11歳	1	0.2

13	12歳	3	0.7
14	13歳	18	4.0
15	14歳	0	0.0
16	15歳	7	1.6
17	16歳	1	0.2
18	17歳	0	0.0
19	18歳以上	7	1.6
	無回答	44	
	合計(回答者数)	492	448

問 16-1 希望する就労形態についてお答えください。(それぞれあてはまる番号ひとつに○) (1) 父親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	16	84.2
2	パート、アルバイト等(「1.フルタイム」以外)	3	15.8
	無回答	0	
	合計(回答者数)	19	19

問 16-1 希望する就労形態についてお答えください。(それぞれあてはまる番号ひとつに○) (2) 母親

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	57	28.9
2	パート、アルバイト等(「1.フルタイム」以外)	140	71.1
	無回答	3	
	合計(回答者数)	200	197

問 17 調査対象のお子さんの世帯全体の年収(税込)は、おおよそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	200万円未満	90	1.5
2	200～300万円未満	83	1.4
3	300～400万円未満	139	2.4
4	400～500万円未満	147	2.5
5	500～700万円未満	398	6.7
6	700～1,000万円未満	864	14.6
7	1,000～1,500万円未満	1,429	24.2
8	1,500～2,000万円未満	1,081	18.3
9	2,000～3,000万円未満	809	13.7
10	3,000～5,000万円未満	407	6.9
11	5,000～1億円未満	179	3.0
12	1億円以上	76	1.3
13	わからない	206	3.5
	無回答	102	
	合計(回答者数)	6,010	5,908

問 18 調査対象のお子さんの世帯のもっとも大きな収入源は何ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	給与	5,241	88.5
2	自営業・フリーランスによる所得	565	9.5
3	不動産所得	33	0.6
4	貯蓄の取り崩し	37	0.6
5	親族の援助	19	0.3
6	その他	27	0.5
	無回答	88	
	合計(回答者数)	6,010	5,922

問 19 調査対象のお子さんの子育てや教育の方針を主に決めているのはどなたですか。なお、続柄はすべてお子さんからみた関係です。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
-----	------	-------	-------

第4章 基本集計結果

1	主に父親	340	5.7
2	主に母親	1,131	18.9
3	主に父親と母親が話し合っている	4,488	75.2
4	主に祖父母	3	0.1
5	その他	9	0.2
	無回答	39	
	合計(回答者数)	6,010	5,971

問 21 あなた（調査対象のお子さんの保護者）は、将来、調査対象のお子さんを海外留学させたいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	必ず留学させたい	816	13.6
2	できれば留学させたい	1,473	24.6
3	子どもが希望すれば留学させたい	3,275	54.7
4	留学させたいとは思わない	158	2.6
5	わからない	266	4.4
	無回答	22	
	合計(回答者数)	6,010	5,988

問 22 調査対象のお子さんは、現在習い事をしてますか。（あてはまる番号すべてに○）また習い事の教室名、教材名を記入してください。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	スイミングスクール	1,089	18.5
2	体操教室	1,034	17.6
3	定期的に教材が届く通信教育	1,030	17.5
4	英会話などの語学教室	840	14.3
5	ピアノなどの音楽教室	991	16.9
6	幼稚園や小学校受験のための塾	502	8.5
7	受験目的ではない学習塾や計算・書き取りの塾	1,029	17.5
8	バレエ・ダンス	648	11.0
9	武道・武術	195	3.3
10	絵画・造形	226	3.8
11	リトミック	133	2.3
12	プログラミング教室	72	1.2
13	その他	764	13.0
14	習い事はしていない	2,252	38.3
	無回答	131	
	合計(回答者数)	6,010	5,879

問 22-1 習い事がある日は週に何日程度ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	週に1日程度	1,302	37.2
2	週に2日程度	832	23.8
3	週に3日程度	652	18.6
4	週に4日程度	375	10.7
5	週に5日程度	216	6.2
6	週に6日程度	85	2.4
7	週に7日程度	34	1.0
	無回答	131	
	合計(回答者数)	3,627	3,496

問 22-1 また、習い事をしている時間帯はいつですか。（あてはまる番号すべてに○）（2）習い事をしている時間帯

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	平日午前	406	11.7
2	平日午後（18時まで）	2,093	60.1
3	平日夜間（18時以降）	400	11.5

4	土日午前	1,402	40.3
5	土日午後（18時まで）	894	25.7
6	土日夜間（18時以降）	34	1.0
	無回答	146	
	合計(回答者数)	3,627	3,481

問 22-2 あなた（調査対象のお子さんの保護者）は、調査対象のお子さんの習い事の費用として、月にいくらぐらいかけていますか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1万円未満	86	2.7
2	1～2万円代	1,459	45.8
3	3～4万円代	764	24.0
4	5～9万円代	459	14.4
5	10～20万円代	371	11.6
6	30～40万円代	27	0.8
7	50万円以上	21	0.7
	無回答	440	
	合計(回答者数)	3,627	3,187

問 23 調査対象のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの教育・保育施設を平日に定期利用されていますか。（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	利用している	4,761	79.3
2	利用していない	1,242	20.7
	無回答	7	
	合計(回答者数)	6,010	6,003

問 23-1 （2）施設種別

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	区立幼稚園	418	8.8
2	私立幼稚園	661	13.9
3	区立認可保育園	1,250	26.4
4	私立認可保育園	972	20.5
5	認定こども園	81	1.7
6	小規模保育事業所	39	0.8
7	港区保育室	445	9.4
8	認証保育所	159	3.4
9	認可外保育施設	596	12.6
10	各種学校	63	1.3
11	その他の施設	57	1.2
	無回答	20	
	合計(回答者数)	4,761	4,741

問 23-1 （3）現在の利用時間・時刻【現在の利用時間】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	3時間未満	77	1.6
2	3時間	76	1.6
3	4時間	220	4.7
4	5時間	765	16.2
5	6時間	182	3.9
6	7時間	266	5.6
7	8時間	1,043	22.1
8	9時間	1,075	22.8
9	10時間	773	16.4
10	11時間	197	4.2
11	12時間以上	37	0.8
	無回答	50	

第4章 基本集計結果

合計(回答者数)	4,761	4,711
----------	-------	-------

問 23-1 (3) 現在の利用時間・時刻【現在の利用時刻】開始時刻

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	7時前	4	0.1
2	7時～	23	0.5
3	7時15分～	37	0.8
4	7時30分～	93	2.0
5	7時45分～	52	1.1
6	8時～	695	14.9
7	8時15分～	154	3.3
8	8時30分～	676	14.5
9	8時45分～	178	3.8
10	9時～	2,275	48.9
11	9時15分～	116	2.5
12	9時30分～	249	5.3
13	9時45分～	5	0.1
14	10時～	82	1.8
15	10時15分～	0	0.0
16	10時30分以降	16	0.3
	無回答	106	
	合計(回答者数)	4,761	4,655

問 23-1 (3) 現在の利用時間・時刻【現在の利用時刻】終了時刻

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	～13時	210	4.5
2	～13時30分	113	2.4
3	～14時	708	15.2
4	～14時30分	97	2.1
5	～15時	104	2.2
6	～15時30分	64	1.4
7	～16時	146	3.1
8	～16時30分	148	3.2
9	～17時	822	17.7
10	～17時30分	326	7.0
11	～18時	1,177	25.3
12	～18時30分	542	11.7
13	～19時	104	2.2
14	～19時30分	38	0.8
15	～20時	26	0.6
16	～20時30分	20	0.4
17	～21時以降	7	0.2
	無回答	109	
	合計(回答者数)	4,761	4,652

問 23-1 (3) 本来利用を希望する時間・時刻【利用時間】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	3時間未満	15	0.3
2	3時間	22	0.5
3	4時間	81	1.8
4	5時間	406	9.1
5	6時間	289	6.5
6	7時間	332	7.5
7	8時間	889	20.0
8	9時間	1,037	23.4
9	10時間	895	20.2
10	11時間	326	7.3

11	12時間以上	147	3.3
	無回答	322	
	合計(回答者数)	4,761	4,439

問23-1 (3) 本来利用を希望する時間・時刻【利用時刻】開始時刻

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	7時前	8	0.2
2	7時～	92	2.3
3	7時15分～	37	0.9
4	7時30分～	113	2.8
5	7時45分～	42	1.0
6	8時～	923	22.9
7	8時15分～	100	2.5
8	8時30分～	566	14.0
9	8時45分～	72	1.8
10	9時～	1,822	45.2
11	9時15分～	45	1.1
12	9時30分～	135	3.3
13	9時45分～	1	0.0
14	10時～	54	1.3
15	10時15分～	0	0.0
16	10時30分以降	20	0.5
	無回答	731	
	合計(回答者数)	4,761	4,030

問23-1 (3) 本来利用を希望する時間・時刻【利用時刻】終了時刻

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	～13時	60	1.5
2	～13時30分	22	0.5
3	～14時	309	7.7
4	～14時30分	38	0.9
5	～15時	229	5.7
6	～15時30分	49	1.2
7	～16時	232	5.7
8	～16時30分	107	2.7
9	～17時	653	16.2
10	～17時30分	262	6.5
11	～18時	1,113	27.6
12	～18時30分	457	11.3
13	～19時	266	6.6
14	～19時30分	68	1.7
15	～20時	95	2.4
16	～20時30分	28	0.7
17	～21時以降	47	1.2
	無回答	726	
	合計(回答者数)	4,761	4,035

問23-2 問23-1で回答した教育・保育施設を知ったきっかけは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	区の保育コンシェルジュや窓口で相談して知った	375	7.9
2	区の「保育園入園のご案内」を見て知った	1,543	32.7
3	自分で調べてインターネット等で知った	1,904	40.4
4	兄弟が通っていた	587	12.4
5	知人(近所のママ友など)から聞いて知った	598	12.7
6	親戚・知人の子が通っていた	179	3.8

第4章 基本集計結果

7	近所でみかけた（近かった、通勤経路上にある、園バスを見かけた、など）	1,166	24.7
8	勤務先と提携していた（事業所内や院内の保育施設、福利厚生で保育料が安くなる、など）	31	0.7
9	その他	189	4.0
	無回答	43	
	合計(回答者数)	4,761	4,718

問 23-3 問 23-1 で回答した教育・保育施設を利用されている主な理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）（1）利用している施設を選んだ主な理由

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	家から近く利用しやすいから	3,367	71.3
2	施設設備が充実しているから	1,239	26.2
3	園庭があるから	1,580	33.5
4	職員の保護者対応が適切だから	1,489	31.5
5	カリキュラムが魅力的だから	1,066	22.6
6	英語を学ばせたかったから	463	9.8
7	給食など保育サービスが充実しているから	820	17.4
8	スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	257	5.4
9	自転車による通園が認められているから	238	5.0
10	自家用車による通園が認められているから	73	1.5
11	保育料が安いから	352	7.5
12	利用料に対する補助金が活用できるから	266	5.6
13	保護者の就労形態に合っているから	980	20.7
14	施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	642	13.6
15	希望する教育・保育施設に入れなかったから	289	6.1
16	その他	572	12.1
	無回答	38	
	合計(回答者数)	4,761	4,723

問 23-3 （2）施設を検討する際に重視した項目【第1順位】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	家から近く利用しやすいから	2,397	53.5
2	施設設備が充実しているから	168	3.7
3	園庭があるから	267	6.0
4	職員の保護者対応が適切だから	257	5.7
5	カリキュラムが魅力的だから	413	9.2
6	英語を学ばせたかったから	195	4.3
7	給食など保育サービスが充実しているから	79	1.8
8	スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	27	0.6
9	自転車による通園が認められているから	4	0.1
10	自家用車による通園が認められているから	2	0.0
11	保育料が安いから	33	0.7
12	利用料に対する補助金が活用できるから	16	0.4
13	保護者の就労形態に合っているから	156	3.5
14	施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	70	1.6
15	希望する教育・保育施設に入れなかったから	102	2.3
16	その他	297	6.6
	無回答	278	
	合計(回答者数)	4,761	4,483

問 23-3 （2）施設を検討する際に重視した項目【第2順位】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	家から近く利用しやすいから	576	14.4
2	施設設備が充実しているから	532	13.3
3	園庭があるから	684	17.0
4	職員の保護者対応が適切だから	611	15.2

5	カリキュラムが魅力的だから	327	8.2
6	英語を学ばせたかったから	128	3.2
7	給食など保育サービスが充実しているから	217	5.4
8	スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	90	2.2
9	自転車による通園が認められているから	38	0.9
10	自家用車による通園が認められているから	9	0.2
11	保育料が安いから	118	2.9
12	利用料に対する補助金が活用できるから	66	1.6
13	保護者の就労形態に合っているから	266	6.6
14	施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	181	4.5
15	希望する教育・保育施設に入れなかったから	51	1.3
16	その他	118	2.9
	無回答	749	
	合計(回答者数)	4,761	4,012

問23-3 (2) 施設を検討する際に重視した項目【第3順位】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	家から近く利用しやすいから	304	8.5
2	施設設備が充実しているから	447	12.6
3	園庭があるから	483	13.6
4	職員の保護者対応が適切だから	502	14.1
5	カリキュラムが魅力的だから	262	7.4
6	英語を学ばせたかったから	66	1.9
7	給食など保育サービスが充実しているから	309	8.7
8	スクールバスなど送迎サービスが充実しているから	99	2.8
9	自転車による通園が認められているから	84	2.4
10	自家用車による通園が認められているから	22	0.6
11	保育料が安いから	124	3.5
12	利用料に対する補助金が活用できるから	99	2.8
13	保護者の就労形態に合っているから	338	9.5
14	施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	244	6.9
15	希望する教育・保育施設に入れなかったから	54	1.5
16	その他	119	3.3
	無回答	1,205	
	合計(回答者数)	4,761	3,556

問23-6 問23-1で回答した教育・保育施設について、利用している施設への登園方法は何か。(あてはまる番号ひとつに○) (1) 利用している施設の登園方法

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	徒歩	2,600	55.3
2	自転車	1,325	28.2
3	乗用車	190	4.0
4	公共交通機関のバス	154	3.3
5	施設のスクールバス	307	6.5
6	電車	86	1.8
7	その他	41	0.9
	無回答	58	
	合計(回答者数)	4,761	4,703

問23-6 (2) 自宅からの所要時間

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	10分未満	1,764	38.0
2	10分代	2,168	46.7
3	20分代	406	8.8
4	30分代	175	3.8
5	40分代	77	1.7
6	50分代	22	0.5

第4章 基本集計結果

7	60分以上	28	0.6
	無回答	121	
	合計(回答者数)	4,761	4,640

問 23-7 問 23-1 で回答した現在利用している教育・保育施設について、いつまでその施設を利用する予定ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	就学前まで利用予定	4,088	87.0
2	希望施設が空き次第転園する	91	1.9
3	() 歳になったら転園予定	238	5.1
4	その他	283	6.0
	無回答	61	
	合計(回答者数)	4,761	4,700

問 23-7 () 歳になったら転園予定【年齢】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	5	2.2
2	1歳	8	3.6
3	2歳	58	25.9
4	3歳	88	39.3
5	4歳	41	18.3
6	5歳	22	9.8
7	6歳	2	0.9
	無回答	14	
	合計(回答者数)	238	224

問 23-8 問 23-1 で回答した現在利用している教育・保育施設の教育・保育内容に満足していますか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	満足している	3,057	65.3
2	まあ満足している	1,430	30.5
3	あまり満足していない	172	3.7
4	まったく満足していない	24	0.5
	無回答	78	
	合計(回答者数)	4,761	4,683

問 23-10 調査対象のお子さんは、問 23-1 で回答した施設を降園後に別の教育・保育施設で提供されるいわゆるアフタースクールを利用していますか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	利用している	202	4.4
2	利用していない	4,367	95.6
	無回答	192	
	合計(回答者数)	4,761	4,569

問 23-11 問 23-1 で回答した現在利用している教育・保育施設を利用するのに月額でどの程度の保育料(延長保育、早朝保育、給食費等を除く)を支払っていますか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1万円未満	927	35.8
2	1～2万円代	310	12.0
3	3～4万円代	383	14.8
4	5～6万円代	224	8.6
5	7～8万円代	277	10.7
6	9～10万円代	144	5.6
7	11万円以上	328	12.6
	無回答	2,168	
	合計(回答者数)	4,761	2,593

問 23-12 問 23-1 で回答した現在利用している教育・保育施設に対し、現在支払っている保育料とは別の上乗せ費用を支払ってでも、教育・保育の質を向上させてほしいと思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	上乗せ費用を支払ってでも教育・保育の質を向上させてほしい	1,719	38.2
2	上乗せ費用の徴収で教育・保育の質を向上させてほしいとは思わない	2,781	61.8
	無回答	261	
	合計(回答者数)	4,761	4,500

問 23-12 上乗せ費用を支払ってでも教育・保育の質を向上させてほしい【金額】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1万円未満	151	10.1
2	1～2万円代	875	58.8
3	3～4万円代	244	16.4
4	5～6万円代	150	10.1
5	7～8万円代	9	0.6
6	9～10万円代	40	2.7
7	11万円以上	19	1.3
	無回答	231	
	合計(回答者数)	1,719	1,488

問 23-13 その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	利用している施設の教育・保育の質に不満があるから	175	11.0
2	利用している施設で実施してほしい教育カリキュラムがあるから	995	62.7
3	利用している施設で実施してほしい保育サービスがあるから	412	26.0
4	その他の理由	315	19.8
	無回答	132	
	合計(回答者数)	1,719	1,587

問 23-14 上乗せ費用を支払うことで利用施設に実施してほしい内容は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	スイミングスクール	617	38.3
2	体操教室	738	45.8
3	英会話などの語学教室	884	54.9
4	ピアノなどの音楽教室	586	36.4
5	幼稚園や小学校受験対策	155	9.6
6	計算・書き取りなど受験目的ではない学習	194	12.0
7	バレエ・ダンス	351	21.8
8	武道・武術	260	16.1
9	絵画・造形	512	31.8
10	リトミック	399	24.8
11	プログラミング教室	305	18.9
12	送迎サービス	239	14.8
13	朝食サービス	79	4.9
14	入浴サービス	34	2.1
15	活動着の洗濯	64	4.0
16	名前つけなど必要物品の準備	103	6.4
17	配置基準以上の職員確保	286	17.8
18	園舎等の施設整備	233	14.5
19	その他	235	14.6
	無回答	108	
	合計(回答者数)	1,719	1,611

問 23-15 その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

第4章 基本集計結果

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	利用している施設の教育・保育の質に満足しているから	1,925	71.9
2	希望する内容の教育・保育が実施されとは限らないから	606	22.6
3	施設とは別の習い事に通わせればよいから	607	22.7
4	子どもの教育内容は施設ではなく家庭で考えるべきと思うから	224	8.4
5	その他の理由	238	8.9
	無回答	104	
	合計(回答者数)	2,781	2,677

問 23-16 区が実施している「認証保育所保育料補助金」または「認可外保育施設保育料補助金」のいずれかを受けていますか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	補助金を受けている	349	47.5
2	補助金を受けていない	385	52.5
	無回答	84	
	合計(回答者数)	818	734

問 23-16 補助金利用の有無【受けている】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1万円未満	5	1.7
2	1～2万円代	21	7.1
3	3～4万円代	70	23.6
4	5～6万円代	46	15.5
5	7～8万円代	33	11.1
6	9～10万円代	117	39.5
7	11万円以上	4	1.4
	無回答	53	
	合計(回答者数)	349	296

問 23-17 補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。【自己負担額合計】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000円未満	42	14.3
2	1,000～2,000円代	7	2.4
3	3,000～4,000円代	0	0.0
4	5,000～6,000円代	4	1.4
5	7,000～8,000円代	0	0.0
6	9,000～10,000円代	4	1.4
7	11,000円以上	237	80.6
	無回答	55	
	合計(回答者数)	349	294

問 23-17 【基本保育料】補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000円未満	7	4.1
2	1,000～2,000円代	4	2.4
3	3,000～4,000円代	3	1.8
4	5,000～6,000円代	1	0.6
5	7,000～8,000円代	0	0.0
6	9,000～10,000円代	3	1.8
7	11,000円以上	152	89.4
	無回答	179	
	合計(回答者数)	349	170

問 23-17 【延長保育料】補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000円未満	16	24.6
2	1,000～2,000円代	13	20.0

3	3,000～4,000 円代	3	4.6
4	5,000～6,000 円代	5	7.7
5	7,000～8,000 円代	1	1.5
6	9,000～10,000 円代	6	9.2
7	11,000 円以上	21	32.3
	無回答	284	
	合計(回答者数)	349	65

問 23-17 【給食費】 補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000 円未満	5	4.3
2	1,000～2,000 円代	5	4.3
3	3,000～4,000 円代	2	1.7
4	5,000～6,000 円代	20	17.2
5	7,000～8,000 円代	26	22.4
6	9,000～10,000 円代	23	19.8
7	11,000 円以上	35	30.2
	無回答	233	
	合計(回答者数)	349	116

問 23-17 【バス等の送迎代】 補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000 円未満	11	26.8
2	1,000～2,000 円代	1	2.4
3	3,000～4,000 円代	5	12.2
4	5,000～6,000 円代	1	2.4
5	7,000～8,000 円代	0	0.0
6	9,000～10,000 円代	4	9.8
7	11,000 円以上	19	46.3
	無回答	308	
	合計(回答者数)	349	41

問 23-17 【保険料】 補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000 円未満	8	38.1
2	1,000～2,000 円代	8	38.1
3	3,000～4,000 円代	0	0.0
4	5,000～6,000 円代	1	4.8
5	7,000～8,000 円代	0	0.0
6	9,000～10,000 円代	2	9.5
7	11,000 円以上	2	9.5
	無回答	328	
	合計(回答者数)	349	21

問 23-17 【英会話等のオプション料金】 補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000 円未満	6	10.7
2	1,000～2,000 円代	1	1.8
3	3,000～4,000 円代	5	8.9
4	5,000～6,000 円代	5	8.9
5	7,000～8,000 円代	4	7.1
6	9,000～10,000 円代	5	8.9
7	11,000 円以上	30	53.6
	無回答	293	
	合計(回答者数)	349	56

第4章 基本集計結果

問 23-17 【年会費】補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000円未満	6	22.2
2	1,000～2,000円代	4	14.8
3	3,000～4,000円代	1	3.7
4	5,000～6,000円代	5	18.5
5	7,000～8,000円代	2	7.4
6	9,000～10,000円代	2	7.4
7	11,000円以上	7	25.9
	無回答	322	
	合計(回答者数)	349	27

問 23-17 【施設管理費】補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000円未満	5	9.1
2	1,000～2,000円代	9	16.4
3	3,000～4,000円代	5	9.1
4	5,000～6,000円代	11	20.0
5	7,000～8,000円代	1	1.8
6	9,000～10,000円代	11	20.0
7	11,000円以上	13	23.6
	無回答	294	
	合計(回答者数)	349	55

問 23-17 【教材費】補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000円未満	10	18.9
2	1,000～2,000円代	14	26.4
3	3,000～4,000円代	6	11.3
4	5,000～6,000円代	11	20.8
5	7,000～8,000円代	2	3.8
6	9,000～10,000円代	6	11.3
7	11,000円以上	4	7.5
	無回答	296	
	合計(回答者数)	349	53

問 23-17 【その他】補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1,000円未満	8	15.1
2	1,000～2,000円代	12	22.6
3	3,000～4,000円代	8	15.1
4	5,000～6,000円代	5	9.4
5	7,000～8,000円代	1	1.9
6	9,000～10,000円代	7	13.2
7	11,000円以上	12	22.6
	無回答	296	
	合計(回答者数)	349	53

問 23-18 補助金を受けていない理由は何ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	補助金制度を知らなかったから	140	37.5
2	保育の必要性などの補助要件を満たさないから	143	38.3
3	今の保育施設の保育料が認可保育園より安いから	23	6.2
4	その他の理由	67	18.0
	無回答	12	
	合計(回答者数)	385	37.3

問24 現在、利用している、利用していないに関わらず、調査対象のお子さんの平日に利用する教育・保育施設として、もっとも「定期的に」利用したいと考える施設についてうかがいます。現在利用している施設と、もっとも利用したいと考える施設は同じですか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	現在利用している施設と、もっとも利用したい施設が同じである	3,864	67.5
2	現在利用している施設と、もっとも利用したい施設が異なる	667	11.6
3	現在施設を利用していないが、利用したい施設がある	862	15.1
4	現在施設を利用しておらず、今後も利用するつもりはない	334	5.8
	無回答	283	
	合計(回答者数)	6,010	5,727

問24 (2) 希望施設種別

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	区立幼稚園	149	11.4
2	私立幼稚園	147	11.2
3	区立認可保育園	310	23.7
4	私立認可保育園	117	8.9
5	認定こども園	64	4.9
6	小規模保育事業所	12	0.9
7	港区保育室	21	1.6
8	認証保育所	27	2.1
9	認可外保育施設	369	28.2
10	各種学校	25	1.9
11	その他の施設	69	5.3
	無回答	219	
	合計(回答者数)	1,529	1,310

問24 (3) 希望利用時間

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	3時間未満	61	4.8
2	3時間	36	2.8
3	4時間	48	3.8
4	5時間	112	8.8
5	6時間	124	9.8
6	7時間	68	5.4
7	8時間	292	23.0
8	9時間	216	17.0
9	10時間	198	15.6
10	11時間	76	6.0
11	12時間以上	38	3.0
	無回答	260	
	合計(回答者数)	1,529	1,269

問24 (4) 希望利用時刻【開始時刻】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	7時前	11	0.9
2	7時～	42	3.6
3	7時15分～	9	0.8
4	7時30分～	31	2.7
5	7時45分～	5	0.4
6	8時～	312	26.7
7	8時15分～	10	0.9
8	8時30分～	104	8.9
9	8時45分～	6	0.5
10	9時～	460	39.4
11	9時15分～	3	0.3
12	9時30分～	28	2.4

第4章 基本集計結果

13	9時45分～	2	0.2
14	10時～	68	5.8
15	10時15分～	0	0.0
16	10時30分以降	77	6.6
	無回答	361	
	合計(回答者数)	1,529	1,168

問24 (4) 希望利用時刻【終了時刻】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	～13時	30	2.6
2	～13時30分	3	0.3
3	～14時	90	7.7
4	～14時30分	7	0.6
5	～15時	93	8.0
6	～15時30分	3	0.3
7	～16時	95	8.1
8	～16時30分	16	1.4
9	～17時	236	20.2
10	～17時30分	59	5.0
11	～18時	311	26.6
12	～18時30分	93	8.0
13	～19時	79	6.8
14	～19時30分	10	0.9
15	～20時	26	2.2
16	～20時30分	5	0.4
17	～21時以降	13	1.1
	無回答	360	
	合計(回答者数)	1,529	1,169

問24-2 問24で回答したもっとも利用したい教育・保育施設を現在利用できていない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	保育時間が保護者の就労状況等と合わないから	238	20.6
2	保育料が高いから	255	22.1
3	入園を希望する施設に空きがないから	256	22.2
4	通園できる距離にないから	103	8.9
5	入園を希望する施設の対象年齢に達していないから	223	19.3
6	その他の理由	347	30.1
	無回答	375	
	合計(回答者数)	1,529	1,154

問24-2 入園を希望する施設の対象年齢に達していないから【入園可能年齢】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	10	8.3
2	1歳	14	11.7
3	2歳	75	62.5
4	3歳	16	13.3
5	4歳	5	4.2
6	5歳	0	0.0
7	6歳	0	0.0
	無回答	103	
	合計(回答者数)	223	120

問25 調査対象のお子さんは、問23-1で回答した現在利用している教育・保育施設に通う前に別の教育・保育施設に通っていましたか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	通っていた	1,383	33.3

2	通っていない（今通っている施設がはじめての施設である）	2,774	66.7
	無回答	604	
	合計(回答者数)	4,761	4,157

問25 (1) 通っていた園数

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1園	987	77.2
2	2園	227	17.8
3	3園	51	4.0
4	4園	5	0.4
5	5園	5	0.4
6	6園	1	0.1
7	7園	1	0.1
8	8園	0	0.0
9	9園	0	0.0
10	10園	1	0.1
	無回答	105	
	合計(回答者数)	1,383	1,278

問25 退園時期

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	2021年度	193	15.5
2	2020年度	318	25.5
3	2019年度	331	26.5
4	2018年度	209	16.7
5	2017年度	104	8.3
6	2016年度	93	7.5
7	2015年度	0	0.0
	無回答	135	
	合計(回答者数)	1,383	1,248

問25 退園した時のクラス年齢別

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳児クラス	282	22.7
2	1歳児クラス	248	20.0
3	2歳児クラス	384	31.0
4	3歳児クラス	199	16.0
5	4歳児クラス	100	8.1
6	5歳児クラス	27	2.2
	無回答	143	
	合計(回答者数)	1,383	1,240

問25 (4) 直近に退園した施設種別

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	区立幼稚園	24	1.8
2	私立幼稚園	42	3.2
3	区立認可保育園	113	8.6
4	私立認可保育園	265	20.2
5	認定こども園	17	1.3
6	小規模保育事業所	84	6.4
7	港区保育室	148	11.3
8	認証保育所	160	12.2
9	認可外保育施設	349	26.5
10	各種学校	3	0.2
11	その他の施設	110	8.4
	無回答	68	
	合計(回答者数)	1,383	1,315

第4章 基本集計結果

問 25-1 転園先として、現在利用している教育・保育施設を選んだ理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	転園元よりも教育・保育内容が充実しているから	354	27.1
2	転園元よりも園庭などの設備が充実しているから	272	20.8
3	もともと入園を希望していた転園先に空きが出たから	258	19.7
4	保護者の就労状況等に変化があり、もともと入園を希望していた転園先に通えるようになったから	53	4.1
5	保護者の就労状況等に変化があり、転園元に通えなくなったから	129	9.9
6	もともと入園を希望していた転園先に通える年齢に子どもが達したから	181	13.8
7	幼児教育・保育の無償化により費用負担が減ったから	28	2.1
8	転園元には幼児クラスがないため、卒園に伴い転園した	110	8.4
9	その他の理由	433	33.1
	無回答	76	
	合計(回答者数)	1,383	1,307

問 26 待機児童向け居宅訪問型保育事業またはみなと保育サポート事業（定期利用）を利用していますか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	待機児童向け居宅訪問型保育事業を利用している	6	0.5
2	みなと保育サポート事業（定期利用）を利用している	19	1.7
3	いずれも利用していない	1,068	97.7
	無回答	149	
	合計(回答者数)	1,242	1,093

問 26 みなと保育サポート事業（定期利用）を利用している【利用施設】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	みなと保育サポート白金	1	5.9
2	みなと保育サポート港南四丁目	7	41.2
3	みなと保育サポート東麻布	5	29.4
4	みなと保育サポート赤坂	4	23.5
5	みなと保育サポート白金台	0	0.0
	無回答	2	
	合計(回答者数)	19	17

問 26-1 待機児童向け居宅訪問型保育事業を利用している理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	集団保育を希望しないから	1	16.7
2	新型コロナウイルス感染症への不安で施設利用したくないから	3	50.0
3	施設利用したいが希望する教育・保育施設に空きがないから	5	83.3
4	施設利用したいが経済的な理由で利用が難しいから	1	16.7
5	施設利用したいが延長・夜間等の時間帯の条件が合わないから	0	0.0
6	施設利用したいが教育内容の質や立地など納得できる施設がないから	1	16.7
7	施設利用を開始したいと考えている年齢に子どもが達していないから	1	16.7
8	その他の理由	1	16.7
	無回答	0	
	合計(回答者数)	6	6

問 26-1 施設利用を開始したいと考えている年齢に子どもが達していないから【利用開始希望年齢】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	0	0.0
2	1歳	1	100.0

3	2歳	0	0.0
4	3歳	0	0.0
5	4歳	0	0.0
6	5歳	0	0.0
7	6歳	0	0.0
8	7歳	0	0.0
9	8歳	0	0.0
10	9歳	0	0.0
11	10歳	0	0.0
12	11歳	0	0.0
13	12歳	0	0.0
14	13歳以上	0	0.0
	無回答	0	
	合計(回答者数)	1	1

問26-2 みなと保育サポート事業（定期利用）を利用している理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	家から近く利用しやすいから	12	75.0
2	施設設備が充実しているから	4	25.0
3	保育時間が保護者の就労形態に合っているから	7	43.8
4	職員の保護者対応が適切だから	5	31.3
5	保育サービスが充実しているから	3	18.8
6	保育料が安いから	8	50.0
7	施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから	2	12.5
8	希望する教育・保育施設に入れなかったから	1	6.3
9	その他の理由	1	6.3
	無回答	3	
	合計(回答者数)	19	16

問27 教育・保育施設、待機児童向け居宅訪問型保育事業、みなと保育サポート事業（定期利用）を利用せずに在宅で子育てをしている理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	子育てを自分自身で行いたいから	377	36.4
2	家族・親族が子どもを見ることができている状況にあるので利用する必要がないから	375	36.2
3	新型コロナウイルス感染症への不安で施設利用したくないから	339	32.7
4	施設利用したいが希望する教育・保育施設に空きがないから	86	8.3
5	施設利用したいが経済的な理由で利用が難しいから	15	1.4
6	施設利用したいが延長・夜間等の時間帯の条件が合わないから	24	2.3
7	施設利用したいが教育内容の質や立地など納得できる施設がないから	41	4.0
8	施設利用したいと考えている年齢に子どもが達していないから	108	10.4
9	利用を希望する施設の対象年齢に達していないから	70	6.8
10	施設利用したいが子どもの疾病や障害などで施設利用が困難だから	6	0.6
11	その他の理由	199	19.2
	無回答	31	
	合計(回答者数)	1,068	1,037

問27 施設利用したいと考えている年齢に子どもが達していないから【利用開始希望年齢】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	20	22.2
2	1歳	39	43.3
3	2歳	10	11.1
4	3歳	21	23.3
5	4歳	0	0.0
6	5歳	0	0.0

第4章 基本集計結果

7	6歳	0	0.0
8	7歳	0	0.0
9	8歳	0	0.0
10	9歳	0	0.0
11	10歳	0	0.0
12	11歳	0	0.0
13	12歳	0	0.0
14	13歳以上	0	0.0
	無回答	18	
	合計(回答者数)	108	90

問27 利用を希望する施設の対象年齢に達していないから【入園可能年齢】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳	5	10.6
2	1歳	7	14.9
3	2歳	4	8.5
4	3歳	26	55.3
5	4歳	5	10.6
6	5歳	0	0.0
7	6歳	0	0.0
8	7歳	0	0.0
9	8歳	0	0.0
10	9歳	0	0.0
11	10歳	0	0.0
12	11歳	0	0.0
13	12歳	0	0.0
14	13歳以上	0	0.0
	無回答	23	
	合計(回答者数)	70	47

問28 子育てに日常的にもっとも関わっている人は誰ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	父親	34	3.2
2	母親	1,004	94.8
3	祖父母	10	0.9
4	親戚	1	0.1
5	友人・知人	0	0.0
6	その他	10	0.9
	無回答	9	
	合計(回答者数)	1,068	1,059

問28-1 日常的に子育てに関わっている人の就労状況について教えてください。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	就労していない	415	40.2
2	子どもを見ながら自営業を営んでいる	47	4.6
3	子どもを見ながら在宅勤務をしている	62	6.0
4	職場に子どもを同伴している	11	1.1
5	育児休業中であり育児休業期間を切り上げて復職の希望がある	251	24.3
6	育児休業中であり育児休業期間を切り上げて復職の希望はない	229	22.2
7	その他の理由	17	1.6
	無回答	6	
	合計(回答者数)	1,038	1,032

問28-2 祖父母等の子育て支援は得られていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	日常的に祖父母を含む親族にみてもらえる	215	20.9

2	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	434	42.3
3	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	3	0.3
4	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	35	3.4
5	得られていない	340	33.1
	無回答	11	
	合計(回答者数)	1,038	1,027

問 28-2 日常的に祖父母を含む親族にみてもらえる【月に（ ）日程度】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1～2日	47	23.6
2	3～4日	56	28.1
3	5～7日	25	12.6
4	8～10日	19	9.5
5	11～14日	3	1.5
6	15～20日	27	13.6
7	21日以上	22	11.1
	無回答	16	
	合計(回答者数)	215	199

問 28-2 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる【月に（ ）日程度】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1～2日	2	66.7
2	3～4日	0	0.0
3	5～7日	0	0.0
4	8～10日	1	33.3
5	11～14日	0	0.0
6	15～20日	0	0.0
7	21日以上	0	0.0
	無回答	0	
	合計(回答者数)	3	3

問 29 あなた（調査対象のお子さんの保護者）が「子育てについて悩んでいること」は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	子育ての孤独感	207	19.6
2	子どもの集団生活への慣れ	318	30.1
3	子どもの健康	285	27.0
4	子どもの発達	272	25.8
5	子どもの教育	440	41.7
6	子育ての相談先	117	11.1
7	その他	74	7.0
8	悩みは特にない	315	29.9
	無回答	13	
	合計(回答者数)	1,068	1,055

問 30 調査対象のお子さんは以前、教育・保育施設に通っていましたか。（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	通っていた	53	5.0
2	通っていない（教育・保育施設を利用したことがない）	1,002	95.0
	無回答	13	
	合計(回答者数)	1,068	1,055

問 30 （1）通っていた園数

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1園	36	83.7

第4章 基本集計結果

2	2園	5	11.6
3	3園	2	4.7
4	4園	0	0.0
5	5園	0	0.0
6	6園	0	0.0
7	7園	0	0.0
8	8園	0	0.0
9	9園	0	0.0
10	10園	0	0.0
	無回答	10	
	合計(回答者数)	53	43

問30 退園時期

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	2021年度	26	60.5
2	2020年度	12	27.9
3	2019年度	3	7.0
4	2018年度	2	4.7
5	2017年度	0	0.0
6	2016年度	0	0.0
7	2015年度	0	0.0
	無回答	10	
	合計(回答者数)	53	43

問30 退園した時のクラス年齢別

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	0歳児クラス	12	29.3
2	1歳児クラス	12	29.3
3	2歳児クラス	9	22.0
4	3歳児クラス	4	9.8
5	4歳児クラス	2	4.9
6	5歳児クラス	2	4.9
	無回答	12	
	合計(回答者数)	53	41

問30 (4) 直近の利用施設種別

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	区立幼稚園	4	8.5
2	私立幼稚園	1	2.1
3	区立認可保育園	8	17.0
4	私立認可保育園	10	21.3
5	認定こども園	2	4.3
6	小規模保育事業所	4	8.5
7	港区保育室	3	6.4
8	認証保育所	2	4.3
9	認可外保育施設	11	23.4
10	各種学校	0	0.0
11	その他の施設	2	4.3
	無回答	6	
	合計(回答者数)	53	47

問30-1 教育・保育施設を利用しなくなった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、施設利用に不安を感じたから	10	21.7
2	保護者の就労状況の変化等により、施設利用ができなくなったから	7	15.2
3	在宅勤務の頻度が増え、子どもを見られるようになったから	1	2.2

4	施設の教育・保育内容に期待できないと感じたから	3	6.5
5	その他の理由	30	65.2
	無回答	7	
	合計(回答者数)	53	46

問31 調査対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	利用している事業がある	1,028	17.5
2	利用している事業はない	4,844	82.5
	無回答	138	
	合計(回答者数)	6,010	5,872

問31-1 利用している事業は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	一時預かり(※夏休み一時預かり事業を除く)	729	72.5
2	夏休み一時預かり事業	34	3.4
3	ベビーシッター	350	34.8
4	ファミリー・サポート・センター	32	3.2
5	トワイライトステイ	29	2.9
6	緊急一時保護・レスパイト保護	6	0.6
7	その他	55	5.5
	無回答	23	
	合計(回答者数)	1,028	1,005

問31-1 利用日数(平日)【一時預かり】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	45	9.4
2	2日	48	10.0
3	3日	52	10.9
4	4日	22	4.6
5	5～6日	73	15.2
6	7～9日	17	3.5
7	10～14日	87	18.2
8	15～19日	18	3.8
9	20日以上	117	24.4
	無回答	250	
	合計(回答者数)	729	479

問31-1 利用日数(休日)【一時預かり】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	60	19.9
2	2日	40	13.3
3	3日	47	15.6
4	4日	16	5.3
5	5～6日	58	19.3
6	7～9日	11	3.7
7	10～14日	31	10.3
8	15～19日	2	0.7
9	20日以上	36	12.0
	無回答	428	
	合計(回答者数)	729	301

問31-1 利用日数【夏休み一時預かり事業】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0

第4章 基本集計結果

2	2日	0	0.0
3	3日	1	3.1
4	4日	0	0.0
5	5～6日	1	3.1
6	7～9日	3	9.4
7	10～14日	7	21.9
8	15～19日	2	6.3
9	20日以上	18	56.3
	無回答	2	
	合計(回答者数)	34	32

問 31-1 利用日数（平日）【ベビーシッター】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	36	13.4
2	2日	22	8.2
3	3日	26	9.7
4	4日	7	2.6
5	5～6日	30	11.2
6	7～9日	4	1.5
7	10～14日	40	14.9
8	15～19日	5	1.9
9	20日以上	98	36.6
	無回答	82	
	合計(回答者数)	350	268

問 31-1 利用日数（休日）【ベビーシッター】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	16	13.6
2	2日	13	11.0
3	3日	10	8.5
4	4日	3	2.5
5	5～6日	14	11.9
6	7～9日	3	2.5
7	10～14日	30	25.4
8	15～19日	3	2.5
9	20日以上	26	22.0
	無回答	232	
	合計(回答者数)	350	118

問 31-1 利用日数（平日）【ファミリー・サポート・センター】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	5	23.8
2	2日	0	0.0
3	3日	4	19.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	2	9.5
6	7～9日	1	4.8
7	10～14日	1	4.8
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	8	38.1
	無回答	11	
	合計(回答者数)	32	21

問 31-1 利用日数（休日）【ファミリー・サポート・センター】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	2	28.6
2	2日	3	42.9

3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	2	28.6
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	25	
	合計(回答者数)	32	7

問 31-1 利用日数（平日）【トワイライトステイ】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	5	38.5
2	2日	3	23.1
3	3日	1	7.7
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	4	30.8
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	16	
	合計(回答者数)	29	13

問 31-1 利用日数（休日）【トワイライトステイ】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	6	37.5
2	2日	4	25.0
3	3日	1	6.3
4	4日	0	0.0
5	5～6日	1	6.3
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	3	18.8
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	1	6.3
	無回答	13	
	合計(回答者数)	29	16

問 31-1 利用日数（平日）【緊急一時保護・レスパイト保護】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	1	25.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	2	50.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	1	25.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	2	
	合計(回答者数)	6	4

問 31-1 利用日数（休日）【緊急一時保護・レスパイト保護】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0

第4章 基本集計結果

4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	1	100.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	5	
	合計(回答者数)	6	1

問 31-1 利用日数（平日）【その他】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	3	7.5
2	2日	3	7.5
3	3日	9	22.5
4	4日	0	0.0
5	5～6日	4	10.0
6	7～9日	2	5.0
7	10～14日	6	15.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	13	32.5
	無回答	15	
	合計(回答者数)	55	40

問 31-1 利用日数（休日）【その他】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	3	21.4
2	2日	0	0.0
3	3日	3	21.4
4	4日	0	0.0
5	5～6日	2	14.3
6	7～9日	1	7.1
7	10～14日	3	21.4
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	2	14.3
	無回答	41	
	合計(回答者数)	55	14

問 31-2 一時預かりを利用した施設はどこですか。（あてはまる番号すべてに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	区立認可保育園	54	7.9
2	私立認可保育園	25	3.7
3	小規模保育事業所	40	5.9
4	芝浦アイランドこども園	16	2.3
5	みなと子育て応援プラザ Pokke	151	22.1
6	あっぴい	463	67.9
7	あい・ぽーと	88	12.9
8	みなと保育サポート（スポット利用）	30	4.4
9	区立幼稚園（スポット利用）	26	3.8
	無回答	47	
	合計(回答者数)	729	682

問 31-2 利用日数（平日）【区立認可保育園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	6	12.8
2	2日	2	4.3
3	3日	6	12.8
4	4日	3	6.4

5	5～6日	9	19.1
6	7～9日	2	4.3
7	10～14日	8	17.0
8	15～19日	3	6.4
9	20日以上	8	17.0
	無回答	7	
	合計(回答者数)	54	47

問31-2 利用日数(休日)【区立認可保育園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	3	37.5
3	3日	1	12.5
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	2	25.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	2	25.0
	無回答	46	
	合計(回答者数)	54	8

問31-2 利用日数(平日)【私立認可保育園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	4	17.4
2	2日	1	4.3
3	3日	1	4.3
4	4日	0	0.0
5	5～6日	2	8.7
6	7～9日	1	4.3
7	10～14日	5	21.7
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	9	39.1
	無回答	2	
	合計(回答者数)	25	23

問31-2 利用日数(休日)【私立認可保育園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	2	66.7
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	1	33.3
	無回答	22	
	合計(回答者数)	25	3

問31-2 利用日数(平日)【小規模保育事業所】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	4	12.5
2	2日	4	12.5
3	3日	4	12.5
4	4日	0	0.0
5	5～6日	4	12.5

第4章 基本集計結果

6	7～9日	1	3.1
7	10～14日	9	28.1
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	6	18.8
	無回答	8	
	合計(回答者数)	40	32

問 31-2 利用日数（休日）【小規模保育事業所】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	1	9.1
2	2日	3	27.3
3	3日	1	9.1
4	4日	1	9.1
5	5～6日	1	9.1
6	7～9日	1	9.1
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	3	27.3
	無回答	29	
	合計(回答者数)	40	11

問 31-2 利用日数（平日）【芝浦アイランドこども園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	4	26.7
2	2日	4	26.7
3	3日	1	6.7
4	4日	0	0.0
5	5～6日	4	26.7
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	2	13.3
9	20日以上	0	0.0
	無回答	1	
	合計(回答者数)	16	15

問 31-2 利用日数（休日）【芝浦アイランドこども園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	1	100.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	15	
	合計(回答者数)	16	1

問 31-2 利用日数（平日）【みなと子育て応援プラザ Pokke】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	15	15.0
2	2日	18	18.0
3	3日	15	15.0
4	4日	4	4.0
5	5～6日	13	13.0
6	7～9日	2	2.0

7	10～14日	14	14.0
8	15～19日	2	2.0
9	20日以上	17	17.0
	無回答	51	
	合計(回答者数)	151	100

問31-2 利用日数(休日)【みなと子育て応援プラザ Pokke】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	19	26.4
2	2日	10	13.9
3	3日	7	9.7
4	4日	3	4.2
5	5～6日	17	23.6
6	7～9日	5	6.9
7	10～14日	5	6.9
8	15～19日	1	1.4
9	20日以上	5	6.9
	無回答	79	
	合計(回答者数)	151	72

問31-2 利用日数(平日)【あっぴい】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	49	15.8
2	2日	37	11.9
3	3日	33	10.6
4	4日	12	3.9
5	5～6日	51	16.5
6	7～9日	13	4.2
7	10～14日	46	14.8
8	15～19日	17	5.5
9	20日以上	52	16.8
	無回答	153	
	合計(回答者数)	463	310

問31-2 利用日数(休日)【あっぴい】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	54	25.0
2	2日	29	13.4
3	3日	34	15.7
4	4日	10	4.6
5	5～6日	42	19.4
6	7～9日	3	1.4
7	10～14日	18	8.3
8	15～19日	1	0.5
9	20日以上	25	11.6
	無回答	247	
	合計(回答者数)	463	216

問31-2 利用日数(平日)【あい・ぽーと】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	7	11.9
2	2日	6	10.2
3	3日	10	16.9
4	4日	2	3.4
5	5～6日	13	22.0
6	7～9日	1	1.7
7	10～14日	13	22.0

第4章 基本集計結果

8	15～19日	1	1.7
9	20日以上	6	10.2
	無回答	29	
	合計(回答者数)	88	59

問31-2 利用日数(休日)【あい・ぽーと】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	13	36.1
2	2日	9	25.0
3	3日	2	5.6
4	4日	2	5.6
5	5～6日	5	13.9
6	7～9日	1	2.8
7	10～14日	1	2.8
8	15～19日	1	2.8
9	20日以上	2	5.6
	無回答	52	
	合計(回答者数)	88	36

問31-2 利用日数(平日)【みなと保育サポート(スポット利用)】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	2	8.3
2	2日	0	0.0
3	3日	1	4.2
4	4日	1	4.2
5	5～6日	3	12.5
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	6	25.0
8	15～19日	2	8.3
9	20日以上	9	37.5
	無回答	6	
	合計(回答者数)	30	24

問31-2 利用日数(休日)【みなと保育サポート(スポット利用)】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	3	50.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	1	16.7
6	7～9日	1	16.7
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	1	16.7
9	20日以上	0	0.0
	無回答	24	
	合計(回答者数)	30	6

問31-2 利用日数(平日)【区立幼稚園(スポット利用)】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	3	12.5
2	2日	2	8.3
3	3日	1	4.2
4	4日	2	8.3
5	5～6日	2	8.3
6	7～9日	1	4.2
7	10～14日	6	25.0
8	15～19日	0	0.0

9	20日以上	7	29.2
	無回答	2	
	合計(回答者数)	26	24

問 31-2 利用日数(休日)【区立幼稚園(スポット利用)】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	26	
	合計(回答者数)	26	0

問 31-3 利用した一時預かりの日数は充分でしたか。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	充分だった	449	64.9
2	不十分だった	243	35.1
	無回答	37	
	合計(回答者数)	729	692

問 31-3 充分でなかった場合は預かって欲しかった日数も記入してください。【不十分だった場合の利用希望日数】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	区立認可保育園	35	15.8
2	私立認可保育園	9	4.1
3	小規模保育事業所	7	3.2
4	芝浦アイランドこども園	13	5.9
5	みなと子育て応援プラザ Pokke	45	20.3
6	あっぴい	150	67.6
7	あい・ぽーと	14	6.3
8	みなと保育サポート(スポット利用)	9	4.1
9	区立幼稚園(スポット利用)	3	1.4
	無回答	21	
	合計(回答者数)	243	222

問 31-3 【不十分】利用日数(平日)【区立認可保育園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	1	3.0
3	3日	3	9.1
4	4日	1	3.0
5	5～6日	8	24.2
6	7～9日	2	6.1
7	10～14日	6	18.2
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	12	36.4
	無回答	2	
	合計(回答者数)	35	33

問 31-3 【不十分】利用日数(休日)【区立認可保育園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	2	33.3

第4章 基本集計結果

2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	4	66.7
	無回答	29	
	合計(回答者数)	35	6

問 31-3 【不充分】利用日数（平日）【私立認可保育園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	1	11.1
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	4	44.4
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	4	44.4
	無回答	0	
	合計(回答者数)	9	9

問 31-3 【不充分】利用日数（休日）【私立認可保育園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	1	50.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	1	50.0
	無回答	7	
	合計(回答者数)	9	2

問 31-3 【不充分】利用日数（平日）【小規模保育事業所】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	1	16.7
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	2	33.3
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	3	50.0
	無回答	1	
	合計(回答者数)	7	6

問 31-3 【不充分】利用日数（休日）【小規模保育事業所】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0

3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	1	100.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	6	
	合計(回答者数)	7	1

問 31-3 【不十分】利用日数(平日)【芝浦アイランドこども園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	1	7.7
3	3日	1	7.7
4	4日	0	0.0
5	5～6日	3	23.1
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	3	23.1
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	5	38.5
	無回答	0	
	合計(回答者数)	13	13

問 31-3 【不十分】利用日数(休日)【芝浦アイランドこども園】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	13	
	合計(回答者数)	13	0

問 31-3 【不十分】利用日数(平日)【みなと子育て応援プラザ Pokke】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	1	3.2
2	2日	2	6.5
3	3日	3	9.7
4	4日	0	0.0
5	5～6日	5	16.1
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	9	29.0
8	15～19日	1	3.2
9	20日以上	10	32.3
	無回答	14	
	合計(回答者数)	45	31

問 31-3 【不十分】利用日数(休日)【みなと子育て応援プラザ Pokke】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	1	4.5
2	2日	3	13.6
3	3日	1	4.5

第4章 基本集計結果

4	4日	2	9.1
5	5～6日	5	22.7
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	3	13.6
8	15～19日	1	4.5
9	20日以上	6	27.3
	無回答	23	
	合計(回答者数)	45	22

問 31-3 【不十分】利用日数(平日)【あっぴい】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	1	1.0
2	2日	6	6.0
3	3日	8	8.0
4	4日	3	3.0
5	5～6日	14	14.0
6	7～9日	3	3.0
7	10～14日	24	24.0
8	15～19日	4	4.0
9	20日以上	37	37.0
	無回答	50	
	合計(回答者数)	150	100

問 31-3 【不十分】利用日数(休日)【あっぴい】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	4	5.5
2	2日	2	2.7
3	3日	7	9.6
4	4日	2	2.7
5	5～6日	18	24.7
6	7～9日	4	5.5
7	10～14日	22	30.1
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	14	19.2
	無回答	77	
	合計(回答者数)	150	73

問 31-3 【不十分】利用日数(平日)【あい・ぽーと】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	2	22.2
6	7～9日	1	11.1
7	10～14日	3	33.3
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	3	33.3
	無回答	5	
	合計(回答者数)	14	9

問 31-3 【不十分】利用日数(休日)【あい・ぽーと】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	1	16.7
2	2日	2	33.3
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0

5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	2	33.3
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	1	16.7
	無回答	8	
	合計(回答者数)	14	6

問 31-3 【不十分】利用日数(平日)【みなと保育サポート(スポット利用)】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	2	25.0
2	2日	1	12.5
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	2	25.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	3	37.5
	無回答	1	
	合計(回答者数)	9	8

問 31-3 【不十分】利用日数(休日)【みなと保育サポート(スポット利用)】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	1	33.3
2	2日	1	33.3
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	1	33.3
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	6	
	合計(回答者数)	9	3

問 31-3 【不十分】利用日数(平日)【区立幼稚園(スポット利用)】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	1	33.3
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	1	33.3
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	1	33.3
	無回答	0	
	合計(回答者数)	3	3

問 31-3 【不十分】利用日数(休日)【区立幼稚園(スポット利用)】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0

第4章 基本集計結果

6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	3	
	合計(回答者数)	3	0

問 31-4 (1) 1回の利用で預ける時間

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	3時間未満	72	10.6
2	3時間	103	15.1
3	4時間	138	20.2
4	5時間	226	33.1
5	6時間	46	6.7
6	7時間	19	2.8
7	8時間	56	8.2
8	9時間	12	1.8
9	10時間	6	0.9
10	11時間	1	0.1
11	12時間以上	3	0.4
	無回答	47	
	合計(回答者数)	729	682

問 31-4 (2) 預かり時間に関して(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	充分だった	466	68.2
2	不十分だった	217	31.8
	無回答	46	
	合計(回答者数)	729	683

問 31-4 (2) 1回の利用で預ける時間【不十分：希望時間】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	3時間未満	0	0.0
2	3時間	10	4.9
3	4時間	11	5.3
4	5時間	23	11.2
5	6時間	51	24.8
6	7時間	23	11.2
7	8時間	65	31.6
8	9時間	8	3.9
9	10時間	11	5.3
10	11時間	0	0.0
11	12時間以上	4	1.9
	無回答	11	
	合計(回答者数)	217	206

問 31-5 問 31-1 で回答した一時預かり施設について、その施設を利用した理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	自宅に近いから	538	77.6
2	預けた後に向かう目的地に近いから	111	16.0
3	利用料金が安いから	306	44.2
4	スタッフの対応がよいから	323	46.6
5	予約が取りやすいから	153	22.1
6	その他の理由	84	12.1
	無回答	36	
	合計(回答者数)	729	693

問 31-6 一時預かりを利用しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	一時預かり施設が近くにないから	25	11.1
2	一時預かり施設の保育の質に不安があるから	35	15.6
3	利用したくても空きがないから	67	29.8
4	利用可能時間に合わないから	45	20.0
5	利用料がかかる・高いから	9	4.0
6	新型コロナウイルス感染症の感染が不安だから	42	18.7
7	一時預かり事業を知らなかったから	24	10.7
8	利用する必要がないから	52	23.1
9	その他の理由	53	23.6
	無回答	237	
	合計(回答者数)	462	225

問 33 調査対象のお子さんについて、病児・病後児保育を利用したことがありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	利用したことがある	791	13.7
2	利用したことはない	4,993	86.3
	無回答	226	
	合計(回答者数)	6,010	5,784

問 33-1 利用したことがある施設の番号すべてに○をつけ、過去1年間のおおよその利用日数を表内に数字でご記入ください。

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	あいいく病児保育室	99	17.3
2	ひまわり保育室	176	30.8
3	芝浦病児保育室	148	25.9
4	チャイルドケアばんびいに病児保育室	171	29.9
5	赤坂山王病児保育室	61	10.7
6	南青山病後児保育室	45	7.9
	無回答	220	
	合計(回答者数)	791	571

問 33-1 利用日数(平日)【あいいく病児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	32	39.0
2	2日	17	20.7
3	3日	12	14.6
4	4日	2	2.4
5	5～6日	11	13.4
6	7～9日	1	1.2
7	10～14日	6	7.3
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	1	1.2
	合計(回答者数)	99	82

問 33-1 利用日数(休日)【あいいく病児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	10	90.9
2	2日	1	9.1
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0

第4章 基本集計結果

8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	88	
	合計(回答者数)	99	11

問 33-1 利用日数（平日）【ひまわり保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	37	23.9
2	2日	34	21.9
3	3日	28	18.1
4	4日	6	3.9
5	5～6日	19	12.3
6	7～9日	7	4.5
7	10～14日	17	11.0
8	15～19日	4	2.6
9	20日以上	3	1.9
	無回答	21	
	合計(回答者数)	176	155

問 33-1 利用日数（休日）【ひまわり保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	5	55.6
2	2日	2	22.2
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	1	11.1
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	1	11.1
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	167	
	合計(回答者数)	176	9

問 33-1 利用日数（平日）【芝浦病児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	52	39.7
2	2日	16	12.2
3	3日	21	16.0
4	4日	4	3.1
5	5～6日	17	13.0
6	7～9日	6	4.6
7	10～14日	10	7.6
8	15～19日	2	1.5
9	20日以上	3	2.3
	無回答	17	
	合計(回答者数)	148	131

問 33-1 利用日数（休日）【芝浦病児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	16	80.0
2	2日	2	10.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	1	5.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	1	5.0

9	20日以上	0	0.0
	無回答	128	
	合計(回答者数)	148	20

問 33-1 利用日数(平日)【チャイルドケアばんびいに病児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	39	24.1
2	2日	25	15.4
3	3日	24	14.8
4	4日	9	5.6
5	5～6日	27	16.7
6	7～9日	5	3.1
7	10～14日	17	10.5
8	15～19日	5	3.1
9	20日以上	11	6.8
	無回答	9	
	合計(回答者数)	171	162

問 33-1 利用日数(休日)【チャイルドケアばんびいに病児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	13	81.3
2	2日	1	6.3
3	3日	1	6.3
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	1	6.3
9	20日以上	0	0.0
	無回答	155	
	合計(回答者数)	171	16

問 33-1 利用日数(平日)【赤坂山王病児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	19	36.5
2	2日	10	19.2
3	3日	10	19.2
4	4日	4	7.7
5	5～6日	4	7.7
6	7～9日	2	3.8
7	10～14日	2	3.8
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	1	1.9
	無回答	9	
	合計(回答者数)	61	52

問 33-1 利用日数(休日)【赤坂山王病児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	3	60.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	1	20.0
5	5～6日	1	20.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0

第4章 基本集計結果

	無回答	56	
	合計(回答者数)	61	5

問 33-1 利用日数（平日）【南青山病後児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	11	32.4
2	2日	10	29.4
3	3日	7	20.6
4	4日	1	2.9
5	5～6日	3	8.8
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	1	2.9
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	1	2.9
	無回答	11	
	合計(回答者数)	45	34

問 33-1 利用日数（休日）【南青山病後児保育室】

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	1日	1	100.0
2	2日	0	0.0
3	3日	0	0.0
4	4日	0	0.0
5	5～6日	0	0.0
6	7～9日	0	0.0
7	10～14日	0	0.0
8	15～19日	0	0.0
9	20日以上	0	0.0
	無回答	44	
	合計(回答者数)	45	1

問 34 調査対象のお子さんについて、病児・病後児保育を利用しようとして利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）（1）利用に関して（あてはまる番号ひとつに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	利用できなかったことがある	978	17.7
2	利用できなかったことはない	4,546	82.3
	無回答	486	
	合計(回答者数)	6,010	5,524

問 34 （2）利用ができなかった施設（あてはまる番号すべてに○）

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	あいいく病児保育室	301	34.2
2	ひまわり保育室	308	35.0
3	芝浦病児保育室	335	38.1
4	チャイルドケアばんびいに病児保育室	267	30.4
5	赤坂山王病児保育室	154	17.5
6	南青山病後児保育室	90	10.2
	無回答	99	
	合計(回答者数)	978	879

問 36 （1）お子さんの体力が低下した

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	とてもそう思う	308	5.5
2	そう思う	793	14.0
3	どちらともいえない	1,615	28.6
4	あまりそう思わない	1,387	24.6
5	全くそう思わない	1,543	27.3

	無回答	364	
	合計(回答者数)	6,010	5,646

問36 (2) お子さんの集中力が低下した

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	とてもそう思う	145	2.6
2	そう思う	390	6.9
3	どちらともいえない	1,852	32.9
4	あまりそう思わない	1,539	27.4
5	全くそう思わない	1,699	30.2
	無回答	385	
	合計(回答者数)	6,010	5,625

問36 (3) お子さんがゲームやスマホをみる時間が増えた

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	とてもそう思う	1,205	21.3
2	そう思う	1,524	26.9
3	どちらともいえない	980	17.3
4	あまりそう思わない	662	11.7
5	全くそう思わない	1,290	22.8
	無回答	349	
	合計(回答者数)	6,010	5,661

問36 (4) お子さんが一人でいる時間が増えた

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	とてもそう思う	425	7.6
2	そう思う	808	14.4
3	どちらともいえない	1,095	19.5
4	あまりそう思わない	1,242	22.1
5	全くそう思わない	2,050	36.5
	無回答	390	
	合計(回答者数)	6,010	5,620

問36 (5) お子さんが不安を感じるようになった

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	とてもそう思う	154	2.7
2	そう思う	562	10.0
3	どちらともいえない	1,515	27.0
4	あまりそう思わない	1,445	25.8
5	全くそう思わない	1,932	34.5
	無回答	402	
	合計(回答者数)	6,010	5,608

問36 (6) お子さんがイライラすることが多くなった

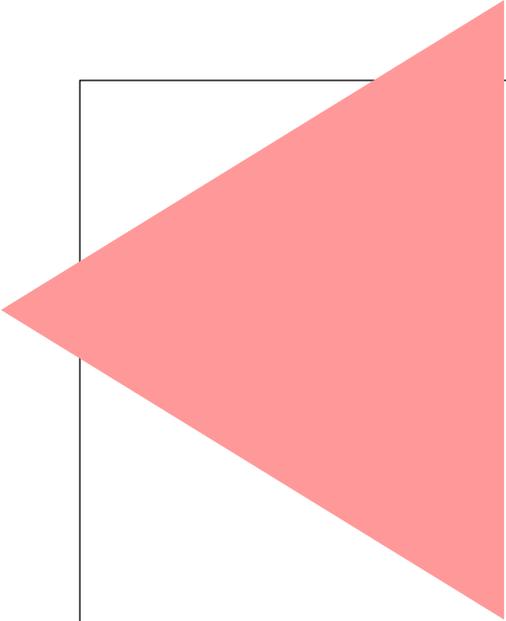
No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	とてもそう思う	207	3.7
2	そう思う	622	11.1
3	どちらともいえない	1,490	26.7
4	あまりそう思わない	1,359	24.3
5	全くそう思わない	1,906	34.1
	無回答	426	
	合計(回答者数)	6,010	5,584

問36 (7) お子さんと家族と一緒に過ごす時間が増えた

No.	カテゴリ	件数(人)	割合(%)
1	とてもそう思う	1,974	34.7
2	そう思う	1,983	34.8

第4章 基本集計結果

3	どちらともいえない	1,011	17.7
4	あまりそう思わない	315	5.5
5	全くそう思わない	413	7.3
	無回答	314	
	合計(回答者数)	6,010	5,696



參考資料

第1 調査票

設問の全体像

項目	設問	回答対象
お子さんやあなた（調査対象のお子さんの保護者）ご自身について	問1～問14	回答者全員
あなた（調査対象のお子さんの保護者）の就労状況について	問15～問18	回答者全員
あなた（調査対象のお子さんの保護者）の教育・保育に対する考え方について	問19～問22-2	回答者全員
お子さんの教育・保育施設の利用状況について	問23～問25-1	回答者全員
待機児童向け居宅訪問型保育事業及びみなと保育サポート事業の利用について	問26～問26-2	教育・保育施設を利用していない人
在宅で子育てをしているご家庭の状況について	問27～問30-1	教育・保育施設、待機児童向け居宅訪問型保育事業、みなと保育サポート事業を利用していない人
不定期な教育・保育事業の利用状況について	問31～問35	回答者全員
子育てで環境や支援全般について	問36～問37	回答者全員

調査対象のお子さんについて

複数のお子さんがある世帯は、未就学のお子さんの中で、**年齢が最も上のお子さん（以下、調査対象のお子さんとして回答していただきます）**を対象として回答してください。

例：お子さんが7歳、4歳（調査対象のお子さん）、2歳、0歳の4人きょうだいの場合

第1子：7歳
第2子：4歳
第3子：2歳
第4子：0歳

← 調査対象のお子さん

※未就学のお子さんの中で、年齢が最も上のお子さんが対象となります。

港区の就学前児童に対する子育て支援 検討に当たったのアンケート調査



— ご協力をお願い —

日頃から港区政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。本調査は、**幼児教育・保育の無償化や新型コロナウイルス感染症感染拡大などにより、区内の子育てを取り巻く環境が大きく変化したことを踏まえ、区内の子どもが有する問題やニーズを改めて把握し、新たな子育て支援を検討するために実施するものです。**質問数が多く、ご負担をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年1月 港区

<回答にあたってのお願い>

- この調査票は、未就学のお子さんかいる世帯に送っています。複数のお子さんかいる世帯は、**未就学のお子さんの中で、年齢が最も上のお子さん**（以下、調査対象のお子さんとして回答していただきます）を（2ページ「調査対象のお子さんについて」を参照）
- この調査の回答は、調査対象のお子さんの保護者が回答くださるようお願いいたします。
- 回答は【郵送】または【インターネット】の2つの方法があります。
- 郵送またはインターネットのいずれかの方法で、**令和4年2月14日(月)**までに、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函もしくは、インターネットの回答専用ページでご回答ください。
- この調査は無記名で行い、回答いただいた内容はすべて統計的に処理しますので、ご本人が特定されることはありません。

<郵送での回答>

- 回答は、**黒いせんぴつ**が、黒または青のボールペンをお使いください。
- 回答は、あてはまる選択肢を選ぶものと種内に記入するものがあります。設問によって選択肢を選ぶ数が異なりますので、注意書きに沿って回答してください。
- **インターネットでの回答**> パソコンやスマートフォン等から回答いただけます。
- 同封しています「インターネットでの回答について」をご参照ください。
- 以下のURLを入力するか、二次元コードを読み取ってアクセスしてください。



【URL】<https://form.qookey.jp/0/auto/ja/minatokusurvey/survey/>

- インターネットによる回答には、以下に記載していますアクセス用「ID及びパスワード」が必要ですが、

【パスワード】 minatojp 【ID】

ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【回答方法に関するお問い合わせ先】株式会社 創建 社会・環境政策チーム
電話：0120-253-715
受付時間：月曜日～金曜日（平日）9:30～17:00

【調査目的に関するお問い合わせ先】港区 子ども家庭支援部 保育政策課
電話：03-3578-2849
受付時間：月曜日～金曜日（平日）9:00～17:00

1. お子さんやあなた（調査対象のお子さんの保護者）ご自身についてうかがいます

問1 この調査票に回答いただく方はどなたですか。調査対象のお子さんからみただけでお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1. 父親 2. 母親 3. その他（ ）

問2 お住まいの地域はどこですか。（1）地域名について、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。（2）丁目については、（ ）内に数字で記入してください。

(1) 地域

1. 芝	9. 芝公園	17. 六本木	25. 高輪
2. 海岸	10. 虎ノ門	18. 麻布台	26. 白金
3. 東新橋	11. 愛宕	19. 麻布十番	27. 白金台
4. 新橋	12. 麻布理穴町	20. 東麻布	28. 芝浦
5. 西新橋	13. 麻布永坂町	21. 元赤坂	29. 港南
6. 三田	14. 南麻布	22. 赤坂	30. 台場
7. 浜松町	15. 元麻布	23. 南青山	
8. 芝大門	16. 西麻布	24. 北青山	

(2) 丁目

（ ）丁目

問3 調査対象のお子さんの生まれた年と月についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

(1) 年

1. 2015年	3. 2017年	5. 2019年	7. 2021年
2. 2016年	4. 2018年	6. 2020年	

(2) 月

1. 1月	4. 4月	7. 7月	10. 10月
2. 2月	5. 5月	8. 8月	11. 11月
3. 3月	6. 6月	9. 9月	12. 12月

問4 調査対象のお子さんのきょうだいは何人いますか。調査対象のお子さんを含んだきょうだいの人数とそれぞれの年齢（令和3年4月1日現在）を（ ）内に数字でご記入ください。記入欄が不足する場合は余白を適宜ご利用ください。

(1) きょうだいの数

（ ）人

(2) きょうだいの年齢（令和3年4月1日現在）

1人目（ ）歳	1人目（ 7 ）歳
2人目（ ）歳	2人目（ 4 ）歳
3人目（ ）歳	3人目（ 2 ）歳
4人目（ ）歳	4人目（ 0 ）歳
5人目（ ）歳	5人目（ ）歳

調査対象のお子さん

例：お子さんが7歳、4歳、0歳の4人きょうだいの場合、

【記入例】

(1) きょうだいの人数（ 4 ）人

(2) きょうだいの年齢

問5 あなた（調査対象のお子さんの保護者）の世帯の今後のお子さんの予定（現在妊娠中のお子さんも含めて）について教えてください。（あてはまる番号ひとつに○）

1. もう産むつもりはない → 問6ハ

2. あと1人産むつもり

3. あと2人産むつもり

4. あと3人産むつもり

5. あと4人以上産むつもり

6. わからない → 問6ハ

問5-1ハ

※問5で「2」～「5」に○をつけた方にかかっています

問5-1 今後予定するお子さんの人数が、何らかの理由により叶わないことがあるとしたら、その理由は何である可能性が高いですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 収入が不安定なこと	6. 年齢や健康上の理由
2. 自分や配偶者の仕事の事情	7. 配偶者の不在
3. 家事・育児の協力がいないこと	8. その他（ ）
4. 幼稚園・保育園など子どもの預け先がないこと	9. 予定する子どもの人数を実現できない可能性は低いと考えている
5. 今いる子どもに手がかかること	

→ 問6ハ

※すべての方にかかいます。

問6 調査対象のお子さんご両親の同居状況についてかかいます。
(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

(1) 父親	(2) 母親
1. 一緒に住んでいる 2. 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる 3. 別居している 4. 死亡、離婚、未婚などでいない	1. 一緒に住んでいる 2. 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる 3. 別居している 4. 死亡、離婚、未婚などでいない

問7 調査対象のお子さんご両親の年齢について教えてください。
(令和3年4月1日現在でお答えください)

(1) 父親	(2) 母親
() 歳	() 歳

問8 調査対象のお子さんご両親の国籍について教えてください。
(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

	(1) 父親	(2) 母親
国籍	1. 日本 → 問9ハ	1. 日本 → 問9ハ
	2. 日本以外 → 問8-1ハ	2. 日本以外 → 問8-1ハ

※問8で「2. 日本以外」に○をつけた方にかかいます。

問8-1 日本以外の国籍の方は、日本語がどのくらいできますか。
(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

	(1) 父親	(2) 母親
聞く	1. 相手の言うことを聞いて、理解できる 2. 相手の言うことを聞いて、大体理解できる 3. 相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる 4. 単語だけ聞き取れる 5. ほとんど聞き取れない	1. 相手の言うことを聞いて、理解できる 2. 相手の言うことを聞いて、大体理解できる 3. 相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる 4. 単語だけ聞き取れる 5. ほとんど聞き取れない
話す	1. 自分の言いたいことが問題なく話せる 2. 自分の言いたいことが大体話せる 3. 簡単な日常会話ができる 4. 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる 5. ほとんど話せない	1. 自分の言いたいことが問題なく話せる 2. 自分の言いたいことが大体話せる 3. 簡単な日常会話ができる 4. 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる 5. ほとんど話せない
読む	1. 役所や教育・保育施設、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる 2. 役所や教育・保育施設、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる 3. 広告やチラシ、時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる 4. 絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる	1. 役所や教育・保育施設、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる 2. 役所や教育・保育施設、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる 3. 広告やチラシ、時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる 4. 絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる

※すべての方にかかいます。

問9 調査対象のお子さんは降書や発達に関する不安をお持ちですか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 降書や発達に関する不安を持っている
2. 降書や発達に関する不安を持っていない → 問10ハ

問9-1ハ

※問9で「1」に○をつけた方にかがいます。

問9-1 調査対象のお子さんをお持ちの手帳や発達に関する不安について、あてはまるものを答えてください。(あてはまる番号すべてに○)
また、選択肢「1」～「3」を選んだ方は、()に数字を記入してください

1. 身体障害者手帳 () 級	[() に数字を記入してください]
2. 愛の手帳 () 度	
3. 精神障害者保健福祉手帳 () 級	
4. 難病	
5. 高次脳機能障害	
6. 発達障害	
7. 医療的ケア (たん吸引、経管栄養、酸素吸入等)	
8. 定期的な服薬や自己注射	
9. 未熟児、虚弱児	
10. 言語発達に関する不安	
11. 運動発達に関する不安	
12. 多動や衝動性等行動に関する不安	
13. 対人関係等コミュニケーションに関する不安	
14. その他 ()	

→ 問10へ

※すべての方にかがいます。

問10 あなた(調査対象のお子さんの保護者)のお住まいをお答えください。
(あてはまる番号ひとつに○)

1. 持家(一戸建て)	5. 都営・区営・区立住宅
2. 持家(マンション)	6. UR(旧公団)・公社の賃貸住宅
3. 借家(一戸建て)	7. 社宅・公務員借舎
4. 民間の賃貸マンション・アパート	8. その他 ()

問11 あなた(調査対象のお子さんの保護者)は、港区に住んで何年になりましたか。調査対象のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。
(あてはまる番号ひとつに○)

1. 1年未満	4. 5～10年未満	7. 生まれてからずっと 港区に住んでいる
2. 1～3年未満	5. 10～20年未満	
3. 3～5年未満	6. 20年以上	

問12 問11と同様に、調査対象のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。あなた(調査対象のお子さんの保護者)が、港区に住むことになったタイミングはいつですか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 子どもの出産前から住んでいる
2. 子どもの出産を機に転入した
3. 保育園・幼稚園・インターナショナルスクール等への入園を機に転入した
4. その他 ()

問13 あなた(調査対象のお子さんの保護者)が、港区に住むことになった理由のうち、子育てに関連するものはありますか。次のうち、あてはまる理由があればお選びください。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 出産費用助成があるから	7. 入学したい小学校があるから
2. 母子保健事業が充実しているから	【入学希望施設：()】
3. 保育料助成があるから	8. 職場が近く、子育てがしやすいから
4. 第2子以降の保育料が無料だから	9. 治安が良く、子どもにとって安全な環境だから
5. 教育・保育施設に空きがあり入園させやすいから	10. 子育てに協力してくれる親族がいるから
6. 入園したい保育園・幼稚園・インターナショナルスクール等があるから	11. その他 ()
【入園希望施設：()】	12. 特に子育てに関連する理由はない

問14 これからも港区に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 子どもの保育園・幼稚園等への入園前まで住み続けたい
2. 子どもの保育園・幼稚園等の卒業まで住み続けたい
3. 子どもの小学校卒業まで住み続けたい
4. 子どもの中学校卒業まで住み続けたい
5. 子どもの高等学校卒業まで住み続けたい
6. 子どもの大学卒業まで住み続けたい
7. ずっと住み続けたい
8. その他 ()
9. わからない

2. あなた（調査対象のお子さんの保護者）の就労状況について
うかがいます

問 15 調査対象のお子さんの保護者（1）父親、（2）母親のそれぞれの現在の就労形態についてうかがいます。もともと収入が多い勤務形態をお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

(1)父親	(2)母親	就労形態（あてはまる番号に○）
1	1	会社員など雇用契約による就労 （パート・アルバイト等含む）
2	2	公務員
3	3	会社経営者（法人化している）
4	4	個人事業主（法人化していない）
5	5	その他（ ）
6	6	その他（ ）
7	7	以前は就労していたが、現在は就労していない これまで就労したことがない

問 15-1 へ

※問 15 で「1」～「5」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 調査対象のお子さんの保護者（1）父親、（2）母親のそれぞれの現在の就労時間についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

(1)父親	(2)母親	就労時間（あてはまる番号に○）
1	1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で 就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2	2	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で 就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3	3	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で 就労しているが、育児短時間勤務中である
4	4	パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労）で 就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
5	5	パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労）で 就労しているが、産休・育休・介護休業中である

問 15-2 へ

問 15-2、
問 15-3 へ

問 15-2 1週あたりの「就労日数」及びそのうちの「在宅勤務日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

	1週あたりの就労日数	うち在宅勤務日数	1日あたりの就労時間
(1) 父親	() 日	うち在宅勤務 () 日	() 時間
(2) 母親	() 日	うち在宅勤務 () 日	() 時間

※問 15-1 で「4」または「5」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問 15-3 フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

(1)父親	(2)母親	就労時間（あてはまる番号に○）
1	1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への 転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）の就労を 続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）をやめて 子育てや家事に専念したい

→ 問 17 へ

※問 15 で「6.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「7.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問 16 就労したいという希望はありますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）また、「3.すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方は、希望する就労形態についてお答えください。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

(1)父親	(2)母親	就労時間（あてはまる番号に○）
1	1	子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2	2	1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい
3	3	すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

問 16-1 へ

※問16で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にかかっています。

問16-1 希望する就労形態についてお答えください。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

(1) 父親	(2) 母親	就労時間 (あてはまる番号に○)
1	1	フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2	2	パート、アルバイト等 (「1.フルタイム」以外)

→ 問17へ

※すべての方にかかっています。

問17 調査対象のお子さんの世帯全体の年収(税込)は、おおよそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 200万円未満
2. 200～300万円未満
3. 300～400万円未満
4. 400～500万円未満
5. 500～700万円未満
6. 700～1,000万円未満
7. 1,000～1,500万円未満
8. 1,500～2,000万円未満
9. 2,000～3,000万円未満
10. 3,000～5,000万円未満
11. 5,000～1億円未満
12. 1億円以上
13. わからない

問18 調査対象のお子さんの世帯のもっとも大きな収入源は何ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 給与
2. 自営業・フリーランスによる所得
3. 不動産所得
4. 貯蓄の取り崩し
5. 親族の援助
6. その他 ()

3. あなた(調査対象のお子さんの保護者)の教育・保育に対する考え方についてうかがいます

問19 調査対象のお子さんの子育てや教育の方針を主に決めているのはどなたですか。なお、続柄はすべてお子さんからみられた関係です。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 主に父親
2. 主に母親
3. 主に父親と母親が話し合っていて決めている
4. 主に祖父
5. その他 ()

問20 あなた(調査対象のお子さんの保護者)は、調査対象のお子さんに将来どのような人になっ
てほしいと思いますか。子どもの将来に対する期待について、具体的に記入ください。

(例) 国際的に活躍できる人になってほしい、人に尊敬される仕事についてほしい、など

問21 あなた(調査対象のお子さんの保護者)は、将来、調査対象のお子さんを海外留学させたいと思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 必ず留学させたい
2. できれば留学させたい
3. 子どもが希望すれば留学させたい
4. 留学させたいとは思わない
5. わからない

問22 調査対象のお子さんは、現在習い事をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)
また習い事の教室名、教材名を記入してください。

1. スイミングスクール (教室名称:)
2. 体操教室 (教室名称:)
3. 定期的に教材が届く通信教育 (教材名称:)
4. 英会話などの語学教室 (教室名称:)
5. ピアノなどの音楽教室 (教室名称:)
6. 幼稚園や小学校受験のための塾 (教室名称:)
7. 受験目的ではない学習塾や計算・書き取りの塾 (教室名称:)
8. バレエ・ダンス (教室名称:)
9. 武道・武術 (教室名称:)
10. 絵画・造形 (教室名称:)
11. リトミック (教室名称:)
12. プログラミング教室 (教室名称:)
13. その他 ()

問22-1、問22-2へ

14. 習い事はしていない → 問23へ

本来利用を希望する利用時間			
1. 3 時間未満	5. 6 時間	9. 10 時間	
2. 3 時間	6. 7 時間	10. 11 時間	
3. 4 時間	7. 8 時間	11. 12 時間以上	
4. 5 時間	8. 9 時間		
本来利用を希望する利用時刻 ※時刻は 24 時間制でお答えください			
() 時から () 時まで			

問 23-2 問 23-1 で回答した教育・保育施設を知ったきっかけは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 区の保育コンシェルジュや窓口で相談して知った
2. 区の「保育園入園のご案内」を見て知った
3. 自分で調べてインターネット等で知った
4. 兄弟が通っていた
5. 知人（近所のママ友など）から聞いて知った
6. 親戚・知人の子が通っていた
7. 近所でみかけた（近かった、通勤経路上にある、園バスを見かけた、など）
8. 勤務先と提携していた（事業所内や院内の保育施設、福利厚生で保育料が安くなる、など）
9. その他 ()

問 23-3 問 23-1 で回答した教育・保育施設を利用されている主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○) また、利用している施設を選んだ主な理由のうち、重視した項目の上位 3 つまで選び、番号を記入してください。

- (1) 利用している施設を選んだ主な理由
1. 家から近く利用しやすいから
 2. 施設設備が充実しているから
 3. 園庭があるから
 4. 職員が保育者対応が適切だから
 5. カリキュラムが魅力的だから
 6. 英語を学ばせたかったから
 7. 給食など保育サービスが充実しているから
 8. スクールバスなど送迎サービスが充実しているから
 9. 自転車による通園が認められているから
 10. 自家用車による通園が認められているから
 11. 保育料が安いから
 12. 利用料に対する補助金が活用できるから
 13. 保護者の就労形態に合っているから
 14. 施設の定員規模が自分の子に合っていると感じたから
 15. 希望する教育・保育施設に入れなかったから
 16. その他 ()
- 利用している施設を選んだ主な理由のうち、重視した項目の上位 3 つ
- (2) 施設を検討する際に重視した項目
- | | | |
|------------|------------|------------|
| 第 1 順位 () | 第 2 順位 () | 第 3 順位 () |
|------------|------------|------------|

問 23-4 問 23-1 で回答した教育・保育施設について、問 23-1 の他の施設種別と比較して選んだ理由を具体的に教えてください。

- (例) 保育園よりも教育内容が優れていると考えて幼稚園を選択した、幼稚園よりも給食などのサービスが充実していると考えて保育園を選択した、など

問 23-5 問 23-1 で回答した教育・保育施設について、今後改善してほしい点や新たに求めるものについて、具体的に記入ください。

問 23-6 問 23-1 で回答した教育・保育施設について、利用している施設への登園方法は何か。(あてはまる番号ひとつに○) また、自宅からの所要時間を教えてください。

- (1) 利用している施設の登園方法
1. 徒歩
 2. 自転車
 3. 乗用車
 4. 公共交通機関のバス
 5. 施設のスクールバス
 6. 電車
 7. その他 ()

(2) 自宅からの所要時間

自宅から () 分

問 23-7 問 23-1 で回答した現在利用している教育・保育施設について、いつまでその施設を利用する予定ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 就学前まで利用予定
2. 希望施設が空き次第転園する【希望転園先：()】
3. () 歳になったら転園予定【予定転園先：()】
4. その他 ()

※問 23-1 で現在利用している教育・保育施設として「8. 認証保育所」「9. ベビーホテルなどの認可外保育施設」「10. インターナショナルスクール」に○をつけた方にかかいます。

問 23-16 区が実施している「認証保育所保育料補助金」または「認可外保育施設保育料補助金」のいずれかを受けていますか。受けている方は金額もご記入ください。

1. 補助金を受けている	補助金額：月 () 円
2. 補助金を受けていない	

問 23-17 へ

※問 23-18 で「1. 補助金を受けている」に○をつけた方にかかっています。

問 23-17 補助金額以外に自己負担している金額（月額）はいくらですか。

■ 自己負担額合計 () 円	
自己負担額内訳	
基本保育料 () 円	英会話等のオプション料金 () 円
延長保育料 () 円	年会費/月 () 円
給食費 () 円	施設管理費 () 円
バス等の送迎代 () 円	教材費 () 円
保険料 () 円	その他 () 円

→ 問 24 へ

※問 23-16 で「2. 補助金を受けていない」に○をつけた方にかかっています。

問 23-18 補助金を受けていない理由は何ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 補助金制度を知らなかったから	()
2. 保育の必要性などの補助要件を満たさないから	()
3. 今の保育施設の保育料が認可保育園より安いから	()
4. その他の理由 ()	()

→ 問 24 へ

※教育・保育施設の利用の有無に関わらず、すべての方にお聞きします。

問 24 現在、利用している、利用していないに関わらず、調査対象のお子さんの平日に利用する教育・保育施設として、もっとも「定期的に」利用したいと考える施設についてうかがいます。

◆現在利用している施設と、もっとも利用したいと考える施設は同じですか。(あてはまる番号ひとつに○) 同じでない場合は、もっとも利用したいと考える(1)施設名称を記入し、(2)その施設種別、(3)希望利用時間について、あてはまる番号ひとつに○をつけ、(4)希望利用時刻を記入してください。(時刻は24時間制でお答えください)

1. 現在利用している施設と、もっとも利用したい施設が同じである	→ 問 25 へ
2. 現在利用している施設と、もっとも利用したい施設が異なる	
3. 現在施設を利用していないが、利用したい施設がある	
4. 現在施設を利用しておらず、今後も利用するつもりはない	→ 問 25 へ

(1) ~ (4)、問 24-1、問 24-2 へ

(1) 希望施設名称
() ()

(2) 希望施設種別

1. 区立幼稚園	7. 港区保育室
2. 私立幼稚園	8. 認証保育所
3. 区立認可保育園	9. ベビーホテルなど認可外保育施設
4. 私立認可保育園	10. インターナショナルスクール
5. 認定こども園	11. その他の施設
6. 小規模保育事業所	()

(3) 希望利用時間

1. 3時間未満	5. 6時間	9. 10時間
2. 3時間	6. 7時間	10. 11時間
3. 4時間	7. 8時間	11. 12時間以上
4. 5時間	8. 9時間	

(4) 希望利用時刻 ※時刻は24時間制でお答えください
()時から()時まで

問 24-1 問 24 で回答したもっとも利用したい教育・保育施設について、利用したい理由を具体的に教えてください。特に今現在教育・保育施設を利用している方は、その教育・保育施設と比較してご回答ください。

(例) 保育園よりも教育内容が優れていると思うから幼稚園、認定こども園に通わせたいなど

問 24-2 問 24 で回答したことも利用したい教育・保育施設を現在利用できていない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 保育時間が保護者の就労状況等と合わないから	
2. 保育料が高いから	
3. 入園を希望する施設に空きがないから【利用希望施設：()】	
4. 通園できる距離にないから	
5. 入園を希望する施設の対象年齢に達していないから【入園可能年齢：()歳】	
6. その他の理由 ()	

→ 問 23 で教育・保育施設を現在「1. 利用している」に○をつけた方：問 25 △

→ 問 23 で教育・保育施設を現在「2. 利用していない」に○をつけた方：問 26 △

※問 23 で教育・保育施設を現在「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

問 25 調査対象のお子さんへ、問 23-1 で回答した現在利用している教育・保育施設に通う前に別の教育・保育施設に通っていましたか。(あてはまる番号ひとつに○) 通っていた場合は、(1) その園数と (2) 直近の退園時期、(3) 施設名称を記入し、(4) 施設種別について、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 通っていた 2. 通っていない
(今通っている施設が初めての施設である) → 問 31 △

(1) ~ (4)、問 25-1 △

(1) 通っていた園数
() 園

(2) 直近の退園時期
() 年 () 月

(3) 直近に退園した施設名称
()

(4) 直近に退園した施設種別

1. 区立幼稚園	6. 小規模保育事業所	10. インターナショナルスクール
2. 私立幼稚園	7. 港区保育室	11. その他の施設
3. 区立認可保育園	8. 認証保育所	()
4. 私立認可保育園	9. ベビーホテルなどの認可外保育施設	
5. 認定こども園		

※問 25 で「1. 通っていた」に○をつけた方にかがいます。

問 25-1 転園先として、現在利用している教育・保育施設を選んだ理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 転園元よりも教育・保育内容が充実しているから	
2. 転園元よりも園庭などの設備が充実しているから	
3. もともと入園を希望していた転園先に空きが出たから	
4. 保護者の就労状況等に変化があり、もともと入園を希望していた転園先に通えるようになったから	
5. 保護者の就労状況等に変化があり、転園元に通えなくなっただから	
6. もともと入園を希望していた転園先に通える年齢に子どもが達したから	
7. 幼児教育・保育の無償化により費用負担が減ったから	
8. 転園元には幼児クラスがないため、卒園に伴い転園した	
9. その他の理由 ()	

→ 問 31 △

5. 待機児童向け居宅訪問型保育事業及び
みなと保育サポート事業の利用についてうかがいます



※問 23 で教育・保育施設を現在「2. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

問 26 待機児童向け居宅訪問型保育事業またはみなと保育サポート事業（定期利用）を利用していますか。(あてはまる番号ひとつに○)
また、「2. みなと保育サポート（定期利用）を利用している」に○をつけた場合、利用施設のいずれかに○をつけてください。

1. 待機児童向け居宅訪問型保育事業を利用している	→ 問 26-1 △
2. みなと保育サポート事業（定期利用）を利用している	→ 問 26-2 △

【利用施設】 1. みなと保育サポート白金
2. 港南四丁目
3. 東麻布
4. 赤坂
5. 白金台

3. いずれも利用していない → 問 27 △

※問 26 で「1. 待機児童向け居宅訪問型保育事業を利用している」に○をつけた方にかかいます。

問 26-1 待機児童向け居宅訪問型保育事業を利用している理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 集団保育を希望しないから
2. 新型コロナウイルス感染症への不安で施設利用したくないから
3. 施設利用したいが希望する教育・保育施設に空きがないから
【希望施設：()】
4. 施設利用したいが経済的な理由で利用が難しいから
【希望施設：()】
5. 施設利用したいが延長・夜間等の時間帯の条件が合わないから
6. 施設利用したいが教育内容の質や立地など納得できる施設がないから
7. 施設利用を開始したいと考えている年齢に子どもが達していないから
【利用開始希望年齢：()歳】
8. その他の理由 ()

→ 問 31 へ

※問 26 で「2. みなと保育サポート事業（定期利用）を利用している」に○をつけた方にかかいます。

問 26-2 みなと保育サポート事業（定期利用）を利用している理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 家から近く利用しやすいから
2. 施設設備が充実しているから
3. 保育時間が保護者の就業形態に合っているから
4. 職員の保護者対応が適切だから
5. 保育サービスが充実しているから
6. 保育料が安いから
7. 施設の定員規模が自分の子に合っていると感じているから
8. 希望する教育・保育施設に入らなかったから【希望施設：()】
9. その他の理由 ()

→ 問 31 へ



6. 在宅で子育てをしているご家庭の状況についてうかがいます

※問 26 で「3. 利用していない」に○をつけた方にかかいます。

問 27 教育・保育施設、待機児童向け居宅訪問型保育事業、みなと保育サポート事業（定期利用）を利用せずに在宅で子育てをしている理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子育てを自分自身で行いたいから
2. 家族・親族が子どもを見ることができている状況にあるので利用する必要がないから
3. 新型コロナウイルス感染症への不安で施設利用したくないから
4. 施設利用したいが希望する教育・保育施設に空きがないから
【希望施設：()】
5. 施設利用したいが経済的な理由で利用が難しいから
【希望施設：()】
6. 施設利用したいが延長・夜間等の時間帯の条件が合わないから
7. 施設利用したいが教育内容の質や立地など納得できる施設がないから
8. 施設利用したいと考えている年齢に子どもが達していないから
【利用開始希望年齢：()歳】
9. 利用を希望する施設の対象年齢に達していないから
【入園可能年齢：()歳】
10. 施設利用したいが子どもが子どもの疾病や障害などで施設利用が困難だから
11. その他の理由 ()

問 28 子育てに日常的にもっとも関わっている人は誰ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | |
|-------|--------|------------|
| 1. 父親 | 3. 祖父母 | 5. 友人・知人 |
| 2. 母親 | 4. 親戚 | 6. その他 () |

問 28-1 へ

問 29 へ

※問 28 で「1. 父親」もしくは「2. 母親」に○をつけた方にかかいます。

問 28-1 日常的に子育てに関わっている人の就業状況について教えてください。
(あてはまる番号ひとつに○)

1. 就労していない
2. 子どもを見ながら自営業を営んでいる
3. 子どもを見ながら在宅勤務をしている
4. 職場に子どもを同伴している
5. 育児休業中であり育児休業期間を切り上げて復職の希望がある
6. 育児休業中であり育児休業期間を切り上げて復職の希望はない
7. その他の理由 ()

問 28-2 祖父母等の子育て支援は得られていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 日常的に祖父母を含む親族にみてもらえる【月に()日程度】 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる【月に()日程度】 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる 5. 得られていない	→ 問 29 へ
---	----------

問 29 あなた(調査対象のお子さんの保護者)が「子育てについて悩んでいること」は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子育ての孤独感 2. 子どもの集団生活への慣れ 3. 子どもの健康 4. 子どもの発達 5. 子どもの教育 6. 子育ての相談先 7. その他() 8. 悩みは特にない

問 29-1 問 29 で回答した「子育てについて悩んでいること」を具体的にご記入ください。

--

問 30 調査対象のお子さんは以前、教育・保育施設に通っていましたか。

(あてはまる番号ひとつに○)

通っていた場合は、(1) その園数と (2) 直近の退園時期、(3) 直近の利用施設名称を記入し、(4) 直近の利用施設種別について、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 通っていた 2. 通っていない (教育・保育施設を利用したことがない) → 問 31 へ

→ (1) ~ (4)、問 30-1 へ

(1) 通っていた園数

() 園

(2) 直近の退園時期

() 年 () 月

(3) 直近の利用施設名称

()

(4) 直近の利用施設種別

1. 区立幼稚園 2. 私立幼稚園 3. 区立認可保育園 4. 私立認可保育園 5. 認定こども園 6. 小規模保育事業所 7. 港区保育室 8. 認証保育所 9. ベビーホテルなどの認可外保育施設 10. インターナショナルスクール 11. その他の施設 ()

※問 30 で「1.通っていた」に○をつけた方にかがいます。

問 30-1 教育・保育施設を利用しなくなった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、施設利用に不安を感じたから 2. 保護者の就労状況の変化等により、施設利用ができなくなったから 3. 在宅勤務の頻度が増え、子どもを見られるようになったから 4. 施設の教育・保育内容に期待できないと感じたから 5. その他の理由 ()

→ 問 31 へ

※教育・保育施設の利用の有無に関わらず、すべての方にお聞きします。



7. 不定期な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

問 31 調査対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 利用している事業がある 2. 利用している事業はない → 問 32へ

※問 31で「1. 利用している事業がある」に○をつけた方にかかいます。

問 31-1 利用している事業は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)
また、過去1年間のおおよその利用日数を表内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)	
	平日	休日
1. 一時預かり(※夏休み・一時預かり事業を除く)	日	日
2. 夏休み・一時預かり事業	日	日
3. ベビーシッター	日	日
4. ファミリー・サポート・センター	日	日
5. トワイライトステイ	日	日
6. 緊急一時保護・レスパイト保護	日	日
7. その他()	日	日

問 31-2へ

※問 31-1で「1. 一時預かり」に○をつけた方にかかいます。

問 31-2 一時預かりを利用した施設はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)
また、過去1年間のおおよその利用日数を表内に数字でご記入ください。

利用した施設	日数(年間)	
	平日	休日
1. 区立認可保育園	日	日
2. 私立認可保育園	日	日
3. 小規模保育事業所	日	日
4. 芝浦アイルランドこども園	日	日
5. みなと子育て応援プラザ Pokke	日	日
6. あっびい	日	日
7. あい・ぼーと	日	日
8. みなと保育サポート(スポット利用)	日	日
9. 区立幼稚園(スポット利用)	日	日

27

問 31-3 利用した一時預かりの日数は充分でしたか。充分でなかった場合は預かって欲しかった日数も記入してください。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 充分だった
2. 不十分だった

【不十分だった場合の利用希望日数】

利用した施設	日数(年間)	
	平日	休日
1. 区立認可保育園	日	日
2. 私立認可保育園	日	日
3. 小規模保育事業所	日	日
4. 芝浦アイルランドこども園	日	日
5. みなと子育て応援プラザ Pokke	日	日
6. あっびい	日	日
7. あい・ぼーと	日	日
8. みなと保育サポート(スポット利用)	日	日
9. 区立幼稚園(スポット利用)	日	日

問 31-4、
31-5へ

問 31-4 1回の利用で預ける時間はどの程度ですか。またその預かり時間で充分でしたか。充分でなかった場合は預かって欲しかった時間数も記入してください。

(1) 1回の利用で預ける時間 () 時間程度

(2) 預かり時間に関して(あてはまる番号ひとつに○)

1. 充分だった 2. 不十分だった【希望時間:() 時間程度】

問 31-5 問 31-1で回答した一時預かり施設について、その施設を利用した理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自宅に近いから
2. 預けた後に向かう目的地に近いから
3. 利用料金が安いから
4. スタッフの対応がよいから
5. 予約が取りやすいから
6. その他の理由()

28

※問 31-1 で「一時預かり」に○をつけていない方にうかがいます。

問 31-6 一時預かりを利用しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 一時預かり施設が近くにないから
2. 一時預かり施設の保育の質に不安があるから
3. 利用したくても空きがないから
4. 利用可能時間に合わないから
5. 利用料がかかる・高いから
6. 新型コロナウイルス感染症の感染が不安だから
7. 一時預かり事業を知らなかったから
8. 利用する必要があるから
9. その他の理由 ()

→ 問 32 へ

※教育・保育施設の利用の有無に関わらず、すべての方にうかがいます。

問 32 区の一時的預かり施設の予約の取りにくさについてなど、一時預かり事業に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

問 33 調査対象のお子さんについて、病児・病後児保育を利用したことがありますか。

(あてはまる番号ひとつに○)

1. 利用したことがある
2. 利用したことはない

→ 問 34 へ

※問 33 で「1. 利用したことがある」に○をつけて方にうかがいます。

問 33-1 利用したことがある施設の番号すべてに○をつけ、過去1年間のおおよその利用日数を表内に数字でご記入ください。

利用した施設	日数 (年間)	
	平日	休日
1. あいにく病児保育室	日	日
2. ひまわり保育室	日	日
3. 芝浦病児保育室	日	日
4. チャイルドケアばんびいに病児保育室	日	日
5. 赤坂山王病児保育室	日	日
6. 南青山病後児保育室	日	日

29

※教育・保育施設の利用の有無に関わらず、すべての方にお聞きします。

問 34 調査対象のお子さんについて、病児・病後児保育を利用しようとして利用できなかったことはありますか。(あてはまる番号ひとつに○) またその施設はどこでしたか。あてはまる施設の番号すべてに○をつけてください。

(1) 利用に関して (あてはまる番号ひとつに○)

1. 利用できなかったことがある
2. 利用できなかったことはない



(2) 利用ができなかった施設 (あてはまる番号すべてに○)

1. あいにく病児保育室
2. ひまわり保育室
3. 芝浦病児保育室
4. チャイルドケアばんびいに病児保育室
5. 赤坂山王病児保育室
6. 南青山病後児保育室

問 35 病児・病後児保育利用にあたっての不便など、病児・病後児保育に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

→ 問 36 へ

